

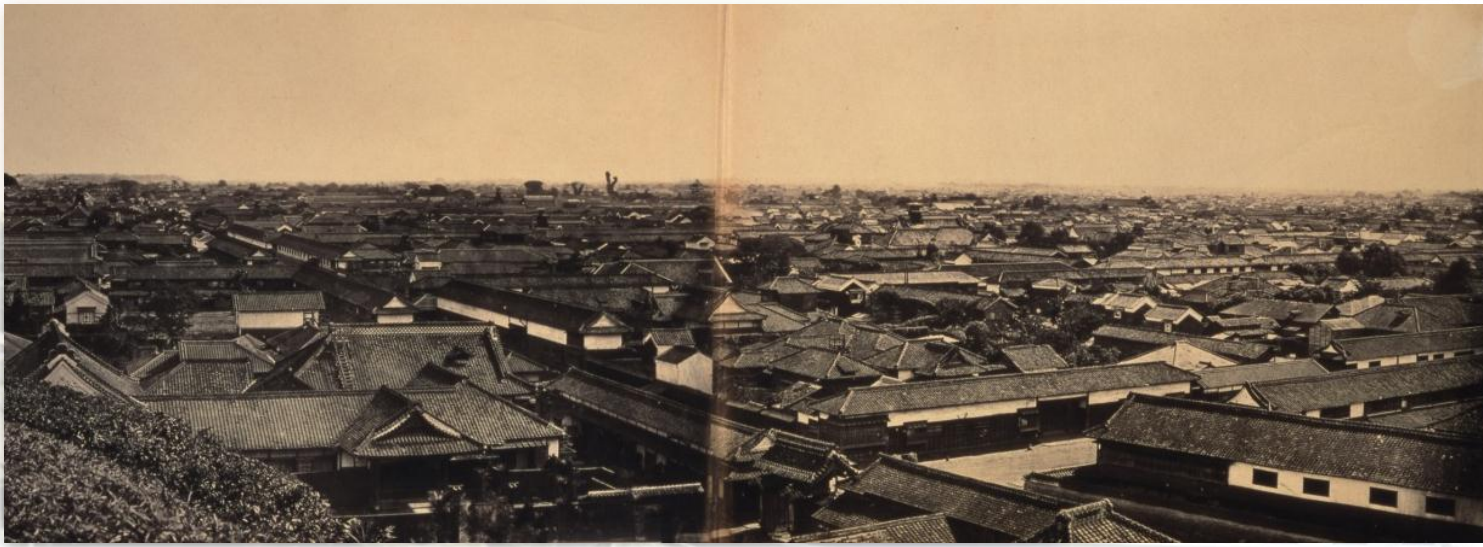
都立高等学校 地理歴史科用

# 江戸から 東京へ



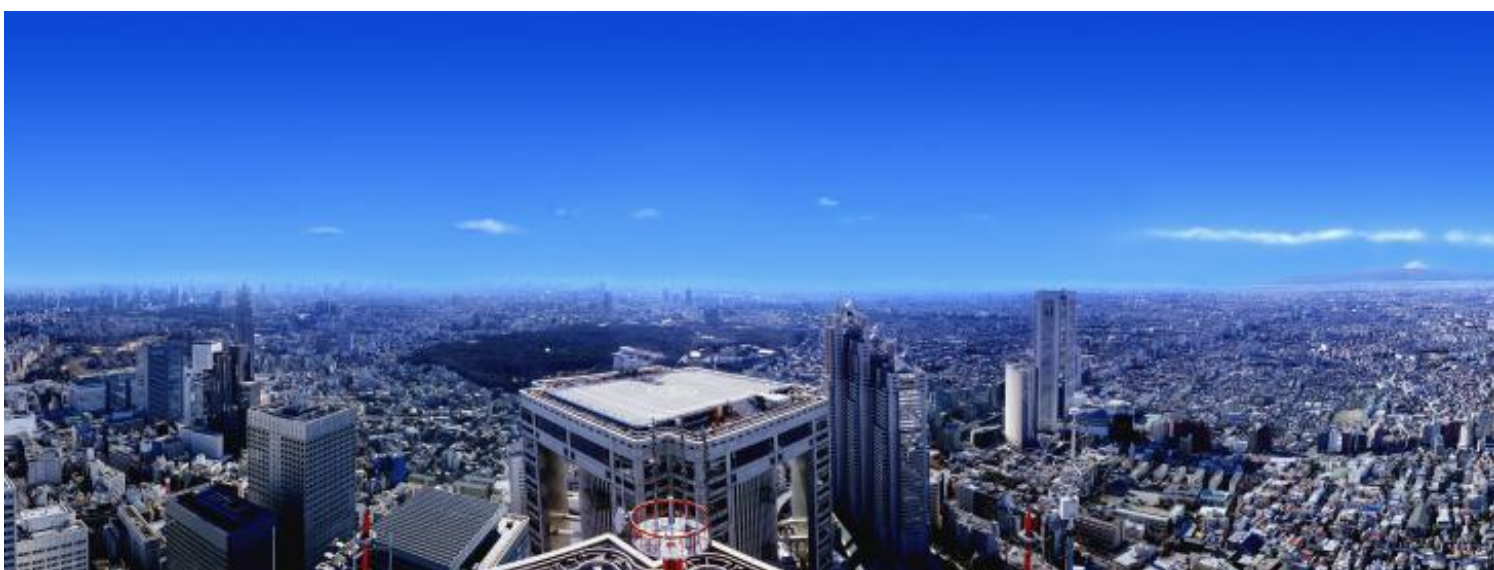
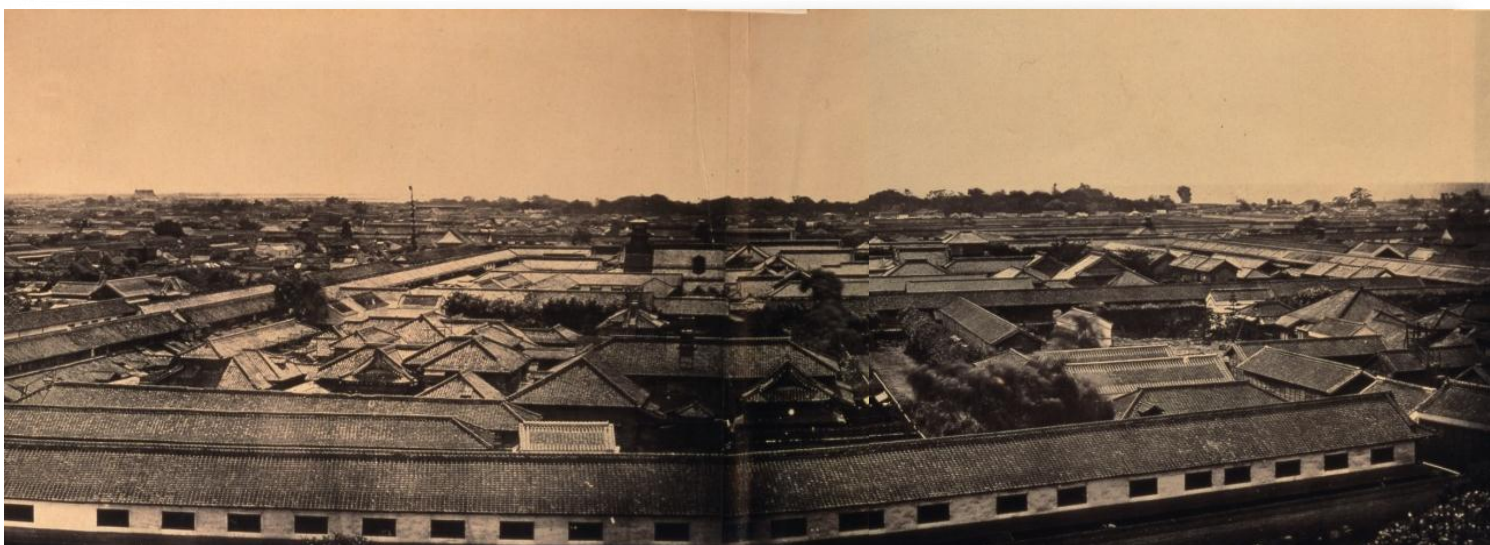
東京都教育委員会

# 江戸から東京へ



あたご やま  
「愛宕山から見た幕末の江戸」1865（慶応元）～1866（慶応2）年ごろ  
(江戸東京博物館制作・東京都写真美術館蔵)

イギリスの写真家、フェリックス・ベアトによる愛宕山頂からの江戸パノラマ写真。左側（北）は江戸城西の丸、日比谷辺りから正面の浜御殿（現浜離宮恩賜庭園）の森を経て南の芝増上寺付近までを一望する。大名屋敷のいらか藁に埋め尽くされたこの眺めを、当時の外国人は「長い道路と、白壁と、灰色の大海」と形容した。



都庁第一本庁舎屋上の鉄塔からの、360度のパノラマ写真（2000（平成12）年1月21日 東京都）

## 学ぶにあたって

今日、私たちは、国際化、高度情報化、少子高齢化などとともに社会の構造的な変化に直面しています。また、交通機関や情報機器などの発達によって、国と国、国民と国民との交流が深く密接になる一方、政治、経済、社会、文化などさまざまな分野で課題が顕在化しています。これらの課題を解決していくためには、現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されてきたものであるということ認識し、先ず自らがよって立つ自国の歴史をしっかりと学び、自国の伝統と文化について理解することが必要です。そして、我が国と郷土に対する愛着と誇りをもつとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に貢献する姿勢を身につけることが大切です。

東京都教育委員会は、皆さんが、日本の伝統や文化とその価値に対する理解を深めることで、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と誇りをもてるよう、平成24年度から、すべての都立高等学校で日本史を必修化することとしました。同時に、東京都独自の日本史科目「江戸から東京へ」を設置することにしました。

この科目の大きな特色は、近代日本の成立過程から現代日本の状況に至るまでの歴史を、江戸・東京の変遷を通して考察することにあります。江戸期に成熟した独特の感性や高い文化、教育水準は、その後の時代に財産として受け継がれ、日本が急速な近代化を遂げ、国際社会で確固たる地位を確立していく原動力となりました。この科目では、こうした江戸期から現代に至る近現代史の大きな歴史の流れを、東京に残る史跡や文化財などの身近な教材を、地理的視点も踏まえて活用し、総合的に理解することができます。

本書『江戸から東京へ』は、各項目に江戸・東京を切り口とした「学びの窓」を設け、疑問を投げかけることで歴史的な事象についての興味・関心を高め、その疑問への解答を考えることで、歴史的な思考力や判断力を鍛えられるように編集をしています。また、東京の史跡や写真を取り入れたり、地図を活用したりして私たちの住む東京の歴史や地域に興味・関心をもち、主体的に歴史学習に取り組めるよう工夫しています。本書を十分活用して、自分なりの歴史の見方や考え方を身につけることができるようにしてください。

1920（大正9）年から1923（大正12）年までの江戸と東京について、本書と同名の『江戸から東京へ』を出版した矢田挿雲は、著した理由を、「私がこの本を大正9年の夏から新聞へ書きはじめた時の目標は、主として徳川時代（たまには浅草寺や湯島天神のように古い時代のことも含めて）の史蹟や伝説を舞台として、指摘することのできる現代東京の各部分にわたり、地理と歴史の双方を書いて見よう、ということであった」と述べています。本書が作成された意図も、これまでにない日本史の教材として、皆さんや皆さんの生きる現代社会の原点をたどろうとすることにあります。

皆さんが「江戸から東京へ」の学習を踏まえ、将来を切り拓いていこうとするとき、皆さんの存在が主体性に満ち、未来にわたって継続的に発展していく我が国の社会の在り方を模索する大きな力となることを願ってやみません。

2013（平成25）年3月

東京都教育委員会

# 江戸から東京へ



うたがわひろしげ「東海道五十三次」(日本橋朝之景) (東京国立博物館蔵)

## 凡 例

- 1 本書の年号は、生徒が理解しやすいように西暦を主とし、日本の年号はカッコ内に表記した。明治5年までは西暦と日本暦とに約1か月の違いがあるが、年月はすべて日本暦をもとにした。また、改元のあった年は、その年の初めから新しい年号とした。慶応4年は9月8日に改元して明治元年になったが、この年はすべて1868(明治元)年と表記した。
- 2 図版には、原則として出所・原作者・所蔵者を記したが、東京都作成の図版・所蔵および出所・所蔵不明のものは省略した。
- 3 本書の漢字については、旧字体は新字体に直して表記した。

# 江戸から東京へ 目次

学ぶにあたって		2
目次		4
はじめに		6
1 幕藩体制の成立	(1) 江戸城にも天守閣があった (2) 東京ドームが大名屋敷だったころ	8
2 江戸幕府の外交政策	(1) 江戸に来た外国人 (2) 浜離宮に象が来た!	12
3 江戸の経済と交通・流通	(1) 旅の始まりは日本橋から (2) 銀座でお金をつくっていた	16
4 幕府の安定	(1) 庶民の食事を支えた江戸野菜 (2) 町人の出世は大変だ!	20
特集1 江戸庶民の生活	夏の楽しみは両国の川開き	24
5 幕政の改革の時代	(1) 赤穂事件と飛鳥山の花見 (2) 芝居小屋でにぎわう浅草	26
6 江戸の文化	(1) 元禄の旅人「松尾芭蕉」 (2) 江戸蘭学事始	30
特集2 歌舞伎と相撲	(1) 助六は江戸っ子の代表 (2) 今も昔も相撲は両国	34
特集3 浮世絵	浮世絵は最高の江戸みやげ	38
7 列強の接近	(1) 鎖国危うし (2) 高島平に響いた砲声	40
8 開国	(1) 黒船来航とお台場 (2) 八王子から始まる「絹の道」	44
9 江戸幕府の滅亡	(1) 新撰組のふるさと「多摩」 (2) 江戸城明け渡しと上野戦争	48
10 明治維新と富国強兵	(1) 江戸が東京になった日 (2) 東京府の誕生	52
11 殖産興業と文明開化	(1) 汽笛一声新橋を……♪ (2) ガス灯がともる銀座	56
12 初期の国際問題	(1) 日本の領土が決まった! (2) ゆらぐ新政府	60
13 自由民権運動と激化事件	(1) 紙幣で金貨が買える時代 (2) 三多摩に広がった自由民権運動	64
14 大日本帝国憲法と初期議会	(1) 日本に近代憲法が発布された日 (2) 東京で議会が始まった	68
15 初期の外交政策と条約改正	(1) 日比谷鹿鳴館と舞踏会 (2) 霞が関、官庁街の始まり	72
16 日清戦争・日露戦争と国際関係	(1) 列強に近づく日本 (2) 東京にも凱旋門があった	76
17 近代産業の発展	(1) 丸くなっていく山手線 (2) 糸が支えた産業革命	80
18 明治文化	(1) 西洋文化の波 (2) 学問の都「東京」	84
特集4 明治の美術界	美術界をリードした東京美術学校	88
特集5 西洋建築の流入	擬洋風建築からオフィス街の誕生へ	90
19 第一次護憲運動と政党内閣の成立	(1) 帝国議会につめかけた人々 (2) 平民宰相の誕生	92

20	第一次世界大戦と市民文化	(1) 「元始、女性は実に太陽であった」 (2) 市民文化と東京の変貌	96
特集6	都市交通の発達と都市化	(1) 地下鉄の開業 (2) 東京の郊外に都市ができる！？	100
21	関東大震災と復興	(1) 関東大震災の悲劇 (2) よみがえる東京	104
22	政党政治の展開と世界恐慌	(1) 銀行がつぶれた (2) 浜口首相撃たれる！	108
23	軍部の台頭とテロ事件の多発	(1) テロ事件と東京音頭の流行 (2) 東京に戒厳令が出された日	112
24	日中戦争と新体制運動	(1) 幻の東京オリンピック (2) 顔だけになった上野大仏	116
25	太平洋戦争	(1) 東京を離れる子供たち (2) 東京大空襲の日	120
特集7	戦争と東京	日本はなぜ戦争を始めたのか？	124
26	新生日本のスタート	(1) 占領下の東京 (2) 新制都立高校の始まり	126
27	憲法の制定と東京都の出発	(1) 都知事を選挙で選ぶ (2) ヤミ市が支えた都民の暮らし	130
28	講和と安保条約	(1) 安保条約と横田基地 (2) 家族でラジオを聞いた時代	134
29	独立後の政治と平和の動き	(1) 第五福竜丸と原水爆禁止運動 (2) 昭和記念公園の誕生	138
30	保守政権の安定と外交	(1) 東京都小笠原村の誕生 (2) 上野にパンダがやって来た	142
31	高度経済成長とそのひずみ	(1) 大量消費が生んだ夢の島 (2) オリンピックで変わる東京	146
32	現代の生活文化	(1) 多摩ニュータウンの誕生 (2) 手軽さを求める時代へ	150
33	バブル景気と社会の動揺	(1) 消えていった工場群 (2) 江戸情緒から見たウォーターフロント	154
34	国際都市 東京	(1) 東京タワーから東京スカイツリーへ (2) 秋葉原からアキバへ	158
特集8	東京の島々	(1) 海に広がる東京 (2) 島に生きる人々	162
特集9	玉川上水 近代水道と武蔵野の開発の礎	玉川上水今むかし	166
特集10	水害と東京	洪水を防ぐ荒川放水路	170
	おわりに	50年後の東京に向けて	174
	巻末資料		176
	江戸東京を歩く&江戸東京の年中行事		177
	博物館・図書館紹介		193
	歴史散歩地図 (江戸編 明治大正編 昭和平成編 多摩編)		194
	年表		202
	索引		206

# はじめに

## 学びの窓

過去と対比しながら現在について考えてみましょう。



けいさいえいせん あたごやま 溪斎英泉「愛宕山の秋の月」(石川県立美術館蔵)

- ・ Aは、1847（弘化4）年の愛宕山（港区愛宕）から見た現在の港区南部の景観です。
- ・ 表紙裏の見開きの写真は、同じ場所から見た1865（慶応元）～66（慶応2）年ころの景観です。
- ・ Bは、同じ愛宕山から見た2010（平成22）年の景観です。
- この160年間で街並みはどのように変化したのでしょうか？
- Aの時代の良さを現代に取り入れるためには、どのようにすればよいか、考えてみましょう。

### 【江戸のくらしと私たち】

学びの窓の図版と写真は、ほぼ同じ場所から見た景色である。江戸時代の愛宕山は緑が多く、江戸の町や江戸湾（現東京湾）を一望できる名所であった。秋の夜には、月の光に照らされた江戸湾を見ながら飲食をして楽しんでいた。

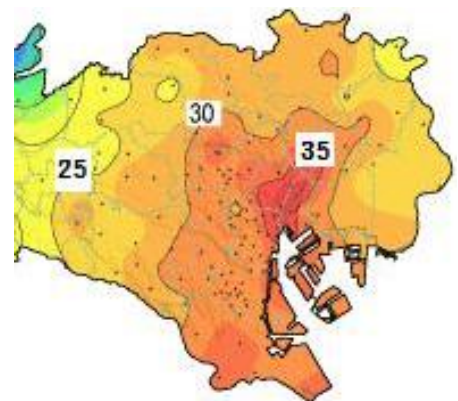
ところが、現在の愛宕山からは高層ビルにさえぎられ、この眺めを楽しむことはできない。東京は高度経済成長期に人口が集中し、人口過密による住宅問題、交通問題、みどりの喪失、大量生産・大量廃棄によるごみ問題など、さまざまな課題をかかえるようになった。

### 【より良い未来を形成するために】

より良い未来を形成するために、過去を振り返ることは大切である。

世界は、今、数多くの地球的課題をかかえている。例えば、地球温暖化によって、50年後に世界の平均気温が約2℃上昇し、現在の世界の穀倉地帯は深刻な干ばつに襲われて食料生産が困難になる可能性があり、私たちの現在の生活はできなくなるといわれている。

これらの課題に対して、「将来世代のニーズを損なうことなく、現在の世代のニーズを満たすような社会づくり」が注目を集めている。こうした社会づくりを進めていくためには、人間尊重、社会的寛容、公正、平和などを基盤にして、「環境の保全」、「経済の開発」、「社会の発展」の調和をはかっていくことが必要である。そのためには、私たち一人一人が、世界の人々との関係や環境について、日常生活から意識し、



ヒートアイランド化する東京（東京都環境局）  
熱帯夜（夜間の最低気温が25℃以上）の日数  
2007（平成19）年7月20日～9月30日



行動しなければ実現できない。

東京都の人口は、2015（平成 27）年をピークに徐々に減少し、少子高齢化が一層進むことが予測される（P148 参照）。このような状況のなか、近年、都民が自分たちの暮らしを良くするために、行政にたよるのではなく、NPO法人やボランティアなどの形で、地域社会へ積極的に参加する動き（社会参画）がみられるようになってきた。

### 【歴史を学ぶことの意味】

歴史を学ぶことは多くの意味をもつが、学んだことをその後の生活に生かしていくためには、どうすればよいのだろうか。その答えの一つは先人の知恵に学ぶ姿勢である。

大都市であった江戸は、同時に優れたリサイクルシステムをもつエコ社会でもあった。紙を再び漉いて再生させたり、古い傘を再利用したりするため、紙屑買や傘の古骨買という商売があった。また、ろうそくが溶けたあとのろうや焼け残った灰までも回収する商売があった。このよう

に、使えるものは何でも使い、捨てるものでも再利用するために分別をしていた。現代と違い物資が少ない時代であったが、江戸では生産から廃棄までが、循環型のシステムになっていたのである。

資源の有限性や環境保全などが指摘される現代においては、こうした課題の解決のため、先人の知恵や考え方を学び、今こそ東京を循環型の社会に転換する必要がある。

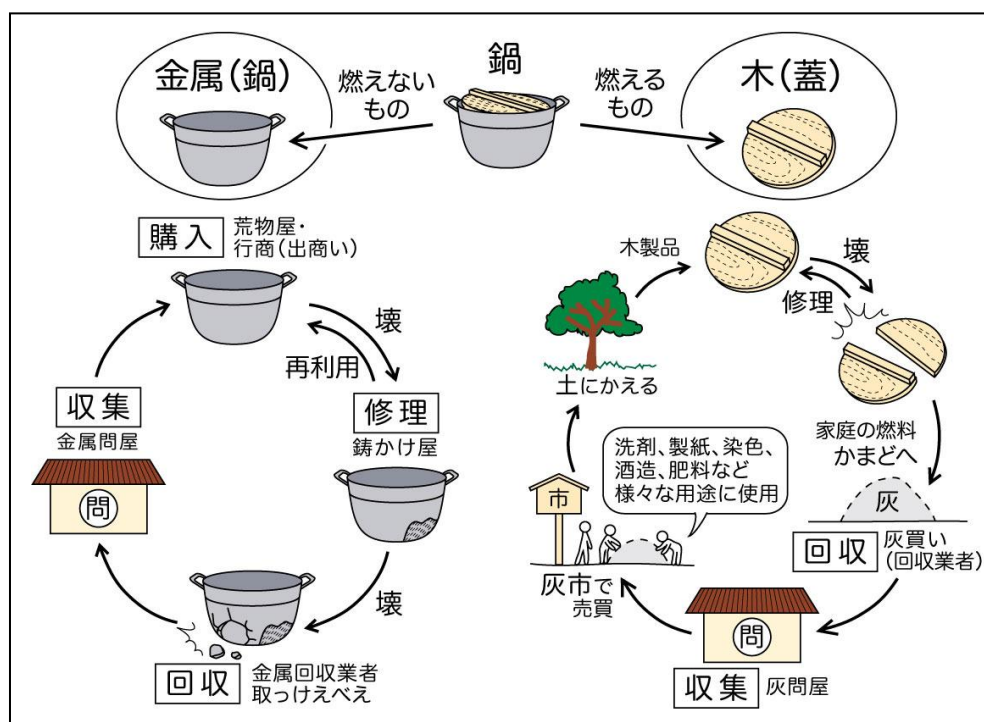


紙屑買

古骨買

清水晴風写「江戸町中世渡集」

(一橋大学附属図書館蔵)



「江戸末期における鍋と蓋のリサイクル」(広重美術館HPから)

### 【先人の知恵に学ぶ】

江戸・東京は、先人たちの努力と英知によって築かれてきた世界有数の都市である。今後も東京が発展し続けていくために、江戸・東京の歴史を学んだ高校生が歴史の当事者として、先人の知恵を生かしながら活躍することが求められている。

## 1-1) 江戸城にも<sup>てんしゅかく</sup>天守閣があった

### 学びの窓 江戸の町と江戸城はどのようにしてつくられたのでしょうか？



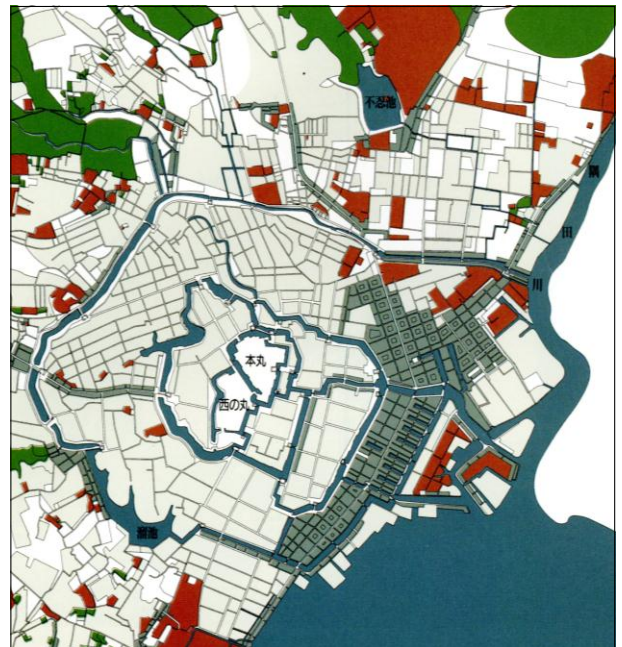
右：「江戸御城御殿守正面之絵図」  
(東京都立中央図書館蔵)

- ・ Aは、江戸城の富士見櫓で、現在も皇居東御苑で見ることができます。
- ・ Bは、同じ東御苑にある石垣で、天守台といえます。江戸初期には、このような石垣の上にCの天守閣が建てられていました。
- このように立派な江戸城の天守閣はいつなくなり、なぜ再建されなかったのでしょうか？ その背景を考えてみましょう。

### 【江戸開幕と城下の造成】

江戸は、中世に入り江戸氏が支配していたが、1457(長禄元)年、太田道灌がこの地に城を築いたことで城下に市がたち、船が江戸湾に入るようになった。

1590(天正18)年、小田原北条氏を滅ぼした豊臣秀吉は、徳川家康に領地を関東に移すことを命じた。そこで家康は、江戸城を拠点として城下町の建設にのりだした。1603(慶長8)年、家康は征夷大将軍に就任して江戸幕府を開き、江戸が日本の政治の中心となった。天下人となった家康は、その後も江戸の城下町建設を続け、諸大名に造成工事を分担させて、利根川の流れをかえて洪水の危険をなくし、堀割を縦横につくって交通の便もはかった。また、神田山を切り崩し、その土で宅地



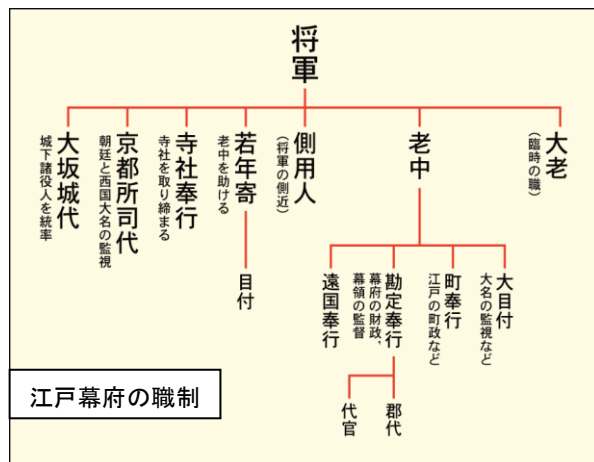
17世紀前半の江戸

を確保する埋め立てにも着手するなど、大規模な土『図表でみる江戸東京の世界』(江戸東京博物館) 1630年代によく江戸の町は完成し、原則として埋立地(下町)を町人、山の手(武家地)を武士に配分した。しかし、江戸の町は1657(明暦3)年の明暦の大火によって大半が焼失した。そこで幕府は、道路を大々的に拡張して、要所に空き地(火除地)をつくり、多くの大名屋敷や寺

院も移転させるなど大改造をおこなった。

江戸の町には將軍直属の家臣団である**旗本・御家人**が住み、軍役を担当するとともに才能などに応じた役職についた。幕府はその組織（職制）を3代將軍**徳川家光**のころまでに整備し、幕府の重職については、その独裁を防ぐため、複数が任命され、交代で職務にあたった。

幕府の財政収入は、17世紀末には400万石にもおよぶ直轄領（幕領）からの年貢と、佐渡・但馬生野・石見大森など鉾山からの収益がおもなものであった。そのほか京都・大坂・堺・長崎などの重要都市を直轄にして、商工業や貿易を統制し、貨幣鑄造権を握っていた。こうして家光のころまでに將軍（幕府）と大名（藩）が人々と領地を支配する体制がかたまった。これを**幕藩体制**とよぶ。



【江戸城を歩く】

皇居東御苑は、旧江戸城本丸、二のおよび三の丸の一部を庭園として整した地域である。

大手門から入ると、枳形とよぶ空に出る。侵入してきた敵を足止めし、上から鉄砲や矢を放ち撃退するため、四方が囲われている。頑丈な渡櫓門をくぐると、天皇家旧蔵の宝物を展示する三の丸尚蔵館がある。さらに進むと、本丸に入る検問所の同心番所や百人番所があり、当時は与力や同心が詰めていた。御三家以外の大名は、同心番所あたりで駕籠を降り、家臣もこの場所で主人の帰りを待った。

中雀門跡を抜けると、中央部に広大な芝生が広がり、ここが本丸御殿跡にあたる。奥には、赤穂藩主浅野長矩が吉良義央に斬りつけた「松の廊下」の石標が立つ。本丸の一番奥には天守閣の土台である18mの高さをもつBの天守台がある。天守閣は三度建造されたが、明暦の大火で焼失したあとは、再建されなかった。それは4代將軍徳川家綱に補佐役の保科正之が、戦争のない時代に天守閣は無用の長物であると進言したことによるとされている。その後は、Aの富士見櫓を天守閣の代わりとしたといわれる。本丸跡から汐見坂を通り、二の丸跡に行くと、江戸時代の回遊式庭園が復元されている。本丸跡からの出口の一つに平川門がある。この門は大奥（將軍の妻子などの居住地）の女性たちが出入りしており、脇にある小さな門（帯曲輪門）は、江戸城で死人や罪人が出たときに用いられた。長矩もこの門から外に出されたと伝えられる。



皇居 東御苑図

## 1-(2) 東京ドームが大名屋敷だったころ

### 学びの窓

参勤交代は江戸にどのような影響を与えたのでしょうか？



上空から見た東京ドーム（国土地理院）

- ・ Aは、東京ドームに隣接する森の空撮写真です。
  - ・ Bは、小石川後樂園（文京区後楽）という庭園で、写真のような立派な庭があります。
- 江戸には、このような立派な庭をもった広大な屋敷がいくつもありました。なぜ、このような立派な屋敷が江戸に多くあったのか、考えてみましょう。

### 【参勤交代と大名屋敷】

江戸幕府は、親藩・譜代大名を要所に、外様大名を遠隔地に配置するとともに、一国一城令によって大名の居城を一つに限り、武家諸法度を制定して法によって大名を統制した。これにより、城郭の修築にも幕府の許可が必要とされ、大名が勝手に婚姻を結ぶことまで禁じて、法度に違反した大名の藩は取りつぶされた。そのうえ、大名には江戸城などの修築や河川の工事なども負担させた。また、京都所司代を設けて朝廷の監視をおこなった。



楊州周延「温故東の花第四篇 旧諸侯参勤御入府之図」

（萩博物館蔵）

1635（寛永12）年、参勤交代が制度化され、大名は原則として江戸と国元を1年交代で往復することが義務づけられ、妻子は江戸に住まわせられた。江戸での滞在費や往復の費用は巨額にのぼり、結果として大名の経済力がそがれることになった。これにより江戸には多くの大名屋敷が建てられ、18世紀前半の人口は町方の約50万人に武家や寺社の人口を加えると100万人前後となっていたと推定される。

大名は藩主の住む上屋敷のほかに、中屋敷や下屋敷をもつのが一般的で、上屋敷は江戸城に登城するのに便利な地に置かれた。中屋敷は上屋敷焼失の際の予備として、下屋敷は庭園などを配した規模の大きなものが多く、なかには河岸や港の近くなど交通の便の良いところに建てられ、蔵屋敷として物資保管の役割をになう場合もあった。

また、幕府は大名だけではなく、朝廷に対して禁中並公家諸法度を制定し、朝廷が政治に影響をおよぼすことや、ほかの大名に利用されることを防いだ。宗教関係では、寺院には寺院法度、神社には諸社禰宜神主法度などを制定して統制した。

幕末の綱坂（現港区三田）

（横浜開港資料館蔵）

右手前が島原藩邸、その奥が松山藩邸、左手前が会津藩邸。



### 【江戸に残る大名庭園】

小石川後樂園は、尾張・紀伊とならぶ御三家の一つである水戸藩の2代藩主の徳川光圀（水戸光圀）が水戸徳川家の上屋敷内に整えた庭園である。園内に現存する円月橋は、光圀が師事した明の朱舜水が設計したとされ、橋と水面に映る橋の形で満月になることからその名がついたという。当時の高度な技術が用いられており、のちに8代将軍徳川吉宗が同じような橋をつくらうとしてもできなかったといわれている。小石川後樂園は現在東京都の公園として一般開放されている。

このほか東京にはいくつかの大名庭園が現存する。中央区の浜離宮恩賜庭園、港区の旧芝離宮恩賜庭園、文京区の六義園、江東区の清澄庭園などがその例である。



小石川後樂園の円月橋（文京区後楽）



六義園（文京区本駒込）

加賀藩旧下屋敷を、1695（元禄8）年5代将軍徳川綱吉から柳沢吉保が拝領し下屋敷とした。

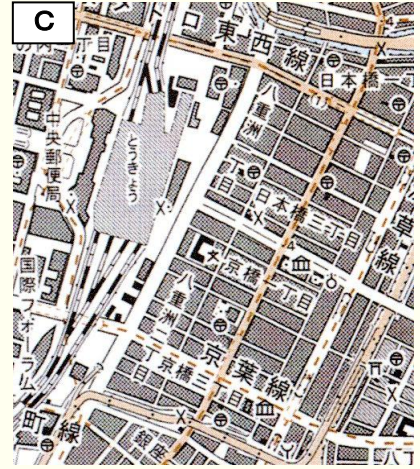


旧芝離宮恩賜庭園（港区海岸）

4代将軍徳川家綱から老中久保忠朝が拝領した屋敷地で、のちに紀州藩が所有し芝御屋敷とよばれた。

## 2-(1) 江戸に来た外国人

### 学びの窓 江戸初期、どのような外国人が江戸に来たのでしょうか？



- ・ **A**は、東京駅近くの交差点の中央分離帯にはめ込まれているレリーフ（中央区日本橋）です。このレリーフの人物は、ヤン・ヨーステンとよばれるオランダ人で、東京駅地下街にも **B**の像があります。
- ・ **C**の東京駅周辺の地図には、ヤン・ヨーステンに関する地名があります。
- 幕府はヤン・ヨーステンなどの外国人を重用しましたが、その後なぜ鎖国への道を進んでいったのか、考えてみましょう。

#### 【江戸初期の外交とキリスト教の取締り】

江戸時代初期、徳川家康は外国との貿易に積極的で、対馬の宗氏の仲介で朝鮮との国交を復活させるとともに、1600(慶長5)年、豊後に漂着したオランダ船リーフデ号の航海士ヤン・ヨーステン(耶楊子)と水先案内人でイギリス人のウィリアム・アダムズ(三浦按針)を外交顧問とし、オランダとイギリスと貿易を始め、明に対しても国交の樹立を働きかけた。

しかし、晩年になると家康は、スペインやポルトガルの侵略とキリスト教徒の団結を危険視して、キリスト教を禁止するようになった。この方針は家康の死後も踏襲され、1622(元和8)年には長崎で宣教師やキリシタン55人が処刑された(元和の大殉教)。このとき、江戸でもキリシタンの処刑がおこなわれ、キリシタンを改宗させるために収容する牢屋敷もつくられた。

幕府はスペイン船の来航を禁止、1635(寛永12)年には、日本人の海外渡航と帰国を全面的に禁止した。さらに、キリシタンが多数参加した島原の乱後の1639(寛永16)年に、ポルトガル船の来航が禁止され、1641(寛永18)年には、オランダ人を長崎の出島に移して、いわゆる鎖国体制を完成させた。

#### 鎖国関係年表

1600	リーフデ号、豊後に漂着
1609	オランダ人に通商許可
1612	幕府、直轄領に禁教令
1613	イギリス人に通商許可(平戸商館) 全国に禁教令
1616	中国船以外の外国船の寄港地を平戸・長崎に制限
1622	長崎で宣教師・信徒らを処刑(元和の大殉教)
1623	イギリス、平戸商館を閉鎖
1624	スペイン船の来航禁止
1633	奉書船以外の海外渡航を禁止
1635	日本人の海外渡航と帰国の全面禁止
1636	貿易に関係ないポルトガル人の追放
1637	島原の乱(~38)
1639	ポルトガル船の来航禁止
1641	オランダ商館を出島に移す (鎖国の完成)

その後も幕府は、信仰の有無を絵踏で確かめるなど、隠れキリシタンの摘発をおこなうとともに、すべての人々を寺院の檀徒（檀家）として所属させ、宗門改帳に登録する寺請制度を設けた。



絵踏の様子

シーボルト『日本』（長崎歴史文化博物館蔵）

こうして幕府は日本人の海外渡航を禁じ、対外貿易を独占した。これは明や朝鮮など東アジアの政策と共通しており、海禁政策とよばれている。

絵踏 表面にキリスト像  
(東京国立博物館蔵)元和キリシタン遺跡（港区三田）  
1623（元和9）年、3代将軍徳川家光の命で40名余りのキリシタンを処刑した跡地。

## 【ヤン・ヨーステンから八重洲へ】

家康から外交顧問としての信任を得たヤン・ヨーステンは、日本人の女性と結婚して、耶楊子と名乗り、邸宅も与えられた。その屋敷があった地は、日本名の耶楊子（やようす）から八代洲（やよす）、そして八重洲（やえす）と変化し、今に至っている。また、ウィリアム・アダムズも同様で、旗本としての地位を与えられ、現在の日本橋に邸宅をかまえて三浦按針と名乗った。現在、日本橋には三浦按針屋敷跡の碑が立ち、按針通りの名も残っている。

三浦按針屋敷跡の碑  
(中央区日本橋室町)

## 【新井白石とイタリア人シドッチ】

イタリア人宣教師シドッチは、1708（宝永5）年屋久島に上陸して捕らえられ、江戸の切支丹屋敷に収容された。幕政を担当していた新井白石は、シドッチを取り調べ、キリスト教、世界地理、言語、海外情勢などを『西洋紀聞』、『采覧異言』に著した。これらの本には、キリスト教に関する記述が多数出てくるため門外不出とされ、外部に漏れることはほとんどなかった。

白石が助命を献策したので、シドッチは処刑されずに禁錮となった。しかし、彼は牢の役人夫妻を入信させたため、地下牢に押し込められ、まもなく亡くなった。



切支丹屋敷跡碑（文京区小日向）

キリシタンを収容する牢獄跡。牢内では信者に強く改宗を迫った。イタリア人宣教師シドッチもこの屋敷に入った。

2-(2) はまりきゅう ぞう 濱離宮に象が来た！

学びの窓 鎖国でも海外との交流があったのはなぜでしょうか？



葛飾北斎『画本東都遊』  
(中央区立郷土天文館蔵)



「朝鮮国信使絵巻」(長崎県立対馬歴史民俗資料館蔵)

- ・ Aは、オランダ人が宿泊している江戸の長崎屋に集まる野次馬を描いた絵です。
- ・ Bは、朝鮮から、Cは、琉球王国からの使節が行列して、江戸に入って来たときの様子です。



「琉球人行列図錦絵」(琉球大学附属図書館蔵)

●鎖国していた日本に、なぜ当時の外国人が入ってきたのか、考えてみましょう。

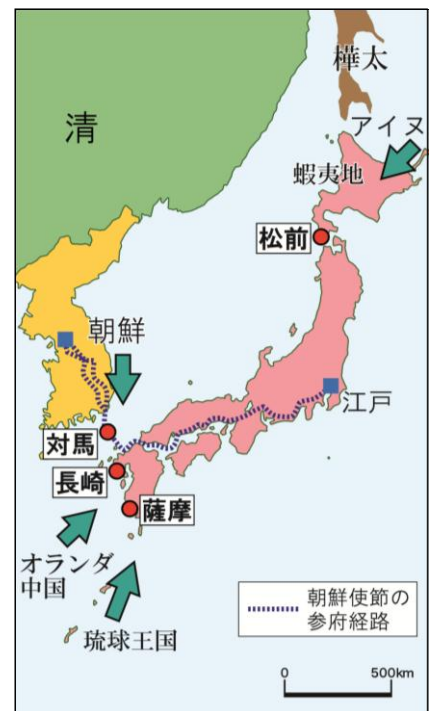
【海外に開かれていた四つの口】

鎖国体制のもとでも、日本と海外との窓口が完全にとざされていたわけではなく、長崎、対馬、薩摩、松前の四つの窓口が開かれていた。

長崎の出島のオランダ商館長(カピタン)は原則として1年交代で、新任者は毎年春に江戸の将軍のもとへ挨拶に出向いた。そのため、江戸の人々はオランダ人をよく見かけ、ときには交流もみられた。江戸参府の際、オランダ商館長が幕府に提出したオランダ風説書は、世界の主要な動きを知る貴重な情報源であった。

17世紀半ば、明にかわって清が中国を統一すると、長崎に来航する清船は、増加の一途をたどった。そのため幕府は、1688(元禄元)年、来航する清船の数を限定し、翌年には長崎に雑居していた清国人を居住させる唐人屋敷も完成させた。

このオランダと清とを相手にした長崎貿易では、銀に代わっ



四つの口と朝鮮通信使江戸参府の経路



て銅の輸出が多く、清の銅銭の原料の6割から8割が日本産の銅であったといわれた。国内からは銅のほかに金銀も流出していたため、18世紀に入って貿易額が制限された。

朝鮮とは、対馬藩の宗氏が、釜山の倭館に家臣を常駐させて交易した。朝鮮は将軍の代替わりを祝う(朝鮮)通信使を幕府に派遣しており、通信使一行との積極的な交流もみられた。

琉球王国の尚氏は、1609(慶長14)年に薩摩藩の武力制圧によってその支配下に入り、将軍の代替わりを祝う慶賀使と琉球国王の代替わりを感謝する謝恩使を、江戸へ派遣した。琉球王国は清にも朝貢しており、日本と清との両属関係にあった。

また、蝦夷地のアイヌは、松前藩の松前氏と交易したが、17世紀後半のシャクシャインの戦い後は松前藩に服従させられた。

対外貿易は、18世紀に入ると、生糸や朝鮮人参のように輸入品の国産化が進み、次第に衰退していった。8代将軍徳川吉宗は、海外に強い興味をもち、漢訳洋書の輸入の制限をゆるめ、青木昆陽などにオランダ語の習得を命じたほか、海外から象やアラビア馬など珍しい品々を輸入した。その際、エジプトのミイラも薬種として輸入しており、鎖国下においても、海外の品物を手に入れるのは不可能ではなかったのである。

### 【ベトナムから象が来た！】



「享保十四年渡来象之図」(国立国会図書館蔵)

将軍吉宗は、外国の動植物に興味をもち、1728(享保13)年、象2頭を現在のベトナムから手に入れた。2頭の象は象使いとともに長崎に来日し、そのうちの1頭が長崎から江戸までおもに陸路でやって来た。その途中、中御門天皇が、象を見たいと宮中にまねき入れたという伝承もある。象が江戸に来ると、町では、象を題材とした浮世絵や人形、双六などが飛ぶように売れ、『象志』といった関連本まで出版された。

吉宗は江戸城内で象を見物し、その象は浜御殿(現浜離宮恩賜庭園)で13年間飼育された。その後、飼育担当の中野村(現中野区)の農民に下げ渡された。

### 【青木昆陽とサツマイモ】

青木昆陽は、儒学を学び、八丁堀で塾を経営していた。享保の飢饉の際、人々が苦しむのを見て、救荒作物として甘藷(サツマイモ)の栽培を普及すべきことや栽培法を説く『蕃薯考』を著した。将軍吉宗は、町奉行大岡忠相を介してこのことを知り、昆陽に甘藷の普及を命じた。幕府は小石川薬園(現小石川植物園、文京区白山)で甘藷の試作をおこなうとともに、種芋や『蕃薯考』を各地に配ったため、全国に甘藷栽培が広まった。

また、19世紀には二宮尊徳が勤労と儉約を中心とする報徳仕法によって荒廃田を回復させるなど、農村復興につとめた。

右上：青木昆陽「青木昆陽自画像」(目黒不動尊蔵)

右下：青木昆陽墓 目黒不動尊(瀧泉寺)(目黒区下目黒)



### 3-(1) 旅の始まりは日本橋から

#### 学びの窓

江戸の交通や流通はどのようであったのでしょうか？



歌川広重「東都名所日本橋真景 井二魚市全図」(江戸東京博物館蔵)

- ・ Aは、江戸の交通の中心であった橋です。
- ・ Bは、現在も日本の道路網の起点として、この橋にある「日本国道路元標」のプレートです。
- この橋を中心にどのように交通網が整備されていったのか、考えてみましょう。



#### 【日本橋から延びる街道網】

幕府は三都とよばれた江戸・大坂・京都と各地を結ぶ街道の整備をおこなった。江戸の日本橋は、幹線道路であった五街道（東海道、中山道、甲州道中、日光道中、奥州道中）の起点となった。日本橋から五街道を出発すると、それぞれ最初の宿駅（宿）があった。東海道の品川宿、中山道の板橋宿、甲州道中の内藤新宿、日光道中・奥州道中の千住宿である。これを江戸四宿とよんだ。

宿駅には公用の手紙や荷物の継ぎ送りをおこなう問屋場や、大名らの宿泊・休息施設として本陣や脇本陣が設けられた。一般の旅行客のための旅籠屋などの宿泊施設や、飯屋、土産物屋などが建ち並び、宿駅の多くは宿場町として発展していった。

#### 【海や川から運び込まれる大量の品々】

江戸の日本橋は、五街道の起点というだけでなく、重要な法令を掲示する高札場が設けられ、魚河岸（魚市場）も開かれた。魚市場は、俗に「一日に千両の落ちどころ」といわれ、魚介類の取引でにぎわった。この魚市場は、徳川家康に摂津国からまねかれた佃島の

#### 【佃島の佃煮屋】

佃島は、家康にまねかれた摂津国西成郡佃島村（現大阪市西淀川区佃町）の漁師が、隅田川河口にできた干潟を埋め立てて居住地としたことに始まる。1964（昭和39）年までは、対岸の築地地区とは渡し船で結ばれていた。佃島の漁師の保存食であった佃煮は、醤油で甘辛く煮しめた味が江戸の庶民に人気となり、今でも数軒の老舗が残っている。



佃島に残る佃煮屋  
(中央区佃)

漁師たちが魚を日本橋で売ることができるようになったことが、誕生のきっかけとされている。

江戸には日本橋川、神田川、新川、小名木川、八丁堀など多くの河川や堀が縦横に走っており、さまざまな品物が、舟で江戸府内に運ばれてきた。関東近郊からは、行徳の塩、野田や銚子の醤油、流山のみりんなどが運ばれ、江戸の近郊でも多くの特産物がつくられるようになった（P 21 参照）。舟運は、陸路より大量の物資を安く運搬するには優れており、日本海側から大坂へは西廻り航路、江戸へは東廻り航路として整備された。また、「天下の台所」といわれた大坂からの商品も、菱垣廻船や樽廻船によって江戸と大坂を結ぶ南海路を通して江戸に運ばれてきた。

【江戸四宿】



溪斎英泉「木曾街道板橋之驛」  
(板橋区立郷土資料館蔵)

板橋宿

中山道最初の宿場。1.7 kmの細長い街並みに、本陣2軒・脇本陣2軒・旅籠屋54軒があった。旧中山道には、板橋本陣跡の碑が立つ。



葛飾北斎「富嶽三十六景 武州千住」  
(江戸東京博物館蔵)

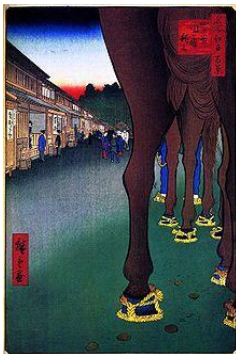
千住宿

奥州道中・日光道中最初の宿場。享保期には本陣が2軒あり、64家の大名が参勤交代で泊まった。周辺では江戸野菜が多く生産され、市がたつたといわれる。



品川宿

東海道の最初の宿場で、南北の品川宿から構成される。旅籠屋は、「土蔵相模」とよばれた相模屋など、最盛期にはその数が180軒にのぼった。



歌川広重「名所江戸百景 四ツ谷内藤新宿」  
(江戸東京博物館蔵)

内藤新宿

17世紀末に設けられた甲州道中の宿場。18世紀に入り、一時廃止されたが、18世紀後半に再開し、多くの茶屋が並ぶほど、繁盛していった。



歌川広重「東海道五十三次 品川宿」  
(品川区立品川歴史館蔵)

江戸時代の主要交通路



【甲州道中に沿って】

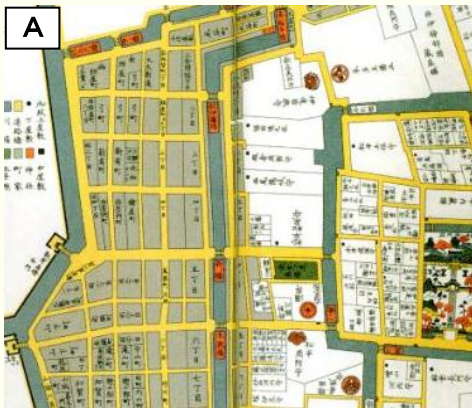
甲州道中の最初の宿場である内藤新宿を西に向かうと、杉並区の高井戸宿、調布市の布田五宿と通り、府中宿に着く。府中宿は鎌倉街道と交わる交通の要所で、武蔵国の六所宮(現大國魂神社、府中市宮町)があり、本陣・脇本陣を備える主要な宿場であった。さらに進むと、谷保天満宮(国立市谷保)にある清水の立場(休憩所)を通り、多摩川を渡し船で渡ると日野宿に着く。次の宿場は大規模な八王子十五宿で、そこを通れば高尾駅近くの小仏関(八王子市裏高尾町)である。



府中宿の高札場跡(府中市宮西町)  
(府中市教育委員会提供)

### 3-(2) 銀座でお金をつくっていた

#### 学びの窓 江戸の金融制度はどのようなものであったのでしょうか？



切絵図「京橋南築地絵図」（東京都立中央図書館蔵）

「銀座絵巻」（日本銀行貨幣博物館蔵）

- ・ Aは、昔の銀座周辺の古地図です。
- ・ Bは、銀座でおこなわれていた金貨づくりの様子です。銀座でも金座と同じような作業で銀貨づくりがおこなわれていました。
- 江戸時代の貨幣はどのような種類があり、どのような使われ方をしたか、考えてみましょう。

#### 【三貨の普及】

江戸幕府は、江戸と京都に金座を設置して小判などの金貨を、また江戸に銀座を設置し丁銀や豆板銀などの銀貨をつくった。現在の中央区銀座の地名は、同所に銀座がおかれたことに由来している。3代将軍徳川家光の時代には、江戸に新たに銭座がおかれて寛永通宝（銅銭）などの銭貨が大量につくられ、17世紀中ごろまでに金貨・銀貨・銭貨の三貨が全国に普及した。

しかし、東日本ではおもに金貨を使用し（金遣い）、西日本では銀貨を使用（銀遣い）していたうえ、三貨の交換率も常に変動した。そのため、三貨の交換や売買の手数料をとる両替商が繁盛するようになり、なかには幕府や藩の公金を扱い、貸付業務などをおこなう有力な両替商（本両替）として大名にお金を貸して藩経済の実権を握る者まで現われた。

#### 【江戸時代の通貨と銀貨製造所「銀座」】

小判 丁銀 豆板銀 寛永通宝



金貨や銭貨は一定の質・形状・量でその価値を示す単位が刻まれている計数貨幣で、銀貨はおもに質と量を計ってその価値を示す単位を刻んだ秤量貨幣であった。ただし、小判などの金の含有量は時代によって変化した。



銀座発祥の地の碑  
（中央区銀座）

現在の銀座の地には、銀貨をつくる銀座とそれを管轄する銀座役所が1800（寛政10）年に日本橋蠣殻町に移るまで、あった。金座のあった両替町（現中央区日本橋本石町）に対して、新両替町とよばれており、明治になり銀座という地名となった。現在の銀座2丁目には、銀座発祥の地の碑が立てられている。

### 【三井高利の「現金かけ値なし」の商法】

伊勢松坂の商人の子として生まれた三井高利は、江戸本町（現中央区日本橋本石町）に間口わずか九尺（2.7m）の呉服店越後屋を開いた。

それまでは、客の家を訪問して注文を受け、支払いは年に一度か二度まとめて受け取るため、あらかじめ利子分を含んだ値段で売らなければならないであったが、高利はその常識を破った「現金かけ値なし」の商法を展開した。

高利は店先に商品をずらりと並べ、すべてその場で利子をかけずに現金でやり取りしたため、安く売ることができた。また呉服の生地は端切れも販売し、古着を購入していた庶民層も服を購入できるようになり、繁盛するようになった。

やがて駿河町（現中央区日本橋室町）に店を移した高利は、両替商も併設するなど幅広い経営をおこない、豪商となっていた。

現在、日本橋にある三越デパートの前身が越後屋であり、三越の名称は「三井の越後屋」からとられている。



当時の越後屋呉服店の様子  
くわがたけいさい きんせいしよくにんつくしえ ことば  
 鍛形蕙斎『近世職人尽絵詞』（東京国立博物館蔵）



日本橋三越本店（中央区日本橋室町）

### 【江戸の商売のしくみ】

17世紀後半から商業の中心となった商品の仕入れなどを独占する問屋が連合組織をつくり、運上・冥加といった税を幕府に払う代わりに、営業の独占権（株）を与えられた。こうした組織は株仲間とよばれ、巨大な問屋連合であった江戸の十組問屋は、上方から入ってくる物資などを一手に引き受け、流通を独占した。

物資は問屋から仲買を通じて小売に渡り、売りさばかれた。小売の大多数は店をもたず、天秤棒の両側に商品をつるして、売り歩く棒手振（振売）であった。彼らが扱う商品は、魚介類などの食品だけでなく、冷や水、団扇、櫛、簀、シャボンなどバラエティーに富んでいた。江戸の人々は、家の前まで売りにくる棒手振から品物を買うことで、生活必需品を手に入れたのである。



団扇売り（江戸東京博物館蔵）

## 4-(1) 庶民の食事を支えた江戸野菜

### 学びの窓 なぜ江戸特産の野菜が生まれたのでしょうか？



練馬大根 (練馬区役所HPから)



- ・ Aは、標準の大根より細身の大根で、練馬大根とよばれ、江戸特産でした。
- ・ Bは小松菜ですが、その名にある「小松」は江戸川区の小松川からとったものです。

●なぜ東京の地名がついた野菜があるのか、その理由を考えてみましょう。

#### 【幕藩体制を支える農業生産】

幕藩体制にとって重要な経済的基盤が農業であったため、幕府は百姓で構成される村の支配を重視した。村の運営は名主などの村役人を中心に村法のもと、入会地や用水の管理、治安や防災に加え、年貢・諸役の割り当てや納入までもおこなった。村政に参加できるのは、田畑や家屋敷をもち、諸負担を負った本百姓とよばれる人々で、小作や日用（日雇）仕事に従事する水呑は参加できなかった。また、村民は年貢の納入や犯罪防止のため五人組に編成され、連帯責任を負わされた。このように幕府の百姓統制は村の自治に依存していた。

本百姓の負担は、田畑や家屋敷にかけられる年貢（本途物成）が中心で、土地の生産力を米の収穫高で表した石高の半分近くを領主に納めることが一般的であった。さらに、農業以外の副業にも税が課せられ、そのほか土木工事での労働や公用交通のための人や馬の提供など、重い負担が課せられた。

幕府は、経済的基盤である零細な百姓が貨幣経済にまきこまれないように、1643（寛永 20）年の田畑永代売買の禁令により田畑の売買を禁止し、1673（延宝元）年の分地制限令では相続による田畑の細分化を防いだ。このほか、商品作物の栽培の自由を禁じたり、日常のくらしぶりまで指示したりするなど、農民への統制はきびしかった。



千歯扱

#### 【農業生産の進展】

鉱山開発の進歩に伴い、灌漑や治水の際の開削技術も高まっていた。武蔵野においても玉川上水の開削のほか、数々の用水も掘られ、新田開発がさかんにおこなわれた（P 165 参照）。

また、農業技術も進歩し、脱穀用の千歯扱や選別用の唐箕などの新しい農具が開発されたほか、肥料の改良や農書の普及もみられた。



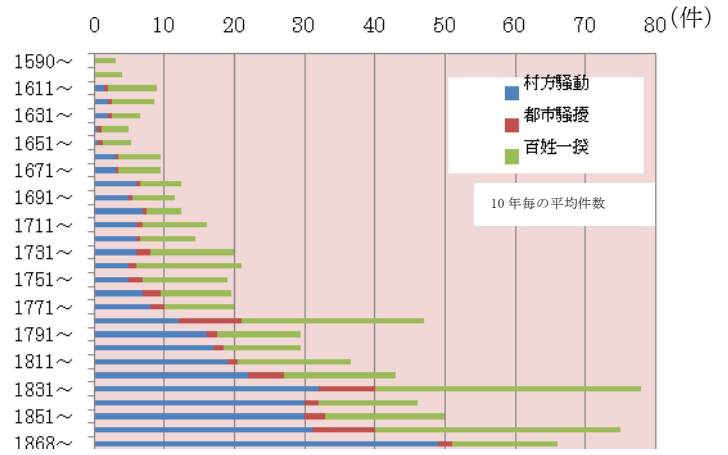
唐箕

この結果、農業生産力が高まり、田畑面積が 18 世紀初めには江戸初期の倍近い状況となった。また、貨幣収入をもたらす商品作物の栽培などもさかんになり、農村は貨幣経済にまきこまれていくようになった。

【社会の変容】

18 世紀になると幕府や藩の支配に対して抵抗する大規模な**百姓一揆**が起こった。また、村役人などの有力な百姓が地主に成長し、地域社会を動かす**豪農**となったが、零細な百姓は田畑を失って小作人となったため、その対立が騒動となることもしばしばあった。また、江戸では農村から流入した出稼ぎの百姓が増加した。

このような状況のなか、三都には卸売市場ができ、都市と農村を結ぶ役割を果たした。大坂で世界に先駆け、米の先物取引をおこなった堂島米市場や江戸の日本橋の魚市場や神田の青物市場はその代表例である。また、関東周辺の村々ではさまざまな作物を栽培するようになり、流通網も発展したこともあって、安価な商品が江戸に入ってきた。



青木虹二『百姓一揆総合年表』(三一書房)から作成



「駒込土物店」の復元模型 (文京ふるさと歴史館)

江戸野菜などを担いだ農民が江戸に出る途中に店を開いた。近くには駒込ナスの生産地もあり、土のついた野菜が取引された。天栄寺境内には、駒込土物店縁起の碑 (文京区駒込) が立つ。

【地廻り経済圏と江戸野菜】(P17 参照)

江戸の町は、当初、上方から来る商品にたよっていたが、18 世紀以降、関東周辺の村々からの地廻り物 (荷物) が増加し、江戸地廻り経済圏が成立した。塩、酒、醤油、米などがその例である。野菜については、参勤交代により各地の野菜が江戸に持ち込まれ、江戸にも産地が生まれた。練馬大根や小松菜、谷中しょうがなどがその代表で、「江戸野菜」とよばれている。明治以降は中国や欧米の作物を積極的に導入し、東京の農業が日本農業の発展に大きく貢献した。現在では農地の転用が進み、農家が減少するとともに、江戸野菜はほとんど栽培されなくなった。

このようななか、都立園芸高等学校では本田ウリや馬込三寸人参などの江戸野菜を栽培し、普及するための新たな取組をおこなっている。



都立園芸高等学校での栽培実習の様子



練馬大根碑 (練馬区春日町)

## 4-(2) 町人の出世は大変だ！

### 学びの窓

江戸の町のしくみはどのようになっていたのでしょうか？



- ・ Aは、南町奉行をつとめた大岡忠相（歌舞伎の絵）です。
- ・ Bは、北町奉行をつとめた遠山景元（晩年の絵）です。
- 町奉行はどのような仕事をしていたのか、調べてみましょう。

上：遠山講蔵 千葉県立中央博物館大多喜城分館保管  
左：早稲田大学演劇博物館蔵

### 【江戸の町人地のしくみ】

江戸の町人地は町方といい、18世紀前半には50万人以上がくらしていたと推定され、その多くは商工業で生計を立てていた。町人には、家屋をもつ家持のほか、土地だけを借りている者（地借）、借家住まいの者（店借）、商家等に住み込む者（奉公人）がおり、借家人の多くは裏長屋に住んでいた。

家持町人は呉服町、塩町、鍛冶町、大工町というように、職種別に居住した。町人地を統括するのは町奉行であったが、実際は町年寄や町名主とよばれる町役人が町奉行と家持の間につなぐ町政全般をおこなった。町名主はお触れの伝達、訴訟の取次ぎ、喧嘩の仲裁、落し物、捨て子、自殺などの処理にあたり、それを補佐する家守（大家、大屋）は、家屋の修理や借家人の世話も仕事とし、家賃の徴収もおこなった。

### 【南北町奉行所】

各町では掟にもとづく自治がおこなわれていた。町奉行の定員は2名（一時3名）で、北町奉行所と南町奉行所にわかれ、1か月ごとの月番制で政務をとった。南町奉行所は、現在の千代田区有楽町の交通会館あたりに、北町奉行所は東京駅八重洲口近くに存在した。各奉行所には25人程度の与力（上級役人）と120人程度の同心（下級役人）が配置された。訴訟だけでも年間300～400件を裁いた。



南町奉行所跡のプレート



北町奉行所跡のプレート

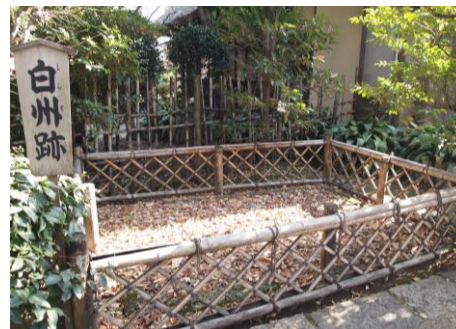


### 【町奉行所のお裁き】

町人地で犯罪が発生すると、町奉行所が捜査をおこなったが、役人が少なかったため、目明かしや岡っ引きとよばれた人々を私的に用いた。しかし、そのなかには素行の悪い者もあり、幕府はしばしば彼らの使用を禁止している。判決を申し渡すために白州（奉行所内の裁きの場）に出た容疑者に対し、時代劇のように町奉行が自ら取り調べにあたることはなく、判決文を読み上げるだけであった。

なお、死罪などの重罪の判決については事前に将軍や老中の許可を必要とし、伝馬町の牢屋敷で申し渡しをおこない、死刑の執行も牢屋敷でおこなった。時代劇で有名な南町奉行の「大岡越前」こと大岡忠相や北町奉行の「遠山の金さん」こと遠山景元のお裁きは、史実ではない。

しかし、忠相は享保の改革（P27 参照）で、景元は天保の改革（P29 参照）で活躍した町奉行であり、とくに忠相については行政手腕が高く、名奉行として後世に伝えられるようになったと考えられる。



世田谷代官屋敷白州跡  
(世田谷区世田谷)

### 【江戸の商人・職人】

商家の奉公人も職人の徒弟も、子供のころから商店や親方のもとに住み込みで働いていた。

商家に奉公した者は丁稚（小僧）とよばれ、無給で朝早くから掃除などの雑用をこなすとともに、商売の基本を習った。しかし、病気や辛さにたえかねて脱走する者が多く、5年目で残っている奉公人は半数にも満たなかったといわれる。10年奉公すると、一時金と長期の休暇が与えられた。

やがて丁稚が手代となると、給料が支給され、さらに10年ほど勤務すると、番頭（支配人）に昇進し、家屋をかまえて結婚が許された。

また、職人の徒弟も給料は出ず、修行期間は5年程度で、技術を習得すると家を借り、親方から仕事をもらって手間賃をかせいだ。大工と左官と鳶が人気職種で、火事や地震のあとはその手間賃がはねあがったといわれている。



岩城樹屋前のにぎわい

岩城樹屋は、麹町にあった呉服屋で店内には多くの客と対応する店員が描かれている。（江戸東京博物館蔵）

### 【身分秩序】

支配身分は、将軍を頂点とする武士に加え、天皇家や公家、上層の僧侶や神主がおり、被支配身分は、百姓・職人・商人（家持町人）がおもで、この身分制度を士農工商とよぶこともある。このほか、下位におかれた身分としてかわたや非人があり、居住地が限定されるなど被支配身分のなかでも差別された。かわたはえたとよばれることもあり、死んだ牛馬の処理や皮革製品の製造、行刑役をおこない、貧しさや刑罰により非人とされた者は村や町の番人や清掃などをおこなった。こうした人々への差別は明治時代に賤民の身分・職業を庶民と同じとする解放令が出された以降も続くことになった。

## 特集1 夏の楽しみは両国の川開き

### 学びの窓 江戸庶民の楽しみには何があったのでしょうか？



式亭三馬『浮世床』（江戸東京博物館蔵）

- ・この挿絵の左半分は、江戸のある店の様子を描いたものです。
- この店は何の店で、なぜこのように多くの人があつたのか、考えてみましょう。

#### 【長屋での庶民生活】

江戸の町人地では、表店（表通りに面した広い屋敷）に2階建家屋などを所有する者もいたが、大半は裏通りの裏店（裏長屋）と称する共同住宅を借りて住んでいた。裏店は、長方形の棟を6部屋に分けたアパート形式が一般的で、部屋の広さは、台所がある土間を含めて6畳1間、そのうち蒲団などの荷物を置く場所は4畳半しかなく、風呂やトイレは付いていなかった。このような狭い空間に家族4、5人がくらすことも珍しくなかった。



裏店の内部（深川江戸資料館）

江戸は火事が多く、裏店は焼失を前提に建てられており、薄い板壁の仕切りだけで雨漏りも珍しくなかった。裏店は2棟が向かい合って建ち、1m程度の路地の真ん中に下水が流れ、一番奥に共同の便所や井戸が設置された。家賃は安く、職人なら3日程度でかせげる額であった。

#### 【江戸庶民の娯楽】

江戸の人々は仕事のあと、毎日のように銭湯に行き、その2階では湯茶のサービスを受け、囲碁や将棋などを楽しんでおり、銭湯は現在の健康ランドと同じ役割をになっていた。また、現在の理髪店にあたる髪結床も順番を待つ場所がサロン化し、娯楽場の一つとなっていた。そのほか、町中には芝居小屋や寄席も多数あり、寄席では落語のほか軽業や珍芸が披露されていた。また、現在の宝くじにあたる富くじ（富突）は人気を博し、谷中天王寺（台東区谷中）、目黒不動尊（目黒区下目黒）、湯島天神（文京区湯島）のものは三富とよばれた。

両国橋一带は江戸随一の繁華街で、料理店や船宿、見世物小屋が立ち並んだ。江戸中期に大当たりした見世物が「曲尻男」で、楽器や動物の鳴き声、音曲まで尻の音で表現し、その見事さは評判となり、平賀源内の本にも紹介された。

【大川の川開き】



橋本貞秀「東都両国ばし夏景色」(江戸東京博物館蔵)  
 はしもとさだひで なつげしき  
 花火で両国橋周辺がいかにもにぎわっていたかがよくわかる。



現在の隅田川花火大会 (隅田川花火大会実行委員会事務局提供)

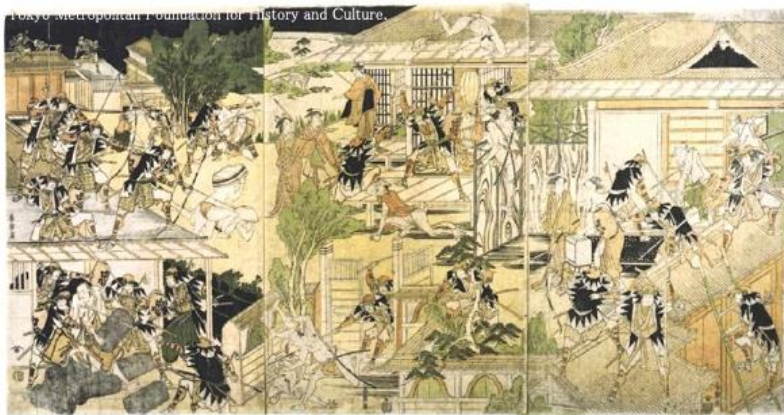
旧暦の5月28日は、大川(隅田川)の川開きである。初日には両国橋近辺で大々的に花火が打ち上げられたが、この大花火は1733(享保18)年から始まったといわれる。8代将軍徳川吉宗は飢饉による犠牲者の供養と厄除けを兼ねて、花火の打ち上げを許したとされる。川開きの日からの3か月間は、夜間の納涼船の営業が許され、現在同様屋形船で隅田川はごった返した。

江戸時代の屋形船は唐破風をもつ豪華な屋根を乗せた家一軒ほどの豪華船で、納涼船を所有する船宿は19世紀には約600軒におよんだといわれている。川開き以後、船宿などが費用を負担してしばしば花火が打ち上げられたが、お金を払えば個人的に打ち上げてもらえる花火船もあった。

大花火の日には花火が終了しても、納涼船が減ることはなく、宴会は夜明けまで続き、納涼船の間を、菓子や酒を販売したり、笛や太鼓で祭囃子をかかなでる小舟が走った。このように江戸の人々は、蒸し暑い夏に川面で涼をとったのである。

## 5-(1) 赤穂事件と飛鳥山の花見

## 学びの窓 赤穂事件とはどのような出来事だったのでしょうか？



葛飾北斎「忠臣蔵夜討の図」(江戸東京博物館蔵)

- ・赤穂藩主浅野家の遺臣らは主君のかたき討ちをしました。
- ・左の絵はそのときの状況を表わした絵です。
- 当時は義拳といわれたかたき討ちにもかかわらず、幕府が彼らを切腹させたのはなぜでしょうか？

## 【文治政治の展開】

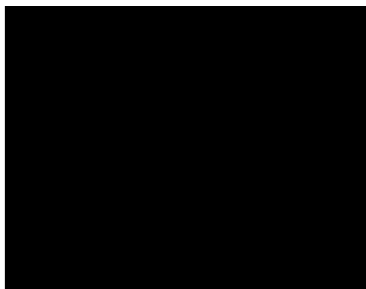
1651(慶安4)年徳川家綱が4代将軍になると、由井(比)正雪ら多数の牢人らが幕府を倒そうと計画する事件(慶安の変)を起こした。これを機に、幕府は大名が死ぬ間際に養子をとる末期養子の禁止をゆるめ、牢人の増加を防ぐなど、それまでの武力にたよった武断政治から制度や法令を尊重する文治政治への転換をはかった。

5代将軍徳川綱吉は、儒教の教えである忠孝や礼儀などを重んじたほか、捨て子を禁止するなど、福祉的な政策も展開した。1685(貞享2)年には、極端な動物愛護令である生類憐みの令を出し、中野や大久保(新宿区)に広大な犬屋敷をつくって野犬を多数保護した。そのため、庶民からは「犬公方」とよばれた。この時代は、明暦の大火の復興費、佐渡などの鉱山からの金銀産出量の激減にくわえ、綱吉が護国寺(文京区大塚)をはじめ寺社をいくつも造営・修築したため、幕府は財政難におちいった。そこで金の含有率を下げた小判(元禄小判)を発行したが、逆に貨幣の価値が下落して物価が高騰し、庶民生活は圧迫された。

6代将軍徳川家宣と7代将軍徳川家継のとき、儒者の新井白石と側用人の間部詮房が幕政を担当した。白石は長崎貿易の額を制限する海舶互市新例を出して銀の流出を防いだり、金の含有率をあげた小判(正徳小判)を铸造したりして物価の高騰をおさえようとした。さらに閑院宮家を創設して幕府と朝廷との融和をはかるとともに、通信使の待遇を簡素化して将軍の権威を高めた。この時代の政治を正徳の治とよんだ。

## 【赤穂事件】

1701(元禄14)年3月将軍綱吉のとき、江戸城松の廊下で、赤穂藩主の浅野長矩が旗本で高家の吉良義央に斬りつける事件が起きた。幕府は長矩を切腹させて御家を取り潰し、吉良はお構いなしと裁定した。これ



泉岳寺(港区高輪)  
長矩の墓前に大石らは吉良の首を供えた。



本所松坂町公園(墨田区両国)  
吉良邸跡が一部公園として保存されている。

に対し赤穂藩の国家老の<sup>くに かろう おおいよしたか(よしお) くらひのすけ</sup>大石良雄(内蔵助)らは御家を再興しようとしたがうまくいかず、翌年12月15日未明、大石を含む47名が、主君のかたきをとるため、本所の吉良邸に討ち入った。火事装束を身につけ万全の準備をした大石らは、1時間ほどで邸内を制圧して吉良の首を打ち落とし、高輪の泉岳寺にある主君の墓前に吉良の首を供え、無念を晴らした。

庶民はこの討ち入りを義挙として絶賛し、その忠臣ぶりに幕府内にも助命しようとする意見もあった。しかし、武断政治から文治政治への転換をはかる幕府は、名誉の切腹で落着かせた。この事件は、のちに歌舞伎などで演じられるようになり『仮名手本忠臣蔵』のモデルとなった。

### 【享保の改革】

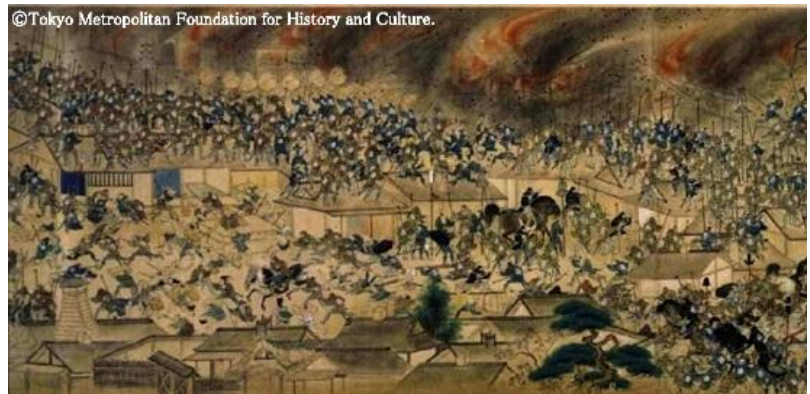
8代将軍徳川吉宗<sup>よしむね</sup>は、財政再建のため幕政改革(享保の改革)をおこなった。儉約令<sup>けんやくれい</sup>を出し、自らも1日3食を2食に減らし、一汁三菜<sup>いちじゅうさんさい</sup>(ご飯におかず3品、汁物付)の粗食<sup>そしょく</sup>に甘んじ、絹ではなく木綿<sup>もめん</sup>の服を着るように心がけたという。

そのうえ、諸大名から石高1万石につき100石を臨時に献上させ、代わりに参勤交代の江戸滞在期間を半減した(上げ米<sup>あげまい</sup>)。また、毎年の収穫によって年貢率を決める検見法<sup>けんみほう</sup>から一定額の年貢を徴収する定免法<sup>じょうめんほう</sup>に改めて年貢を増やし、新田開発もさかんに進めて米の増産もはかった。

また、広く人材を登用し、町奉行には大岡忠相<sup>おおおかたすけ</sup>を用いて都市政策に力を注いだ。「火事と喧嘩は江戸の華<sup>はな</sup>」といわれるくらい多かった火事に対応するため、大名火消や定火消にくわえて、町方独自の町人による町火消<sup>まちびけし</sup>「いろは」47組を創設し、素早い消防体制を確立した。法に基づく政治を展開するため、おもに庶民を対象とした法典である公事方御定書<sup>くじがたおさだめがき</sup>を編纂するとともに、目安箱<sup>めやすばこ</sup>を設置して庶民の直訴も受けつけた。目安箱の意見は、貧民対象の医療施設である小石川養生所<sup>こいしかわようじょうしよ</sup>の創設などに反映された。

### 【江戸の消火活動】

これは江戸で発生した火事を消火している様子である。現代とちがいで、消火は延焼<sup>えんしょう</sup>を防ぐため、火の行く手にある家屋を破壊する消防活動が中心であった。新宿区四谷の消防博物館の「江戸の火消」ゾーンではその詳しい内容を知ることができる。



田代幸春「江戸火事図巻」(江戸東京博物館蔵)

### 【飛鳥山と隅田川堤の桜並木】

江戸では、最も早く名所として知られた上野の山や、吉野桜の苗を植え、海と房総の山々が望める品川御殿山<sup>ごてんやま</sup>が人気を博していた。そこで将軍吉宗は、飛鳥山と隅田川堤に桜を植えた。1,000本以上の桜を植えた飛鳥山では、木の間に茶屋などが仮設され、行楽客であふれたという。隅田川堤も春になると「左右より桜の枝おひかさなりて、雲のうちにいるかと思ふはかりなり」(『江戸名所花暦<sup>えどめいしよはなごよみ</sup>』)という見事な光景に変じたという。江戸時代、花見へ出かけることは、江戸の人々にとって日常の生活空間から解放されることを意味していたのである。



飛鳥山公園の飛鳥山の碑  
(北区王子)

## 5-(2) 芝居小屋でにぎわう浅草

## 学びの窓 浅草になぜ芝居小屋が誕生したのでしょうか？

A



歌川広重「東都名所 芝居町繁栄の図」

B



C



- ・ Aは、浅草猿若町の芝居小屋の風景を描いた錦絵です。
- ・ Bは、現在の浅草雷門（台東区浅草）、Cは、浅草にある市村座跡の碑（台東区浅草）です。
- 浅草になぜ芝居小屋が集まったのか、考えてみましょう。

## 【寛政の改革】

10代将軍徳川家治のもとで、老中田沼意次は、商人の富を利用して財政の改善をはかった。株仲間を積極的に公認し、運上・冥加といった税を徴収し、特定の商人に銅座、真鍮座などをつくらせ、幕府の専売品とした。また、印旛沼や手賀沼の干拓工事を手がけ、ロシアとの交易や蝦夷地開拓も計画した。しかし、賄賂が横行するなど政治が腐敗し、田沼は失脚した。

その後天明の飢饉（1782（天明2）～87（天明7）年）のため、江戸など30余りの都市で貧民が米屋などを襲撃する打ちこわしが起こった（天明の打ちこわし）。この打ちこわしを機に、幕政改革の気運が生まれ、11代将軍徳川家斉のもと、老中松平定信による幕政の改革（寛政の改革）がおこなわれた。定信は、飢饉で打撃をうけた農村対策として、農村から都市への出稼ぎを制限するとともに、江戸に出てくる農民に対し、帰村をうながした。また、社倉や義倉という米穀をたくわえる貯蔵庫をつくらせ、飢饉に備えた（困米）。

また、打ちこわしを防ぐため、豪商10名を幕府に登用し、物価の統制をおこなわせた。さらに、江戸の町々に町費節約を命じ、節約分の7割を積み立てさせて、飢饉や物価高騰の際の備えとした（七分積金）。このころ、旗本・御家人の多くが借金を重ねていたため、棄捐令を出して札差（金融業者）に債権を放棄させ、その救済もはかった。

このほか、風俗矯正のため、華美な服装を禁じ、男女混浴を取り締まり、さらに出版統制令を出して、風紀を乱す本や政治を風刺した書を弾圧した。遊里（遊郭）を題材とした洒落本を執筆した山東京伝は、50日間も手鎖（現在の手錠）をはめられる罰を受け、その後、歴史や伝奇などを題材とする読本作家に転向した。

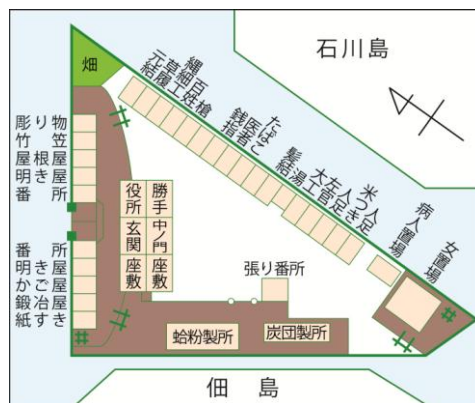
### 【石川島人足寄場】

いしかわじまにんそくよせば  
 このころ、地方から江戸に入ってきた者が無宿者となつて治安を乱していた。そこで定信は、無宿者や軽犯罪者らに職業訓練をほどこす施設の建設を火付盗賊改（おもに凶悪犯罪を扱う責任者）の長谷川平蔵に命じた。



人足寄場跡に建つ復元された灯台  
 (中央区佃)

平蔵は石川島に人足寄場を創設し、多数の無宿者、軽犯罪者に対して、鍛冶、紙漉、駕籠づくり、彫り細工、屋根葺きなどの職業技術を習得させ、彼らを更生させていった。敷地は1万6,000坪、入所は約3年で、赦免のおりには、仕事道具や積立金が支給された。この平蔵が池波正太郎の小説『鬼平犯科帳』のモデルとなった。



人足寄場内部図

### 【天保の改革】

てんぽう かいかく  
 松平定信が老中を退いたのち、約50年間も将軍家斉が権力を握った。この時代を文化・文政時代（化政期）といい、将軍や大奥の生活は華美になり、幕府は財源を確保するため、貨幣の質を落とすことをくり返した。関東の農村では治安が悪化し、幕府は1805（文化2）年関東取締出役を設置して取り締まりにあたらせた。

家斉の死後の1841（天保12）年、老中水野忠邦による幕政の改革（天保の改革）が始まった。儉約令を発して、庶民の風俗もきびしく取り締まり、歌舞伎の江戸三座を浅草へ強制的に移転させ、歌舞伎役者が町を歩くときには編み笠をかぶらせた。

また、1843（天保14）年、天保の飢饉で荒廃した農村を再建するため、江戸に流入した農民を強制的に戻す人返しの法を出した。しかし、これによって追われた無宿者らが江戸近郊の農村にとどまり、その地域の治安が悪化した。同年忠邦は財政の安定や対外防備の強化のため、江戸・大坂周辺の約50万石の地を直轄地とする上知令を出したが、大名や旗本からの強い反発を受け、失脚した。

### 【浅草猿若町「江戸三座の興行」】

忠邦は江戸市中の芝居小屋が風紀を乱すという理由で、これを廃絶しようとしたが、町奉行遠山景元の反対により、浅草寺の北側の浅草猿若町に移すことで落ち着いた。そのため、これに感謝した芝居関係者が、遠山を名奉行に仕立てた芝居を創作したともいわれる。なお、このころ江戸のはずれにあった浅草は、市村座、中村座、守田（森田）座の江戸三座が移ったことにより、にぎやかな芝居街に変貌した。猿若町は明治以降も栄えたが、現在は住宅地になり、三座の跡地には碑が立つのみである。

猿若町から南下した花川戸には、「助六由縁江戸桜」の主人公である侠客の助六が住んだとされ、花川戸公園には、助六歌碑（台東区花川戸）が立っている（P35参照）。



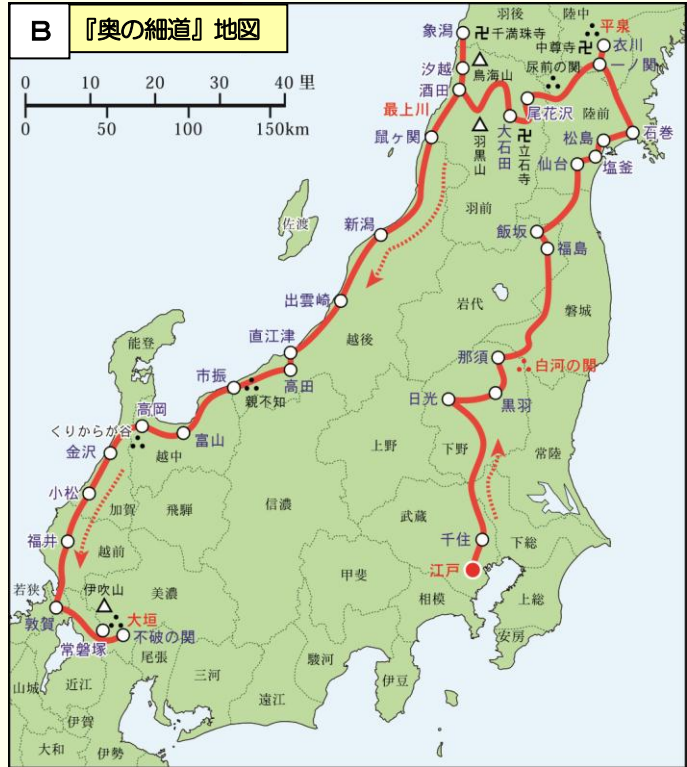
歌川広重「名所江戸百景 猿わか町よるの景」  
 (早稲田大学演劇博物館蔵)

6- (1) 元禄の旅人「松尾芭蕉」

学びの窓 元禄時代の文化や学問はどのようなものだったのでしょうか？



- ・ Aは、江東区深川の採茶庵跡（江東区深川）にある松尾芭蕉の像です。
- ・ Bは、芭蕉が俳句をつくりながらたどった旅の行程です。
- 芭蕉の句集『奥の細道』のなかで、詠んだ句について調べてみましょう。



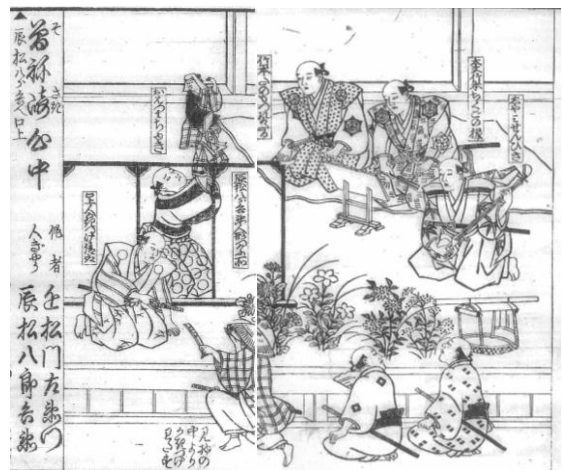
【元禄文化】

元禄時代に幕政の安定や経済の発展が進むと、上方を中心に武士や町人を主体とした多彩な文化が生まれた。文学では、浮世草子とよばれる風俗小説を書いた井原西鶴、芸術性のある俳諧を確立した松尾芭蕉、義理人情の葛藤を描いた脚本を書いた近松門左衛門らが中心であった。

西鶴は、つらい「憂き世」を「浮き世」とおきかえ、人間の欲望などを肯定的にとらえる作品を残した。『好色一代男』に代表される好色物のほか、商人の立身出世の物語である『日本永代蔵』や貧しい庶民の姿を描いた『世間胸算用』などの町人物を残している。

芭蕉は、それまでの滑稽な俳諧に対し、侘び、寂びの文学性をもたせた正風（蕉風）俳諧を確立した。人生を旅ととらえてつくられた俳諧紀行文の『奥の細道』はその代表作である。

近松は、義理と人情の板挟みになる人々が登場する世話物の代表作『曾根崎心中』など、当時は厳禁されていた心中を扱った人形浄瑠璃の脚本を書いた。これらは竹本義太夫の名調子で語られ、その節回しは義太夫節とよばれ、人気を博した。また、歌舞伎では、江戸に勇猛な演技を見せる荒事の市川團十郎、上方に恋愛劇での優美な演技の和事を得意とする坂田藤十郎などの名優が出て、民衆からの支持を受けるようになった。



人形浄瑠璃を演じている様子  
『牟芸古雅志』（国立国会図書館蔵）



### 【芭蕉の旅立ち】

Cの芭蕉の像は、江東区の芭蕉庵史跡展望庭園（江東区常盤）にある。この庭園近くの芭蕉稲荷に「芭蕉庵跡」の碑(D)が立っており、「古池や蛙飛びこむ水の音」の有名な句が詠まれたところとされる。



1689（元禄2）年、芭蕉は弟子の河合曾良をともない、全行程5か月余、2,340 kmを吟行した（B）。これをまとめたのが『奥の細道』である。この吟行に旅立つとき住んでいたのが芭蕉稲荷近くにあったとされる深川芭蕉庵で、その出発地がAの採茶庵である。東京には芭蕉にかかわる史跡が数多く残っている。文京区にある関口芭蕉庵など、芭蕉の足跡をたどってみよう。



切絵図「本所深川絵図」（東京都立中央図書館蔵）

### 【昌平坂学問所と武士教育】

5代将軍徳川綱吉は、儒学（朱子学）を重視し、主君に対する忠と父祖に対する孝、それに礼儀による秩序を第一とした。また、儒者の林信篤（鳳岡）を大学頭に任じて、林家の邸内にあった孔子廟と私塾を湯島へ移し、孔子廟を湯島聖堂、私塾を聖堂学問所とよんだ。幕府は、1790（寛政2）年に寛政異学の禁を出して、聖堂学問所では朱子学を正学とし、それ以外の学問を教え研究することを禁止した。1797（寛政9）年、聖堂学問所は官立の昌平坂学問所（昌平黌）と改称され、幕府の直臣だけでなく、他藩士などにも門戸がひらかれた。また、多くの藩において、藩士の子弟を対象とした教育機関である藩学（藩校）が置かれ、儒学など幅広い学問の講義がおこなわれた。

### 【湯島聖堂を歩く】

御茶ノ水駅の北側に今でも湯島聖堂（文京区湯島）がある。

聖堂脇の坂は昌平坂とよばれ、「昌平坂」と刻まれた小さい碑が立つ。入口にあたる仰高門をくぐって右へ向かうと、孔子の巨大ブロンズ像がある。

さらに、瓦を埋め込んで強化した土塀に沿って進むと、江戸時代の貴重な遺構である入徳門が現われる。門をくぐって石段をあげると、杏壇門の奥に入母屋造りの大成殿が建っている。堂の両端から回廊が延びているこの建物は昭和に再建されたものだが、18世紀末期のものを忠実に再現しており、荘厳な雰囲気を出している。内部には、江戸初期制作の孔子像が安置されており、かつて将軍綱吉は、ここで自ら講義をおこなったという。



入徳門



大成殿

6-(2) 江戸蘭学事始

学びの窓 刑場の地がなぜ蘭学と関係があるのでしょうか？



- ・ Aは、荒川区南千住にある小塚原刑場跡にある首切り地蔵です。
- ・ Bは、この地蔵に隣接する回向院（荒川区南千住）の境内にある「観臓記念碑」です。このレリーフにはCの『解体新書』の表紙が刻まれています。

『解体新書』（国立国会図書館蔵）

●なぜ、刑場のあった地に、『解体新書』に関する碑があるのか、考えてみましょう。

【蘭学の始まりとその展開】

18世紀末から19世紀初めの文化・文政期の文化は、化政文化といわれ、江戸を中心とした都市に生活する人々が支えた町人文化である。

蘭学とは、オランダ語を通じて西洋の学術文化を研究する学問で、8代将軍徳川吉宗が漢訳洋書の輸入禁止を緩和したことから急速に広まった。その蘭学の進歩に大きな役割を果たしたのが、小塚原刑場での人体の解剖を実見した前野良沢・杉田玄白らによる『解体新書』の刊行（1774（安永3）年）であった。これを機に、医学・天文学・化学・植物学など多方面にわたる実証的な研究がおこなわれた。長崎で学んだ平賀源内は、エレキテルの実験や寒暖計の作成など物理学を研究した。欧米列強の接近と幕府・諸藩による富国強兵の推進により、兵学や地理学などを学ぶ私塾が全国につくられた。江戸では大槻玄沢が芝蘭堂（最初は中央区京橋周辺）を開き、新元会（オランダ正月）とよばれた新正月も祝っている。また、幕府の蘭学研究機関で蘭書の翻訳にあたる番書和解御用もつくられた。



エレキテル（摩擦発電器）  
（郵政資料館蔵）



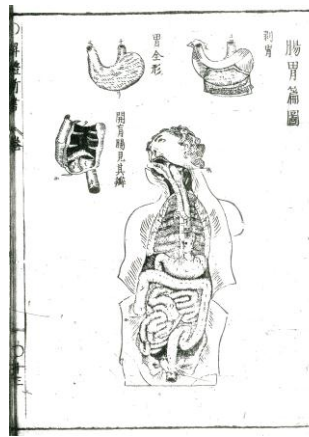
平賀源内電気実験の地の碑（江東区清澄）



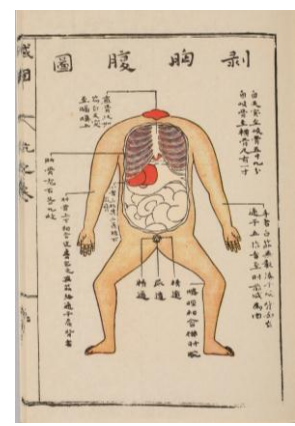
芝蘭堂でのオランダ正月（新元会）  
（早稲田大学図書館蔵）

## 【『ターヘル・アナトミア』】

1771（明和8）年、杉田玄白・前野良沢・中川淳庵らが、小塚原刑場で死体の腑分け（解剖）を、ドイツの解剖学者クルムスの著した『解剖図譜』の蘭語訳書『ターヘル・アナトミア』を見ながら実見し、その解剖図の正確さに刺激を受けた。彼らは『ターヘル・アナトミア』の和訳を決心し、苦難の末『解体新書』として刊行して、将軍家にも献上した。1759（宝暦9）年に刊行された京都の宮廷医師山脇東洋の『蔵志』の観臓図に比べるとそのリアルさは目を見張るものがある。



『解体新書』  
（国立国会図書館蔵）



山脇東洋『蔵志』  
（国立公文書館蔵）

## 【その他の学問】

元禄時代ごろには日本古典の実証的研究が始まり、それが18世紀後半に『日本書紀』や『古事記』などの日本固有の社会や文化を探究する学問（国学）として発展した。国学では、賀茂真淵がおもに『万葉集』の研究に取り組み、儒教・仏教・洋学を排した日本古代の思想を明らかにすると、本居宣長は『古事記』を原点として日本人固有の精神を再発見し、その精神に返ることを主張した。また、幕末期の平田篤胤は、それまでの厳密な古典研究から日本古来の純粋な信仰を大切にする復古神道を提唱した。この篤胤の思想は、地方の豪農や下級武士に受け入れられ、幕末の尊王攘夷運動の思想的源流となっていた。

また、石田梅岩によって人の生き方を生活倫理としてやさしく説いた心学が創始され、庶民の学問として発達していった。そのほかにも、関孝和が和算を大成して発展させた算学や貝原益軒らが基礎を築き薬草などの薬物を研究した本草学、歴史学、農学などの諸学問も急速に発展した。

## 【寺子屋の教育】

江戸時代、庶民の初等教育をになっていたのは寺子屋であった。18世紀から寺子屋が急増し、その数は一時期全国で5万にのぼるとされる。教育熱の高まりは、一つには幕府の文書主義に理由がある。高札（辻に立てられる札型の通達文書）を読んだり、訴訟の際に文書を書いたりすることが必要とされたからである。また、大衆向けの娯楽本の大量出版や、利子や年貢額の計算能力も求められたことも寺子屋増加の理由の一つと考えられる。

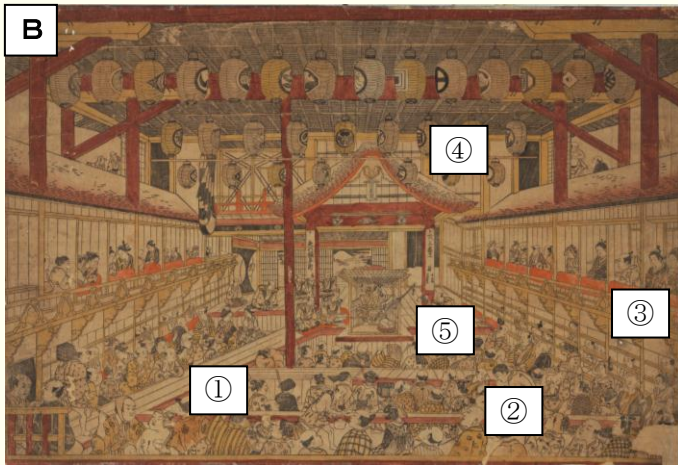
寺子屋は6歳程度で文箱（文房具セット）と天神机（学習机）を持参して入門し、約4、5年で読み書きができるようになった。入学金や授業料の額は地域によって異なり、米や野菜で納めることも可能だった。専用の校舎は存在せず、授業時間は6時間から8時間程度で、その内容は往来物（往復形式の手紙）を教科書として使った「読み、書き、そろばん」に限らず、農作物の栽培法から大福帳（商家で用いられる帳簿）の書き方まで、個々の必要に応じて教えることもあった。多くの出版物の影響もあって、このように庶民教育が発展し、江戸の識字率の高さなど初等教育のレベルは世界有数の高さを誇った。



渡辺華山「一掃百態」寺子屋図（田原市博物館蔵）

特集2-(1) 助六は江戸っ子の代表

学びの窓 芝居小屋の内部はどのようになっているのでしょうか？



- ・ **A**は、江戸東京博物館にある中村座という芝居小屋の正面を再現したものです。
  - ・ **B**は、18世紀中ごろの中村座の内部の様子です。
  - ・ 歌舞伎興行は、明け六つ（午前6時ごろ）から暮れ七つ（午後4時ごろ）まで一日がかりで2本立てで上演されました。①は花道、②は一般の枡席、③は料金が特別高い特別の棧敷席です。最初のころの舞台は、能舞台を模してつくられたため、破風とよばれる屋根（④）があり、客前に張り出した付舞台（⑤）もありました。また、享保のころまでは芝居小屋には全体を覆う屋根がなかった関係で、花道もなく、雨が降れば興行は中止となりました。
- 歌舞伎がどのようにして発展していったのか、調べてみましょう。

奥村政信「浮絵芝居矢根五郎狂言舞台」  
(東京国立博物館蔵)

【歌舞伎の歴史と江戸歌舞伎】

1603（慶長8）年、出雲阿国という女芸人が京都で「かぶき踊」を始めた。その後、阿国歌舞伎は、女性だけの女歌舞伎、さらに美少年たちによる若衆歌舞伎へと発展し、その後、野郎歌舞伎という男性のみの演劇性の強いものとなり、これが現在の歌舞伎の原型となった。



江戸歌舞伎発祥の地の碑  
(中央区京橋)

江戸歌舞伎は、1624（寛永元）年、現在の京橋と日本橋の間の地に、初代猿若勘三郎が幕府の許可を得て芝居小屋を構えたのが始まりとされ、その後いくつかの芝居小屋が作られた。しかし、大奥女中の絵島と山村座の役者生島新五郎らが処罰された絵島・生島事件により山村座が廃絶されると、それ以降は、幕府が公認した芝居小屋が中村座、市村座、守田（森田）座の三座に限られた。この三座は天保の改革で浅草に強制的に移されたのち、江戸三座として江戸歌舞伎の華を咲かせた。



「阿国歌舞伎図」  
(京都国立博物館蔵)

【市川團十郎と荒事】

江戸独自の歌舞伎様式の荒事は、元禄期の初代市川團十郎によって創始された。荒事とは、力強い立回り、派手な隈取や衣裳に加え、見得や六方など独特の演技をおこない、主人公などを超人的な人物に誇張して見せる演出が特色である。主人公が悪人を懲らしめる姿は、江戸の人々に熱狂的に受け入れられた。荒事は代々の團十郎が継承し、天保期の七代目團十郎は先祖伝来の演目 18 種を「歌舞伎十八番」として選び、市川家の芸とした。



初代 市川團十郎 (早稲田大学演劇博物館蔵)

【江戸歌舞伎の象徴「助六」】



三浦屋の花魁揚巻



花川戸の助六



髭の意休

歌川国貞「助六由縁江戸桜」(東京都立中央図書館蔵)

「助六由縁江戸桜」は、紛失した名刀を探している花川戸の助六という侠客が吉原三浦屋の花魁揚巻のもとに出入りし、権力と金にもものをいわせて威張る髭の意休から刀を取り戻すというストーリーである。その主人公の助六は、江戸っ子の代表として、人々から多くの人気を集めた。

「江戸っ子」という言葉が登場したのは、18 世紀後半である。江戸っ子の定義は、①江戸城のお膝元で生まれ、神田上水や玉川上水などの水道水を産湯とした、②大切に育てられた上層町人、③宵越しの金は持たないなどお金に執着しない、④あか抜けしていて、しかも色気がある「いき」と自分の意志を通す強い気持ちの「張り」がある、といった要素をもち合わせた人である。

その代表としては、日本橋周辺のおおだなやおおだんなやくらまななどあげられるが、その後魚河岸や裏店の職人なども「江戸っ子」と称するようになっていった。

## 特集2-(2) 今も昔も相撲は両国

### 学びの窓 横綱はどのようにして生まれたのでしょうか？



「勸進大相撲 境川雲龍取組之図」(江戸東京博物館蔵)



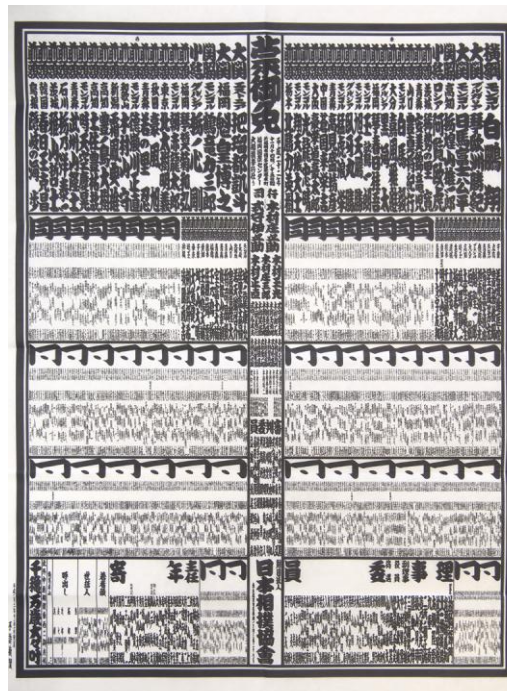
- ・ Aは、江戸時代の勸進相撲の様子です。
- ・ Bは、現在の両国国技館での大相撲の様子です。
- AとBを比べて、どこが違うのかを考えてみましょう。

#### 【江戸時代の相撲】

古代、相撲は神事として始まり、中世には武術として発展し、江戸時代になると娯楽として人気をよんだ。しかし、幕府は当初、儒教的な考えから娯楽のための相撲を禁止していたため、寺社の資金を集める勸進を理由にした場合に限って興行を許可した。これが勸進相撲である。勸進相撲は喧嘩口論が多いため、いったん禁止されたが、元禄のころに復活した。興行主は勸進相撲の申請が許可された証明として、「蒙御免」と書いた立て札をたて、番付の中央上部に「蒙御免」と印刷した。

土を入れた俵を並べる土俵を相撲に取り入れたことにより、相撲をとる明確な境界がつけられた。元禄のころには、相手を倒すだけであったそれまでの決まり手にくわえ、押し出し、寄り切り、うっちゃりなど、バラエティーに富む勝負手が生まれて人気を博した。また、このころ四本柱や屋根がつけられるとともに、土俵も二重土俵に変化していった。

江戸後期になると、上方より江戸の相撲が強くなり、谷風、小野川、雷電など強豪力士が登場して、黄金時代を築いた。1789(寛政元)年、谷風と小野川が横綱の免許をうけ、初めて横綱を締めての土俵入りをおこない、1791(寛政3)年には、将軍が江戸城内で相撲を上覧したので、相撲の人気はさらに盛りあがった。また、人気力士や強豪力士たちの多くは、大名のおかかえとなり、武士の待遇をうけたので生活は安定していた。



現在の大相撲の番付表

江戸の相撲は年2場所制で、興行日数は1778(安永7)年以降、1場所晴天10日間(それ以前は8日間)となった。興行は深川八幡(現富岡八幡宮)、芝神明(現芝大神宮)など寺社の境内でおこなわれたが、1833(天保4)年からは両国回向院が定場所となった。明治維新後も回向院での相撲は続けられ、1909(明治42)年には境内に国技館がつくられた。その後蔵前国技館をへて、1985(昭和60)年からは現在の両国国技館で大相撲がおこなわれている。

両国の回向院境内にある力塚(墨田区両国)  
新弟子たちが力を授かるようにこの碑に祈願している。



### 【人気力士の登場】



谷風



小野川



雷電

(日本相撲協会提供)

横綱については、1789(寛政元)年に力士のしこ踏みの作法を土俵上で表現するため、大関の谷風・小野川にその免許を与え、土俵入りをおこなう資格を付与し、披露したのが始まりとされる。当時の横綱は、土俵入りの際に腰に締める「しめなわ」をさしており、力士の最高位を意味していなかった。したがって、江戸時代の最高位は大関であった。しかし、1890(明治23)年、初代西ノ海が横綱として初めて番付に記されたことを機に横綱の地位化が進み、1909(明治42)年横綱を最高位として相撲協会の規則に明文化した。また、雷電は勝率9割6分を越える強さを誇っていたが、横綱免許はうけなかった。しかしその強さから、富岡八幡宮にある横綱力士碑には、無類力士として記され、同列に扱われている。

### 【富岡八幡宮と横綱力士碑】



富岡八幡宮



横綱力士碑

江東区富岡にある富岡八幡宮は、1684(貞享元)年、幕府より勸進相撲が許され、境内でおこなわれたことから、江戸相撲発祥地として知られる。これを記念して境内には「横綱力士碑」が立っており、碑の裏面には初代明石志賀之助から69代白鵬までの四股名が刻まれている。また、境内には「大関力士碑」もある。

## 特集3 浮世絵は最高の江戸みやげ

### 学びの窓 浮世絵はなぜ広まったのでしょうか？



懐月堂安知「あやめ模様着立美人」



鈴木春信「夕立」 (左・右：アダチ版画研究所提供)

- ・ Aは、墨摺絵すみずりえといい、墨一色による版画です。
- ・ Bは、7～8色の多色摺たしよくずりの浮世絵です。
- どのようにして、このような多色摺の浮世絵をつくることができたのでしょうか？

#### 【浮世絵の発達】

17世紀なかばから18世紀初めの元禄文化げんろくぶんかは、大坂や京都などの上方中心かみがたの豪商たちが主役の文化で、現実主義・合理主義的な精神が特色であった。

江戸における元禄文化の代表としては浮世絵がある。浮世とは、戦国の世が終わり、平和になった現世げんせを楽しむ生き方を意味して使われ、17世紀後半になると絵画の世界にも反映され、当世風俗の芝居や遊里しばい ゆうりを題材とした浮世絵が誕生した。

浮世絵を世に送り出し、江戸で活躍した絵師が菱川師宣ひしかわもろのぶである。彼は、「見返り美人図」に代表される肉筆画にくひつがとともに、版画の作品も多く手がけた。版画は大量生産が可能で安価なことから人気を博した。



菱川師宣「見返り美人図」  
(東京国立博物館蔵)

#### 【絵暦の競作から始まった錦絵】

墨一色の墨摺絵から始まった浮世絵版画は、技術改良により多色摺が可能となり、1765（明和2）年には完全に多色摺へと移行した。

その背景には、この年から翌年にかけて、江戸の俳諧趣味の愛好家たちが自分でつくった絵暦えごよみを交換することの大流行があった。この絵暦は、年末年始の挨拶はいかいに配る暦で、その図案や色彩を競った。そのため絵師・彫師・摺師の分業が確立し、その技術や紙質の向上もあって大量供給できる色彩豊かな錦絵にしきえが誕生した。この錦絵で絶大な評価を得たのが、のちに錦絵の祖とよばれた鈴木春信すずきはるのぶである。

#### 【黄金期の浮世絵】

錦絵の登場で浮世絵版画は脚光きゃっこうを浴び、有名な絵師が次々と登場した。寛政期には、版元の蔦屋重三郎はんもと つた やじゅうざぶろうがプロデュースした喜多川歌麿きたがわうたまろ おおくびえの美人画、東洲斎写楽とうしゅうさいしやらくの役者絵が人気を博した。化政期以降は、「富嶽三十六景」の葛飾北斎ふがくさんじゅうろっけい かつしかほくさいや「東海道五十三次」の歌川広重とうかいどう ごじゅうさんつぎ うたがわひろしげなど、風景画を描いた絵師が

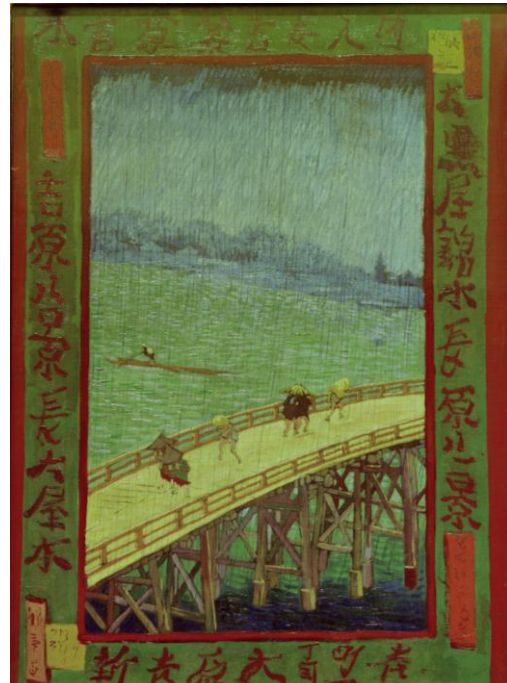


活躍した。広重の最晩年の作品「名所江戸百景」は、江戸の名所情報が盛りこまれた貴重な資料でもある。

浮世絵は海外にも紹介され、19世紀後半にフランスのパリを中心にジャポニスム（日本趣味）という流行をよび起こした。広重や北斎の作品はヨーロッパで活躍したゴッホ、マネ、ドガといった印象派などの画家に影響を与えており、海外での浮世絵の芸術的評価は高かった。



歌川広重「名所江戸百景 大橋あたけの夕立」  
(江戸東京博物館蔵)



ゴッホ「日本趣味 雨の大橋」  
(ピーピーエス通信社提供)

### 【浮世絵ができるまで】

江戸時代に庶民の間に大流行した浮世絵は、当時最先端のメディアとしての役割をもち、大量生産された印刷物だった。そのため手間をかけず、迅速に制作する方法が選ばれている。下絵を描く絵師、下絵を板に彫る彫師、そして板を用いて一色ずつ色を摺り重ねていく摺師という三者の分業で制作されたのである。各職人がプロとして力を発揮し、完成させたのが浮世絵版画なのである。

絵師 — 完成図を念頭に、線のみの下絵を描き、魅力的な浮世絵を生み出す。



絵師が描いた下絵

彫師 — 絵師の描いた線に忠実に、そして、より美しく繊細に彫りあげる。



下絵を板に彫る彫師

摺師 — 寸分違わぬ正確さで摺り重ね、色鮮やかな浮世絵を完成させる。



摺師による摺り重ね

(アダチ版画研究所HPから)

7-(1) 鎖国危うし

学びの窓 なぜ北方探検が必要となったのでしょうか？

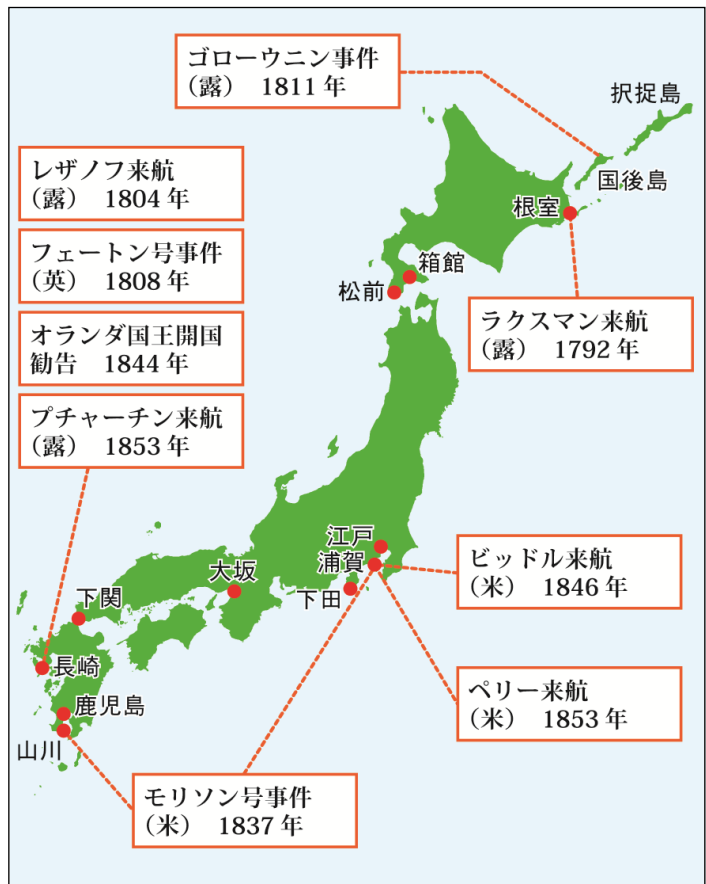


- ・ Aは、北区滝野川の正受院にある石像で、近藤重蔵の像といわれています。
- ・ 近藤はBの地図にあるように北方探検をしました。
- 近藤が北方探検をした背景を考えてみましょう。

【列強の接近】

産業革命が欧米諸国に拡大し資本主義が発達するなか、欧米諸国は原料と市場を求めて、アジアやアフリカに進出した。

18世紀後半に、シベリア開発を進めるロシアは蝦夷地に接近してきた。1792(寛政4)年、ラクスマンが根室に来航し、正式に通商を求めた。続いて、1804(文化元)年にはレザノフが長崎に来航した。しかし、幕府は鎖国が日本の方針であるとして通商を認めなかったため、日露間は一時期緊張状態におちいった。日本がロシア人ゴローウニンを幽閉し、日本の商人高田屋嘉兵衛がカムチャツカに連行される事件も起こった。そこで幕府は北方防備が急務であるとして、近藤重蔵に千島島探検を、伊能忠敬に蝦夷地の測量を、間宮林蔵に樺太探検をおこなわせた。さらに、幕府は1807(文化4)年に蝦夷地を直轄化した。一方、外国船の来航が増え



欧米列強の接近

たため、幕府は外国船に対する燃料や食糧の支給を認めた。1808(文化5)年、イギリス軍艦フェートン号がオランダ船を追って長崎に侵入し、オランダ商館を攻撃する事件が起きた。その後外国船が日本近海に出没することが多くなったため、1825(文政8)年幕府は異国船打払令を

出して、沿岸に接近する外国船の撃退を命じた。そこで、1837（天保8）年、日本人漂流民送還のため来航したアメリカ商船モリソン号が砲撃を受ける事件が起きた。

これに対して、蘭学者の渡辺華山と高野長英が、一方的な外国船撃退は戦争をまねくとして幕府を批判すると、幕府は彼らを処分し、弾圧した（蛮社の獄）。

また幕府は、海外持ち出し禁止の伊能による『大日本沿海輿地全図』を持ち出そうとしたとオランダ商館医師シーボルトを追放するなどの処置もおこなった（シーボルト事件）。



ラクスマンの肖像  
(函館市中央図書館蔵)

### 【伊能忠敬と芝丸山古墳】

1745（延享2）年、忠敬は上総国に生まれ、18歳で佐原（千葉県）の伊能家の婿養子となった。50歳で隠居し、江戸に出て幕府天文方高橋至時に入門して、天文暦学を学んだ。その際、測量家としての腕を見込まれ、1800（寛政12）年には、56歳で蝦夷地の測量をおこなったのをはじめ、全国の測量を実施した。測量の旅に出かける際には、安全祈願のために近くの富岡八幡宮に必ず参詣したといわれ、境内には忠敬の銅像が立てられている。また、芝増上寺の裏にある芝丸山古墳（5世紀都内最大級の前方後円墳、港区芝公園）の斜面を利用して測量実習をおこなったことから、山頂には伊能忠敬測地遺功の碑が立てられている。伊能が全国の測量をおこなった日数は合計約3,400日（約9年半）、歩いた距離も約35,000kmにもおよんでおり、その測量の成果は『大日本沿海輿地全図』（伊能図）としてまとめられている。



富岡八幡宮に立つ伊能忠敬像



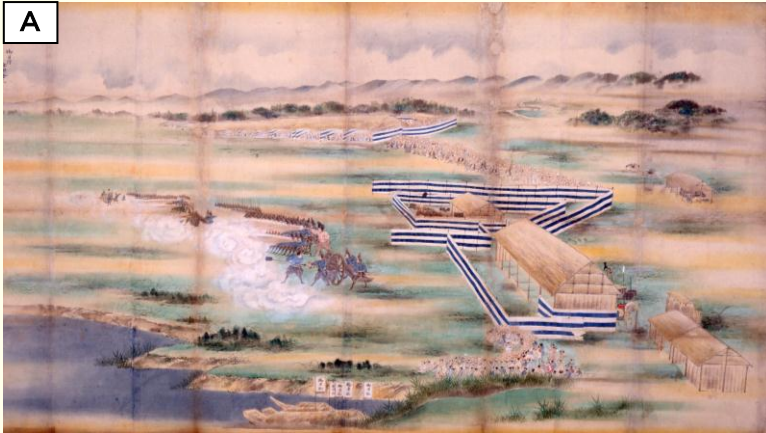
芝丸山古墳に立つ「伊能忠敬測地遺功の碑」



「大日本沿海輿地全図」（伊能中図）部分  
(東京国立博物館蔵)

## 7-(2) 高島平に響いた砲声<sup>ほうせい</sup>

### 学びの窓 なぜ砲術訓練が必要になったのでしょうか？



「高島四郎太夫砲術稽古業見分之図」(板橋区立郷土資料館蔵)



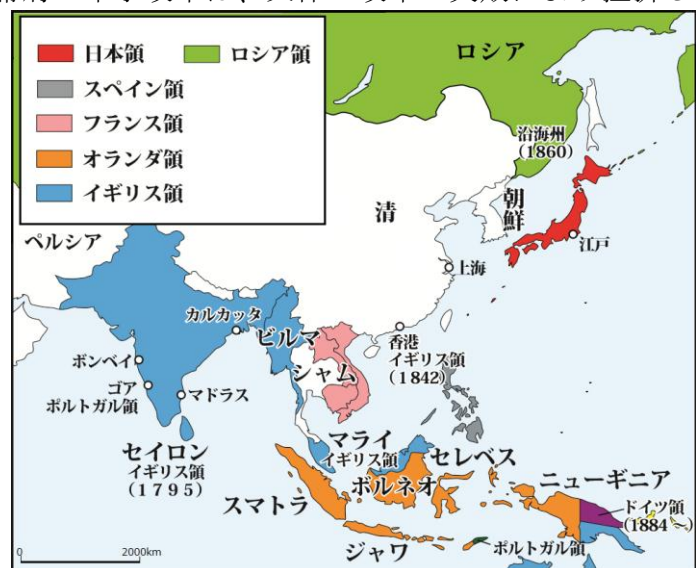
- ・ **A**は、1841(天保12)年、高島秋帆が徳丸ヶ原(現板橋区高島平周辺)で、日本最初の洋式砲術訓練をおこなったときの様子です。
- ・ **B**は、高島秋帆を記念して松月院(板橋区赤塚)に立てられた碑です。
- こうした洋式砲術訓練をおこなう必要があった理由を、当時の世界情勢を踏まえて考えてみましょう。

### 【欧米列強の接近に対する幕府や諸藩の対応】

1854年

1840(天保11)年、イギリスと清との間でアヘン戦争<sup>あへんせんそう</sup>が勃発し、1842(天保13)年清は敗北して、南京条約により香港<sup>なんきん</sup>を割譲するなどした。これを知った幕府は、同年異国船打払令を廃し、外国船に対しての燃料や食糧の補給を認める法令を出した。また、外国の侵入に備えて江戸湾の防備を固め、長崎の西洋流砲術家高島秋帆<sup>たかしましゅうほん</sup>をまねいて江戸郊外の徳丸ヶ原で射撃演習を実施するなど、軍事改革もおこなった。しかし、幕府の軍事改革は、天保の改革の失敗により挫折した。

これに対し、薩摩・長州・土佐・肥前のいわゆる薩長土肥<sup>さつちやうとひ</sup>を中心とする西南雄藩<sup>せいのなんゆうはん</sup>は、財政再建と藩権力の強化をはかる藩政改革を成功させていった。薩摩藩の調所広郷<sup>しんしよひろさと</sup>や長州藩の村田清風<sup>むらたせいふう</sup>による藩政改革はその代表である。この背景には、江戸後期の問屋制家内工業からマニュファクチュア(工場制手工業)への社会・経済構造の変化があり、各藩はこの新しい変化を積極的に活用して、専売制や藩営工場の設立などをおこなった。こうして経済力・軍



ヨーロッパ列強のアジア進出

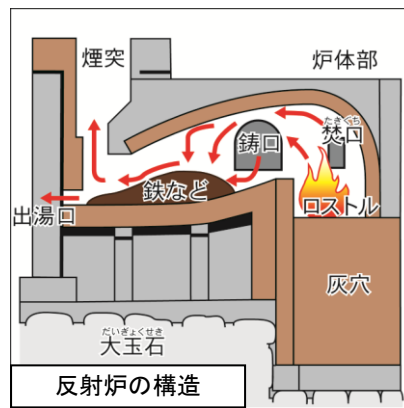
事力を強めた雄藩は、幕末維新期の政治で指導的役割をたすこととなった。

### 【開国勸告と幕府の備え】

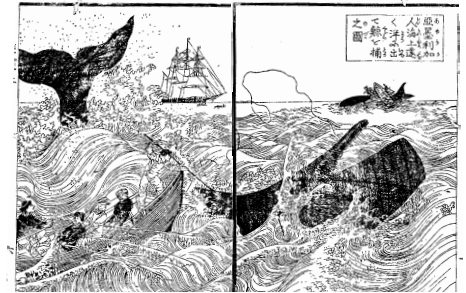
アヘン戦争で清が敗れると、東アジアにおける欧米の注目は、鎖国政策をとっている日本に向けられた。1844（弘化元）年、幕府に対するオランダ国王の開国勸告がなされ、1846（弘化3）年にはアメリカ東インド艦隊司令長官のビッドルが浦賀に来航して通商を要求した。とくにアメリカは、1848（嘉永元）年に西海岸のカリフォルニアを獲得すると、対清貿易や捕鯨業の寄港地として日本の開国を切望するようになり、1853（嘉永6）年のペリー来航につながった。

これに対して幕府は、1854（安政元）年に伊豆の代官江川太郎左衛門（坦庵）に命じて韮山に反射炉を築かせ、大砲や鉄砲の鑄造をおこなった。また、1855（安政2）年には、長崎に海軍教育機関である海軍伝習所を、翌年には江戸に武術訓練機関である講武所などを設立した。その後、フランスの援助で横須賀での製鉄所（造船所）建設に着手した。

右：幕末期に大砲製造のために韮山につくられた反射炉および構造図  
（伊豆の国市教育委員会提供）



浦賀におけるビッドル艦隊  
ビッドル艦隊が浦賀に来航すると日本船が周りを取り巻いた。



「アメリカの捕鯨の図」  
（横浜市中央図書館蔵）



### 【高島秋帆と高島平】

秋帆は父と同様に長崎の出島砲台を受けもつ和式砲術の師範役となったが、火力の強い西洋砲術に着目して、オランダ人から洋式砲術を学び、高島流砲術を完成させた。

1840（天保11）年、アヘン戦争の情報を知ると日本の防衛のために洋式砲術採用の意見を幕府に提出し、認められた。翌年、江戸に出て板橋の松月院を陣所として、徳丸ヶ原で日本最初の大砲と小銃隊を組み合わせた洋式砲術演習をおこなった。これを見た幕府は高島流砲術を正式に採用し、秋帆は江川らにその砲術を伝授した。

その後、幕府の講武所砲術師範役をつとめるなど、後進の指導などに貢献した。高島平は、もと徳丸ヶ原とよばれ、幕府の鷹場であったが、享保期より大筒の稽古もおこなわれていた。秋帆が徳丸ヶ原で西洋式軍事訓練をしたことから、1969（昭和44）年の町名変更の際し、秋帆にちなんで板橋区高島平と名づけられた。



徳丸ヶ原公園の徳丸ヶ原碑  
（板橋区高島平）

## 8-(1) 黒船来航とお台場<sup>だいば</sup>

### 学びの窓 お台場はなぜできたのでしょうか？



「品川大筒御台場出来之図」(品川区立品川歴史館蔵)

- ・ **A**は、現在のお台場で、**B**は約 160 年前のお台場の絵です。
- ・ **C**は、幕末のお台場内の様子で、砲撃訓練をしているところと  
ころです。



- お台場が何の目的でつくられたもので、またその時代とはどのような時代だったのか、考えてみましょう。

「鍋島直正品川台場巡視之図」((財)鍋島報効会蔵)

#### 【お台場がつくられた時代】

1853 (嘉永 6) 年、アメリカ東インド艦隊司令長官ペリーの率いる軍艦 4 隻が浦賀に來航し、日本に開国を求めたため、幕府はその対応に迫られた。ペリーの強硬な態度に押しきられた幕府は、翌年に再来航したペリーと日米和親条約を結んだ。この間、この対応に苦慮した老中阿部正弘は実状を朝廷へ報告するとともに、先例を破って諸大名などからも意見をつのった。この異例の措置は朝廷の政治的権威を高め、幕府に対する有力大名の発言権を強める契機となった。また、幕府は政治改革を断行して新たな人材を登用するとともに、国防を充実させる必要から江戸湾 (現東京湾) にお台場 (砲台) を築いた。



ペリー

1858 (安政 5) 年、老中堀田正睦はアメリカ総領事ハリスの要求により通商条約の締結を認めたが、朝廷からの条約勅許を得られなかった。しかし、井伊直弼が大老に就任すると、幕府



ペリー艦隊の來航航路

は無勅許のまま、日米修好通商条約に調印した。同年、さらに幕府はオランダ、ロシア、イギリス、フランスとも、ほぼ同じ内容の条約を結んだ（安政の五か国条約）。これらの条約では、江戸・大坂の開市、神奈川（のちに横浜）・長崎・新潟・兵庫・箱館の開港を認め、居留地内では原則自由貿易をおこなうこととした。しかし、日本の関税自主権が欠如し、しかも相手国に領事裁判権を承認する不平等な条約であった。

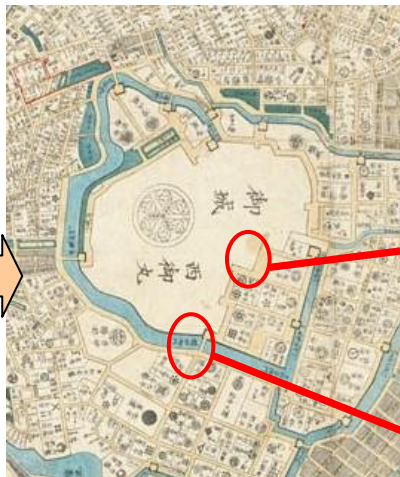
また、13代将軍徳川家定の後継をめぐる問題では、井伊は一橋慶喜を推す勢力をおさえ徳川慶福を後継に決定し、慶福が14代将軍徳川家茂となった。そのため、外国を排斥しようとする攘夷論者や慶喜を推す公家から幕府の強引な対応を批判されたが、井伊は、多数の反対派を弾圧し処罰した（安政の大獄）。この弾圧に反発した攘夷派の武士たちは、1860（万延元）年、井伊を江戸城桜田門外で暗殺した（桜田門外の変）。

### 【幕末の史跡を訪ねて】

桜田門外の変と坂下門外の変（P48参照）江戸城のどこで起きた出来事か、訪ねてみましょう。



現在の皇居（旧江戸城）  
（国土地理院）



江戸時代の古地図「天保改正御江戸大絵図」  
（東京都立中央図書館蔵）



坂下門



桜田門

### 【品川台場】

1853（嘉永6）年ペリーは通商を求めるアメリカ大統領の国書を渡すと、その返答をもらいに翌年の再来航を予告して立ち去った。お台場の建設はペリー艦隊の再来に備えて突如決まったものであり、ペリー来航による副産物であった。

当時の日本には、各地に外国船の来航に備えて砲台がすでに設置されていたが、品川につくられたお台場はそれまでのものと異なり、Bのように海中につくられた人工島の砲台で、その工事は日本の海洋土木技術のなかでも画期的なものであった。そして、実際にCのように砲撃訓練もおこなわれていた。

造成に必要な大量の土砂は、おもに品川の御殿山から掘り崩し、建築用材の松は幕領である八王子の鎌水村の御林などから伐りだされた。当初は、海上に11基の砲台がつけられる予定であったが、財政難などの理由で第一・二・三・五・六台場のみが建設され、第四・七台場は途中で建設中止、残りのお台場については未着手のまま計画中止となった。完成した5基のお台場も、現在残っているのは、最も沖合につくられた第三台場（A：現お台場海浜公園）と第六台場だけとなっている。（港区台場）



第三台場にある砲台跡  
（港区台場）

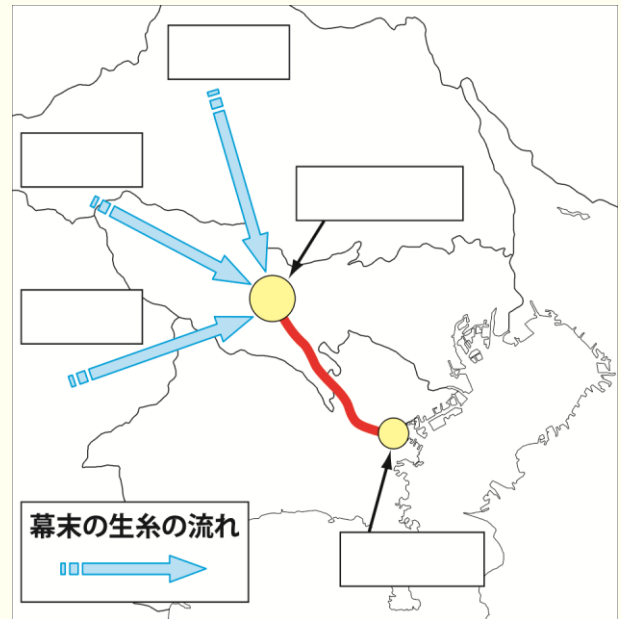
## 8-(2) 八王子から始まる「絹の道」

### 学びの窓

なぜ八王子に絹の道があったのでしょうか？



- ・ Aは、幕末さかんに往来があった八王子を通る、右図に赤線で示された街道です。
- ・ Bは、八王子郊外のAの街道沿いの鑪水にある、幕末の商人の屋敷跡に建つ資料館です。
- Aの街道が果たした役割や、なぜ街道沿いに立派な屋敷があるのかを考えてみましょう。
- 右図の空欄に、甲斐、上野と八王子、横浜の地名を入れてみましょう。

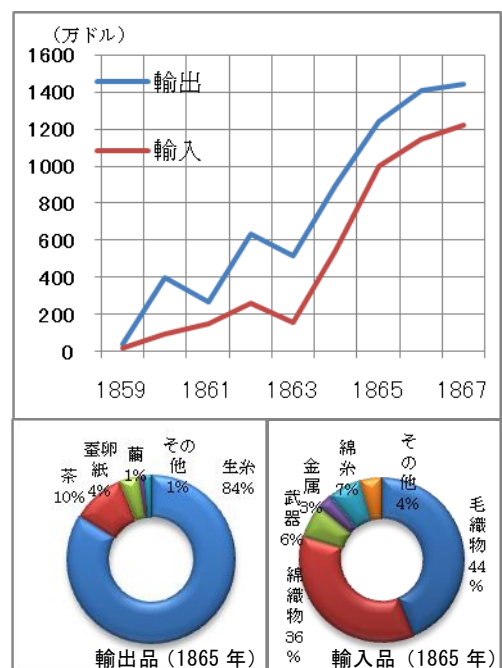


### 【開港後の貿易・産業の変化と絹の道の形成】

開港後の貿易は、横浜が中心となり、おもな相手国はイギリスであった。輸出品は生糸を中心に、茶・油・海産物などの原料で、輸入品は毛織物・綿織物などの加工品、のちに艦船や武器もくわわった。

このころ、ヨーロッパでは蚕の病気が発生して、生糸が中国産だけでは不足であったため、居留地の外国商人たちは日本の生糸に目をつけた。輸出の需要が増加した生糸は国内の生産が間に合わず、価格が上昇した。信濃・甲斐・上野などの生産地から生糸が集められた八王子では、地元の商人が直接横浜に生糸を持ちこんだ。そのため、国内の絹織物産地では生糸が品不足となり、生糸の輸出禁止を求める騒ぎも起こった。さらにほかの物資でも品不足が生じて、物価全体もはねあがった。

1860(万延元)年、幕府は貿易の統制をはかるため、特権商人と結んで五品江戸廻送令を出し、生糸のほか



横浜港の幕末貿易額の推移と輸出入主要品目  
石井孝「幕末貿易史の研究」から



ざっこく みずあぶら

雑穀・水油・ろう・呉服を江戸の間屋を経由して横浜に送ることを命じ、貿易を統制したが、効果はあがらなかった。

また、当時の日本では、金銀の交換比率において銀の比率が外国と比べて3倍高く評価されていたため、外国商人が銀貨（洋銀）を持ちこんで日本の金貨を安く手に入れて金貨を海外に持ち去り、金の大量流出をまねくこととなった。

開港にともない、生糸や茶の生産地では経営が拡大したが、生糸を原料とした絹織物の産地では、生糸の値上がりにより経営不振におちいった。こうした経済混乱は全国に波及し、幕藩体制が崩壊する一因となっていた。

### 【生糸貿易を支えた鑓水商人】

Aは、八王子の鑓水村の商人が片倉から鑓水を通して多摩丘陵を越え、原町田に出て横浜に生糸を運んだ「絹の道」で、当時は浜街道とよばれていた。鑓水村では、この生糸の仲買で莫大な利益をあげた鑓水商人が中心となって当時の江戸の最先端の文化が取り入れられていた。現在、Bの「絹の道資料館」（八王子市鑓水）となっている八木下家は、名主を務めた鑓水商人の一人で、今でも残る豪壮な石垣が「石垣大尽」とよばれていた往時をしのばせている。

貿易開始後、生糸の値段は大きくはねあがり、鑓水商人は横浜の売込商に浜出し（横浜へ生糸を売ること）して巨額の利益を得ていった。しかし、五品江戸廻送令により横浜への生糸の持ちこみができなくなって大打撃を受けた鑓水商人は、明治に入り姿を消していった。

その後、「絹の道」も1891（明治24）年に横浜街道（現国道16号）が整備され、1908（明治41）年に横浜鉄道（現JR横浜線）が開通すると、次第に衰退していった。



「東京府立織染学校之趾」の碑（八王子市明神町）



東京府立織染学校（八王子市郷土資料館蔵）

### 【絹の道がつくった都立高等学校】

幕末に「絹の道」を通して生糸貿易で繁栄した八王子では、明治になると殖産興業政策により、繭、生糸のほか、織物などの主要輸出品が生産されていた。しかし、粗悪な化学染料を使用したため織物の品質が低下し、八王子織物が市場で扱われなくなった。そのため、1887（明治20）年八王子織物組合では、八王子織物染色講習所を設置して技術力の向上をはかり、その後、関東有数の機業地として脚光をあびるようになった。この講習所は、1903（明治36）年東京府立織染学校となった。

その後、織染学校は、八王子市から校地の寄付を受け、明神町から千人町に移転して旧都立八王子工業高等学校となり、現在は旧都立第二商業高等学校と統合されて、都立八王子桑志高等学校となっている。

## 9-(1) 新撰組のふるさと「多摩」

## 学びの窓 新撰組の人々が生きた時代とは

どのような時代だったのでしょうか？



・Aは近藤勇、Bは土方歳三です。彼ら二人が中心となって新撰組をつくりました。

●新撰組がなぜ組織されたのか、当時の状況を踏まえて考えてみましょう。

(国立国会図書館蔵)

## 【公武合体派と尊王攘夷派の対立】

桜田門外の変後、幕府の実権を握った老中安藤信正は、幕府権威の回復と、朝廷との関係を密接にするために公武合体を推進し、孝明天皇の妹和宮を14代将軍徳川家茂の妻に迎えた。この結婚は攘夷派の反感をかい、1862(文久2)年、安藤は江戸城坂下門外で襲われ失脚した(坂下門外の変)。

幕府による公武合体策は失敗したものの、朝廷と幕府両方につながりをもつ薩摩藩には独自の公武合体構想があり、それを説いた島津久光の意見に基づき幕府は政治改革をおこなうこととなった(文久の改革)。この改革では一橋慶喜をはじめ、越前藩主松平慶永や会津藩主松平容保を重用し、参勤交代を3年に一度に減らす措置もとられた。このような動きに対し、長州藩の桂小五郎・高杉晋作らは、弱体化した幕府を倒して朝廷を中心に新しい政権を構築し、外国勢力を排除する尊王攘夷を主張した。彼らは急進派の公卿らに接近し、その結果、朝廷は幕府に攘夷期日の決定を迫り、やむなく幕府は1863(文久3)年5月10日に攘夷を実行すると約束した。この日、長州藩は下関で米・仏・蘭船に対して砲撃をおこなった。これに対して、薩摩・会津藩などの公武合体派は三条実美らの尊王攘夷派を一掃するクーデターを実行した(八月十八日の政変)。京都では再び公武合体派が実権を握り、京都守護職の松平容保の配下にあった新撰組は池田屋事件などで、尊王攘夷派を徹底的に弾圧した。

長州藩は京都での勢力回復をはかろうとして、翌年禁門の変を起こしたが、薩摩・会津藩連合に敗退し、尊王攘夷派は京都から一掃された。これを受け幕府が第1次長州征討をおこなうと、長州藩は戦わずして降伏し、藩論はいったん公武合体へとまとめられた。



増上寺安国殿の和宮像  
(港区芝公園、増上寺蔵)

### 【なぜ新撰組が結成されたのか】

1862（文久2）年幕府による公武合体策が坂下門外の変により失敗するなか、幕府は朝廷から攘夷実行を迫られ、将軍家茂を上洛させることとなった。当時の京都は、尊王攘夷を名目とする暗殺事件が頻発していたため、幕府は京都での将軍警護のための浪士募集をおこなった。これに応募したのが多摩の百姓出身で天然理心流の剣術修行をしていた近藤勇や土方歳三らであった。翌年2月上旬上京した近藤らは壬生浪士組を組織し、京都守護職のもと京都の治安維持にあたった。その後、浪士組は「新撰組」と改名し、池田屋事件などで尊王攘夷派を弾圧した。その後、戊辰戦争では旧幕府軍として甲陽鎮撫隊などを組織して戦ったが、相次ぐ戦いで新政府軍に敗れた。

### 【新撰組ゆかりの地を歩く】



日野宿本陣（日野市日野本町）

幕末に、その名をとどろかせた新撰組の中心人物の多くが多摩地域の出身である。局長の近藤は上石原村（現調布市）、副長の土方は石田村（現日野市）の出身、彼らは天然理心流という総合武術を通じて知り合った。中央線日野駅の近くにある「日野宿本陣」は当時名主であった佐藤彦五郎の家で、天然理心流の道場が設けられた。ここに近藤や土方、沖田総司など新撰組の母体となるメンバーが出稽古に訪れている。

近藤は新撰組では局長として池田屋事件などで尊王攘夷派を弾圧した。しかし、戊辰戦争では流山（千葉県）で捕らえられ、板橋宿に連行されて、斬首となった。近藤の生家跡に近い三鷹市の竜源寺には、近藤の墓と胸像があるが、JR板橋駅近くにも墓と像が立てられている。

近藤らと知り合った土方は、のちに新撰組副長として活躍したが、戊辰戦争の五稜郭の戦いで戦死した。多摩都市モノレール方願寺駅近くの土方の生家は現在土方歳三資料館となっており、その遺品を見ることができる。また、都立日野高等学校の北側の石田寺には、土方の墓と顕彰碑が立っている。このほか、町田市小野路にある小島資料館は、新撰組を援助した名主の小島鹿之助の家で、近藤の稽古着など数多くの遺品が残されている。



どくろの刺繍がある近藤の稽古着（小島資料館蔵）



近藤勇像（北区滝野川）



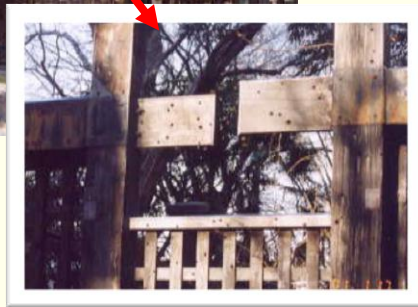
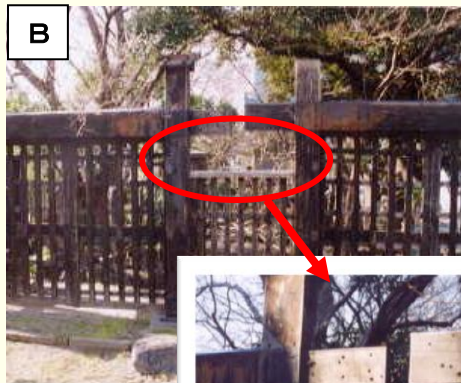
土方歳三資料館（日野市石田）

## 9-(2) 江戸城明け渡しと上野戦争

### 学びの窓 上野の山でなぜ戦いが起きたのでしょうか？



「彰義隊奮戦の図」(上野公園内案内板)



(円通寺提供)

- ・ Aは、上野の山に立てこもった彰義隊の戦いを表わしたものです。
- ・ Bは、Aに描かれた、かつて上野寛永寺にあった総門(通称黒門)です。

●この門に残る多数の弾痕は、どのような戦いの結果か、調べてみましょう。

### 【薩長同盟と大政奉還】

1862(文久2)年、薩摩藩は島津久光の行列を横切ったイギリス人を殺傷する生麦事件を起こし、翌年その報復としてイギリスから鹿児島への砲撃を受けた(薩英戦争)。外国の実力を知った同藩の西郷隆盛・大久保利通らは藩論を倒幕に転換していった。

一方、長州藩も関門海峡の封鎖を続けていたが、1864(元治元)年に、英・仏・蘭・米の四国艦隊から下関を砲撃される事件を経験し、攘夷の無謀さを知った。同藩の桂小五郎・高杉晋作らは奇兵隊など諸隊の軍事力を用いて保守派を一掃し、倒幕へと藩論を転換した。このような長州藩の動きに対して幕府は、第2次長州征討を宣言した。1866(慶応2)年に、薩長両藩の下級武士と通じていた土佐藩出身の坂本龍馬は中岡慎太郎とともに倒幕の実現のための提携を両藩へもちかけ、薩長同盟を成立させた。そのため、薩摩藩は幕府が計画した第2次長州征討に参加せず、戦局は幕府軍に不利に展開し、幕府は将軍徳川家茂の死去を理由に撤兵を余儀なくされた。

同年、15代将軍に就任した徳川慶喜が、権力を強化しようとするなか、倒幕を望まなかった孝明天皇が死去した。翌年慶喜は、公武合体の立場をとった土佐藩の藩士後藤象二郎の働きかけで前藩主山内豊信(容堂)が提出していた建白を受け入れ、政権を朝廷に返上する大政奉還の上表を朝廷に提出した。



坂本龍馬像  
(国会図書館蔵)



西郷・勝の会見(聖徳記念絵画館蔵)

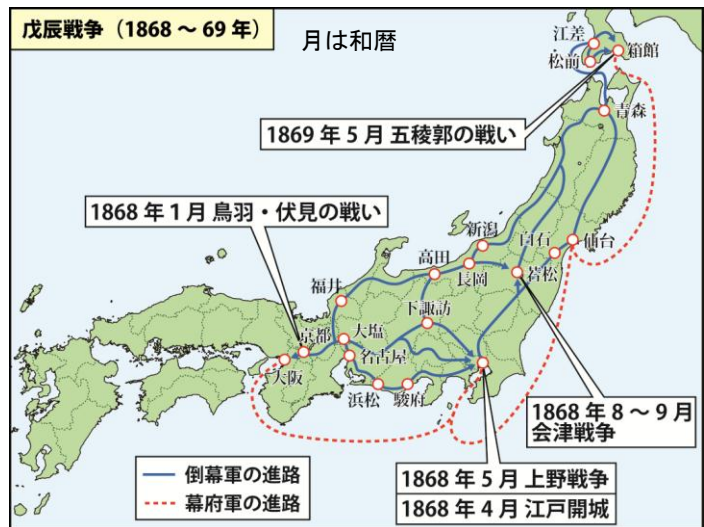


西郷・勝会見之地碑  
(薩摩藩江戸藩邸跡、港区芝)

## 【江戸幕府の滅亡と戊辰戦争】

徳川氏は大政奉還により政権は返上したが、依然として国内最大の勢力であった。そこで薩長両藩は、政治的主導権を握るため、1867（慶応3）年12月にクーデターを起こし、朝廷は**王政復古の大号令**を発した。幕府を廃絶し、天皇中心の新政府づくりが宣言され、**総裁・議定・参与の三職**がおかれた。三職を中心に開かれた**小御所会議**では慶喜に**辞官納地**（内大臣の辞任と領地の返上）を求める処分を決定した。これにより264年間続いた幕府は滅亡した。

これに対し、1868（明治元）年1月、旧幕府勢力は大坂城から攻めのぼり、**鳥羽・伏見の戦い**で新政府軍と戦ったが敗れ、慶喜は江戸に逃れた。しかし薩摩・長州を中心に慶喜を朝敵とする**東征軍**が結成され、江戸に向かった。4月、江戸城総攻撃を前に旧幕臣**勝海舟**と東征軍参謀西郷隆盛の会談が三田の薩摩藩邸でおこなわれ、江戸城は無血開城された。5月には東征軍に対して、上野で抵抗した**彰義隊**も鎮圧され（**上野戦争**）、旧幕府軍は東北に逃れた。東北諸大名は奥羽越列藩同盟を結成して新政府軍に抵抗したが次々と敗れ、9月にはその中心の会津藩も屈服した。翌年、旧幕府軍を率いて箱館の**五稜郭**に立てこもった旧幕臣**榎本武揚**らが降伏し、国内は新政府により統一された。この一連の内戦を**戊辰戦争**という。



### 【彰義隊と上野戦争】

彰義隊は、大政奉還後、上野寛永寺で蟄居していた將軍慶喜の助命を求める旧幕臣らが集まって結成された。1868（慶応4）年2月、彰義隊は上野寛永寺に徳川家の**霊廟**があるため、それを守る名目で、上野の山に立てこもった（**A**）。しかし、5月、**大村益次郎**を指揮官とする東征軍は最新のアームストロング砲や多くの銃器を使って総攻撃をおこない、彰義隊は1日で敗走する結果となった（上野戦争）。

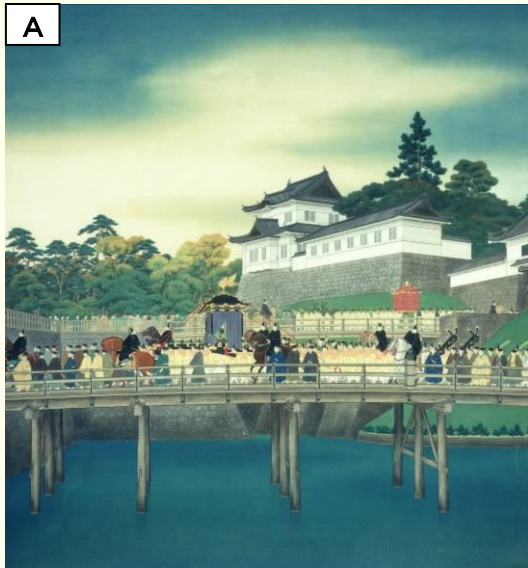
新政府は、彰義隊士の遺体の埋葬を禁じたが、荒川区南千住の**円通寺**の住職が引き取り埋葬した。円通寺には、彰義隊士の墓のほか、寛永寺から移築された**黒門**（**B**）がある（上野公園にも彰義隊の墓はある）。この黒門は、寛永寺の総門として上野の山の入り口にあつたため、上野戦争の主戦場となり、銃による多数の弾痕が残っている。**C**は日暮里駅近くの**経王寺**（荒川区西日暮里）の門に残る弾痕で、上野戦争での銃撃戦が広範囲におよんでいたことを物語っている。

また、**D**は靖国神社（千代田区九段北）の大村益次郎像で、**陣羽織**を着て**双眼鏡**を持つこの姿は、上野戦争の指揮官であった当時の姿を模したと伝えられている。



## 10- (1) 江戸が東京になった日

### 学びの窓 江戸はなぜ東京とよばれるようになったのでしょうか？



「天皇の東京御着輦」(聖徳記念絵画館蔵)



- ・ **A**は、1869 (明治2) 年に明治天皇が京都から東京に来たときの絵です。
- ・ **B**は、**A**の絵と同じ場所から見た現在の皇居です。

● 明治天皇が東京に行幸した背景を考えてみましょう。

#### 【明治新政府の発足】

戊辰戦争が進むなか、1868 (明治元) 年3月14日、明治天皇は「**五箇条の御誓文**」といわれるものを発表し、「公議世論の尊重」や「開国和親」などの基本方針を示した。

また、翌日には民衆に対して「徒党・強訴の禁止」や「キリスト教の禁止」など旧幕府の政策を受け継いだ**五榜の掲示**を掲げた。閏4月には五箇条の誓文を具体化した**政体書**を出し、三職に代わる**太政官**を中心とする政治体制 (太政官制) を整えた。

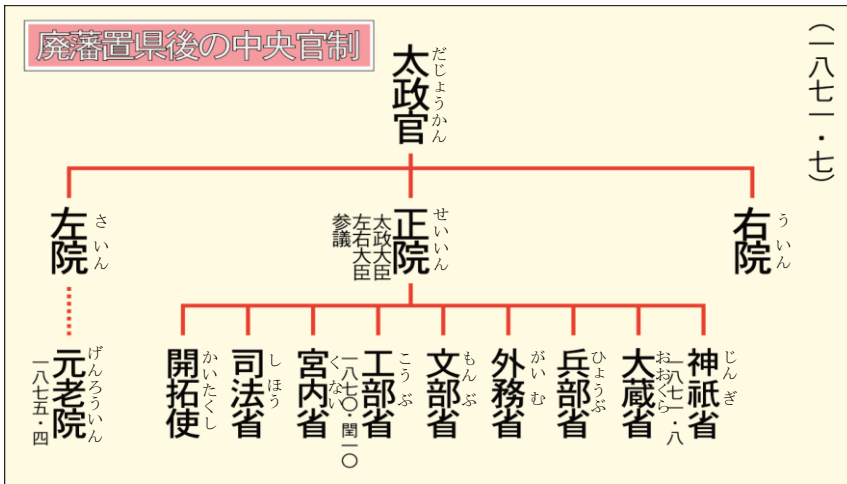
7月、明治天皇から「江戸を東京と定める」という詔書が発令され、江戸は東京と改められ、9月2日には東京府庁が開庁した。同月、明治と改元し、以後は天皇一代につき元号一つと定めた (**一世一元の制**)。



五箇条の御誓文 (聖徳記念絵画館蔵)

#### 五箇条の御誓文

- 一、広く会議ヲ興シ<sup>①</sup>万機公論ニ決スベシ
  - 一、上下心ヲ一ニシテ盛ニ<sup>②</sup>経綸ヲ行フベシ
  - 一、官武一途庶民ニ至ル迄各其志ヲ遂ゲ人心ヲシテ倦ザラシメン事ヲ要ス
  - 一、旧来ノ<sup>③</sup>陋習ヲ破リ天地ノ公道ニ基クベシ
  - 一、智識ヲ世界ニ求め大ニ<sup>④</sup>皇基ヲ振起スベシ
- 注①政治上の多くの重要な事柄②国家を治める施策③悪習④天皇を中心とした国家の基礎



イタリア人画家キョッソーネが描いた明治天皇の肖像画

【首都は「大坂」「京都」か、それとも「江戸」か】



月岡芳年「東京府京橋之図」(東京都立中央図書館蔵)

この絵は東京の京橋付近(中央区)の行幸の様子を描いたものとされている。

上の錦絵は明治天皇が京都から東京に行幸する様子を描いたものとされている。王政復古の  
 大号令によって新政府は誕生したが、首都を東京にすることは簡単には決まらなかった。

1868(明治元)年、大久保利通は大坂遷都の意見書を太政官に提出した。しかし、これは保守派から反対され、すぐに廃案になった。これに対し、前島密が世界の大都市でもある江戸に遷都すべきとして「江戸遷都論」を出し、その後、大木喬任や江藤新平らによって「東西両都」の建白書が提出され、この案が採用された。そのため西の「京」に対し、江戸を「東の京」=東京とし、同年10月、明治天皇は東京に行幸した(東京行幸)。東京の人々はこの東幸を盛大に祝福した。これに対し、京都などでは「東京に遷都するのではないか」という不安や動揺が高まったため、同年12月天皇は一度京都へ戻った。しかし、その後太政官が東京へ移ったため、翌年3月明治天皇も東京へ行幸した。その後、天皇が京都へ戻ることはなく、事実上、都は東京へ移った。東京遷都の理由は、前島などの意見によれば「江戸は世界のほかの首都と比べても見劣りしない100万人の大都市であるとともに、大名屋敷が多かった江戸は大坂よりも都市改造をするのに都合が良かった」からとされている。

## 10-(2) 東京府の誕生

## 学びの窓 明治維新後、江戸時代の大名たちはどこに住んだのでしょうか？



- ・左の写真は、目黒区の駒場公園にある旧前田利為侯爵邸（目黒区駒場）です。この建物は、前田家がそれまで住んでいた文京区本郷からこの地に屋敷を移した際に建てられたものです。
- ・現在は東京都が所有し、さまざまな形で活用されています。

●加賀の大名だった前田家の屋敷がなぜ東京にあるのか、考えてみましょう。

### 【版籍奉還と廃藩置県】

新政府が成立したあとも依然として各藩では藩主が藩を統治する状態が続いていた。そこで、木戸孝允（桂小五郎）や大久保利通らは、政府が直接全国を支配する中央集権国家の確立をめざした。1869（明治2）年1月、薩長土肥の4藩主が領地（版）と領民（籍）の返還を願い出て、その他の藩もこれに続いた（版籍奉還）。しかし、旧藩主はそのまま知藩事に任命され、徴税権や軍事権ももっていたため、旧領地と旧藩主の関係に大きな変化はなかった。



廃藩置県（聖徳記念絵画館蔵）

そこで、1871（明治4）年2月政府は薩長土3藩から約1万人の兵を東京に集め御親兵を組織し、7月にこの武力を背景にして廃藩置県を断行した。その際、旧藩主は知藩事を罷免され東京に居住することが義務づけられた。廃藩置県にあたり財政危機に直面するまでふくらんだ藩の債務を政府が肩代わりしたため、旧藩主の大きな抵抗もなく、また旧藩主にはその後も俸給である秩禄と華族の身分が保障された。こうして旧領地を離れた旧藩主たちは東京に居宅を建てることになった。そして、東京・大阪・京都の各府には府知事が、県には県令（のちの県知事）が政府から派遣され、この結果、藩体制は完全に解体されて、中央集権国家の仕組みが完成した。



## 【徴兵制と四民平等】

中央集権体制を確立した政府は、軍隊制度の統一と近代化をめざした。1872（明治5）年山県有朋<sup>やまがたありとも</sup>によって徴兵告諭<sup>ちようへいこくゆ</sup>が出され、翌年徴兵令が公布された。これにより身分に関係なく満20歳以上の男性に兵役の義務<sup>へいえき</sup>が課せられ、国民皆兵の原則による近代的な軍隊制度が創設された。しかし、官吏<sup>かんり</sup>や戸主<sup>こしゆ</sup>、代人料270円を納めた者などは兵役が免除<sup>めんじよ</sup>され、実際に兵役についた者は農家の二、三男などが中心であった。

また、封建的な身分制度を廃止し、大名・公家などを華族、武士などを士族、農民・商人などを平民とした。さらに、1871（明治4）年4月に解放令を出して、かわた（えた）<sup>ひにん</sup>・非人の称を廃止し、身分や職業などは平民と同じとしたが、その後も経済的・社会的な差別は残された。

しかし、その後も政府は華・士族に対して秩禄を与えており、経済的負担となっていた。そのため1876（明治9）年にこの秩禄を撤廃する秩禄処分<sup>しよぶん</sup>をおこなった。

## 【地租改正】

1872（明治5）年、政府は江戸幕府によって出された田畑永代売買<sup>でんばたえいたいばいばい</sup>の禁令<sup>きんれい</sup>を廃止し、土地の自由売買を認めて地価を定め、土地所有者に対して地券を交付し、その土地の所有者を明確にした。そして翌年に地租改正条例<sup>ちそくかいせい</sup>を公布し、豊作・凶作<sup>ほうさく きょうさく</sup>にかかわらず地価の3%を地租として金納させることとした。この地租改正は、従来の年貢による収入を減らさない方針であったため、土地所有者の負担は当面は今までと変わらず重いものであった。そのため、全国各地で地租改正反対一揆<sup>いちげん</sup>（1876（明治9）年）が起こり、政府は地租を3%から2.5%に引き下げた。なお、地主と小作人の関係は江戸時代と変わりなく、小作人は重い小作料を現物で地主に納めなければならなかった。



「徴兵免役心得」

（毎日新聞社提供）

徴兵には徴兵免役の規定があった。その規定により徴兵から逃れるための手引書まであらわれた。

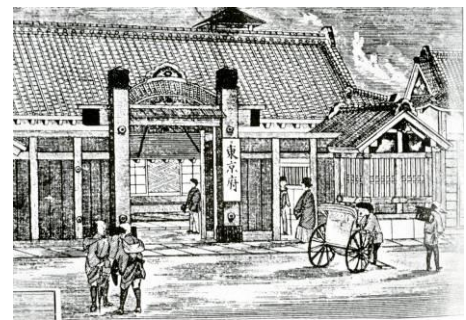
## 【東京府と東京市の成立】

1868（明治元）年7月に江戸が東京と改称されると「江戸府」は「東京府」と改められ、旧南町奉行所<sup>しつむ</sup>で執務が開始された。9月には現千代田区内幸町<sup>うちさいわいちょう</sup>にあった旧郡山藩邸<sup>こおりやま</sup>を東京府庁舎に選定し正式に「東京府」が誕生した。

1878（明治11）年「郡区町村編制法」の制定により東京府は、15区6郡制となった。このとき、多摩地域は東・西・南・北の4郡に分かれていたが、東多摩郡のみが東京府に編入され、ほかの3郡は神奈川県に編入された。

1889（明治22）年「市制・町村制」が施行されると15区の範囲が「東京市」となった。しかし市制特例のため、市の自治的活動は留保された。

多摩地域については東京の重要な水源として、早くから東京への編入運動が起こっていたため、1893（明治26）年帝国議会で多摩3郡の東京府移管法案が通過した。これにより、東京府は1市15区9郡となったが、1896（明治29）年に東多摩郡と南豊島郡が合併して豊多摩郡が誕生したため、東京府は1市15区8郡となった。そして1898（明治31）年市制特例が廃止されて、地方団体としての東京市が成立した（P113 参照）。



最初の東京府庁舎

（『都市紀要』東京都公文書館蔵）

## 11- (1) 汽笛一声新橋を……♪

### 学びの窓 鉄道はどのようにして開通したのでしょうか？



つきおかよしとし たかなわてつどうのず  
月岡芳年「高縄鉄道之図」(港区立港郷土資料館蔵)



日本で最初の鉄道の開業式：ミカドの到着  
(『描かれた幕末明治』雄松堂書店)

・Bは、鉄道開業式に臨む明治天皇の姿で、その横には大勢の外国人の姿が見られます。

●海上につくられた線路を走行する蒸気機関車や外国とのかかわりを踏まえ、鉄道開通の背景について考えてみましょう。

#### 【上野で開かれた内国勸業博覧会】

地方行政や勸業を所管した内務省は、民間企業育成のため模範工場を建設するなど殖産興業に力を入れた。なかでも大久保利通はウィーン万国博覧会をモデルにして内国勸業博覧会を計画し、1877(明治10)年上野公園で開催された第1回の博覧会には会期102日で45万人を超える入場者があったといわれている。5年後の第2回博覧会ではガス灯が人気をよんだ。



第1回内国勸業博覧会「機械館之図」  
(東京国立博物館蔵)

#### 【交通・通信網の整備】

1872(明治5)年に新橋・横浜間に初めて鉄道が開通した。こののち、大都市と開港場を結ぶ鉄道がつくられていった。しかし、当初の鉄道敷設は政府の資金不足から日本鉄道会社などの民間が中心となって事業を推し進めた。また、当時最も重要な貨物輸送手段である海運への蒸気船導入整備にも、三菱を保護するなどして着手した。東京の交通機関としては、1882(明治15)年から東京馬車鉄道会社が、新橋・上野・浅草などで営業を開始した。この会社はのちに東京電車鉄道となり、電気鉄道(路面電車)を開業した。このように明治に入り鉄道などの移動手段ができ、人々の行動範囲は拡大していった。このほか、前島密の意見により郵便制度が生まれ、電信線も敷かれるなど通信設備も整備された。また、政府は蝦夷地を北海道と改称し、開拓を進めたほか、駒場農学校や三田育種場をつくって西洋の農業技術の導入もはかった。

### 【日本最初の鉄道】

1899（明治32）年に発表された「鉄道唱歌」の一番の歌詞は、下記のように新橋駅から始まっている。これは日本最初の鉄道が1872（明治5）年に新橋・横浜間に開通したためである。工部省は鉄道発祥国であるイギリスの援助のもとエドモンド・モレルをまねいて、鉄道建設に着手した。日本側からは井上勝が鉄道頭に就任した。枕木は当初鉄製のものを輸入する予定であったが、「森林資源の多い日本では木材を使用した方が良い」とのモレルの進言から、国産の木材による枕木となった。

当時の路線図を見てみると、東海道から海沿いに海へ渡しをつけて海上に線路をつくっている。これは、鉄道敷設への反対運動に対応したりするなどの必要があったためである。新橋・横浜間約29kmのうち3分の1にあたる約10kmがこのように海上に線路が設けられている。

1872（明治5）年の開業時の列車本数は1日9往復、新橋から横浜までの所要時間は53分であった。



「明治東京全図」  
（都立中央図書館蔵）

#### 「鉄道唱歌」抜粋

汽笛一声新橋を  
はや我汽車は離れたり  
愛宕の山に入りのこる  
月を旅路の友として



復元された旧新橋停車場（港区東新橋）

### 【郵便制度を支えた前島密】

前島は、1円切手に肖像画が描かれている人物として知られている。1870（明治3）年郵便制度調査のためにイギリスに渡った前島は、翌年帰国して郵便頭に任じられ、1871（明治4）年郵便制度を創設した。それまでの飛脚制度とは違い、国営として全国一律の料金制度とした。彼は、「郵便」だけでなく、「切手」「はがき」といった用語もつくっており、「郵便の父」ともよばれている。また、1円切手は、記念切手を除いて現在唯一人物が描かれている切手である。

前島密が描かれている現在の1円切手（日本郵政HPから）



### 【ケルネル田圃と駒場農学校】

目黒区の都立国際高等学校近くにある駒場野公園（目黒区駒場）には、細長い田圃があり、ケルネル田圃とよばれている。これは、農業技術者を養成するために設立された駒場農学校（東京大学農学部の前身）の実習用の田圃で、お雇い外国人のドイツ人オスカー・ケルネルが化学肥料の調査に使ったことから、この名が残っている。



ケルネル田圃

## 11-(2) ガス灯がともる銀座

### 学びの窓 ぶんめいかいか 文明開化で東京はどのように変わったのでしょうか？



- ・ **A**は、中央区銀座3丁目にある「銀座ガス灯通り」のプレートです。
- ・ **B**は、明治期の銀座の様子を表わした錦絵です。

●当時の銀座がなぜ「赤煉瓦街」になったのか、その背景を踏まえ考えてみましょう。



歌川広重（三代）「東京名所之内 銀座通煉瓦造鉄道馬車往来図」（がす資料館蔵）

### 【文明開化】

政府は、積極的に欧米の諸制度や技術などを導入し、近代化を推進した。人々の生活でも「ザンギリ頭をたたいてみれば文明開化の音がする」という言葉に象徴されるように、男性には散髪が奨励され、洋服が公式の服装となるなど、欧米の生活様式を摂取する文明開化の風潮が現われた。

思想面では、人間は生まれながらにして自由平等であり、幸福を求める権利があるという天賦人権思想が唱えられ、福沢諭吉の『学問のすゝめ』などの啓蒙書も広まった。

宗教面では、神道を国教とするため神仏分離令が出され、仏教を排除する廃仏毀釈の動きが高まった。キリスト教については、五榜の掲示（5枚の高札）で禁止されたが、外国からの抗議により1873（明治6）年禁教の高札は撤廃された。

人々の生活を大きくかえたのは太陽暦の導入である。政府は1872（明治5）年にそれまでの太陰太陽暦から太陽暦に切り替え、その年の12月3日を明治6年1月1日に変更した。そして、1日24時間、



かながきるぶん あぐらなべ 仮名垣魯文『安患楽鍋』（岩波書店）

ざんぎり頭で洋服を着た男が牛鍋（すき焼き）を食べている様子。服装や食文化にも変化がみられた。

週7日制を採用し、日曜日を休日とする新しい時間の流れをつくった。このほか、人々の間では食生活において牛肉や牛乳をとるなどの洋風化が進んだ。東京の銀座通りには、煉瓦造の建物やガス灯が並び、人力車や鉄道馬車なども現われた。しかし、これらは一部の大都市の現象にとどまった。このような急速な西洋化のなかでも、民衆の間では**五節句**や**盂蘭盆**・旧正月など伝統的な慣習は保たれ、農漁村では旧暦が生き続けていた。

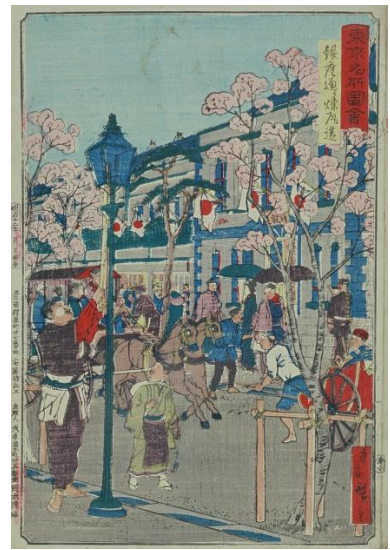
### 【銀座にガス灯がともる】

銀座3丁目に「ガス灯通り」があり、そこには1985(昭和60)年に復元されたガス灯4基がある。これは1874(明治7)年、銀座に立てられた85基のガス灯の一部を復元したものである。政府は欧米化をはかるため街灯を設置した。現在、JR浜松町駅そばの東京ガス本社前に「創業記念碑」がある。碑文には「…此地芝濱崎町ニ瓦斯製造所ノ建設セラレタルハ明治六(1873)年十二月ニシテ瓦斯供給ヲ開始シ、銀座街頭ニ瓦斯燈ヲ点灯シ、行人ヲシテ驚異ノ眼ヲ瞠ラシメシハ…」と記されており、石炭ガスはここから供給されていた。

当時のガス灯は、ロウソクの1.5倍の明るさであり、「点消方」とよばれた人が一人でガス灯50基ほどに約1時間かけて火をつけてまわり、朝になると消す作業をおこなっていた。また、1878(明治11)年設立の「新富座」では舞台照明にガス灯が用いられ、東京で初めて夜間興行がおこなわれた。



「創業記念碑」  
東京ガス本社  
(港区海岸)



歌川広重(三代)「東京名所図  
絵 銀座通り煉瓦造」  
(がす資料館蔵)

### 【銀座の煉瓦街】

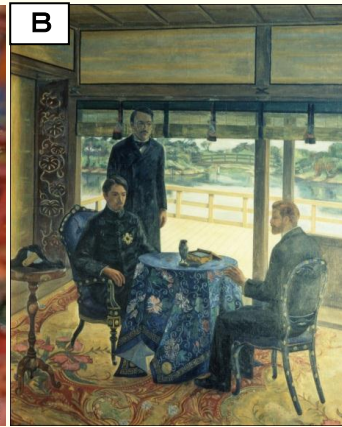
銀座に出現した煉瓦造の街並みは、明治初めの2回にわたる火災発生を受け、都市の不燃化をめざしてつくられた。1872(明治5)年、東京府は銀座を煉瓦で再建するよう布告を出し、お雇い外国人トーマス・ウォートルスの設計と区画整理により銀座煉瓦街を完成させていった。この政策は、火事の多かった東京への対策であるとともに、鉄道が開通した新橋と居留地である築地の間に位置する銀座を、文明開化の象徴とする意図もあった。これにより築地・新橋・横浜(桜木町)・横浜居留地の文明開化ラインを計画的に造成していった。翌年には銀座通り沿いに洋風2階建ての街並みがつくられはじめ、1877(明治10)年に完了した。しかし、この煉瓦造の街並みも関東大震災で壊滅してしまっ



現在の銀座の様子

## 12-(1) 日本の領土が決まった！

### 学びの窓 日本の領土はどのように決まったのでしょうか？



「グラント前大統領との会談」  
(聖徳記念絵画館蔵)

- ・ **A**は、中央区にある浜離宮 恩賜庭園です。江戸時代の6代将軍以降は将軍家のものでしたが、明治になると外国人の接待の場所として使われました。
  - ・ **B**は、第18代アメリカ大統領であったグラントが浜離宮で明治天皇と会っている様子です。このときグラントは、日本と清との間で起こっていた琉球王国の問題について調停の依頼を清から受けていました。
- 琉球王国をめぐる問題はどのような形で解決されたのか、調べてみましょう。

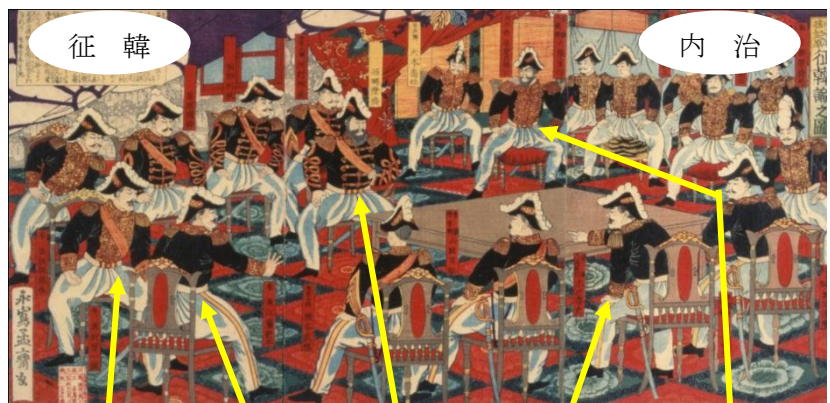
#### 【初期の国際問題】

明治初期の外交においては、条約改正が一番の課題であった。しかし、岩倉具視を全権として大久保利通や木戸孝允らを派遣した岩倉遣外使節団や外務卿の寺島宗則の改正交渉では、進展がみられなかった。

近隣諸国に対しては、1871（明治4）年に清と日清修好条規を結んだが、相互に領事裁判権を認める対等な条約であった。

鎖国をしていた朝鮮に対しては、政府が国交樹立を求めているが、拒否されていた。

1873（明治6）年、岩倉遣外使節団で政府の中心人物の多くが国内にいない状況のなか、西郷隆盛や板垣退助らは武力によって開国をせまる征韓論を唱えた。しかし、これは帰国した大久保らによって阻止され、実現しなかった。そのため、西郷や板垣は政府から



板垣退助 江藤新平 西郷隆盛 木戸孝允 岩倉具視  
歌川芳虎「西海騒揺起原 征韓論之図」(東京経済大学図書館蔵)

離れていった（明治六年の政変）。しかし、政府は1875（明治8）年、朝鮮の首都近くで起こった江華島事件を機に開国を迫り、翌年に日朝修好条規を結んで朝鮮を開国させた。この条約は日本の領事裁判権や関税免除を認めさせる、朝鮮にとっては不利な条約であった。

### 【琉球処分】

琉球王国は、江戸時代薩摩藩の島津氏と清との両属関係にあった。そこで政府は、琉球を日本領とするため、1872（明治5）年に**琉球藩**を置いて琉球国王を藩王としたが、清はこれを認めなかった。また、このころ台湾で琉球王国の漂流民が殺害される事件が起こり、その責任問題が日本と清の間でこじれ、1874（明治7）年日本は台湾に兵を送ることとなった（**台湾出兵**）。その後、この台湾出兵については、清が日本の正当な行動と認めた。ついで1879（明治12）年、政府は琉球藩と琉球王国を廃して**沖縄県**を設置し、日本の領土とした。こうした琉球の帰属にかかわる流れを**琉球処分**という。これを不服とした清は、前アメリカ大統領の**グラント**にその調停を依頼した。グラントは来日して、沖縄のうち宮古・八重山の先島諸島を清に譲渡するなどの案を提示したが、両国の合意には至らなかった。



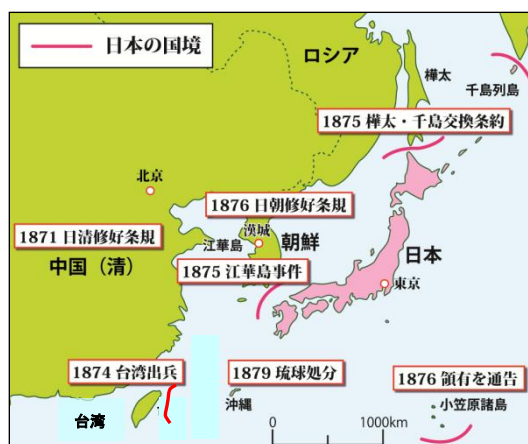
グラントが増上寺に植樹した「グラント松」  
(港区芝公園)

### 【領土の画定】

ロシアとの間で懸案となっていた樺太の領有については、日本はまず北海道の開拓を優先した。そのため、1875（明治8）年に**樺太・千島交換条約**を締結し、日露両国雑居の地であった樺太はロシアが、千島列島は日本が領有することとなった。

また、所属がはっきりしていなかった**小笠原諸島**について、1876（明治9）年内務省の管轄におき、日本の領土とした。こうして、明治初期の日本の領土は画定した。

なお、**尖閣諸島**については1895（明治28）年に日本の領土に編入し、**竹島**については遅くとも江戸時代初期にあたる17世紀半ばには領有権を確立していたが、1905（明治38）年に、閣議決定で領有する意思を再確認した。



明治初期の近隣諸国との外交と領土の画定

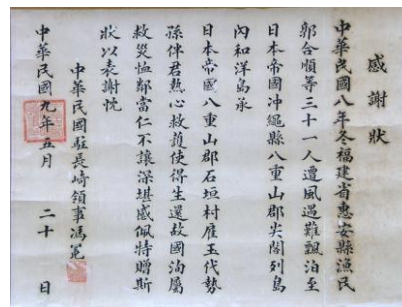
### 【領土をめぐる問題】

北方領土、尖閣諸島、竹島はいずれも歴史的にも国際法上も日本固有の領土である。

択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島からなる北方領土に関しては、日本はロシアに先んじて発見・調査し、遅くとも19世紀初めには実効的支配を確立していた。樺太・千島交換条約で日本領となった千島列島については、1951（昭和26）年のサンフランシスコ平和条約で、日本はその権利を放棄しているが、そもそも千島列島の中には北方領土は含まれておらず、現在ロシアによる不法占拠が続いている。

尖閣諸島に関しては、東シナ海における石油埋蔵の可能性が指摘されて以降、1970年代に入って中国及び台湾が領有権を主張し始めたが、1920（大正9）年に中国（当時は中華民国）が日本側に発出した感謝状には、中国が尖閣諸島を日本領と認識していたことを裏付ける記述がある。この感謝状は、1919（大正8）年12月に魚釣島近海で遭難した中国漁民を日本人が救助したことに對して、翌年5月に当時の中華民国駐長崎領事から送られたもので、遭難した漁民が漂着した場所が「日本帝国沖縄県八重山郡尖閣列島」と明記されている。2012（平成24）年4月に、東京都が民間人所有の魚釣島など三島を購入することが発表されると、全国から約15億円の寄附金が集まった。同年9月、日本政府がこれら三島を購入し、所有権を国に移転した。

竹島に関しては、サンフランシスコ平和条約の起草過程で、韓国は日本が放棄すべき領土に含めるよう要請した。しかし、アメリカは、竹島に関して、「朝鮮の一部として取り扱われたことが決してなく、1905年頃から日本の島根県隠岐島支庁の管轄下にある。この島は、かつて朝鮮によって領有権の主張がなされたとは見られない。」と回答し、韓国の要請を拒否している。



中華民国駐長崎領事の感謝状  
(沖縄県石垣市八重山博物館蔵)

## 12-(2) ゆらぐ新政府

## 学びの窓 おおく ぼとしみち 大久保利通はなぜ暗殺されたのでしょうか？



(鹿児島県歴史資料センター黎明館蔵)



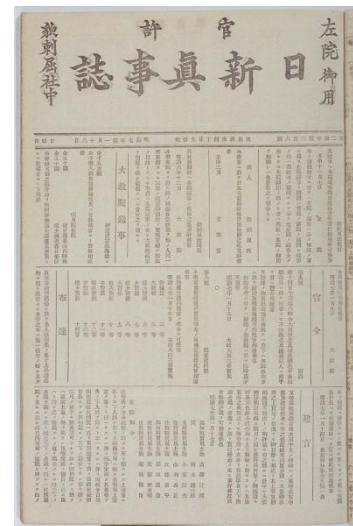
- ・ **A** の写真の人物は、大久保利通です。
- ・ **B** は、千代田区紀尾井町の清水谷公園にある大久保公哀悼碑です。大久保がこの公園前の紀尾井坂で暗殺されたため、立てられました。
- 大久保が暗殺された理由を、自由民権運動の状況を踏まえて考えてみましょう。

### 【自由民権運動と新政府への抵抗】

征韓論を主張していた西郷隆盛・板垣退助・江藤新平らが政府を去ると、大久保利通が政治の実権を握った。一方、板垣らは民撰議院設立建白書を政府に提出して、有司（官僚など）らが政権を独占している現状を批判し、国会を開くよう要求した。この建白書が『日新真事誌』に掲載されると、大きな反響をよび、議会をすぐに開催すべきかをめぐる本格的な論争が展開されることになった。こうして自由民権運動が始まった。

1874(明治7)年、板垣は高知で立志社を設立し、全国の同志に国会開設の運動をよびかけた。このような動きに対して、翌年大久保は、政府から離れていた板垣や木戸孝允が主張する憲法を基本とする政治体制の確立を受け入れ、二人を政府に復帰させた。そして同年漸次立憲政体樹立の詔が出されると、1880(明治13)年には国会期成同盟が結成されるなど、国会開設の要求が強まっていった。

これに対して同年政府は集会条例を公布し、結社・集会を警察の許可制として取り締まった。しかし、自由民権を求める士族や豪商は、地租の軽減を求める豪農とともに各地で政社をつくり、政治活動に取り組んだ。



建白書を伝える『日新真事誌』  
(国立国会図書館蔵)



### 【西南戦争】

士族のなかには、秩禄処分や廃刀令により、自分たちのもっていた特権がなくなると、政府に対して反乱を起こす者もあった。とくに西日本では士族の反乱が多く、熊本の敬神党（神風連）の乱、福岡の秋月の乱、山口の萩の乱が相次いで起こったが、いずれも政府によって鎮圧された。

各地の士族の反乱が鎮圧されるなか、鹿児島に帰っていた西郷が約4

万人の士族とともに起こした最大規模の士族の反乱が西南戦争（1877（明治10）年）である。近代兵器を装備した政府軍は、西郷軍を破り、これを最後に不平士族による反乱はおさまった。



「鹿児島県城山戦争之図」（鹿児島市立美術館蔵）

### 【紀尾井坂の変】

1878（明治11）年、大久保が有司専制政治を批判する島田一良らによって紀尾井坂（千代田区）で暗殺された。大久保の墓は東京の青山霊園にある。

なお、紀尾井坂は江戸時代には尾張徳川家（現上智大学）、南側に紀州徳川家（現清水谷公園など）、彦根藩井伊家（現ホテルニューオータニ）の屋敷があったことから、その名がついている。当時、政府要人が襲撃される事件が相次いで起こり、この事件の4年前には紀尾井坂近くの赤坂喰違見附で、岩倉具視が襲われる赤坂喰違の変も起こっている。



青山霊園の大久保利通の墓  
（港区南青山）



切絵図「麹町永田町外桜田絵図」（東京都立中央図書館蔵）

## 13- (1) 紙幣で金貨が買える時代

### 学びの窓

金融制度はどのように整備されたのでしょうか？



(日本銀行貨幣博物館蔵)

- ・ **A**は、北区王子の飛鳥山公園内の渋沢栄一の像です。渋沢は、「日本資本主義の父」といわれました。
- ・ **B**は、最初の日本銀行券で、「銀兌換券」ともいわれています。

●金融制度の確立と自作農の没落がどのように関係しているのか考えてみましょう。

### 【金融制度の確立と松方財政】

明治に入り金融制度も大きく変更された。

1871（明治4）年、金本位制を前提とする新貨条例が定められ、円・銭・厘の新硬貨がつけられた。そこで、政府は兌換制度（紙幣と金銀を交換できる制度）を確立するため、1872（明治5）年に渋沢栄一が中心となって国立銀行条例を定め、翌年第一国立銀行を設立した。

しかし、実際にはそれまで大量に発行した不換紙幣（金貨や銀貨に交換できない紙幣）が主として使われており、経営は困難で兌換銀行券の発行は行きづまった。そのため、1876（明治9）年には国立銀行の兌換義務がなくなり、不換銀行券も発行できるようになった。そのうえ、西南戦争の戦費のため不換紙幣が増発されるとインフレーションが起り、物価が高騰した。

そこで、1881（明治14）年、大蔵卿となった松方正義は、翌年に通貨発行権を独占する中央銀行として日本銀行を設立した。これにより、銀兌換の紙幣が発行されるようになった。



第一国立銀行設立地にある「銀行発祥の地」のプレート  
(中央区日本橋兜町)



新貨条例による新紙幣  
(明治通宝札)

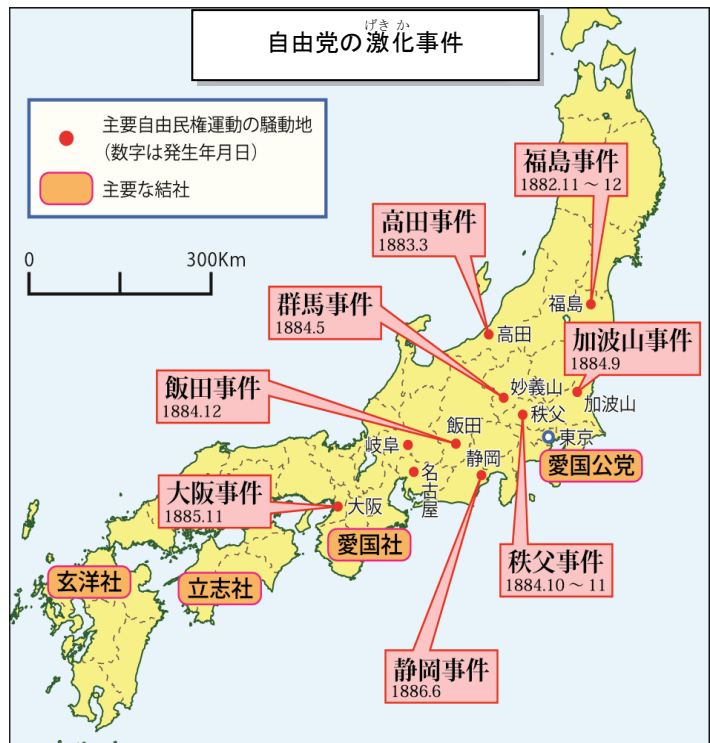


民部省札・太政官札  
(明治維新直後の紙幣)

(日本銀行貨幣博物館蔵)

また、松方は酒税・煙草税等の増税、醤油税・菓子税などの新しい税の創設によって歳入の増加をはかる一方、軍事費以外の歳出をおさえた（松方財政）。このように不換紙幣を整理して、金・銀の正貨をたくわえる政策をとった結果、流通する紙幣は減り、物価が下がるデフレーションとなった。これにより農村では、米・繭などの農産物の価格が下落したうえ、大增税と定額の地租の負担が重く、納税に困る農民のなかには、滞納や借金<sup>ていとう</sup>の抵当として土地を取られる者が続出した。

こうした状況のなかで、自作農は小作農へ没落したり、離村したりする者が増加した。この結果、没落した農民たちは一部の自由党員などと結び、政府に対して過激な行動を起こすようになった。一方で、田畑を買い集めたり、高利貸しの担保にとったりした地主のなかには、耕作をせずに小作料に依存する寄生地主となる動きも進んでいった。



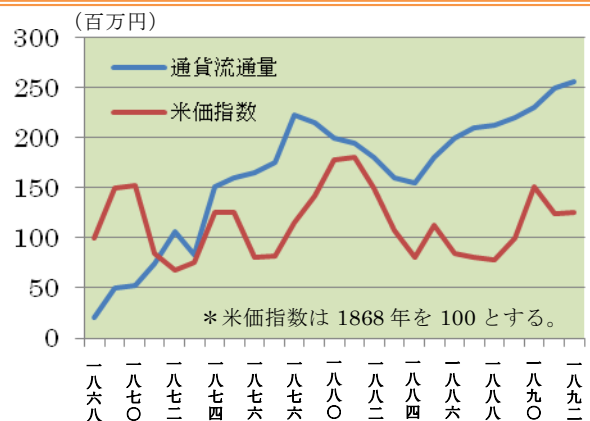
### 【企業勃興】

1884（明治17）年ごろから、政府は軍事・鉄道関連以外の官営事業を安価で払い下げた。政府から厚く保護され、払い下げを受けた三井・三菱などの政商<sup>せいしょう</sup>は産業資本家として成長し、資本主義成立の基礎をつくっていった。1880年代後半には、鉄道業や綿糸紡績業などに次々と会社が設立される企業勃興とよばれる状況になり、近代的諸産業が急速に発展し始めた（産業革命）。しかし、会社乱立による資金需要が急増したため、1890（明治23）年ごろには最初の恐慌<sup>きょうこう</sup>が起こった。

### 【自作農の没落】

政府は1877（明治10）年の西南戦争の戦費をまかなうために、銀行からの借り入れと予備紙幣の発行をおこなった。そのため紙幣の流通量が増加し、インフレーションが起こった。当時、政府のおもな税金は定額の地租（地価の2.5%）であり、インフレが起こると実質的な税収は減ることとなった。

しかし、松方が大蔵卿に就任し松方財政とよばれる財政政策を1882（明治15）年から始めると、右のグラフにあるように急激に米価指数が下降していった。米価の下降によりインフレ期には潤っていた自作農は定額地租の負担に苦しみ、小作農に没落していった。



通貨流通量と米価指数の推移  
室山義正『松方財政と殖産興業政策』（国際連合大学）

## 13-(2) 三多摩に広がった自由民権運動

### 学びの窓 みんけんけっしゃ 民権結社や民間の憲法はなぜつくられたのでしょうか？



自由民権資料館 (町田市野津田町)



深沢家土蔵 (あきる野市深沢)

- ・ Aは、町田市にある自由民権資料館です。
  - ・ Bは、『五<sup>いつ</sup>日<sup>か</sup>市<sup>いち</sup>憲<sup>けん</sup>法<sup>ぽう</sup>草案』とよばれている、民間の人たちがつくった憲法案が発見された深沢家の土蔵です。
- 多摩にまでひろがった自由民権運動の背景とその展開を考えてみましょう。

### 【自由民権運動】

自由民権運動とは国民が憲法の制定、国会の開設、地租の軽減、言論の自由などを政府に求めた運動である。文明開化期における天賦<sup>てんぷ</sup>人権<sup>じんけん</sup>思想<sup>しそう</sup>の広まりは、国会開設などを要求する運動につながっていった。その運動のない手は、当初特権を失った士族<sup>しぞく</sup>が中心であったが、やがて豪農商に移り、そして一般の農民も参加するようになっていった。運動は政府の弾圧<sup>だんあつ</sup>や懐柔<sup>かいじゆう</sup>政策により内部分裂が起きたが、1890(明治23)年の国会開設ごろまで続き、その後は政党としての活動に移っていった。

自由民権資料館の地にあつた凌霜館<sup>りょうそうかん</sup>は、自由民権運動の初めのころに、当時自由党员で多摩郡野津田村(現町田市野津田町)出身の村野常右衛門<sup>つねえもん</sup>が青年たちの学習の場としてつくった民権結社の一つである。一時は100名を超える青年たちが集まって政治の学習をおこない、新聞記者をよんでの演説会も開かれた。



自由民権の碑 民権の森(自由民権運動の指導者石坂昌孝屋敷跡、町田市野津田町)にあり、北村透谷<sup>きたむらとうこく</sup>と石坂昌孝<sup>いしがまさたか</sup>の娘美那子<sup>みなこ</sup>の出会いの地である。



村野常右衛門宅 (町田市野津田町)

## 【五日市憲法】

国会開設の要求が高まるなかで、1881（明治 14）年に開拓使官有物払下げ事件が起こった。これは、北海道の開拓にあたっていた開拓使の長官黒田清隆が同じ薩摩出身であった五代友厚らに対し、開拓使の官有財産を格安で払い下げようとした事件である。これによりさらに民権運動は激しさを増し、政府内でも大隈重信が早期国会開設と払い下げ反対を唱えた。これに対し伊藤博文らの政府は、大隈を罷免するとともに払い下げを中止し、1890（明治 23）年をもって国会を開くことを公約する国会開設の勅諭を出した（明治十四年の政変）。

このように国会開設が約束されるなか、五日市（現あきる野市）では豪農らが「五日市学芸講談会」を結成して、政治や法律などを学習し、千葉卓三郎らが中心となり「日本帝国憲法」（五日市憲法）という憲法草案をまとめた。この案には、現在の日本国憲法に通じる豊かな人権保障

が規定されており、日本各地で憲法を求める機運が高まっていたことがうかがえる。民間で作成された憲法草案は私擬憲法とよばれ、植木枝盛が起草した「東洋大日本国憲法」では、政府が憲法に反したときには実力で抵抗できる抵抗権や新政府を樹立することができる革命権なども規定されていた。

民権運動がさかんであった三多摩（北・南・西多摩の 3 郡）は神奈川県に属していた。しかし、1893（明治 26）年多摩川や玉川上水を東京府の管理下に置くことをおもな理由に東京府に編入された。



三多摩（北・南・西多摩郡）の位置

## 【北村透谷と「幻境の碑」】

明治期、雑誌「文学界」などにロマン主義文学を発表して脚光を浴びた北村透谷は、東京専門学校（現早稲田大学）在学中に自由民権運動に傾倒した。透谷は、自由民権運動がさかんであった多摩に入り、三多摩の自由民権運動の中核であった石坂昌孝と親交を深め、川口村（現八王子市上川町）の豪農秋山国三郎の家に寄宿して活動に専念している。透谷は、この川口村を「幻境」とよび、多摩を希望の故郷とした。現在この地には透谷と秋山の交友を讃えた「幻境の碑」が立てられている。その後、透谷は、昌孝の娘美那子と結婚しているが、25 歳で短い生涯を閉じている。



幻境の碑（八王子市上川町）

## 14-(1) 日本に近代憲法が發布された日

### 学びの窓 明治政府はどのような憲法をつくったのでしょうか？



- ・ **A**は、JR 総武線信濃町駅近くにある明治記念館敷地内の憲法記念館の碑（港区元赤坂）です。
  - ・ **B**は、**A**の明治記念館本館「金鶏の間」の内観です。この建物は伊藤博文に譲られましたが、1918（大正7）年現在地に移築されたものです。
- 憲法制定に伊藤博文はどのような役割を果たしたのか、調べてみましょう。

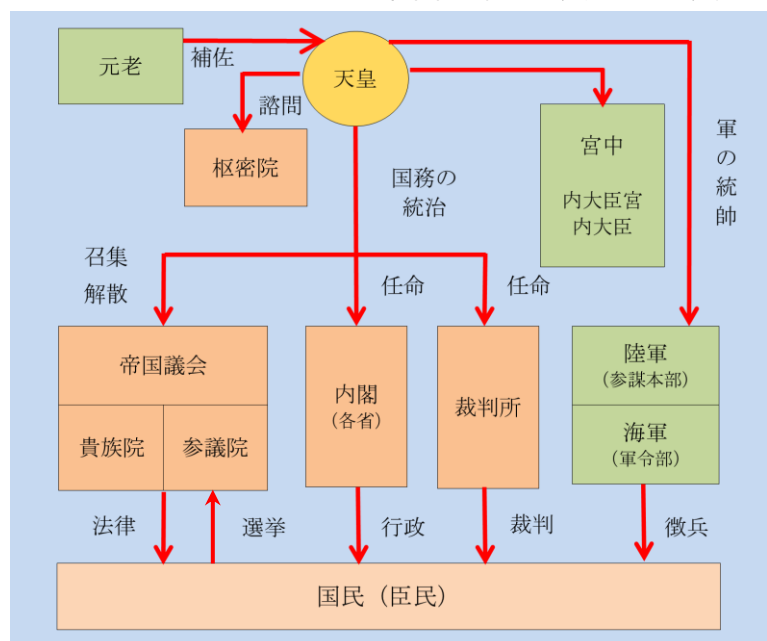
#### 【大日本帝国憲法】

1876（明治9）年から政府は元老院で憲法の起草を始めた。1881（明治14）年には、大隈重信がイギリス流の政党内閣制を提案したが、岩倉具視や参議の伊藤博文はこれを批判し、君主の権限が強いプロイセン型の憲法をつくることをめざした。1882（明治15）年伊藤らは渡欧して、プロイセン王国の憲法やその運用の仕方や議会と政府との関係、官僚機構などを学び、翌年帰国すると本格的に憲法制定の準備に取りかかった。



枢密院会議（聖徳記念絵画館蔵）

政府は、1884（明治17）年に華族令を定めて将来の貴族院の土台をつくり、翌年には太政官制を廃止して内閣制度を創設し、伊藤が初代の総理大臣に就任した。そして政府顧問のロエスレルの助言を得ながら、憲法の起草を始めた。その後、1888（明治21）年枢密院を設置して、この憲法と皇室典範の草案を審議し、1889（明治22）年2月11日、大日本帝国憲法を發布した。これにより日本は、アジアに先駆けて近代的な立憲国家となった。当時、本格的な立憲政治



大日本帝国憲法下の国家機構

は欧米以外では成立しえないといわれていたため、イギリスの新聞『タイムズ』は「東洋の地で、周到な準備の末に議會制憲法が成立したのは何か夢のような話だ。これは偉大な試みだ」と論評した。大日本帝国憲法では、天皇が神聖不可侵とされ、国の元首として統治権のすべてを握るなど、幅広い権限が与えられた（**天皇大権**）。これらの権限については、國務大臣の補佐や議會の同意などにより行使される立憲君主制の原則が明記された。このうち、陸海軍を握る**統帥権**も天皇に直屬していた。また、三権分立制をとっていたが、國務大臣は議會ではなく天皇に対して責任を負うなど、議會より政府の権限が強力であった。

また、「臣民」とされた国民は、法律の範囲内で所有権の不可侵、信教・言論・出版・集会・結社の自由が認められ、国政への参加の道もひらかれた。

### 【諸法典の整備】

地方の整備は内務大臣山県有朋とドイツ人の**モッセ**によって進められ、1888（明治21）年に市制・町村制、1890（明治23）年に府県制・郡制が公布され、地方政治のしくみが整った。

憲法以外にも、刑法・民法・商法などが欧米からまねいたお雇い外国人の指導のもとで制定されていた。しかし、フランス人法学者**ポアソナード**が起草した民法は、欧州の個人主義的思想が強く表われていたため**民法典論争**に発展し、結果として家族制度を重視した戸主が強い権限をもつ新民法がつけられた。



憲法発布の式典（聖徳記念絵画館蔵）

法典名	公布年	施行年
刑法 ☆	1880	1882
治罪法	1880	1882
大日本帝国憲法 ☆	1889	1890
皇室典範	1889	1890
刑事訴訟法 ☆	1890	1890
民事訴訟法 ☆	1890	1891
民法 ☆	1890	延期
商法 ☆	1890	1893
(修正)民法	1896~98	1898
(修正)商法	1899	1899

おもな法典の制定

☆はいわゆる六法

### 【神宮にある大日本帝国憲法関連の史跡を巡る】

明治記念館の現在の本館は、1881（明治14）年赤坂離宮（現迎賓館）の地に建てられたもので、1888（明治21）年枢密院による大日本帝国憲法審議の會議が開かれた会場ともなった。そこで、この憲法制定の中心であった伊藤に対して1908（明治41）年に譲られ、「恩賜館」として品川区に移築保存されていた。1918（大正7）年に伊藤家から明治神宮に「恩賜館」が献上され、現在の地に移築されて**憲法記念館**と改称されている。

また、明治記念館から神宮外苑に入り、イチョウ並木に向かう途中に「御観兵榎」（現在の木は2代目）が立っている。この名称は、1889（明治22）年2月11日に憲法発布観兵式がおこなわれた際、この榎近くに観兵のための天皇御座所が設けられたことに由来する。

なお、**C**は和田英作によって描かれた憲法発布式の様子で、これも神宮外苑内にある聖徳記念絵画館（新宿区霞ヶ丘町）で見ることができる。

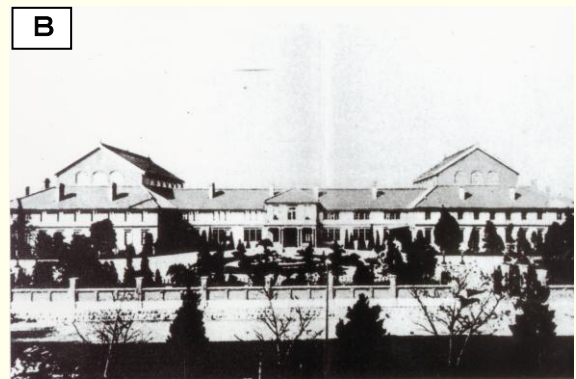
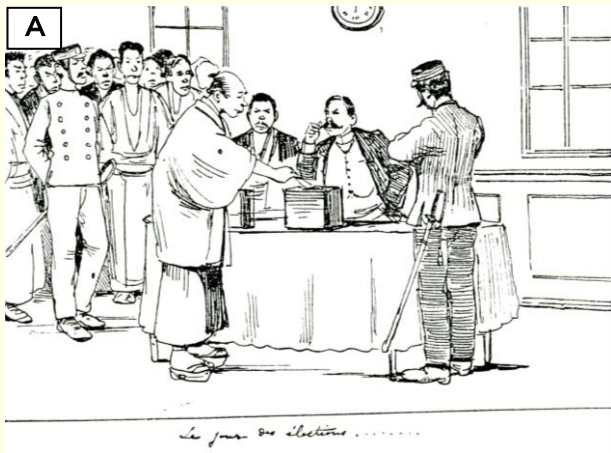


御観兵榎（港区）

## 14-(2) 東京で議会が始まった

### 学びの窓 帝国議会ではどのようなことが

話し合われていたのでしょうか？



(近現代フォトライブラリー)

『ビゴー素描コレクション1』(岩波書店)

- ・ Aは、第1回衆議院議員選挙の様子を描いた風刺画です。
- ・ Bは、第1回帝国議会が開かれた国会仮議事堂（日比谷）です。
- どのような人たちが選挙権を得たのか、また、東京府会・東京市会の歴史についても調べてみましょう。

### 【初期議会】

大日本帝国憲法により、貴族院と衆議院の二院からなる帝国議会が開設され、国民は衆議院の議員を選ぶことができるようになった。しかし、衆議院議員選挙法で選挙権はきびしく制限され、地租・所得税など直接国税を15円以上納める25歳以上の男子にしか選挙権は与えられなかった。

1890(明治23)年、第1回の総選挙がおこなわれ、立憲自由党や立憲改進黨などの自由民権運動の流れをくむ民党が、議席の多数を制した。同年11月に第1回帝国議会(第一議会)が開かれると、民党は「民力休養・経費節減」を唱え、軍備拡張を主張する政府と対立した。政府は民党の一部を切り崩して予算案を通過させ、この議会をのりきったが、両者の対立は1894(明治27)年に日清戦争が起こる直前まで続いた。



第1回帝国議会の様子(聖徳記念絵画館蔵)



### 【東京府会・東京市会の歴史】

政府は地方統治制度の整備をはかる目的で、1878（明治11）年に郡区町村編制法・府県会規則・地方税規則のいわゆる三新法を制定した。これらにより、府・県の下に区・郡をおき、さらにその下に末端の行政区画として江戸時代以来の町・村がおかれることになった。これにより「民意」を取り入れる府県会を制度化し、府県税や民費など複雑な諸税も地方税に統一して、府県財政の確立がはかられた。

東京では1878（明治11）年12月に第1回東京府会議員選挙がおこなわれ、福沢諭吉・福地源一郎（『東京日日新聞』主筆）・安田善次郎（安田財閥の祖）・大倉喜八郎（大倉財閥の祖）らが選出されている。このとき、芝区（現在の港区の一部）では福沢がトップ当選を果たしている。翌年1月16日に49人の当選議員による第1回東京府会が開かれ、議長に福地、副議長に福沢が選出された。第1回帝国議会が開催されたのは1890（明治23）年のことであるから、それよりも11年も早く東京府会が開設されたことになる。また、当時の議場内には一般傍聴席や記者席が配置されており、発足当時から西洋流の開かれた議会のしくみが入り入れられていた。その後、1888（明治21）年に市制・町村制、1890（明治23）年に府県制・郡制が制定され、それぞれに議会を設置し、地方自治制度の確立がはかられたことで三新法は廃止された。



東京府庁内におかれた東京市役所  
『東京写真帖』（東京都公文書館蔵）



明治22年に発足した東京市会議事堂の様子  
（東京都『東京都政五十年史』から）

一方東京市会は、1889（明治22）年の東京市成立に伴い5月に第1回選挙が実施され、6月に60人の議員によって発足した。1898（明治31）年の市制特例廃止により、今まで府知事が兼務していた東京市長を市会が推薦できるようになり、市会の権限が強まった。その後、東京の発展とともに市会議員の定数は増加し、1943（昭和18）年の東京市会廃止時の市会議員の定数は180人にのぼった（当時の府会議員定数は112人）。

### 【都民の日は自治記念日】

**C**は、1989（平成元）年に旧東京市の成立100周年を記念して制定された東京都のシンボルマークで、「躍動・繁栄・潤い・安らぎ」を表現している。正式な「都章」は**D**であり、これは1889（明治22）年制定の東京市章を継承している。現在も使用されている都道府県章としては全国で最古のものである。江戸のイメージカラーである江戸紫の地に「日」「本」「東」「京」「市」の漢字5文字を図案化し「日本の首都・中心地」としての発展を願う意図が込められている。

また、「都民の日」である10月1日は、1898（明治31）年に市制特例が廃止され、それまで制限されていた東京市の自治権が確立した日に由来する。1922（大正11）年には「自治記念日」となり、1952（昭和27）年に「都民の日」となった。

**C**



**D**



## 15-(1) 日比谷鹿鳴館と舞踏会

### 学びの窓 舞踏会で踊っている人々はどのような人たちでしょうか？



『写真の中の明治・大正』（国立国会図書館蔵）

『貴顕舞踏の略図』（博物館明治村蔵）

『ビゴー素描コレクション2』（岩波書店）

- ・ **A**は、鹿鳴館という建物で、130年前に撮影されたものです。
  - ・ **B**は、この鹿鳴館で毎夜おこなわれた舞踏会の様子を描いた錦絵です。
  - ・ **C**は、当時日本にいたフランス人が、この舞踏会の様子を皮肉って描いたもので、左上の「名磨行」と書かれた漢字は「生意気」という意味です。
- 鹿鳴館をつくり、毎夜舞踏会を開く必要があった日本の外交政策とは、どのようなものだったのか、考えてみましょう。
- また、このような日本の外交政策を当時日本にいた外国人はどのような目で見ていたか、Cの絵を参考に考えてみましょう。

### 【条約改正の過程1－鹿鳴館が建てられた背景】

19世紀後半は、欧米列強による世界分割の時代であり、列強は軍事力・経済力を背景に、世界各地を植民地とし、独立国に対しては、自国に有利な条約を強要していった。日米和親条約では、日本側からアメリカ側にだけ一方的な最恵国待遇を認め、日米修好通商条約では、日本の関税自主権は認められず、相手国の領事裁判権を承認した。

このため、関税率は外国側に有利なように低めに設定され、外国から安価な綿織物などが大量に流入し、国内の産業が大きな打撃を受けた。また、領事裁判権を承認したことから、外国人が日本で罪を犯したときは、その国の領事が裁判することとなり、ノルマントン号事件のように外国人の過失が問われない判決も生まれた。

1871(明治4)年に日本を発った岩倉具視を全権とする遣外使節団の条約改正交渉は、外交知識が不足して失敗した。1878(明治11)年、外務卿寺島宗則は、アメリカとの間で関税自主権回復の合意を得ることに成功したが、イギリスなどの反対で調印には至らなかった。

#### ノルマントン号事件

1886(明治19)年、和歌山県潮岬沖で英国船ノルマントン号が沈んだ。その際、船員であったイギリス人は全員助かったが、日本人乗客23名が全員死亡した。船長ドレイクは領事裁判により無罪となったが、世論の反発を受けた日本政府の抗議により量刑が禁固3か月に変更された。



『ビゴー素描コレクション2』（岩波書店）

欧米列強は、不平等な状態のほうが貿易と自国民保護の両面で有利であることから、日本の法律や裁判制度が欧米のように整っていないこと、憲法も国会もなく対等条約を結ぶほど近代化した国家ではないことを理由に改正に応じなかった。

ノルマントン号事件を受け、外務卿井上馨は法律の整備や外国人判事の任用とひきかえに領事裁判権の撤廃をめざした。その際、同時に日本が欧米文化に通じた近代的な国家であると印象づけるため欧化政策を進めた。その象徴であった鹿鳴館は、工部大学校（現東京大学工学部）の教員として来日したイギリス人コンドルが設計した建物で、外交官をまねいて接待するために建てられた。Bのように舞踏会がくり広げられたが、フランス人ビゴーはCの風刺絵で、猿まねのような薄っぺらな欧化風俗であると批判している。井上が進めた極端な欧化政策と外国人判事の任用が主権を侵害するとの批判が国内で強まり、井上は条約改正に失敗して辞職した。



日比谷公園の前にはめられている鹿鳴館跡のプレート（千代田区内幸町）  
鹿鳴館は1883（明治16）年コンドルの設計で完成し、19世紀末に華族会館となったが、1940（昭和15）年取り壊された。

条約改正関係年表（その1）

- 1854 日米和親条約 調印
- 1858 日米修好通商条約 調印
- 1871～73 岩倉遣外使節団の改正交渉失敗
- 1873～79 寺島外務卿の改正交渉失敗
- 1882 井上外務卿の改正交渉開始
- 1883 鹿鳴館完成
- 1886 ノルマントン号事件 起こる
- 1887 井上外相の欧化政策による改正交渉に反対運動

【東京の開市—築地居留地—】

日米修好通商条約では横浜などの開港とともに、江戸・大坂の開市も取り決められ、江戸では隅田川沿いの明石町に築地居留地が設けられた。この地にはDのアメリカ公使館をはじめ各国の外交施設が置かれ、開港場である横浜との交信のため、電信が日本で最初に実用化(E)されたり、擬洋風建築のFの築地ホテルが建てられたりした。しかし貿易にかかわる商船の直接入港が禁止されるなど制約も多く、1899（明治32）年の日英通商航海条約の発効に伴い、領事裁判権とともに居留地も廃止になった。



アメリカ公使館跡の碑（中央区明石町）



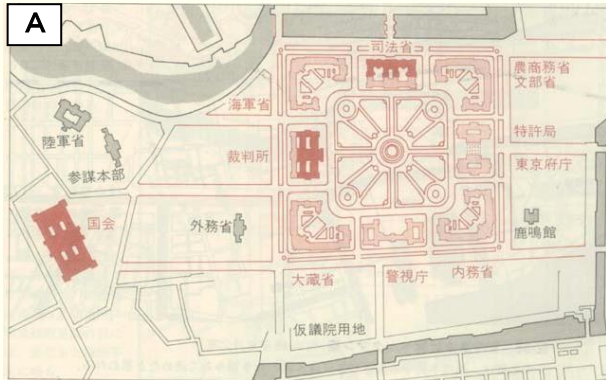
電信創業の地の碑（中央区明石町）



日本初のホテル「東京築地ホテル館表掛之図」（東京都立中央図書館蔵）

15- (2) <sup>かすみ</sup> <sup>せき</sup> 霞が関、官庁街の始まり

**学びの窓** なぜ霞が関に中央官庁が集中しているのでしょうか？



『明治の東京計画』（岩波書店）



(法務省提供)

(国立国会図書館蔵)

- ・ Aは、ドイツ人が設計した官庁集中計画の設計図です。
  - ・ Bは、霞が関で現在ただ一つ残っている煉瓦造の建物です。
  - ・ Cの図面を見ると、実際に建設されたのは計画の約半分で、残り半分はDの公園となりました。
- なぜこのような官庁集中計画が進められたのか、その理由を考えてみましょう。

【条約改正の過程 2 - 官庁集中計画が進んだ時代】

1887 (明治20) 年、外相に就任した大隈重信<sup>おおくましのぶ</sup>は外国人判事の任用を大審院<sup>だいしんいん</sup>のみに限定して交渉を進めたが、やはり世論の非難を浴び、国粋主義者<sup>こくすいしゅぎしや</sup>から襲撃をうけて重傷を負い、交渉は中断した。

改正交渉が進んだのは、ロシアのシベリア鉄道建設計画がきっかけであった。ロシアの東アジアでの勢力拡大を好まないイギリスは、それまでの条約改正反対の姿勢を改め、青木周蔵<sup>あおきしゅうぞう</sup>外相との間で関税自主権の回復と領事裁判権の撤廃について交渉を進めた。

しかし、1891 (明治24) 年、シベリア鉄道起工式に臨席する途中に日本を訪問したロシア皇太子が、滋賀県大津市で警備の警官に襲撃される大津事件<sup>おほつし</sup>が起こり、青木外相が責任をとって辞任したため、交渉は中断した。



大津事件で負傷したロシア皇太子  
(長崎歴史文化博物館蔵)

その後、<sup>むつむねみつ</sup>陸奥宗光外相は、改正交渉を継続し、1894(明治27)年<sup>にちえいつうしやうこうかいじやうやく</sup>日英通商航海条約に調印した。これにより日英両国は互いに最恵国待遇を認め、イギリスの<sup>さいけいこくたいぐう</sup>領事裁判権を撤廃し、日本の関税自主権も一部回復した。ほかの諸国とも同内容の条約を結び、これらの条約は1899(明治32)年から効力を発した。

1911(明治44)年、<sup>こむらじゆたろう</sup>小村寿太郎外相により日米新通商航海条約が調印され、**関税自主権が完全に回復**した。こうして和親条約から57年、修好通商条約から53年の歳月を要した条約改正は達成された。この間、日本は司法制度をはじめ、憲法制定・国会開設などの近代化を進め、日清・日露戦争の勝利など国力を充実させ、国際的地位の向上を果たし、条約上も欧米と対等な関係となった。

条約改正関係年表 (その2)

1889	大隈外相の改正交渉に反対運動
1891	大津事件(青木外相 <sup>いんせきしにん</sup> 引責辞任、交渉中断)
1892	陸奥外相の改正交渉開始
1894	日英通商航海条約 調印
1899	通商航海条約 発効
〔領事裁判権の撤廃、居留地の廃止〕 〔関税自主権の一部回復〕	
1911	日米新通商航海条約 調印・発効 (関税自主権の完全回復)

【官庁集中計画】

「欧米に<sup>ひつてき</sup>匹敵する近代国家となって条約改正を」という夢をいだいた井上馨は、<sup>ひびやれんべいじやう</sup>日比谷練兵場跡地に放射状の道路と煉瓦造の建物が建ち並ぶ街を計画した。もし計画通りに完成していたら、欧米の首都にも匹敵する近代的な様相が実現していた。

しかし、計画地の東側は江戸時代の初期まで海で地盤が軟弱であったため<sup>ひびや公園</sup>日比谷公園(Dは当時の日比谷公園)とし、財政的にきびしい面もあったことから西側に直線的な官庁街<sup>霞が関</sup>霞が関を造営した。現在はBの法務省旧本館(千代田区霞が関)の建物だけが残っている。



日比谷公園の大噴水(千代田区)

【築地居留地に創立された学校群】



青山学院(渋谷区渋谷)



女子聖学院(北区中里)

築地居留地は、開港場の横浜と定期船や鉄道により結ばれたが、制約が多く、商人の多くは横浜を拠点とした。築地には宗教関係者・教育者が集まり、<sup>せいりつか</sup>聖路加病院やキリスト教系の学校が数多く設立されている。その後これらの学校はほかの地に移ったため、築地居留地跡地には創立記念碑が多数存在している。



女子学院(千代田区一番町)

\*カッコ内は、現在の所在地



立教大学(豊島区西池袋)



明治学院(港区白金台)

## 16- (1) 列強に近づく日本

**学びの窓** にっしん 日清戦争は東京にどのような影響を与えたのでしょうか？



(株) 東京ドーム提供

- ・ **A**は、プロ野球チームの専用球場として建てられた、東京ドーム（文京区後楽）です。
  - ・ **B**は、東京ドームに隣接する小石川後樂園に残っている石碑で、「陸軍造兵廠東京工廠跡記念碑」と刻まれています。
- ここではいったい何がつくられていたのか、時代背景を踏まえて考えてみましょう。

### 【日清戦争の前後の日本】

日本は欧米列強がアジアに進出するなか、産業の近代化を進め(殖産興業)、国を豊かにすると同時に、軍事力を強化(富国強兵)した。そして日本が朝鮮を開国させて以降、朝鮮では親日派が台頭するなか、日本は朝鮮半島への進出をはかっていった。

朝鮮の支配権を主張する清と朝鮮に勢力を伸ばそうとする日本が対立するなか、1880年代には朝鮮政権への影響力をめぐる日清両国がそれぞれ軍隊を派遣するなど、日清両国の対立が激しくなった(朝鮮問題)。そのため、1885(明治18)年には日清間で天津条約が結ばれ、日清両国が朝鮮から撤兵して両国の衝突は避けられたが、互いに朝鮮への影響力を強化していった。

1894(明治27)年、朝鮮南部で過酷な租税への不満や役人の腐敗に反対する大規模な農民の反乱(甲午農民戦争・東学の乱)が起こった。日清両軍は反乱鎮圧のために朝鮮半島に出兵したが、農民と朝鮮政府の和解後、朝鮮の内政改革をめぐる対立し、軍事衝突を起こして日清戦争が勃発した。戦いは近代的な軍事力をもつ日本が勝利をおさめ、1895(明治28)年4月下関で日清講和条約(下関条約)が結ばれた。この条約で清は、朝鮮の独立、遼東半島・台湾・澎湖諸島の割譲、賠償金2億両



日清戦争要図

(日本円で約3億1,000万円)、日本に有利な日清通商航海条約の締結などを認めた。

しかし、満州(中国東北部)への進出をねらうロシアはドイツ・フランスとともに、日本が獲得した遼東半島を清に返還するように勧告してきた(三国干渉)。対抗できる国力がなかった日本はこれを受け入れたが、これを機にロシアへの対抗心が高まり、清から得た賠償金の多くを軍備拡張につぎ込んだ。また、この賠償金で得た金を正貨準備にあて、1897(明治30)年欧米諸国にならって貨幣法を制定して金本位制を確立し、貿易の発展をはかった。

### 【中国分割】

日本が三国干渉を受け遼東半島を返還すると、ロシアは1898(明治31)年に遼東半島先端の旅順・大連を租借する権利やシベリア鉄道とつながる東清鉄道を敷設する権利を清に認めさせ、さらに朝鮮半島へも影響力をおよぼし始めた。また、同年ドイツは青島を含む山東半島南部の膠州湾を、イギリスは山東半島北部の威海衛と香港対岸の九龍半島を勢力下においた。翌年にはフランスが広州湾を租借するなど欧州列強の勢力圏が中国各地に確立した(中国分割)。

こうした外国の侵略に対して、中国の民衆の排外的気運が高まるなか、「扶清滅洋」を唱えて蜂起した義和団に民衆が参加して勢力を広め、1900(明治33)年に北京の外国公使館を包囲した。これにおされた清政府が列国に宣戦を布告すると、日本は欧米列強7か国とともに連合軍を組織してこれを鎮圧した(北清事変)。出兵各国は、翌年清との間に北京議定書を結んだ。



旧近衛師団司令部(現東京国立近代美術館工芸館)(千代田区北の丸公園)

明治初期の御親兵は近衛兵と改組され、1891(明治24)年近衛師団と改称、日清・日露戦争などに従軍した。

### 【東京砲兵工廠】

東京砲兵工廠は、1870(明治3)年水戸徳川家上屋敷跡に建設された兵器工場で、神田川沿いに幕府が設けた大砲製造の関口製造所を前身とする。

板橋火薬製造所・十条兵器製造所などを管轄下におき、日清戦争で使用された村田銃や弾薬などを製造していた。

その後、1923(大正12)年の関東大震災で大きな被害を受けて復旧困難となり、福岡県小倉(現北九州市)に移転した。跡地には、後楽園球場が建設され、1988(昭和63)年には日本初のドーム球場である東京ドームとなった。

東京砲兵工廠は約2万人の職工を抱える大工場であったが、労働時間や賃金をめぐって、1906(明治39)年には職工らがストライキをおこなって、労働条件の改善を訴える事件が起こっている。



東京砲兵工廠

『日本地理風俗大系 大東京編』(新光社)



横山源之助『日本の下層社会』(岩波書店)

## 16- (2) 東京にも凱旋門があった

### 学びの窓 日露戦争には勝利したのになぜ国民は不満だったのでしょうか？



A 新橋に到着した満州軍総司令部（防衛研究所図書館蔵）



B 『風俗画報』（明治大学図書館蔵）

- ・ Aは、日露戦争に勝利した軍人を迎えるため、建設された「凱旋門」です。国民は、大国ロシアを破ったことを大いに喜んだのです。
  - ・ Bは、講和条約調印の当日、日比谷公園に集まった群衆が起こした暴動の様子です。
- 暴動を起こした群衆は何が不満だったのか、暴動が起こった理由について、考えてみましょう。

#### 【日露戦争前後の日本】

日本が遼東半島を返還すると、朝鮮は日本に対抗するためロシアに近づいた。この結果、ロシアが朝鮮半島へ影響力をおよぼしていくなか、朝鮮は親露政権を成立させ、1897（明治30）年には国号を大韓帝国と改称して、朝鮮国王を皇帝とした。

このような状況のなか、日本国内にはロシアとの話し合いで、満州をロシアの勢力圏、韓国を日本の勢力圏とするとの考えもあったが、日本政府はロシアとの戦争を想定して軍備拡張をおこなうとともに、1902（明治35）年には韓国における権益を守るため、ロシアの勢力拡大を心配するイギリスとの間で日英同盟を結んだ。

満州を事実上占領しているロシアとの交渉が決裂すると、1904（明治37）年2月に日露戦争が勃発した。世界有数の陸軍・海軍を有するロシアに対し、日本は約半分の軍事力しかもたず、戦費も日清戦争の約10倍で、増税だけでは足りず、その3分の2以上を内外での国債の発行など借金でまかなった。

日本は旅順・奉天などにおける陸戦で多大な損害を出しながらも戦局を有利に進め、日本海海戦では東郷平八郎が率いる日本の連合艦隊がバルチック



第2次日英同盟締結記念絵葉書（三越提供）



日露戦争要図



艦隊をほぼ全滅させた。しかし、日本は兵力・戦費の面で限界に近づいており、早期の講和をめざす必要があった。一方、ロシア政府は長期戦のほうが有利と考えていたが、ロシア国内で戦争反対を唱える革命運動が起こったことから、講和に応じるようになった。



勝鬨橋（東京都生活文化局）

アメリカ大統領セオドア・ローズベルトの仲介で、

1905(明治38)年9月日露講和条約(ポーツマス条約)が結ばれた。ロシアは、韓国に対する日本の指導権、旅順・大連の租借権と東清鉄道(長春・旅順間)の経営権の譲渡、北緯50度以南の南樺太の割譲、沿海州・カムチャツカの漁業権などを認めたが、賠償金は支払わなかった。

### 【勝鬨橋】

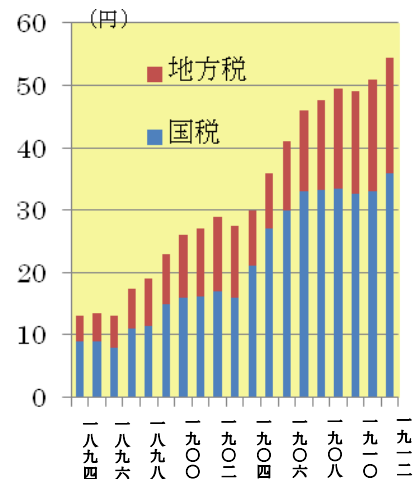
築地魚市場と月島の間にかかっている勝鬨橋(中央区)は、日本では珍しい可動橋であった。交通渋滞を起こすため、現在では閉じられたままだが、1940(昭和15)年の架橋から1970(昭和45)年までは開閉されていた。架橋以前にあった勝鬨の渡しは、1905(明治38)年日露戦争の旅順要塞陥落を記念して設けられたものである。

### 【日比谷焼打ち事件】

日露戦争は増税に加え、犠牲者においても日清戦争に比べ7倍の死者、12倍の負傷者を出していた。しかし欧米列強と対抗できる強国を建設するという目標に向け、国民は「男軍人、女は工女、糸を引くのも国のため」と耐えてきた。

戦争にあたって兵力・戦費面で限界があることを国民には知らず、政府は戦争の長期化を避けるためポーツマス条約を結んだが、賠償金をとることはできなかった。

実態を知らない国民の不満は大きく、新聞も講和条約反対・戦争継続を訴えて政府を攻撃し、日比谷焼打ち事件が起こった。政府は、戦費に使った国債を賠償金で返済しようとしていたが、賠償金がとれなかったため、織物や砂糖の消費税を新設したり、酒税の増税をおこなうなど、戦争中を上回る税を国民に負担させることとなった。



一戸当たりの租税負担額の推移  
東洋経済新報社『明治大正財政詳覧』から作成

### 【その後の満州・朝鮮】

日露戦争の勝利は日本の国際的地位をあげるとともに、アジア諸民族の独立や近代化の運動に刺激を与えたが、その後日本は欧米列強とならんで大陸への進出を進めた。

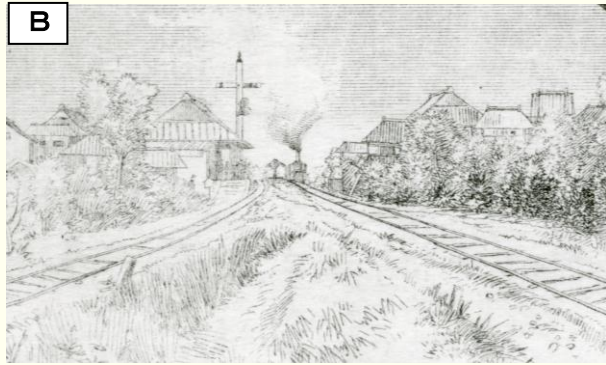
日露講和条約でロシアが清から租借していた旅順・大連など遼東半島南部は、1906(明治39)年に関東州と改められて、そこを統治する関東都督府が設置され、防衛のために陸軍部(のちに関東軍と改称)もおかれた。このほか、ロシアから引き継いだ長春以南の鉄道利権を運用するため、半官半民の南満州鉄道株式会社(満鉄)を設立し、鉄道・製鉄所の経営や鉱山開発をおこなった。

また、朝鮮半島では日本が政治・経済の両面で勢力を伸ばし、三次にわたる日韓協約の締結によって大韓帝国の主権を徐々に奪った。1910(明治43)年には韓国併合をおこない、京城(漢城を改称)に朝鮮総督府を設置して、朝鮮を植民地として統治した。

## 17-(1) 丸くなっていく山手線

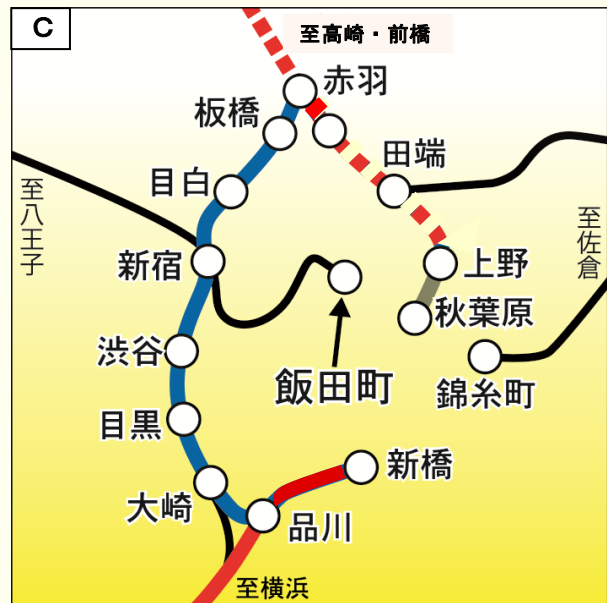
### 学びの窓

当時、鉄道はどのような目的でつくられていったのでしょうか？



(鉄道博物館蔵)

- ・ **A**は、現在の山手線の新宿駅の光景です。
  - ・ **B**は、約120年前の新宿停車場で、右の線路が甲武鉄道(現中央線)、左が日本鉄道(現山手線)です。乗降客はほとんどいませんでした。
  - ・ **C**は、明治中期、1897(明治30)年の鉄道路線図です。山手線が環状線になっていないことがわかります。
- 東京の鉄道網はどのようにして広がっていったのか、調べてみましょう。



### 【鉄道網の整備 — 東京を中心に —】

江戸時代、日本橋から横浜までは徒歩で半日かかった。しかし、1872(明治5)年新橋・横浜間に鉄道が開通すると、1時間弱で移動できるようになった(**C**の赤色の実線)。政府が運営する官営の東海道線は1889(明治22)年には新橋から神戸まで開通した。

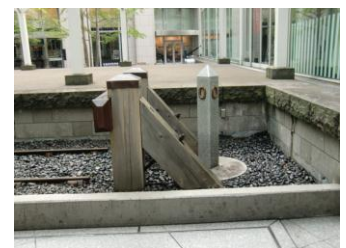
東京では民間資本による鉄道も開設された。

1881(明治14)年に設立された日本鉄道会社は、上野・熊谷間(翌年に高崎・前橋まで延長、現高崎線)を開通させた(**C**の赤色の破線)。さらに関東北部の生糸集積地だった前橋から開港地横浜におもな輸出品であった生糸を直送できるように、赤羽・品川間に連絡線路が敷かれた(**C**の青色の実線)。その経路は当時、民家が少なく、畑や雑木の広がっていた山の手に通された。これが現在の「山手線」の原型となっている。



新橋夕留蒸気車鉄道局停車館之真図

(交通科学博物館蔵)



復元されたO哩ポスト  
(港区東新橋)

日本鉄道会社は、1891(明治24)年には現在の東北線にあたる上野・青森間を開通させた。この路線は陸軍の部隊がおかれた県庁所在地を結んでおり、日清戦争のときには、青森から広島まで軍隊を運び、広島からは輸送船で朝鮮半島に送った。

1897(明治30)年には、さらに田端<sup>たばた</sup>から茨城県・福島県の常磐炭田<sup>じょうばんたんてん</sup>を結ぶ海岸線(現常磐線)を敷設した。これにより常磐炭田の石炭が隅田川<sup>すみだがわ</sup>貨物駅まで運ばれ、産業革命にもなって設立された工場群の燃料として使用された。

日本鉄道会社の成功により鉄道ブームが起こり、1889(明治22)年甲武鉄道(現中央線)は新宿・八王子間で開通し、1895(明治28)年には新宿から飯田町<sup>いいたまち</sup>まで伸びている。1894(明治27)年には総武鉄道(現総武線)も錦糸町・佐倉間で開通し、利根川方面からの物資が鉄道を利用して運ばれるようになった。そして、日露戦争後の1906(明治39)年、政府は軍事・産業利用の効率化をめざして鉄道国有法を公布し、民間の鉄道を買収した。

### 【重工業の発達】

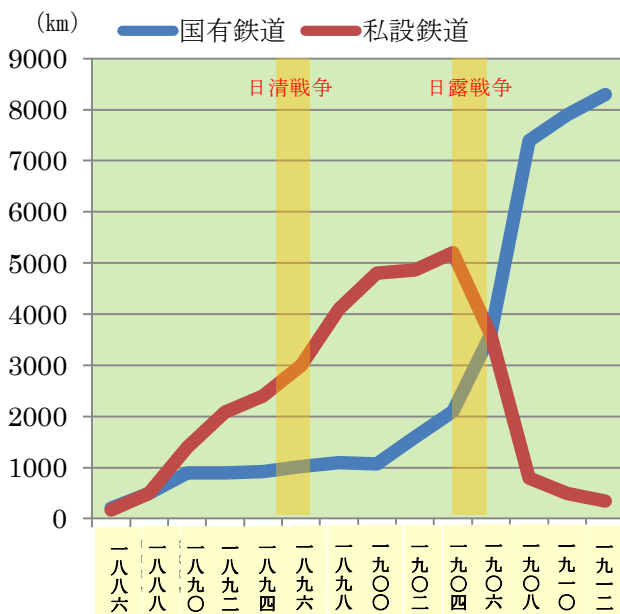
日清戦争後、軍備拡張のため鉄鋼の国産化をめざした政府は、筑豊炭田に近い北九州に八幡製鉄所<sup>や はたせいてつじょ</sup>を設立した。その後、鉄鋼業では日本製鋼所<sup>にほんせいこうじょ</sup>などの製鋼会社の設立が進み、工作機械では優れた精度をもつ旋盤を開発した池貝鉄工所<sup>いけがい</sup>が設立されるなど、民間重工業は発達していった。

産業革命とは単に工場を建て、機械をすえつけることだけで成り立つものではなく、原料や機械を動かす蒸気機関の燃料の供給や、製品の輸送などインフラストラクチャー(国民福祉の向上と国民経済の発展に必要な公共施設)の整備が欠かせない。鉄道の敷設ブームが産業革命の進展を支えていたのである。



1889(明治22)年に町工場であった池貝鉄工所が製作した日本初のイギリス式旋盤 (国立科学博物館提供)

### 【鉄道網の広がり】



全国の鉄道営業キロ数

(歴史学研究会『日本史史料(4)近代』(岩波書店)から作成)  
1906(明治39)年、鉄道国有法により日本鉄道・甲武鉄道・総武鉄道も国有化された。



1922(大正11)年ごろの東京駅  
1914(大正3)年東京駅(中央停車場)は開業し、東海道線の起点となった。  
(「東京駅・新大東京名所」東京都立中央図書館蔵)

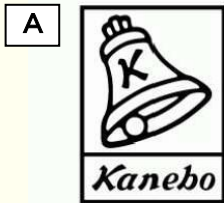


建設の進む東海道線

1910(明治43)年有楽町・烏森(現在の新橋)間が開通した。(東京都『東京の都市計画百年』)

## 17-(2) 糸が支えた産業革命

### 学びの窓 近代産業の中心産業は何であったのでしょうか？



Kanebo



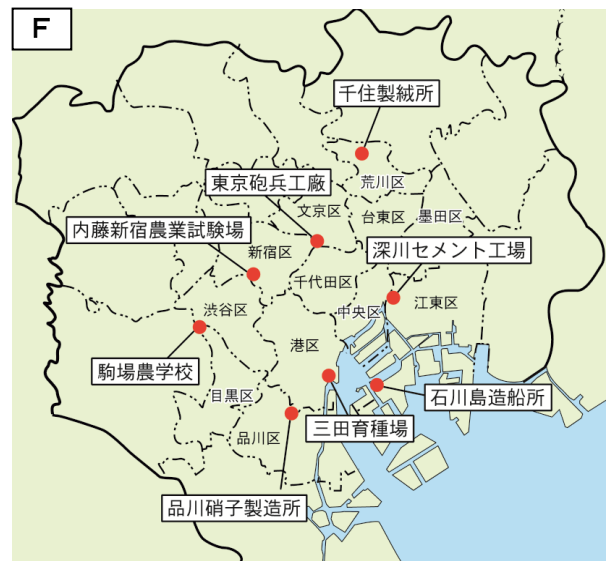
- ・ Aは、カネボウという会社のロゴマークでBはカネボウの一部を引き継いだカネボウ化粧品<sup>けししょう</sup>の製品です。
- ・ CとDは、100年ほど前の工場の様子です。現在、この工場はなくなってしまいましたが、隅田川<sup>すみだ</sup>沿いの公園(墨田区墨田)にEの発祥の地の碑が立っています。
- 設立当時のカネボウという会社は何をつくっていたのか、時代背景を踏まえて考えてみましょう。

### 【殖産興業から産業革命の時代】

政府は、殖産興業政策のもと、明治維新後すぐに生糸の生産拡大に取り組んだ。当初の製糸業<sup>せいしぎょう</sup>は、手回しによる座繰製糸<sup>ざぐるり</sup>であったが、1872(明治5)年に群馬県に器械製糸<sup>きかい</sup>をおこなう官営模範工場として富岡製糸場<sup>とみおかせいしじょう</sup>を設立した。その後、器械製糸が急速に広まり、1894(明治27)年にはその生産量が座繰製糸を上回り、1909(明治42)年世界最大の生糸輸出国になった。紡績機<sup>ぼうせきき</sup>や織機<sup>しょつき</sup>が改良されると、絹織物業も発展していった。

また、幕末から明治前期にかけて輸入にたよっていた綿糸<sup>めんし</sup>は、1882(明治15)年、渋沢栄一らによって設立された大阪紡績会社の成功がきっかけとなり国内生産が進み、全国各地で紡績会社の設立が相次いだ。それまでの手紡<sup>てつむぎ</sup>やガラ紡<sup>がらぼう</sup>生産

に対し機械による生産が増えると、1890(明治23)年には綿糸の生産量が輸入量を上回るまでに



東京の殖産興業関係図

なった。そのうえ、豊田佐吉が独自の国産力織機を制作すると農村でも小工場化が進み、1909（明治42）年には綿布の輸出額が輸入額を超えた。

この間、政府は軍事工場と鉄道をのぞいた官営事業を三井や三菱などの政商を中心に払い下げていった。富岡製糸場も1893（明治26）年に三

井に払い下げられ、これらの政商たちの多くは財閥へと成長していった。

東京では、深川区清住町（現江東区清澄）につくられた深川セメント工場が、1883（明治16）年に浅野総一郎に払い下げられ、浅野セメント（現太平洋セメント）として浅野財閥の中核企業となった。この工場は、現在でも

同じ場所で操業しており、敷地脇の歩道には、浅野の銅像と設立ときにセメントの原料を細かく砕いていた圧輪がおかれている。



設立当時の圧輪



浅野総一郎の銅像

### 【社会問題の発生】

工場が増加し、賃金労働者が増えると、社会問題も発生してきた。紡績工場や製糸工場で働く女性工員の多くは、安い賃金で1日12～16時間もの長時間労働を強いられた。また、銅を増産していた栃木県の足尾銅山から排出された鉱毒により、渡良瀬川下流域が汚染されるという足尾銅毒事件も発生した。

### 【カネボウは何をつくっていたのか】

1889（明治22）年に設立された鐘淵紡績は、当時東京で1番目、日本でも2番目に規模の大きな紡績会社であり、1910年代には各地に工場をもつ世界有数の大規模綿糸紡績会社に成長した。この会社が「カネボウ」となり、その一部が現在のカネボウ化粧品となっている。「カネボウ」のロゴマークであった西洋風の鐘（A）は「工場近くの隅田川に鐘が沈んだ」という鐘ヶ淵の伝承にちなんでつくられている。つまりカネボウの社名の「カネ」は鐘ヶ淵という地名を、「ボウ」は紡績を表している。また、Cは綿花から綿糸をつくる紡績機械で、女性でも扱いやすかったリング紡績機がおかれていた。

### 【当時の機械を見に行ってみよう】



東京農工大学工学部（小金井市中町）にある科学博物館には、製糸・綿糸紡績・綿織物業に使用された機械が動く状態で保存されている。

←ガラ紡  
（臥雲紡績機）

リング紡績機→



動態保存されている機械群

豊田佐吉が開発した豊田式自動織機↓



## 18-(1) 西洋文化の波

**学びの窓** 明治文化ではどのような分野で西洋化が進展したのでしょうか？



- ・ Aは、早稲田大学にある演劇博物館です。
  - ・ この博物館は、近代文学や演劇に大きな影響を与えたBの坪内逍遙<sup>つぼうちしやう</sup>を記念して建てられたものです。
- 明治時代になって文学や演劇はどのように変化していったのか、考えてみましょう。

## 【明治の演劇】

演劇界においては、明治に入っても歌舞伎の人気は衰えず、数々の名優が活躍した。それに対し、明治中期には、新派劇とよばれる写実的な大衆演劇が生まれた。なかでも、オッペケペー節<sup>かわかみおとじろう</sup>で人気を得た川上音二郎は、政府への批判を入れながら日清戦争の戦闘場面を演じるなど独特の演劇をつくっていた。

また、明治後期になると、西洋の近代演劇を取り入れた新劇が登場した。日露戦争後にBの坪内逍遙らが創設した文芸協会では「ハムレット」などを上演し、とくにイブセン作の「人形の家」を演じる松井須磨子<sup>まつい すまこ</sup>の古い社会へ抗議する姿は反響をよんだ。



パリ万博の川上音二郎  
(福岡市博物館蔵)

## 【文化における西洋化の進展】

西洋の芸術を取り入れることは、音楽界でもおこなわれた。軍楽隊での演奏や西洋の歌謡を模した唱歌<sup>しょうか</sup>の導入はその例で、文語体の歌詞と西洋の楽調<sup>がくちやう</sup>が合わさった小学唱歌の中には現在も歌い継がれている曲が多い。また、1887(明治20)年には東京音楽学校も設立されて、「荒城の月」や「花」を作曲した滝廉太郎<sup>たきれんたろう</sup>らを輩出した。



旧東京音楽学校の奏楽堂と滝廉太郎の銅像(台東区上野公園)

西洋化の動きは思想界、宗教界でもみられるようになった。思想界では文明開化の時期に西洋思想が導入されたが、朝鮮問題が表面化する1880年代以降は国権論<sup>こっけんろん</sup>も台頭し、欧化主義<sup>おうか</sup>と対立した。宗教界では神道国教化の方針のもと、仏教を排除する動きのなか、来日した外国人の影

響もあって基督教の信仰が広がり、<sup>うちむらかんぞう</sup>内村鑑三や<sup>にとべいなぞう</sup>新渡戸稲造らのように入信するものも現われた。学問では経済・法律・哲学など多方面で西洋の考え方が取り入れられ、その研究方法から科学的研究も始まり、<sup>きたざとしばさぶろう</sup>ペスト菌を発見した北里柴三郎などの医学者も現われた。

### 【ジャーナリズムと近代文学】

1870年代になると、日刊の新聞が相次いで創刊された。これらのなかには、江戸時代以来の<sup>かわら</sup>瓦版の流れをくむ小新聞や、政治記事や文芸記事を中心とした大新聞があり、こうした新聞のなかから、現在の『朝日』『読売』『毎日』などの新聞が生まれていった。また、雑誌も発行され、『太陽』や『中央公論』が人気を博した。

文学では、1885（明治18）年、Bの坪内が西洋の文芸理論を基礎とする『小説神髓』を発表し、物事を写實的・客観的に書くことを説いた。その影響を受けた<sup>ふたばていしめい</sup>二葉亭四迷は、それまでかけ離れていた文章の言葉遣いを話し言葉に近づけた<sup>げんぶんいつちたい</sup>言文一致体による『浮雲』を1887（明治20）年に発表した。そのほか、日清戦争と前後して西洋の影響を受けたロマン主義や自然主義の文学が数多く発表された。

### 【ロマン主義と自然主義】

ロマン主義の代表的作家<sup>もりおうがい</sup>森鷗外の1890（明治23）年の処女作『舞姫』は、そのロマン的描写で脚光を浴びた。文京区千駄木の<sup>だんござか</sup>団子坂を登ったところに、鷗外が30年近く住んでいた<sup>かんちようろう</sup>観潮楼の跡がある。右の写真は鷗外が<sup>こうだるはん</sup>幸田露伴・<sup>さいとうりよくう</sup>斉藤緑雨とこの地にある<sup>さんにんじようご</sup>三人冗語の石で撮ったもので、当時複数で文芸批評をおこなう三人冗語は話題となった。

また、自然主義の先駆者としては<sup>くにきだどっほ</sup>国木田独歩がいる。ロマン主義の影響を受けた作品集『武蔵野』で文壇に登場し、その後自然主義へと移っていった。三鷹駅北口を降りた所に独歩の詩碑が、玉川上水にかかる桜橋近くには独歩の文学碑がある。いずれも武蔵野の自然美を描いた作品との関連で立てられたものである。



三人冗語の石（文京区提供）  
左から鷗外、露伴、緑雨である。



国木田独歩の詩碑（武蔵野市中町）

### 【幸田露伴が作詞した校歌】

『五重塔』などを著し、明治から昭和にかけての文壇に名前を残した露伴は、1867（慶応3）年江戸の下谷（現台東区）で生まれた。露伴は、生涯幾度となく住まいを変えているが、現在の墨田区東向島に住居を構えていた時期があった。1908（明治41）年から1924（大正13）年まで露伴がくらしした住居跡は、現在墨田区立「露伴児童遊園」となり、露伴の文学碑が建立されている。

「隅田の川は吾が師なり」で始まる都立墨田川高等学校の校歌は、露伴の作詞によるものである。同校は、1921（大正10）年に府立第七中学校として設立されたが、当時、露伴が近所に住んでいたため、<sup>こっかん</sup>国漢科の教員が校歌の作詞を依頼したとされている。同校の玄関脇には、露伴の<sup>ひつせき</sup>筆跡で校歌の4番の歌詞を刻んだ記念碑が立っている。



都立墨田川高等学校校歌  
記念碑（墨田区東向島）

## 18-(2) 学問の都「東京」

## 学びの窓

大学はどのような背景で設立されたのでしょうか？

A



B



・ Aは現在の東京大学の赤門、Bは、安田講堂です。

- 東京大学はいつごろできたのか、また、慶応義塾などの私学はいつごろできたのか、調べてみましょう。

## 【近代教育の始まり】

1871（明治4）年に文部省が設立されると、翌年には国民皆学の精神のもとフランスの学校制度を取り入れた学制が公布された。政府は、国民皆学を実現するため、小学校教育の普及に力を入れた。

専門教育では、1877（明治10）年、法・文・理の3学部と医学部で構成された日本初の大学である東京大学が誕生した。このほか、教師を養成する師範学校や女学校も政府によって設けられた。また、福沢諭吉の慶応義塾などの私学も創設された。

## 【東京大学を歩く】

東京大学の本郷キャンパス（文京区本郷）には、Aの赤門をはじめ数多くの文化財が残っている。東京大学の通称にもなっている「赤門」は正式には御守殿門といい、1827（文政10）年に11代将軍徳川家斉の娘溶姫が前田家に嫁入りしたときに建てられたものである。もともと本郷キャンパスは加賀藩前田家の上屋敷があった場所であり、明治時代の後半には前田家の邸宅としてCの懐徳館も建てられた（現在の懐徳館は戦後再建されたものである）。

このほか、安田財閥の創始者である安田善次郎が寄附したBの安田講堂、夏目漱石の小説『三郎』に登場するDの「三四郎池」（育徳園心字池）などもある。

東京大学の本郷キャンパスで歴史散歩をしてみよう。

C



D

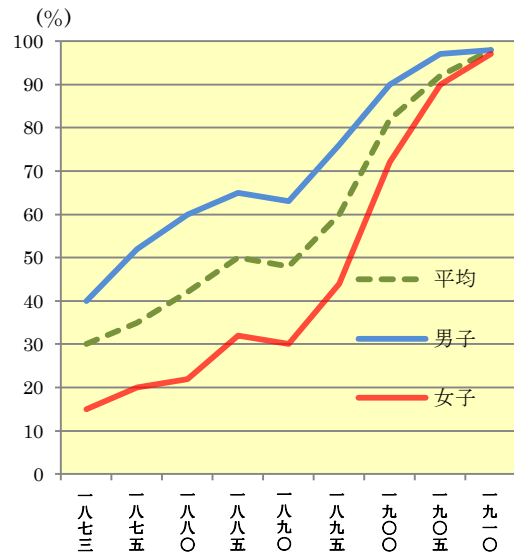




【教育の普及】

学制のもとで、就学率は徐々に高まり、1879（明治12）年には教育令が公布された。1886（明治19）年森有礼文相により学校令が公布されると、小学校・中学校・師範学校・帝国大学などの学校の体系が整備されるとともに、義務教育も取り入れられた。就学率の向上が顕著となった1907（明治40）年には、義務教育の期間が6年に延長された。

また、1890（明治23）年、親への孝行、兄弟愛、夫婦の和や学問の大切さなどを明記した教育に関する勅語（教育勅語）が發布され、学校教育の基本とされるとともに、国民道徳上の規範ともなった。1903（明治36）年には小学校の教科書は文部省のものに限られた（国定教科書制度）。



義務教育における就学率の向上  
(文部科学省HPデータから作成)

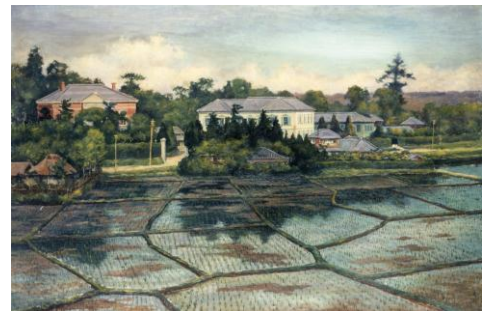
【私学の誕生】

慶応義塾は1858(安政5)年福沢諭吉が江戸築地鉄砲洲(現中央区明石町)の中津藩屋敷内に創設した蘭学塾を起源とする。諭吉は著書『学問のすゝめ』で実学を勧め、個人の独立、国家の隆盛は学問によって成立するとし、学問の大切さを説いている。

また、1880年代には大隈重信の東京専門学校(現早稲田大学)のほか、東京には多くの私学が創設された。さらに、1900年代になると岩倉遣外使節団とともにアメリカに渡った津田梅子が女子英学塾(現津田塾大学)を創設するなど、女子教育もさかんになっていた。



慶応義塾発祥の地の碑 (中央区明石町)



東京専門学校創設当初の風景  
(早稲田大学會津八一記念博物館蔵)

私学の創設	
専修学校(専修大学)	1880
東京法学社(法政大学)	1880
明治法律学校(明治大学)	1881
東京専門学校(早稲田大学)	1882
英吉利法律学校(中央大学)	1885
明治学院(明治学院大学)	1886
哲学館(東洋大学)	1887
日本法律学校(日本大学)	1889

\*カッコ内は、現在の大学名



津田梅子

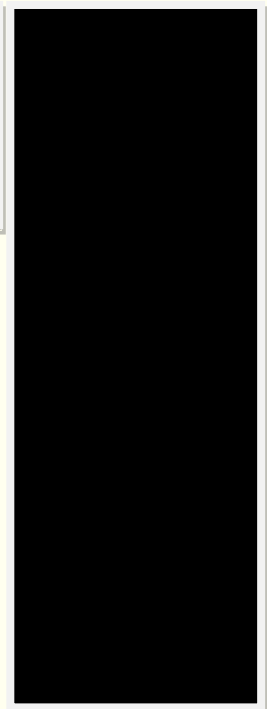


設立当時の女子英学塾の様子  
(津田塾大学津田梅子資料室蔵)

各大学の歴史や創設者について調べてみよう。

## 特集4 美術界をリードした東京美術学校

**学びの窓** フェノロサは近代文化にどのような貢献をしたのでしょうか？



- ・ **A**は、東京芸術大学（台東区上野公園）にあるアーネスト・フェノロサの記念碑です。
- ・ **B**は、同じく東京芸術大学にある岡倉天心の像です。
- ・ 彼らは、**C**の奈良・法隆寺の夢殿で長年にわたって秘仏となっていた**D**の救世観音を公開させたことでも有名です。

●フェノロサの碑や岡倉天心像がなぜ東京芸術大学の構内にあるのか、調べてみましょう。

### 【明治時代の絵画】

明治初期においては、文明開化の風潮を受け、西洋のものが素晴らしく、日本古来のものは価値が低いという考え方が広まっていた。

絵画界も同様で、絵入りロンドン新聞の挿絵を描いていたワーグマンから学んだ高橋由一や、工部美術学校にまねかれたイタリア人フォンタネージから学んだ浅井忠らの西洋画が明治初期の主流となった。

一方で、1878(明治 11)年東京大学で哲学を教えるために来日したアメリカ人フェノロサは、岡倉天心を助手として日本中を調査して歩いた。西洋化が主流となるなか、フェノロサは日本の伝統美術の素晴らしさを説き、人々に日本文化の素晴らしさを再認識させた。



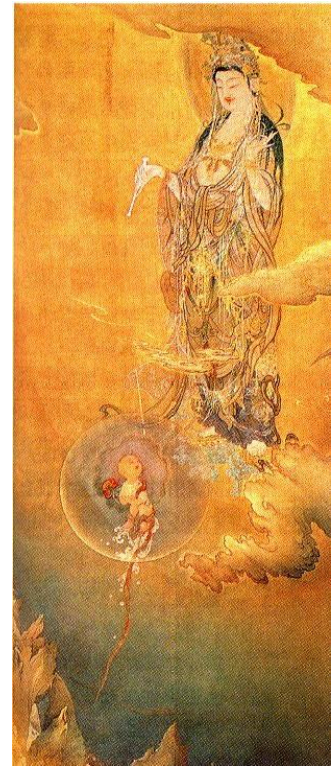
浅井忠「収穫」(東京芸術大学蔵)



高橋由一「鮭」  
(東京芸術大学蔵)

【東京美術学校の設立】

フェノロサは、伝統的な日本画を描く狩野芳崖や橋本雅邦に脚光を当てるとともに、日本画の技術を教える学校の設立を文部省に働きかけた。その結果、1887(明治20)年岡倉を校長として上野に東京美術学校が設立された。現在の東京芸術大学美術学部の前身である。



橋本雅邦「竜虎図」(静嘉堂文庫美術館蔵)

狩野芳崖「悲母親音」  
(東京芸術大学蔵)

【東京美術学校のその後】

東京美術学校が設立されたころ、パリで後期印象派の技法を学び外光派とよばれた黒田清輝らは、1896(明治29)年に白馬会を結成した。同年、彼らにより東京美術学校に洋画部が創設された。そのため、日本画教育を進める岡倉は彼らと対立し、東京美術学校を辞職して、橋本雅邦・横山大観・下村観山らとともに日本美術院を設立した。黒田の絵は、現在の東京芸術大学の横にある黒田記念館で見ることができる。



黒田清輝「湖畔」  
(東京文化財研究所 城野誠治氏撮影)



黒田記念館(台東区上野公園)

# 特集5 擬洋風建築からオフィス街の誕生へ

## 学びの窓 日本の西洋建築はどのように広がっていったのでしょうか？



(富田昭次『絵はがきで見る日本近代』(青弓社))



(国立国会図書館蔵)



(国立国会図書館蔵)

- ・ Aは、東京にできたロンドン風の街並みです。
- ・ Bはイスタンブールの聖堂に、Cはアムステルダム駅に似た建物です。また、Dは、ヴェルサイユ宮殿を、模して建てられた建築物です。
- どのようにして建物の洋風化が進んだのか考えてみましょう。

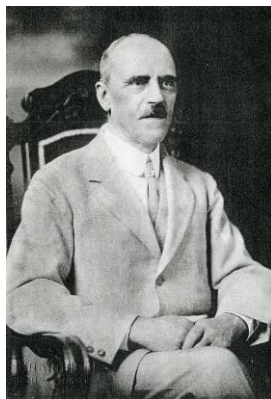


(迎賓館提供)

### 【西洋建築の時代】

Eは当時の第一国立銀行で、西洋建築の上に城の<sup>てんしゅかく</sup>天守閣を乗せた和洋折衷の建物になっている。このように、外観を西洋建築に似せてつくった建物は「擬洋風建築」とよばれ、長野県松本の<sup>かい</sup>開智学校など、明治初期に建てられた学校や役所に多くみられた。

本格的な西洋建築を建てるために政府がイギリスからまねいたジョサイア・コンドルは、工部大学校(現東京大学工学部)において西洋建築の設計を教えた。彼は、その第一期生の教え子であった<sup>たつの</sup>辰野<sup>きんご</sup>金吾・<sup>かたやまとうくま</sup>片山東熊・<sup>そね たつぞう</sup>曾禰達蔵・<sup>さたち</sup>佐立



ジョサイア・コンドル



第一国立銀行  
(国立国会図書館蔵)

七次郎の4人とともに日本の西洋建築界をリードし、数々の建物を残した。

コンドルは、鹿鳴館や、赤煉瓦造でロンドンの街をイメージした「一丁倫敦」とよばれたAの街を設計している。そのほか、ビザンチン様式を取り入れた御茶ノ水のBのニコライ堂（千代田区駿河台）や、上野不忍池近くのFの旧岩崎邸や駒込の旧古河庭園（北区西ヶ原）の洋館なども設計した。

辰野は、東京帝国大学の工学部教授となり、日本橋のGの日本銀行本店や、アムステルダム中央駅を参考にしたCの東京駅などを設計した。

片山は、宮内省の技官となり、ヴェルサイユ宮殿を模したDの赤坂離宮（現迎賓館、港区元赤坂）などを設計した。

曾禰達蔵は三菱財閥の建築技官であったことや、三菱を創業した岩崎家や福沢諭吉と親しかったことから、Hの慶応義塾図書館などを設計した。

佐立は、工部省技官となり、日本郵船小樽支店を設計したほか、千代田区永田町の憲政記念館にある日本水準原点標庫などを設計した（P93 参照）。



旧岩崎邸（台東区池之端）



日本銀行本店（中央区日本橋本石町）  
（日本銀行提供）



慶応義塾図書館（港区三田）（慶応義塾大学提供）

### 【三菱一号館の復元】

三菱一号館は1894(明治27)年、コンドルが設計した洋風事務所建築である。一帯はロンドンの様相を模したオフィス街で「一丁倫敦」とよばれた。その後、都市人口の増加や大学などの教育機関の充実が生み出した都市中間層がサラリーマンとして働く場となっていった。

なお、三菱一号館は老朽化にともない解体されたが、2010(平成22)年に当時の設計図を基に復元され、三菱一号館美術館となっている。

また、JR東京駅は太平洋戦争の空襲で焼失し創建当時と違うつくりとなっていたため、2012(平成24)年の完成を目標に、Cのように創建当時の三階建て丸屋根への復元工事をおこなっている。



三菱一号館美術館（千代田区丸の内）

## 19- (1) 帝国議会につめかけた人々

### 学びの窓

群衆は帝国議会に対してどのような要求をしているのでしょうか？



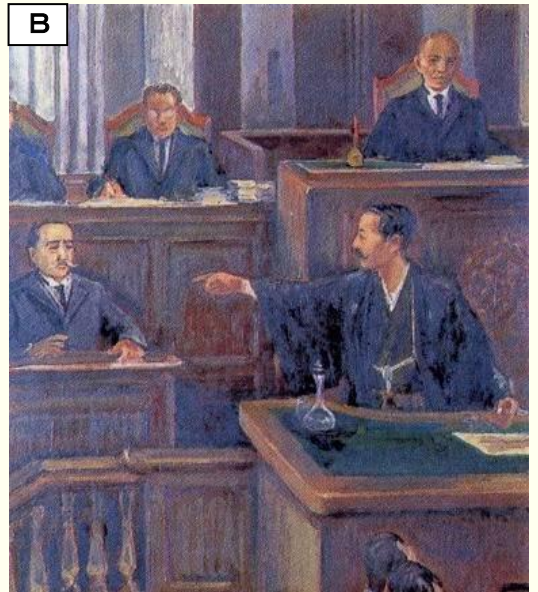
A

・ Aは、1912(大正元)年に当時の衆議院を取り囲んでいる群衆の様子です。

・ Bは、帝国議会内で桂太郎首相を糾弾している尾崎行雄衆議院議員の姿を描いたものです。

・ Cの尾崎の立憲政友会と犬養毅の立憲国民党が共同して、帝国議会内外の動きをリードしていました。

●この群衆は何を要求して、なぜ衆議院を取り囲んだのか、当時の時代背景を踏まえて考えてみましょう。



B

(衆議院憲政記念館蔵)



C

犬養毅

尾崎行雄

### 【第一次護憲運動の背景】

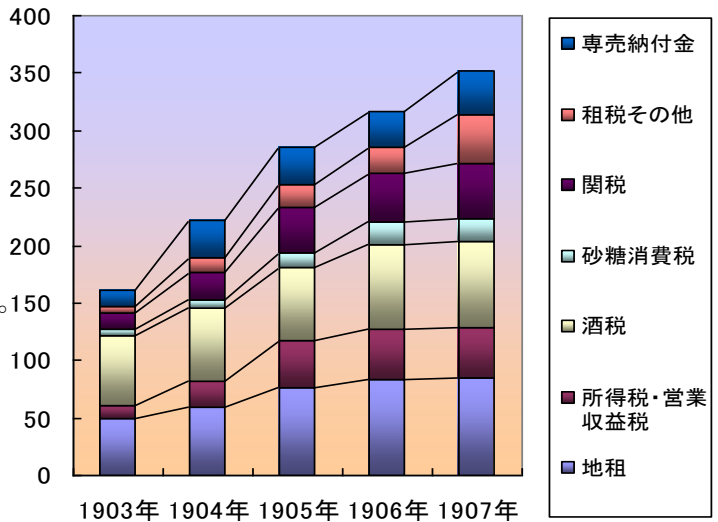
日露戦争で賠償金がとれなかった政府は、戦費に使った国債の返済のため、税の新設や増税をおこない、国民に負担を強いた。

このような財政状況にもかかわらず、陸軍は朝鮮に駐留させる軍隊として、2個師団分の増設を求めた。師団増設には兵舎・兵器、輸送用の馬のほか兵隊の給料や軍服なども必要なため、軍事費の引き上げが要求されたが、当時の西園寺公望首相は、行財政の無駄を整理していく方針(緊縮財政)から、陸軍の要求を拒否した。これに反発した陸軍は、陸軍大臣が単独で辞任したうえ後任者を推薦しなかったため、軍部大臣現役武官制のもと第2次西園寺内閣は後任を補充できず、総辞職に追いこまれた。

総辞職直後に陸軍閥で長州藩出身の桂太郎が3度目の内閣を組織すると国民の大きな反発をまねき、1912(大正元)年尾崎行雄・犬養毅らは2個師団増設の推進に反対するため、「閥族打破・憲政擁護」をかかげた第一次護憲運動を展開した。この運動には議員・資本家・弁護士・新聞記者だけではなく、多数の国民が参加した。

しかし翌年、桂首相は新たに政党を結成して、師団増設反対派の切り崩しを始めた。そこで、立憲政友会と立憲国民党が中心となり、内閣不信任案を提出して桂首相を糾弾すると、桂首相は議会を5日間停会にし、詔勅で内閣不信任案を撤回させようとした。

これに対して、護憲運動はますます強まり、民衆は衆議院を取り囲み、桂内閣の退陣を要求した。これを見た桂首相は総辞職を決意し、わずか53日間で退陣した。これを大正政変とよぶ。



日露戦争前後の政府財政『明治以降本邦主要経済統計』による

【軍備拡張の風刺画】



西園寺村（内閣）の村長さんが、耕地にはびこる雑草（行財政の無駄）を刈り取っているのに（緊縮財政）、ようやくつくり出した耕地には海軍大臣が「海軍拡張」の杭を打ち、陸軍出身の朝鮮総督寺内正毅も「2個師団増設」の杭を立てようとしている姿が描かれている。

『東京パック』1912年7月  
(東京大学法学部明治新聞雑誌文庫蔵)

【憲政記念館に行ってみよう】

憲政記念館（千代田区永田町）の中庭には尾崎行雄の銅像がある。尾崎は1890(明治23)年の第一議会から50年以上衆議院議員として活躍し「憲政の神様」とよばれた。この記念館では、帝国議会・国会の成立から現在に至るまでの流れを知ることができる。



尾崎行雄銅像 (衆議院憲政記念館蔵)

憲政記念館の地には、陸軍参謀本部の測量部がおかれていたことから、現在でも地図作製の基準「日本水準原点標庫」がある。ギリシア神殿を模した建物で、コンドルの弟子、佐立七次郎の設計である。全国のおもな道路沿い2km毎に土地の高度を測る水準点がおかれているが、ここには、その原点標が納められており、「測量の日」（6月3日）の前後に記念事業として内部が公開される。

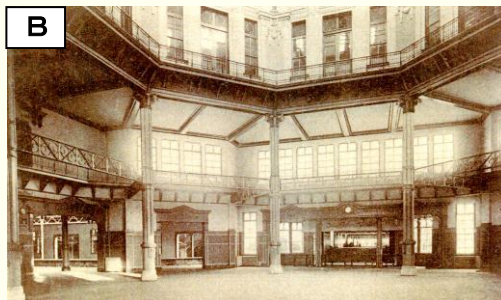


日本水準原点標庫

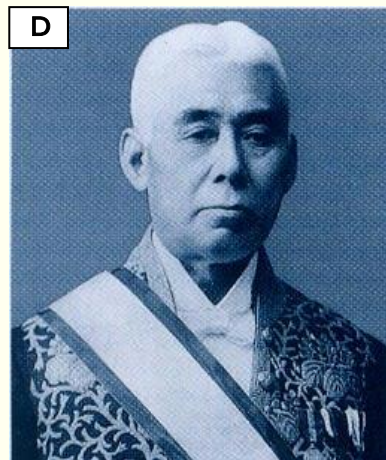
19-(2) 平民宰相の誕生

学びの窓

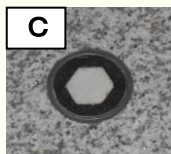
どのような背景のもと平民宰相が誕生したのでしょうか？



(富田昭次『絵はがきで見る日本近代』(青弓社))



(国立国会図書館蔵)

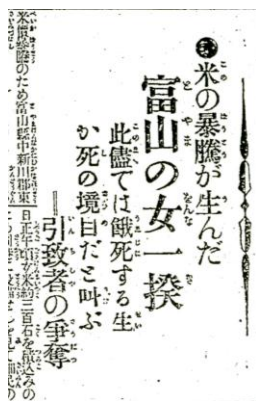


『東京日日新聞』1921(大正10)年11月5日

- ・ Aは、「平民宰相」原敬 (D) が1921(大正10)年に刺殺された事件を報道した新聞です。
- ・ Bは、当時の東京駅丸の内南口を写したもので、原首相が襲われた場所には、現在Cのように一枚だけ色の違うタイルが埋め込まれています。
- 「平民宰相」原敬はなぜ、暗殺されたのでしょうか？
- 初の本格的政党内閣の成立とその後の経過について考えてみましょう。

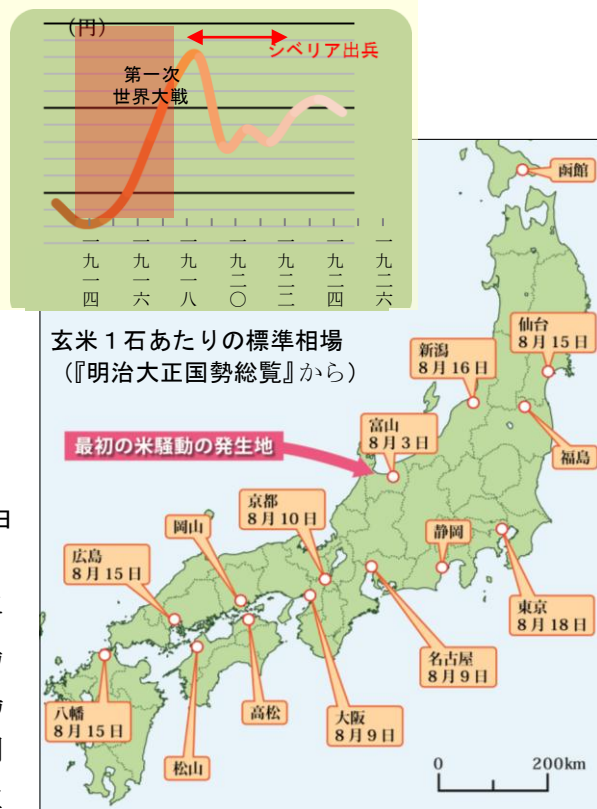
【第一次世界大戦への参戦】

「ヨーロッパの火薬庫」とよばれるバルカン半島をめぐるゲルマン系のオーストリアとスラブ系のセルビアの対立から、1914(大正3)年に勃発した第一次世界大戦は、オーストリア側についたドイツなどの同盟国と、セルビアを支援するロシア・イギリス・フランスの連合国による大規模な戦いとなった。



『東京朝日新聞』1918(大正7)年8月8日

同年、第2次大隈重信内閣は、日英同盟を理由に連合国側について参戦し、中国の山東半島にあったドイツの租借地青島やドイツ領南洋諸島を占領した。また、翌年政府は、辛亥革命(1911(明治44)年)で1912(大正元)年に清にかわって成立した中華民国政府に二十一カ条の要求をつきつけ、



米騒動の発生場所



軍事力を背景にその大部分を認めさせて、中国における権益を拡大した。

また、1917(大正6)年に起こったロシア革命により、世界で初めて成立した社会主義政権であるソビエト政府は土地などの生産手段の個人所有を禁じ、工場・銀行などをすべて没収した。それに対して脅威を感じた資本主義国のアメリカ・イギリス・フランス・日本は、革命に干渉するため、翌年シベリア出兵をおこなった。



上：普選運動

左上：原内閣の誕生を伝える新聞記事

『東京日日新聞』 1918(大正7)年9月26日

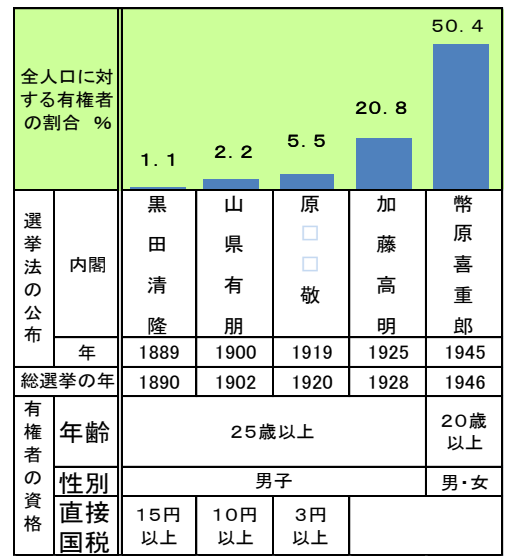
【政党内閣の形成】

1918(大正7)年シベリア出兵の噂が出ると、米価は高騰し、富山県魚津の女性たちが米価引き下げを求めたことを機に、米問屋を襲撃するなどの騒ぎが日本中に広がった(米騒動)。陸軍出身の寺内正毅首相は、軍隊を動員して鎮圧したが、世論の反発は強く、国民の支持を受けた原敬内閣が成立した。

原は爵位をもたず、国民が選んだ衆議院議員として初めて首相となったため、「平民宰相」とよばれ、内閣も陸軍大臣・海軍大臣・外務大臣を除くポストをすべて立憲政友会が占めたため、初の本格的政党内閣といわれた。

原内閣は、大学や高等学校を増設して高等教育を充実させ、地方の鉄道路線や道路整備に予算を投入し、資本主義をさらに進める政策をとった。しかし、すべての男性に選挙権を与える普通選挙法の制定を求める普選運動に対しては時期尚早として反対し、1919(大正8)年の衆議院議員選挙法改定では、選挙権の条件をゆるめるにとどまった。

原内閣は、立憲政友会の支持者が土地をもつところに鉄道を通すなど、利益誘導型の政治を展開し、選挙で勝利して党勢の拡大をはかった。しかし、立憲政友会員の関係した汚職事件が相次いだため、世論の批判と反発が強まり、原首相は立憲政友会大会に出席する途中、東京駅で刺殺された。



選挙法改正

【賀川豊彦と普選運動】

キリスト教社会主義者の賀川豊彦は、日本最初の小作人の全国組織である日本農民組合を結成した人物で、労働者の地位向上のための友愛会に所属していた。原内閣の1918(大正7)年12月には、普通選挙を求める組織を結成しており、翌年2月には野党が普通選挙法案を提出するに至っている。

右の写真は、世田谷区上北沢の賀川豊彦記念・松沢資料館で、賀川の足跡に触れる資料を見ることができる。

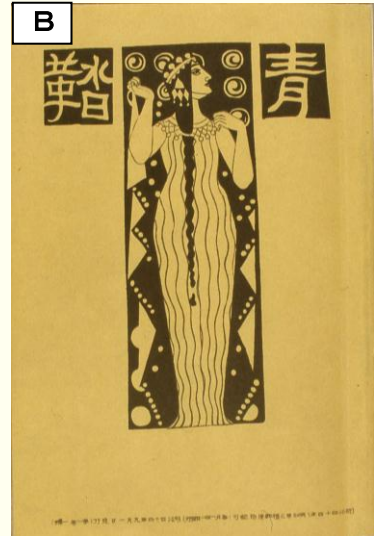


## 20- (1) 「元始、女性は実に太陽であった」

**学びの窓** 女性はどのような状況から解放されることを望んだので

## しょうか？

- ・ **A** は、平塚らいてうという人物で、1911(明治44)年に女性解放を主張する青鞥社という女流文学団体を設立しました。
- ・ **B** は、青鞥社が発行した雑誌『青鞥』の創刊号の表紙です。
- なぜこのような運動が必要だったのか、その時代背景を考えてみましょう。



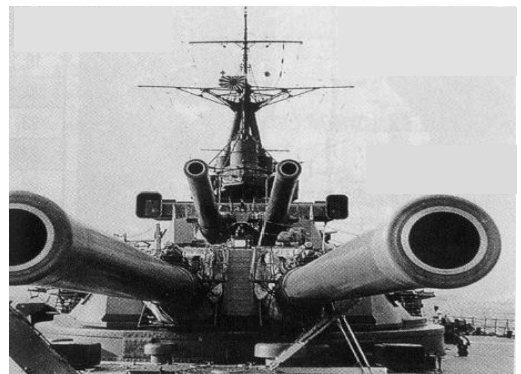
(日本近代文学館蔵)

## 【第一次世界大戦後の国際情勢】

1918(大正7)年、第一次世界大戦は多くの戦死者と負傷者を出して終結した。しかし、その後も、各国は軍艦を建造するなど、軍備拡張を続けた。日本でも戦艦8隻・巡洋戦艦8隻、計16隻を建造する八・八艦隊計画が進められ、1920(大正9)年には、当時世界最大の口径40cmの大砲をもつ戦艦「長門」が建造された。しかし、このような軍備拡張競争の継続は欧米諸国や日本にとって大きな財政負担となった。

第一次世界大戦後の平和維持と軍備縮小を目的に、1919(大正8)年パリ講和会議が開かれ、翌年にヴェルサイユ条約が結ばれた。講和の基本原則とされたのは、アメリカのウィルソン大統領が提唱した「民族自決、軍備縮小、平和機関の創設など」の十四か条の平和原則であったが、戦勝国の利害が優先され、この原則は部分的にしか実現されなかった。

ロシア革命や十四か条の平和原則の影響で国際的に民族自決の風潮が広がると、1919(大正8)年3月には朝鮮において、日本からの独立をめざす運動(三・一独立運動)が起こった。さらに、5月には日本が山東省の旧ドイツ権益を継承することに抗議する反日運動(五・四運動)が中国各地に広がった。一方、ウィルソンが提唱した国際平和機関の構想は、1920(大正9)年に国際



戦艦「長門」(大和ミュージアム提供)



ワシントン会議(毎日新聞社提供)



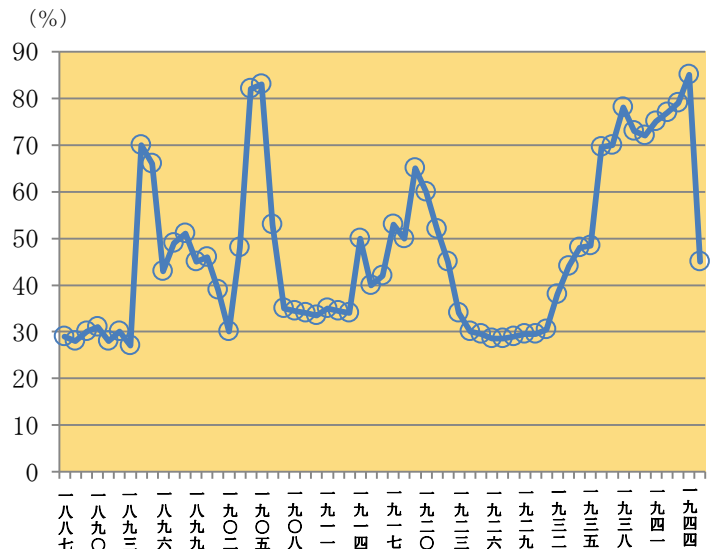
戦艦「敷島」からの兵器の撤去

(朝日新聞社提供)

れんめい  
連盟として実現した。

また、翌年から開催されたワシントン会議では海軍軍縮条約が結ばれ、日本保有の主力艦の総トン数を英・米両国の6割に制限することになった。これにより、海軍は八・八艦隊計画を断念し、旧型戦艦「敷島」の兵器を撤去したり、完成間近だった戦艦「土佐」を廃棄したりしている。

ワシントン会議以降、日本の外交の中心となった幣原喜重郎外相は欧米との協調外交を進め、政府は軍備縮小によって軍事費をおさえこむことに成功した。



歳出総額に占める総軍事費の割合

幣原外相による協調外交の時期（1920年代）には、政府の歳出における軍事費の割合が最も低かった。山田朗『軍備拡張の近代史』から作成

### 【社会運動の勃興と普通選挙法の成立】

吉野作造が提唱した民本主義などのデモクラシーの風潮を背景に、第一次世界大戦後民主化を求める声が強まり、日本でも社会運動が起こった。労働者の増加により労働運動が高まり、労働者の全国的組織も結成された。また、小作人による小作争議が頻発し、社会主義者らによる活動も活発化するなか、平塚らいてうが明治末に青鞥社を結成したことに始まる女性解放運動もこの時期一層推進された。被差別部落に対する社会的差別を自主的に撤廃する運動も展開され、1922（大正11）年に全国水平社が設立された。

こうした風潮のもと、1924（大正13）年に清浦奎吾が貴族院や官僚を中心に非政党内閣をつくと、憲政会・革新倶楽部・立憲政友会の3党は第二次護憲運動を起こして内閣打倒をめざした。翌年の総選挙では3党が大勝して、憲政会の加藤高明を首相とする護憲三派内閣が成立した。1925（大正14）年、加藤内閣は納税額による制限を廃止し、25歳以上の男性全員に選挙権を認める普通選挙法を成立させた。しかし、同時に国体の変革や私有財産制度を否認する運動をおさえることを目的とした治安維持法も成立させた。

#### 【平塚らいてう】

1911（明治44）年に青鞥社を結成した平塚は、その機関誌『青鞥』の創刊号のなかで「元始、女性は実に太陽であった」と宣言し、封建的で古い習慣から女性が解放され、自由で自立した女性を理想とすることを訴えた。この創刊号の巻頭の文章は与謝野晶子（よさのあきこ）が書いており、表紙の絵は長沼智恵子（ながぬま ちえこ）（のちの高村光太郎の妻）がデザインしている。千駄木駅近くの団子坂を上った所に青鞥社発祥の地のプレート（文京区千駄木）が建てられている。



青鞥社発祥の地プレート  
（文京区千駄木）

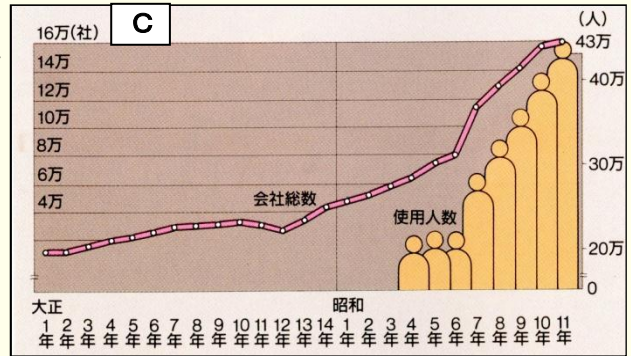
## 20-(2) 市民文化と東京の変貌<sup>へんぼう</sup>

### 学びの窓 昭和初期の都会生活はどのようなものだったのでしょうか？



上：文化住宅の応接間  
左：文化住宅全景  
(新宿区立新宿歴史博物館蔵)

- ・ Aは、昭和初期に流行した「文化住宅」とよばれるもので、和風住宅の玄関の横にBの洋間を付属させたつくりとなっています。
- ・ Cは、東京におけるサラリーマン人口の増加を表したものです。
- A・BやCからどのような人々がこの文化住宅に住み、東京でどのようにくらしていたのかを考えてみましょう。



サラリーマンの増加  
(新宿区立新宿歴史博物館『常設展示図録』)

#### 【サラリーマンの文化住宅】

日本経済の発展は、東京や大阪における都市化を急速に進展させた。このような状況のなか、事務職員として企業に勤める高学歴のサラリーマンが生み出される一方、京浜工業地帯や阪神工業地帯に勤める労働者も増加していった。

1923(大正12)年9月1日に起こった関東大震災は、東京の下町を中心に大きな被害をもたらした。しかし、これにより江戸時代以来の東京の街並みは一変し、西洋風の生活様式も急速に普及していった。そうしたサラリーマンの住まいとして東京の郊外に建てられたのが文化住宅である。食生活では、パン食で、コーヒーや紅茶を飲む習慣も生まれ、トンカツやオムライス、カレーライスなどの洋風の食事も広がった。夕食時には家族が一つの「ちゃぶ台」を囲んで、1日のことを語りながら家族でそろって食べたため「一家団欒」という言葉も普及していった。



ちゃぶ台

## 【市民文化の成立】

サラリーマンや労働者の増加にともなう、都会では新聞の需要が高まった。関東大震災によりこれまで東京にあった多くの新聞社が被害を受けるなか、被害を受けなかった『大阪朝日』・『大阪毎日』のそれぞれ系列化にあった『東京朝日』・『東京日日』は発行部数を伸ばしていった。とくに、サラリーマン生活に合わせた夕刊の発行や、1915（大正4）年から開催された**全国中等学校優勝野球大会**（現全国高等学校野球選手権大会）の人気もあって、1924（大正13）年には『大阪朝日』と『大阪毎日』の新聞発行部数が100万部を突破した。そのほかサラリーマン向けの週刊誌の発行も始まった。

また、文化の大衆化を一層進めたのが1925（大正14）年に開始されたラジオ放送で、翌年には東京・大阪・名古屋の放送局が統合され、**日本放送協会**が設立された。1931（昭和6）年に満州事変が始まると、その戦況や家族の安否を確認するため受信契約数が100万件を突破した。

## 【東京の繁華街】



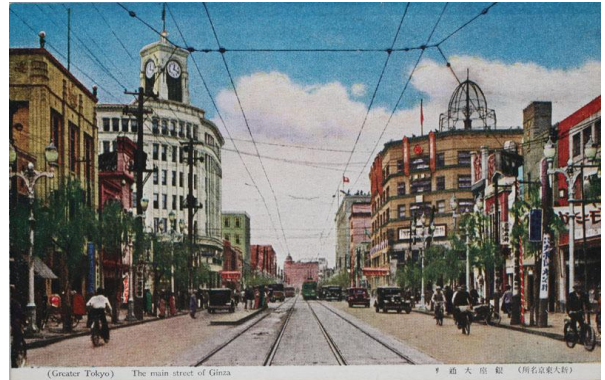
### 庶民の娯楽街・浅草六区

（「浅草公園六区活動街・新大東京名所」東京都立中央図書館蔵）  
1903（明治36）年浅草に日本最初の常設映画館が開業し、関東大震災以降、浅草は映画館、喜劇・オペラを演じる劇場、寄席が軒をつらねた。1929（昭和4）年からのトーキー映画の時代には映画館が林立した。



### 新しい盛り場・新宿

（「新宿大街・新大東京名所」東京都立中央図書館蔵）  
関東大震災後、下町から多くの人々が東京西部に移り住み、郊外電車が乗り入れる新宿はターミナル駅として発展し、デパートが進出すると買い物と娯楽の新しいタイプの繁華街となった。



### モボ・モガの街・銀座

（「銀座大通り・新大東京名所」東京都立中央図書館蔵）  
明治期後半から銀座には、舶来品や最新の工業製品が並び、関東大震災以降、松坂屋、松屋、三越のデパートがにぎわい、西洋の流行を身につけたモダンガール（モガ）やモダンボーイ（モボ）が行きかう商店街となった。



### 新しいターミナル・渋谷

（東横百貨店と渋谷駅：鹿島提供）  
明治後期の渋谷は、山手線の電化、玉川電車の開業でターミナル駅として周辺に商業地域が形成された。関東大震災後、近くに同潤会アパートが建築されるなどして、近代的な都会へ変貌していった。

## 特集6—(1)地下鉄の開業

### 学びの窓

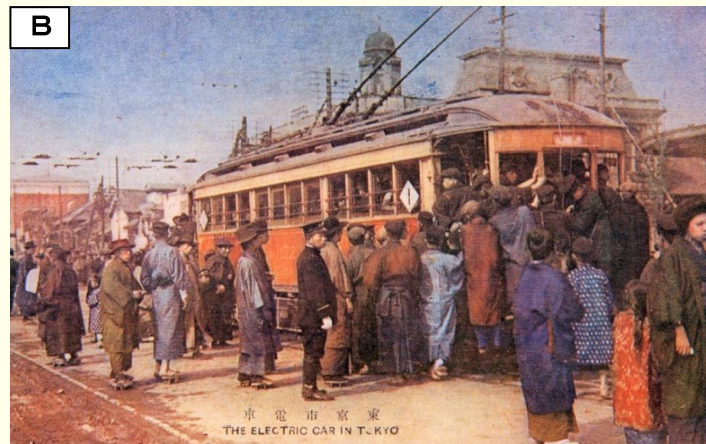
地下鉄の開業はどのような影響を与えたのでしょうか？



左：杉浦非水「東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通」  
(東京国立近代美術館蔵)

下：東京都交通局『わが街わが都電』

- ・ **A**は、東京の地下鉄が開業したときのポスターです。
- ・ **B**は、当時の東京市を走っていた路面電車めんでんしゃの様子です。満員電車は東京名物の一つでした。
- **A**と**B**からなぜ、地下鉄がつくられるようになったのか、考えてみましょう。



### 【地下鉄の開業】

大正時代に入り、人口が200万人を超えた東京は大都市へと変貌へんぼうしていった。このため、東京市内の交通事情が悪化し、とくに東京市の路面電車（市電）の混雑は限界を超えていた。危険を承知でぶら下こって乗ることが日常茶飯事にちじょうさはんじとなり、女性や子供は危険で乗車できずに「東京名物満員電車」として歌にも歌われた。

この交通事情を改善するため、大量・高速輸送機関としての高架鉄道や地下鉄道の必要性がさげられるなか、東京市には地下鉄が最も適していると考えたのが、のちに「地下鉄の父」と呼ばれる早川徳次はやかわのりつぐであった。



日本初の地下鉄車両 1000形 1001号車  
(地下鉄博物館 江戸川区東葛西)

地下鉄は、1863（文久3）年、イギリスのロンドンで世界最初に開業したが、初めは蒸気機関車であったため、煙をはいて評判が悪く、1890（明治23）年には電車となった。

欧米諸国の地下鉄を見て研究した早川の尽力により、東京地下鉄道株式会社が設立され、1927（昭和2）年日本最初の地下鉄が、浅草・上野間に開業した。1934（昭和9）年には浅草・新橋間まで延長され、当時最も繁華街として栄えていた浅草と上野、日本橋、新橋が地下鉄で結ばれた。

一方、1934（昭和9）年に設立された東京高速鉄道株式会社が1938（昭和13）年に虎ノ門・渋谷間を、翌年には虎ノ門・新橋間を開通させた。そしてこの二つの会社の路線が新橋で結ばれ、現在の東京メトロの銀座線浅草・渋谷間14.3kmが開業した。

しかし、日中戦争がはげしくなると、戦時体制強化の方針のもと、交通機関も整理統合され、国家統制下におかれた。東京地下鉄道と東京高速鉄道は帝都高速度交通営団に統合され、これが現在の東京メトロの前身となった。



地下鉄車内（復元） 立ち客用のつり手は白いホーロー引きバネの入った「リコ式吊り手」というアメリカの新型を輸入した。（地下鉄博物館）



日本初の自動改札機の復元 10銭の白銅貨を入れると横木（バー）が一人通るごとに回転する。横木に達しない身長の子供は無料であった。（地下鉄博物館）

### 【地下鉄銀座線の史跡を歩く】



**C** 地下鉄銀座線の浅草・渋谷間は「近代化産業遺産」に認定・登録されている。

#### C 地下鉄の父・早川徳次の像

日本の地下鉄開業に尽力した偉業をたたえ、東京メトロ銀座駅のB6出口付近のコンコース中央におかれている。

#### D 開業時の地下鉄の内壁とポスター

東京メトロ銀座線上野駅にはスクラッチ・タイルというフランク・ロイド・ライトが帝国ホテル建築に使った最新流行のタイルの内壁が復元されている。その上には杉浦非水が描いた当時の雰囲気わかるポスターも掛けられている。



#### E 開業時の地下鉄出入口

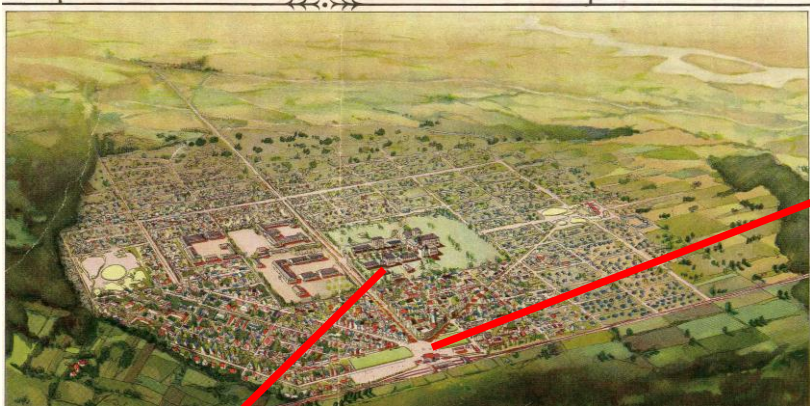
浅草駅の出入口には、昭和の初めに流行した桃山様式という建築様式が残されている。改築前の歌舞伎座や浅草の仲見世商店街と同じデザインである。



特集 6- (2) 東京の郊外に都市ができる！


学びの窓 東京の宅地開発はどのようにしておこなわれたのでしょうか？

**A**




（くにたち郷土文化館蔵）

**B**




（国立音楽大学蔵）

**D**



（一橋大学提供）

**C**



（くにたち郷土文化館蔵）

- ・ AとCは、国分寺と立川の間に計画的につくられた新しい街「国立」のパフレットです。洋風住宅が建てられている様子がわかります。
  - ・ Bは、中央線に新設された国立駅で、Aでは駅から放射状に伸びる道路の様子がわかります。
  - ・ Dは、街の中央にある東京商科大学（現一橋大学）で、写真は国立に移転したころ建てられた兼松講堂です。
- 国立の街はどのように開発されたのか、大正から昭和初期の時代背景をもとに考えてみましょう。

【郊外における宅地開発】

日露戦争後には就学率が高くなり、第一次世界大戦後には、東京に高等教育機関も数多く設置された。また、工業化の進展も著しく、東京にはサラリーマンや労働者が大幅に増加した。

しかし、こうした人口の急増に対して、現在の山手線の内側の地域では対応できず、新たな住宅地を開発する必要があった。そこで、山手線の駅を起点とした郊外鉄道沿いに宅地開発が計画された。その最も早い例が1918(大正7)年に渋沢栄一の提唱で設立された田園都市株式会社が開発した「田園調布」である。ドイツ風の駅舎を中心に放射状道路と同心円状道路が交わる計画的な街で、当時ヨーロッパで提唱されていた「都市の工場群から出る煙を逃れ、郊外で健康的な生活



町足洗郡原在府京東  
**社 會 式 株 市 都 園 田**  
 (九五六四・八八一三 編高) 監製

田園都市案内図  
 (東京急行電鉄提供)



をすること」が基本理念であった。

### 【学園都市の形成】

1922(大正 11)年には、箱根土地株式会社(現プリンスホテル)が目白駅郊外に上下水道とセントラルヒーティングを完備し、テニスコートまで備えた「目白文化村」を分譲した。1924(大正 13)年には武蔵野鉄道(現西武池袋線)沿線の大泉で「学園都市」計画を立てた。大学は誘致されなかったが、国立駅とそっくりの駅舎が建てられ、武蔵野鉄道はそれまでの農産物運搬用から旅客用の鉄道となっていた。



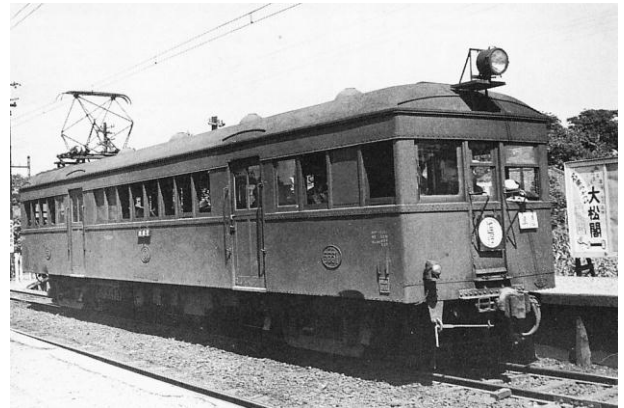
田園調布の街並み  
(東京急行電鉄提供)



「目白文化村」の広告の絵葉書 (プリンスホテル蔵)



旧大泉学園駅舎 (『大泉農業協同組合 40 年史』から)



武蔵野鉄道 (『鉄道ピクトリアル 560 号』荻原二郎氏撮影)

### 【国立大学町】

学園都市の発想は、イギリスのケンブリッジやオックスフォードのように大都市から離れて、大学を中心とした街並みを計画的につくるということからきている。関東大震災により、旧江戸城の一ツ橋門近くにあった東京商科大学は大きな被害を受けたため、1925(大正14)年に開発された国立大学町に移転した。1948(昭和23)年創設の地の名をとって一橋大学(国立市中)と改称し、現在に至っている。



震災直後の東京商科大学  
(一橋大学附属図書館蔵)

## 21- (1) 関東大震災の悲劇

### 学びの窓 関東大震災の様子とその被害は

どのようなものだったのでしょうか？



A  
震災で倒壊した浅草のシンボル12階（奥）  
（『写真集・関東大震災誌』千秋社から）



B  
振り切れた地震計  
（復興記念館蔵）



C  
「東京大震災絵巻」（復興記念館蔵）

- ・ AやB、Cから関東大震災の地震の大きさが想像できます。
- 関東大震災の被害の状況とその影響について考えてみましょう。

### 【関東大震災の発生】

1923（大正12）年9月1日午前11時58分、南関東一帯を巨大な地震が襲った。これが関東大震災である。マグニチュードは7.9と推定され、中央气象台始まって以来の激震で、震源地は東京から約80kmの相模湾北西部の海底、震源の深さは約15kmであった。被害は、東京を中心に、神奈川県しやうなんの湘南地方・三浦半島・房総半島ぼうそう全域におよんだ。

東京では隅田川の東岸、現在の墨田区や江東区一帯で最も激しい揺れとなったが、この地域の倒壊家屋は20～30%に過ぎなかった。しかし、大地震発生が正午近くであったため、昼食の準備をしている各家庭などで火災が起こり、その被害が大きかった。

火災は9月3日の明け方まで続き、  
両国の陸軍被服廠りくぐん ひふくしょうの跡地では4万人  
近くの人々が死亡した。当時の東京15  
区のうち、日本橋区、浅草区、本所区、  
京橋区、神田区、深川区の下町6区の  
焼失面積は80～100%とほぼ壊滅状態かいめつ  
となった。

関東大震災が起きると、社会不安や  
人々の動揺をおさえるため東京市には  
戒厳令かいげんれいが出されて外出が禁止された。



かの こぎ たけしろう  
鹿子木 孟郎「大正十二年九月一日」(東京都現代美術館蔵)

### 【関東大震災の経済的影響】

大震災の損害総額は当時の国家財政の4倍以上にのぼる65億円と推定され、日本経済にも大  
打撃を与えた。京浜工業地帯が壊滅したため、工場や会社の取引・決済に使われる証書である手  
形が現金化できなくなったもの(震災手形しんさいてがた)も多数にのぼり、昭和初期に起こった金融恐慌きんゆうきょうこうの一  
因となった。

### 【関東大震災の史跡を訪れてみよう】

両国国技館や江戸東京博物館の北に位置する横網町公園(墨田区横網)は、陸軍の被服廠跡地  
である。ここは当時東京市が公園にするため陸軍から土地を買収して空き地になっていたため下  
町の人々数万人が逃げこみ、4万人近くの犠牲者を出すこととなった。その後、この地には亡く  
なった人々の霊を弔い、大惨事が再び発生しないことを願って震災記念堂が建設され、現在では  
1945(昭和20)年3月10日の東京大空襲の際の遺骨も納  
め、東京都慰霊堂となっている。慰霊堂の東側には1931  
(昭和6)年に建てられた復興記念館があり、大震災当時  
の記録写真、被害を物語る資料が展示されている。これら  
の周囲には「関東大震災遭難児童弔魂像そうなん じどうちようこんぞう」や「関東大震災  
朝鮮人犠牲者追悼碑ぎせいしゃついでうひ」もある。

このうち、「関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑」は、震災発  
生50年に当たる1973(昭和48)年に立てられ、碑には、  
大震災の混乱のなかで、「朝鮮人が尊い生命を奪われまし  
た。」と記されている。

このように横網町公園  
は都民の慰霊の場となっ  
ている。



東京都慰霊堂



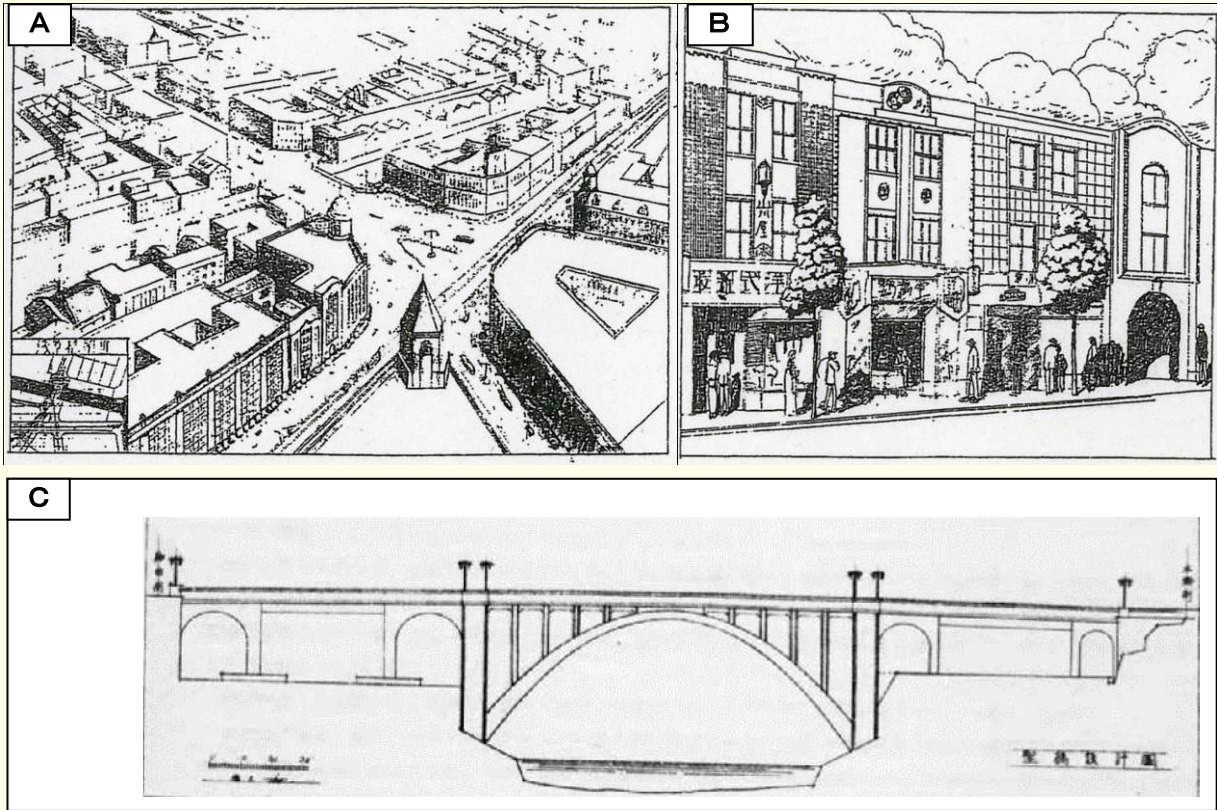
関東大震災朝鮮人犠牲者追悼碑



復興記念館

## 21-(2) よみがえる東京

### 学びの窓 震災後の東京はどのように復興したのでしょうか？



復興局土木部『帝都復興事業に就て』(国立国会図書館蔵)

- ・ Aは、浅草橋（現台東区）付近の復興予想図です。
- ・ Bは、新しい商店街の建築例で、Cは、新しい橋の設計図です。
- 関東大震災後、東京はどのような街をめざし、どのような方法で復興していったのか、調べてみましょう。

#### 【大東京の復興計画】

1923（大正12）年9月2日、関東大震災直後に第2次山本権兵衛内閣が成立した。内務大臣に就任した後藤新平は、かつて東京市長を務めており、「東京の復旧」ではなく、新たに東京を大改造するという意味の「帝都復興」に取り組んだ。9月19日には、実際に計画が立てられ、それを実施する帝都復興院が後藤を総裁として設置された。

後藤は、震災からの復興を、東京を近代的な都市に改造する機会ととらえ、ヨーロッパの都市計画をモデルに復興計画を立てた。その構想は、道路・橋・運河・公園・鉄道網・地下鉄の建設、横浜港を含めた築港計画など総合的なものであった。下町の焼失地域には街路を中核とする都市計画がつけられた。南北を貫く昭和通りや東西を結ぶ大正通り（現



清洲橋（『東京写真帖』東京都公文書館蔵）

靖国通り) が十字型に設定された。隅田川には新しい橋が架けられ、ダイナミックな橋の姿は近代的な都市景観をつくり出した。建築物については、東京市が臨時建築局を設けて、小学校 117 校の再建をはじめ、公共施設を鉄筋コンクリート造とし、耐震・耐火建築にすることをめざした。また、市街地には小公園の配置を計画し、52 の「復興小公園」が小学校に隣接してつくられた。この小公園は校庭の補完機能や災害時の避難場所としても利用される計画であった。

しかし、国の財政事情から復興予算は大幅に削減された。そして 1923 (大正 12) 年 12 月の虎の門事件で山本内閣が総辞職すると、帝都復興院は復興局へ格下げとなり、事業は縮小されたが、1930 (昭和 5) 年に一応の完成をみた。

### 【首都の住宅供給】



表参道ヒルズの一角に再現された同潤会青山アパート

1924 (大正 13) 年 9 月、政府は関東大震災の義援金から日本最初の住宅供給機関である同潤会を設立し、鉄筋コンクリート造のアパートを東京各地に建てた。左の写真は青山の同潤会アパートで、代官山、江戸川、住吉などに最近まで残っていたが、現在は一部が残るのみである。

### 【大震災後の新しい東京の姿】

罹災した東京市立の小学校も建て直されることになり、Dのような鉄筋コンクリート造りのモダンな校舎が建てられた。Eのような鉄筋コンクリート造りの商店街もつくられた。Fの聖橋は新しい東京の景観となった。E・Fは「学びの窓」のB・Cが実現したものである。



中央区立常盤小学校 (中央区日本橋本石町)



江東区清澄3丁目の耐火商店街



御茶ノ水駅近くの聖橋

## 22-(1) 銀行がつぶれた

### 学びの窓

昭和の初めになぜ経済混乱が起こったのでしょうか？



東京中野銀行におしよ  
せた預金者  
(朝日新聞社提供)

- ・ Aは、1927（昭和2）年、預金の<sup>はらいもど</sup>払戻しを求めて東京中野銀行に殺到する人々の写真です。
- ・ Bは、紙幣の発行を急いだために印刷が間に合わず、裏を印刷しないで発行した<sup>うらじろ</sup>裏白紙幣です。
- AとBから、昭和の初めに起こった<sup>きんゆうきょうこう</sup>金融恐慌とその後の社会や経済に与えた影響について考えてみましょう。



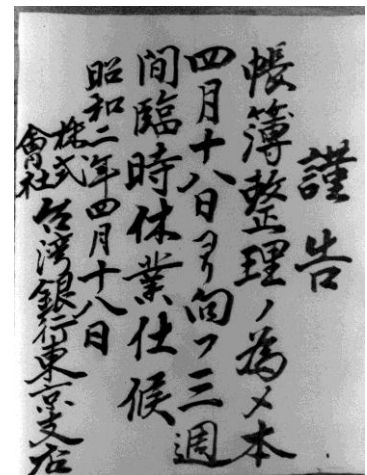
(日本銀行貨幣博物館蔵)

### 【日本の経済発展】

第一次世界大戦が起こると、ヨーロッパ諸国がアジア市場から後退したため、日本商品の輸出が増大した。また、欧米への軍需品の輸出も増えた。アメリカ向けの<sup>きいと</sup>生糸、アジア向けの<sup>めんし</sup>綿糸・綿織物などの軽工業部門が発展し、輸入が途絶えた<sup>とだ</sup>重化学工業も成長し、日本は本格的な工業国となった。この好景気（<sup>けいき</sup>大戦景気）のなかで、三井や三菱の商事部門の取引額に迫るほどに<sup>やくしん</sup>躍進した<sup>ひつとう</sup>鈴木商店を筆頭に、多くの<sup>なりきん</sup>成金が出現した。

### 【金融恐慌の発生】

第一次世界大戦が終結してヨーロッパ諸国がアジア市場に戻ると日本の景気が悪化してきた。1920（大正9）年、株の大暴落が起こり、日本経済は戦後も続いた<sup>とだ</sup>大戦景気から不景気に突き落とされた（<sup>せんごきょうこう</sup>戦後恐慌）。そのうえ、1923（大正12）年には関東大震災によって京浜工業地帯が<sup>かいめつ</sup>壊滅し、経済混乱に襲われた（震災恐慌）。この経済不況を打開するため、憲政会の第1次<sup>けんせいかい</sup>若槻礼次郎内閣は震災手形の整理に着手した。震災手形とは関東大震災のために支払えなくなった手形で、銀行が多く所有し、銀行経営を圧迫していた。1927（昭和2）年、政府は議会で震災手形処理法案を提出したが、予算



台湾銀行の休業通知  
(毎日新聞社提供)

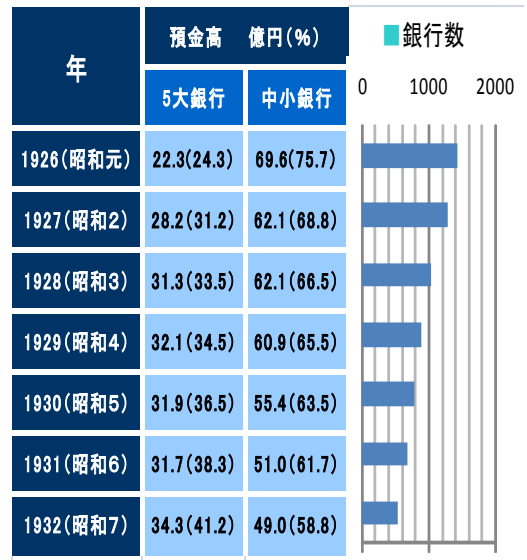
委員会の際に、片岡直温大蔵大臣がまだ営業中の東京渡辺銀行が休業したと失言したことから、同行は実際に休業に追いこまれ、ほかの銀行へも休業しないうちに自分の預金を引き出そうとする多くの人が殺到する、**取付け騒ぎ**が起こった（金融恐慌）。

第一次世界大戦中に発展をとげた鈴木商店も戦後の不況で経営が破綻した。政府は鈴木商店に多額の融資をしていた**台湾銀行**を緊急勅令によって救済しようとする法令案を提出したが**枢密院**で否決され、若槻内閣は総辞職し、台湾銀行も休業して経済混乱は全国へ拡大していった。

ついで成立した立憲政友会の**田中義一**内閣は、ただちに3週間の支払い猶予令（モラトリアム）を発し、銀行からの預金引き出しを停止し、その間に20億円近くの紙幣を印刷して、日本銀行からの非常貸し出しをおこなった。この結果、金融恐慌は終息した。

【金融恐慌の社会的影響】

この金融恐慌をきっかけに預金者の中小銀行に対する不安や不信感が高まり、預金は大銀行に集中した。三井・三菱・住友・安田・第一の五大銀行の力が強まるとともに、銀行の合同や再編成により、中小銀行は整理され、銀行の数も激減した。一方、財閥への経済力の集中が進んだ。



五大銀行の強大化と銀行数の変化  
三和良一『近現代日本経済史要覧』などから作成

【第1回男子普通選挙の実施】



投票所入口に並ぶ有権者の列(朝日新聞社提供)

1925(大正14)年、加藤高明内閣の

もと**男子普通選挙法**が成立した。1927(昭和2)年には、立憲政友会の田中義一内閣に対抗するために、政友本党と憲政会は合同して**立憲民政党**を成立させた。これにより、衆議院の勢力は立憲民政党216名、立憲政友会218名となり、事実上の二大政党の対立となった(第1次加藤高明内閣の成立から8年間二大政党の総裁が交代で内閣を組織する「憲政の常道」が続いた)。金融恐慌をしずめた田中内閣は、1928(昭和3)年衆議院を解散し、**第1回男子普通選挙**を実施した。

東京では、進歩的、革新的な傾向をもつ立憲民政党が得票数、当選者数ともに立憲政友会を上回った。また、労働者や農民による社会変革を唱える**無産政党**は全国的には約48万票を得て、全得票数の5%を占めた。しかし、東京では全得票数の11%にあたる約7.3万票を獲得したにもかかわらず、無産政党の立候補者が乱立していたため、明治時代から社会主義運動をおこなっていた**安部磯雄**のみの当選にとどまった。

全国の選挙結果

全国の選挙結果				東京の選挙結果		
党派名	候補者数	当選者数	得票数	候補者数	当選者数	得票数
立憲政友会	432	218	4,250,848	26	14	225,931
立憲民政党	437	216	4,270,497	23	16	300,349
中立	143	17	607,229	18	0	26,898
革新倶楽部系	17	3	91,250	3	0	9,859
実業同志会	31	4	166,250	5	0	9,343
無産政党	86	8	480,124	13	1	73,154
社会民衆党	17	4	120,044	6	1	31,764
労働農民党	40	2	193,027	3	0	13,367
日本労農党	15	1	91,170	3	0	24,784
日本農民党	9	0	35,750	1	0	3,234
地方無産党	5	1	40,133	0	0	0
計	1,146	466	9,866,198	88	31	645,534

第1回男子普通選挙の結果

## 22-(2) 浜口首相撃たれる！

**学びの窓** 恐慌の深刻化はどのような影響を与えたのでしょうか？



(近現代フォトライブラリー提供)



(朝日新聞社提供)

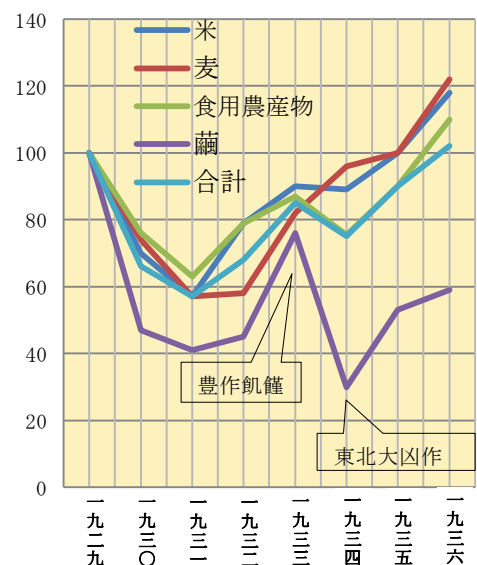
- ・ Aは、**金解禁**で紙幣を金貨に換えようとする人々です。
  - ・ Bは、「破産」を宣伝文句に使う商店です。
  - ・ Cは、失業救済事業の登録に集まった職を求める職人や労働者です。
- A・B・Cから、**金（輸出）解禁政策**と政治・経済・社会に与えた影響について考えてみましょう。

### 【田中義一内閣の外交】

第一次世界大戦後、中国では民族運動が高まっていた。**蒋介石**の率いる中国国民党は民族運動の盛りあがりや背景に北方軍閥の打倒をめざし、1926（大正15）年に**北伐**を開始し、翌1927（昭和2）年南京に国民政府を樹立した。北伐の進展が満州における日本の権益を侵すことを恐れた田中義一内閣は、同年5月在留日本人保護を名目に山東省へ出兵し、北伐を阻止しようとした（**山東出兵**）。翌年山東省を迂回した国民政府が北京に迫ると、これまで日本の援助を受け北京へ進出していた満州軍閥の**張作霖**は満州へ帰還することになった。しかし、関東軍は帰還途上の張が乗っていた列車を奉天郊外で爆破した（**張作霖爆殺事件**）。当時この事件の真相は国民に知らされず、「満州某重大事件」とよばれた。田中首相は事件関係者である軍人の処分をめぐって昭和天皇の信頼を失い、1929（昭和4）年に総辞職した。

### 【金解禁政策と経済不況】

1929（昭和4）年、田中内閣にかわり**立憲民政党**の**浜口雄幸**内閣が成立した。浜口内閣は、為替相場を安定させて輸出を促進させるため、第一次世界大戦中に停止していた**金本位制**への復帰をはかった。そこで政府は、支



1929年を100とする農産物価格の推移  
(岩波講座『日本歴史』から作成)



出をおさえ（**緊縮財政**）、物価を引き下げて「円」の価値を引き上げることで日本企業に国際競争力をつけようとした。1930（昭和5）年に**金（輸出）解禁**を実施し、日本は金本位制に復帰した。

しかし、この前年にニューヨーク株式市場の**暴落**で始まったアメリカの**恐慌**がこの年世界へ**波及**し、**世界恐慌**となった。このため日本のアメリカ向けの**生糸**、中国・インド向けの**綿糸**の輸出は激減し、物価の下落によって倒産する企業が続出した。労働者は賃金の切り下げや**解雇**にあい、町には**失業者**があふれた。また、農村では、**米**や**繭**をはじめ多くの農産物価格が暴落し、農民の生活を**困窮**させた。そのうえ、都会から大量の失業者が帰村し、農村の**窮状**に拍車をかけることとなった（**昭和恐慌**）。

### 【統帥権干犯問題と浜口首相の遭難】

浜口内閣が緊縮財政を実行するには、協調外交による軍備の縮小が不可欠であった。1930（昭和5）年から始まった**ロンドン海軍軍縮会議**では、**軍事費負担**の軽減をはかるために、海軍の反対をおさえ、**巡洋艦**や**駆逐艦**の保有トン数を、アメリカ10、イギリス10、日本7の比率とする**ロンドン海軍軍縮条約**に調印した。

これに対して軍部などは、この条約が明治憲法で定められた「**天皇の統帥権**」を犯したとして浜口内閣を攻撃し、**枢密院**や**貴族院**、**野党**の**立憲政友会**もこれに呼応して大きな政治問題となった（**統帥権干犯問題**）。1930（昭和5）年軍縮条約は**批准**されたが、同年、浜口首相は東京駅で右翼の青年に**狙撃**され、その傷が原因で翌年死亡した。さらに、**経済不況**と**社会不安**が深まったため、1931（昭和6）年末に成立した**犬養毅**内閣の**高橋是清**蔵相は**金輸出再禁止**をおこない、円の**金兌換**も停止した。



狙撃され運ばれる浜口首相  
この傷がもとで亡くなった。（毎日新聞社）



#### 浜口首相遭難現場

浜口首相が狙撃された東京駅のプラットホームは改築で今はないが、最も近いホームの柱にこのプレートはある。

### 【昭和の金融史を訪ねて】



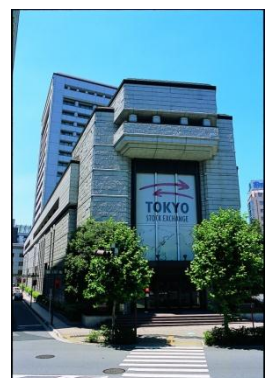
#### 日本銀行金融研究所貨幣博物館 (中央区日本橋本石町)

日本の古代から現代にいたるさまざまな貨幣の展示が充実しており、海外の貨幣も所蔵している。P108の「学びの窓」の裏白紙幣はここで見る事ができる。

#### 東京証券取引所 (中央区日本橋兜町)

1878（明治11）年に東京株式取引所は株の**売買立会**を開始した。戦後の1949（昭和24）年から東京証券取引所が開設されたが、1999（平成11）年株券**売買立会**が閉場して「**東証アローズ**」となった。

東証アローズ証券史料ホール内の展示



## 23- (1) テロ事件と東京音頭の流行

### 学びの窓 テロ事件は日本をどのように変えたのでしょうか？

**A** 第一一七四六六第一一第



**B**



**C** 輝ける一生 首相 犬養毅



『東京朝日新聞』1932 (昭和7) 年3月6日 『東京朝日新聞』1932 (昭和7) 年5月16日

Aは、血盟団事件で**團琢磨**が**B**の三井本館前（中央区日本橋室町）で射殺されたことを伝える新聞です。

・ Cは、五・一五事件での**犬養毅**首相の暗殺を伝える新聞です。

●このようなテロ事件がなぜ起きたのか、当時の国内・国外の状況を踏まえて考えてみましょう。

#### 【満州事変の勃発と軍部の進出】

1931 (昭和6) 年、**関東軍**は奉天郊外の**柳条湖**で南満州鉄道の線路を爆破し、それを中国軍のしわざと主張して中国軍への攻撃を開始した。日本は奉天を占領するなど、満州各地へ進出していった（満州事変）。翌年には清朝最後の皇帝であった**溥儀**を執政（のちに皇帝）として**満州国**を建国した。

中国は満州事変勃発直後に、これらは日本軍の計画的行動であるとして国際連盟に提訴した。1932 (昭和7) 年国際連盟は**リットン調査団**を派遣した結果、満州における日本の権益は認められたが、日本の軍事行動や満州国の独立については正当なものと認めなかった。

国内においては、軍部や右翼が、金輸出再禁止による円安を見越したドル買いで巨利を得た財界の腐敗を激しく攻撃し、議会政治を否定して、天皇親政や軍部独裁による国家改造を主張し始めた。1931 (昭和6) 年の3月と10月には、軍部と右翼が結び政界要人の暗殺が計画されたが未遂に終わった。

#### 【血盟団事件と五・一五事件】

1932 (昭和7) 年2月、**犬養毅**内閣のもとでの衆議院総選挙の最中、立憲民政党の総裁候補であった前蔵相の**井上準之助**が文京区駒込で狙撃され死亡した。また同年3月、三井財閥の中心であった三井合名会社理事長**團琢磨**が狙撃され死亡する事件が起きた。これらの事件は**血盟団**による重要人物に対する大暗殺計画の一端で、12人が逮捕された（**血盟団事件**）。

5月15日、陸海軍の一部青年将校と右翼が、首相官邸をはじめ警視庁や日本銀行などを襲撃した。首相官邸では「話せばわかる」と言った**犬養毅**首相を「問答無用」と射殺した（**五・一五事件**）。この事件後、海軍大将**斎藤実**が首相となり、政党・官僚・軍部・貴族院などの諸勢力からなる**挙国一致内閣**を成立させた。ここに護憲三派内閣以来8年間続いた「**憲政の常道**」とされた政党内閣の時代は終わり、太平洋戦争が終わるまで復活しなかった。

【「東京音頭」 社会に不安が広がるなかで】



「東京音頭」のレコードが出たのは1933（昭和8）年の夏である。東京の公園や広場の多くは東京音頭に合わせて盆踊りをする人の波であふれた。当時、金輸出再禁止をおこなった高橋是清蔵相の財政政策によって、景気は少し回復してきたが、満州事変や五・一五事件が起こるなど世情の不安は続いていた。

**東京音頭**

作詞 西条 八十  
作曲 中山 晋平

一ハア 踊り踊るなら  
          チヨイト 東京音頭 ヨイヨイ  
          花の都の 花の都の 真中で サテ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ

二ハア 東京よいとこ  
          チヨイト 日本照す ヨイヨイ  
          君が御稜威は 君が御稜威は 天照す  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ

三ハア 花は上野よ  
          チヨイト 柳は銀座 ヨイヨイ  
          月は墨田の 月は墨田の 屋形船 サテ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ

四ハア おらが丸の内  
          チヨイト 東京の波止場 ヨイヨイ  
          雁と燕の 雁と燕の 上り下り サテ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ

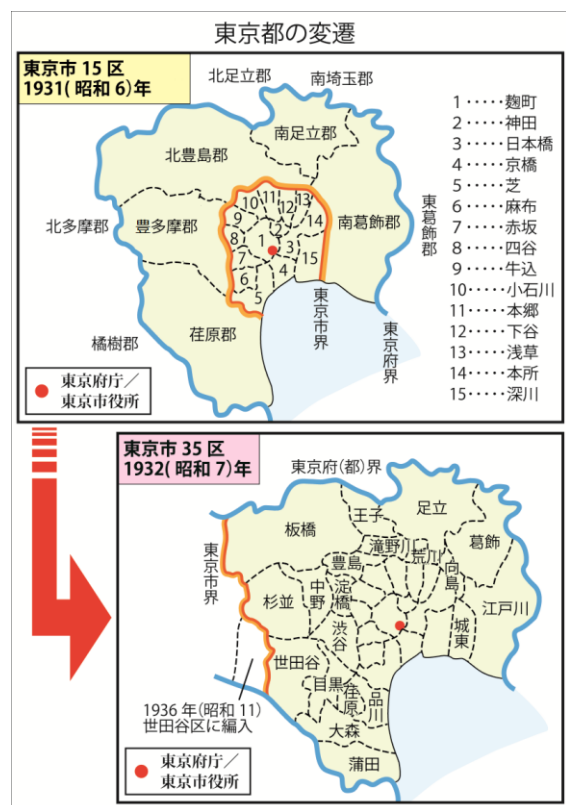
五ハア 君と臣との  
          チヨイト 千歳の契り ヨイヨイ  
          結ぶ都の 結ぶ都の 二重橋 サテ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ  
          ヤートナー ソレ ヨイヨイヨイ

注：現在は一番・三番が歌われるのみである。

【「大東京市」の成立から「東京都」へ】

関東大震災を機に罹災者が郊外に移り住んだため、市内人口が減少し、隣接する多摩以外の5郡の人口は急増していった。

1932（昭和7）年10月1日、東京市は旧15区に、隣接5郡、82か町村を再編した20区（品川・目黒・荏原・大森・蒲田・世田谷・渋谷・淀橋・中野・杉並・豊島・滝野川・王子・荒川・板橋・足立・向島・城東・江戸川・葛飾）を加え、計35区となり、ニューヨークに次ぐ世界第2位の巨大都市となった。これが、「大東京市」の成立である。これにより東京府の存在はうすれ、1943（昭和18）年これを一体化して戦時体制を強化しようと東京都が誕生した（P55 参照）。

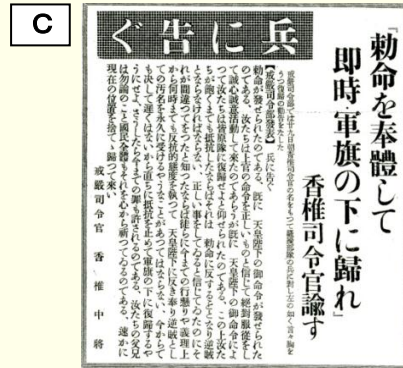


## 23- (2) 東京に戒厳令が出された日

### 学びの窓 二・二六事件は社会にどのような影響を与えたのでしょうか？



上・右上：(毎日新聞社提供)  
右：『東京日日新聞』1936(昭和11)年3月1日



- ・ **A**は、1936(昭和11)年2月26日、陸軍の青年将校に率いられた部隊が外桜田町の警視庁を占拠したときの写真です。
  - ・ **B**は、**A**の陸軍部隊が反乱軍とされたことを示すアドバルーンです。
  - ・ **C**は、東京に戒厳令が出され、反乱軍の武力鎮圧が決定されたことを伝える新聞です。
- 二・二六事件は何を目的に起こされ、どのような結果をまねいたのかを考えてみましょう。

### 【日本の国際的孤立】

五・一五事件後に成立した齋藤実内閣は、満州国の承認にふみきるとともに、満州に兵をおき、日満両国による共同防衛を確立した。1933(昭和8)年の国際連盟の会議において、リットン調査団の報告に基づき、満州における中国の主権を認め、日本の満州国の承認を撤回することを求める対日勧告案が42対1で可決された。日本全権の松岡洋右はその場から退場し、その後、日本は国際連盟からの脱退を通告して、国際的な孤立の道を選んだ。



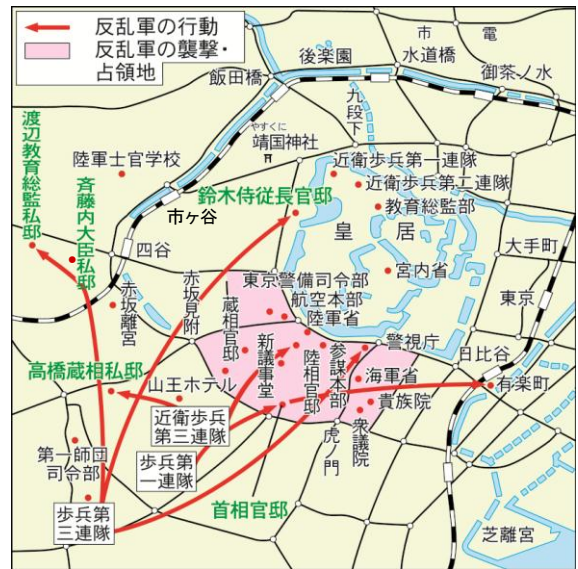
軍人会館(現在の九段会館、千代田区九段南)



国際連盟脱退を報じた新聞記事  
『東京朝日新聞』1933(昭和8)年  
2月25日

【二・二六事件の発生】

陸軍の内部では、日本の「国家改造」をめぐる統制派と皇道派の二つの派閥が激しく対立していた。中堅将校が多かった統制派は日本の国力をすべて戦争に投入できる総力戦体制を合法的にめざし、青年将校が多い皇道派は財閥や政治家を排除して天皇中心の国家体制をめざしていた。陸軍の中枢を握る統制派が皇道派を圧迫すると、1936（昭和11）年2月26日、皇道派の青年将校たちが約1,400名の兵を率いて蜂起し、首相官邸・警視庁・内務省のほか新聞社や重臣の私邸も襲った（二・二六事件）。高橋是清蔵相、斎藤実内大臣、渡辺錠太郎教育総監が殺害され、翌27日に岡田啓介首相は首相官邸から脱出することができたが、東京に戒厳令が発せられ、軍人会館には戒厳司令部が設置された。



二・二六事件関係図

【二・二六事件の終結】

皇道派を支持した荒木貞夫・真崎甚三郎の両大將らは、陸軍大臣に青年将校の反乱を認める告示を出させ、反乱軍は戒厳司令部の部隊に編入された。しかし、28日になると、天皇が厳罰を指示したこともあり、陸軍首脳は一転して反乱軍を軍旗に手向かったとし、原隊復帰の命令を下した。そして29日に反乱軍に対する武力鎮圧を宣言（C）すると、反乱は終結した。事件後、統制派が主導権を握った陸軍など軍部の政治的発言権は一層強まり、1936（昭和11）年に成立した広田弘毅内閣は軍の要求する諸政策を約束し、現役規定が削除されていた軍部大臣現役武官制を復活させた。



移築され公開されている高橋是清邸  
（江戸東京たてもの園、小金井市桜町）



高橋是清元蔵相の邸宅跡にある銅像（高橋是清記念公園、港区赤坂）



渋谷税務署跡に立つ二・二六事件慰霊像（渋谷区宇田川町）  
この地で首謀者が処刑された。

## 24-(1) 幻の東京オリンピック

### 学びの窓 なぜ東京オリンピックを中止することにしたのでしょうか？



(朝日新聞社提供)



『東京日日新聞』1938（昭和13）年7月15日

- ・ **A**は、1936（昭和11）年に1940（昭和15）年開催予定の第12回オリンピックを東京で開催することが決定したことを祝う銀座の街の様子です。
  - ・ **B**は、1938（昭和13）年、日本がオリンピック大会を中止し、開催を返上したことを伝える新聞記事です。
- 東京オリンピックの中止を決めた背景を、日中戦争の展開を踏まえて考えてみましょう。

### 【日独伊三国防共協定の締結】

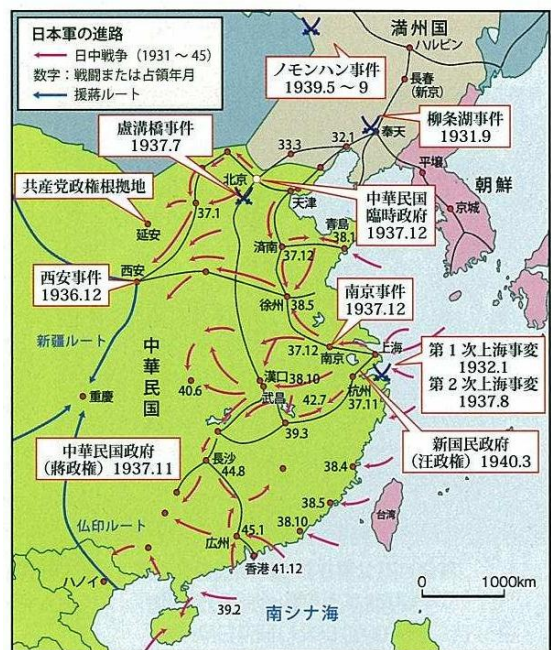
日本が国際連盟の脱退を通告した1933（昭和8）年、ドイツもヒトラーが首相に就任して国際連盟から脱退し、翌年にはヒトラーを総統とする全体主義体制を確立した。イタリアでもムッソリーニによる一党独裁が確立し、1935（昭和10）年エチオピア侵攻をきっかけに国際連盟とも対立した。そのため、ドイツとイタリアの両国は結びつきを強め、**枢軸**を形成した。

1936（昭和11）年日本は、ソ連の共産主義に対抗するためにドイツと日独防共協定を結んだ。さらに翌年にはイタリアも加わって**日独伊三国防共協定**となり、日本も枢軸陣営に参加した。

### 【日中戦争の勃発】

関東軍は1935（昭和10）年以降、中国の華北を国民政府から切り離して支配しようとする華北分離工作を進めていた。これに対して、中国の人々の間に抗日運動が高まり、日本と中国との軍事衝突の危機が迫った。

1937（昭和12）年7月、北京郊外の盧溝橋付近で日中両軍が衝突した（**盧溝橋事件**）。すぐに現地ですべての兵を撤退させたが、近衛文麿内閣は居留民保護を目的とする華北への軍隊派兵を承認し、「**北支事変**」と命名して中国との戦争へ突入していった。



日中戦争要図

8月、上海で海軍将校が中国軍に殺害されると、上海でも日本軍と中国軍との戦闘が開始され（第2次上海事変）、戦線は拡大していった。これに対して、西安事件（1936（昭和11）年）を機に内戦を停止していた国民党と中国共産党が再び手を結び（第2次国共合作）、抗日民族統一戦線を成立させて、各地で日本軍への抵抗を続けた。こうして、この戦争は日中戦争（当時は「支那事変」、その後「日華事変」ともよばれた。）として宣戦布告のないまま泥沼化していった。

### 【日中戦争の展開】

日本は中国に軍を派遣し、当時の中国の首都南京をめざした。12月には南京を占領したが、このとき日本軍が中国の兵士や非戦闘員を殺害する事件が起こった（南京事件）。翌年、近衛首相が「国民政府を相手とせず」との声明（第1次近衛声明）を発したため、両国間の外交関係は断たれ、和平解決の道が閉ざされた。戦線は、長江（揚子江）中流や中国南部にまで拡大していった。一方、中国政府は重慶に移り、アメリカ・イギリス・ソ連などの支援で長期抗戦の体制を整えた。戦争の本格化により日本の軍事費は急増するとともに、多くの兵士が中国戦線に送られた。

### 【第二次世界大戦の勃発と三国同盟】

ヨーロッパでは、ドイツ・イタリアなどファシズム勢力が台頭し、1938（昭和13）年ドイツはオーストリアを併合し、翌年3月にはチェコスロヴァキアを侵略した。さらに、ドイツは同年8月にソ連と不可侵条約を結び、9月にポーランドへの侵攻を開始した。これに対し、イギリス・フランスの両国はドイツに宣戦布告し、第二次世界大戦が勃発した。ドイツは翌年にはデンマーク、ノルウェーへ侵攻し、フランスのパリも占領した。

こうしたドイツの動きに刺激され、1940（昭和15）年9月、政府は日独伊三国同盟を結んで、イギリスやアメリカとの対決姿勢を強めていった。

### 日中戦争の展開

1936年 11月	日独防共協定
(昭和11) 12月	西安事件 ワシントン海軍軍縮条約失効
1937年 7月	盧溝橋事件
(昭和12) 8月	第2次上海事変
9月	第2次国共合作
11月	日独伊三国防共協定
12月	南京事件
1938年 1月	第1次近衛声明
(昭和13)	(国民政府を相手とせず)
7月	張鼓峰事件
11月	第2次近衛声明 (東亜新秩序建設)
12月	第3次近衛声明 (日中提携三原則)
1939年 5月	ノモンハン事件
(昭和14) 7月	米、日米通商航海条約 廃棄通告
9月	第二次世界大戦始まる

### 千人針

日中戦争が日本と中国との全面戦争になると、日本は中国戦線に大兵力を投入することとなった。その際、戦地に向かう兵士に贈られたのが「千人針」である。兵士の家族が街角や神社などで通りかかる千人の女性から、布に一つずつ赤い糸で千個の縫い目をつくってもらったので千人針といわれ、これを腹に巻いておくと、鉄砲の弾に当たらないと信じられていた。なかには写真のように虎の絵のようにしたものまであった。

千人針には戦地に向かった夫や兄弟や子供が戦死せずに元気で帰ってきてほしいとの願いが込められていた。



千人針をおこなっている様子  
(石川光陽氏撮影)



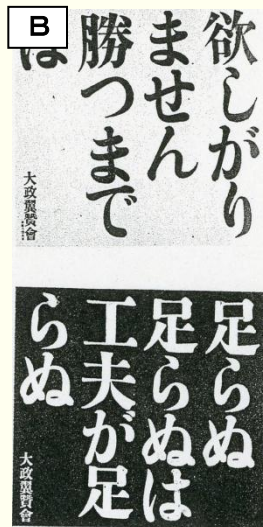
千人針をおこなった腹巻き（昭和館蔵）

## 24-(2) 顔だけになった上野大仏 うえの だいぶつ

**学びの窓** 経済の統制は人々の生活をどのように圧迫したのでしょうか？



(新宿区立新宿歴史博物館蔵)



(清水吉一氏蔵)



(近現代フォトライブラリー提供)

- ・ Aは、1937（昭和 12）年から始められた国民精神総動員運動のポスターです。
- ・ Bは、大政翼賛会たいせいよくさんかいの標語ポスターです。
- ・ Cは、「ぜいたく」を非難、攻撃する立て看板です。
- BやCのスローガンがどうして出されたのか、当時の社会状況を踏まえて考えてみましょう。

### 【国民精神総動員運動】

日中戦争の進展とともに、国民生活の統制が強化され、1937（昭和 12）年には国民精神総動員運動が展開された。軍事予算をまかなう国債の公募や献金、献納がよびかけられて、戦争への協力が強制された。1939（昭和 14）年 9 月 1 日から毎月 1 日は「興亜奉公日」と名づけられ、節約のため酒の不売、ネオンの消灯がおこなわれ、のちには風呂屋や食堂も休業するようになった。

### 【国家総動員法の制定】

1938（昭和 13）年 4 月、国家総動員法が制定され、政府は議会の承認なしに国のもっている力をすべて戦争に投入できるように人や物資を統制する権限をもち、国民は政府の命令で動員されたり、経済活動が規制されたりすることになった。



(放送大学附属図書館蔵)

上野大仏（台東区上野公園）関東大震災で壊れ、頭部以外は武器の材料として戦時中に供出されてしまったため、現在は顔のみが残っている。





【大政翼賛会の成立】

1940（昭和15）年、近衛文麿首相は戦争に対してドイツのナチ党やイタリアのファシスト党のような強力な一大指導政党が必要として新体制運動を始め、10月に大政翼賛会を成立させた。大政翼賛会は総裁を首相、支部長を府県知事が務める上の命令を下へ伝える機関であり、5～10戸で構成された隣組は、この体制を最も末端で支える組織であった。



四	三	二	一	隣組
助けられたり 助けたり とんとん とんからりと 何軒あろうと一所帯 こころは一つの 屋根の月 纏められたり 纏めたり	互いに役立つ 用心棒 地震やかみなり 火事どろぼう とんとん とんからりと 教えられたり 教えたり	あれこれ面倒 味噌醤油 御飯の炊き方 垣根越し 知らせられたり 知らせたり とんとん とんからりと 隣組	格子を開ければ 顔なじみ 廻して頂戴回覧板 とんとん とんからりと 隣組	作詞 岡本一平 作曲 飯田信夫

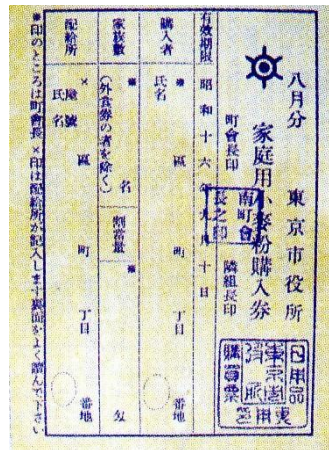
1940（昭和15）年10月12日の大政翼賛会の発会式の日に掲げられた表札（共同通信社提供）

当時の歌にもなった「隣組」  
隣組の会合では政府の指令や配給、儉約、防空演習などが伝達された。

【生活物資の欠乏】

日中戦争が長期化すると、生活物資の欠乏が深刻化していった。綿製品は軍需用として民間への販売が禁止され、「スフ」とよばれる人造繊維が衣服に使用された。1938（昭和13）年には、綿糸・ガソリンが切符の分だけしか手に入らない切符制となり、木炭自動車が生まれた。1940（昭和15）年には、砂糖、マッチも切符制となり、ネクタイピンや指輪も禁止されたうえ、町の食堂では米のご飯を出さなくなった。

1941（昭和16）年には、米の配給制が始まり、1人1日の米の消費量が約330gに決められるなど、国民の生活は一層苦しくなった。



小麦粉の購入券  
（北区中央図書館蔵）



衣料切符  
（北区中央図書館蔵）

【代用品の時代】

軍需品をつくるための金属が不足してくると、金属類の献納や回収が進んだ。そのため湯たんぽやアイロンまで陶磁器でつくられるようになった。学校では優勝カップも金属回収として献納された。



陶磁器でつくられたアイロン  
（昭和館蔵）



木炭自動車  
（毎日新聞社提供）

## 25-(1) 東京を離れる子供たち

## 学びの窓 太平洋戦争下のくらしはどのようなものであったのでしょうか？



**A** 学童疎開 駅への道程（新宿区立新宿歴史博物館『新宿風景—明治・大正・昭和の記憶—』から）



**B** 学童疎開 出発前の母と子（新宿区立新宿歴史博物館『新宿風景—明治・大正・昭和の記憶—』から）

- ・ **A**は、1944（昭和19）年、牛込区（現新宿区）の津久戸国民学校の生徒が学童疎開のため飯田橋駅へ向かうところです。
- ・ **B**は、飯田橋駅で学童疎開に行く子供を心配そうに見送る母親の姿です。
- 太平洋戦争が始まると、学校にはどのような影響があったのか、考えてみましょう。

### 【南進政策と日米交渉】

アメリカの経済的圧迫が強くなると、日本では石油やゴムなどの戦争に必要な物資を確保し、あわせて中国への援助物資の輸送路をたちきるために、当時フランス領であったベトナムやオランダ領であったインドネシアへ進出しようとする南進論が高まった。しかし、この南進政策はアメリカやイギリスとの緊張関係を悪化させることとなった。

ベトナム北部への日本の進出に対して、アメリカは屑鉄や鉄鋼の輸出を禁止し、ベトナム南部進出に対しては日本への石油輸出を禁止した。1941（昭和16）年、国力のまさるアメリカとの戦争を回避しようとして野村吉三郎とアメリカのハル国務長官との間で日米交渉が開始されたが、日本は交渉を有利に進めるため日ソ中立条約の締結などをおこなった。同年開戦を主張する東条英機内閣が成立したあとも日米交渉は続けられたが、アメリカも満州事変以前の状態に戻す提案（ハル＝ノート）を示すなど強硬な姿勢を崩さず、日米開戦は避けられない状況となった。

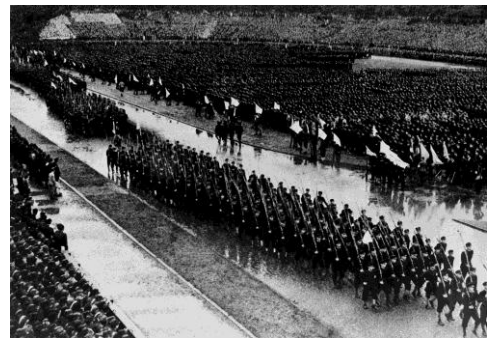
### 【太平洋戦争】

1941（昭和16）年12月8日、日本陸軍がマレー半島に奇襲上陸するとともに、日本海軍の航空隊はハワイの真珠湾に奇襲攻撃をくわえて、アメリカ太平洋艦隊に大打撃を与えた。日本はアメリカ・イギリスに宣戦布告し、これ以後太平洋戦争（日本では「大東亜戦争」とよんだが、戦後GHQによりこの呼称は禁止された）が始まった。枢軸国の一員であった日本は「大東亜共栄圏」を建設するという目的をかかげ、開戦から半年ほどで東南アジア・太平洋の各地を占領した。

しかし1942（昭和17）年6月、日本海軍はミッドウェー海戦で大敗を喫した。8月にはガダルカナルでアメリカ軍の反攻が始まり、日本軍は各地で連合軍に対する戦局の主導権を失った。

## 【小学校から国民学校へ】

1941（昭和16）年、政府は戦時体制を支える教育改革の一環として、小学校を国民学校と改称した。初等科6年・高等科2年の8年間の義務教育とされ（実際には施行延期となり6年間の義務教育であった）、教科は国民科・理数科・芸能科・体鍛科・実業科（高等科のみ）の5教科で、将来良き兵隊や母親になる皇国民の錬成教育をおこなうものであった。なお、国民学校は、戦後の教育改革の際に、再び小学校となった。



出陣学徒壮行会（明治神宮外苑競技場）  
（毎日新聞社提供）

## 【学徒出陣と学童疎開】

1943（昭和18）年10月、それまで徴兵が猶予されていた大学生や高等専門学校生の多くが一斉に徴兵検査を受けて、軍隊に入ることになり、20万人以上の学生が勉学をなげうって戦場へおもむいた（学徒出陣）。



群馬県妙義町に着いた上板橋第三国民学校の児童（毎日新聞社提供）

翌年7月、太平洋戦争の戦局がきびしくなり、本土空襲の危険が迫ると大都市の国民学校初等科（今の小学校）3～6年生の児童を近郊農村や地方都市へ疎開させることが決定した。東京の国民学校でも、地方の旅館や寺院などへの疎開が始まった。しかし、初めは比較的順調だった学童疎開も、戦局がきびしくなるにしたがって衛生状況も悪くなったほか、主食の米が足りずに、食事は代用食のサツマイモ、うどん、雑炊となった。そのうえ、野菜も足りなくなり、副食も朝、昼は味噌汁だけの場合もあり、栄養状況も極端に悪化した。

## 【学徒勤労動員 東京の生徒たちも戦争へ】

戦争中、農村や工場で労働力不足を補うために、強制的に生徒や学生を労働させたことを学徒勤労動員という。初めは、夏休み前後に3～5日間の作業や労働をするものであったが、太平洋戦争の拡大にともない、軍需部門を中心に労働力不足が深刻化したため、1944（昭和19）年8月学徒勤労令が公布され、学徒勤労総動員体制がとられていった。



戦争の犠牲となった生徒の慰霊碑  
（都立第五商業高等学校 国立市中）

右上の写真は、都立第五商業高等学校にある戦没者「慰霊碑」である。都立第五商業の生徒は三鷹駅北側（現武蔵野市）にあった中島飛行機製作所へ動員された。工場が飛行機のエンジンを製作していたためアメリカの攻撃目標となり、同年12月B29爆撃機による空襲を避けるため、地下にいた生徒のうち10名が爆弾の直撃を受け死亡した。



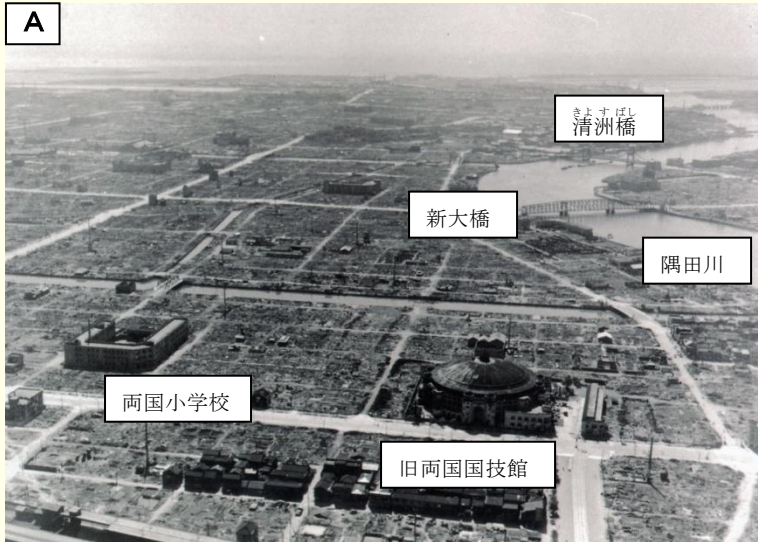
日立航空機組立工場の変電所（東大和市桜が丘）壁には機銃から撃たれた弾痕が現在も残っている。

また、翌1945（昭和20）年4月には、大和村（現東大和市）にあった日立航空機組立工場に動員されていた生徒が戦闘機による攻撃を受け、死亡している。

25- (2) とうきょうだいくうしゅう 東京大空襲の日

学びの窓 太平洋戦争は東京の人々に

どのような影響を与えたのでしょうか？



(近現代フォトライブラリー提供)



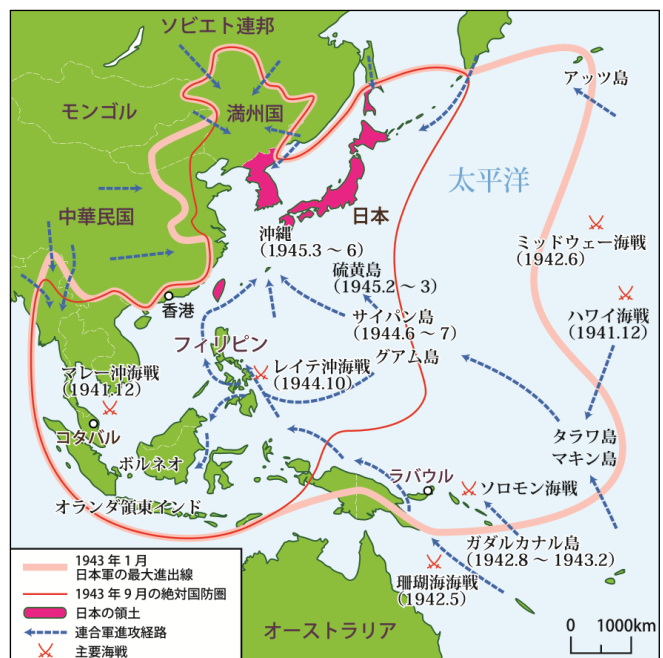
いしかわこうよう (石川光陽氏撮影)

- ・ Aは、1945（昭和20）年9月にアメリカ軍が撮影した東京の下町の様子です。
- ・ Bは、東京大空襲の朝、1945年3月10日の台東区浅草付近の光景です。

●東京大空襲の被害がどのようなものであったのか、考えてみましょう。

【東京大空襲】

1944（昭和19）年7月、圧倒的な戦力をほこるアメリカ軍は、マリアナ群島のサイパン島を陥落させた。同年末からはマリアナ群島を基地としてB29爆撃機による日本各地への本土空襲が本格化するなか、翌年3月9日から10日にかけて、東京の下町はアメリカ軍のB29爆撃機300機以上による大空襲を受けた。低空から侵入したB29爆撃機は東京の下町に多量の焼夷弾を投下し、下町は焼きつくされた。この東京大空襲による被害は、焼失家屋約26万戸、罹災者約100万人、負傷者約4万人以上、死者は約10万人以上にのぼると推定される。続いて、5月には山の手地区に対しての空襲がおこなわれ、東京はほとんど焼け野原となった。このような空襲は敗戦の日までに東京全体で約130回にのぼった。



太平洋戦争要図

## 【敗戦】

1945(昭和20)年3月アメリカ軍は硫黄島<sup>いおうとう せんりょう</sup>を占領し、さらに、沖縄に上陸したアメリカ軍は6月までに沖縄を全面的に占領した。

ヨーロッパにおいては、イタリアが1943(昭和18)年9月に、ドイツが1945(昭和20)年5月に無条件<sup>むじょうけん</sup>降伏し、日本は完全に孤立した。8月、広島、長崎へ非人道的な兵器である原爆が投下され、多くの非戦闘員が死亡した。そのうえ、ソ連が1941(昭和16)年に締結<sup>ていけつ</sup>した日ソ中立条約を無視して日本に対し参戦したこともあり、日本は連合国のポツダム宣言を受諾<sup>じゅだく</sup>し、8月15日に天皇自らがラジオ放送で戦争終結を発表した。そして、9月2日東京湾のアメリカ戦艦ミズーリ号上<sup>こうふくぶんしよ</sup>で降伏文書に調印し、太平洋戦争は終わった。

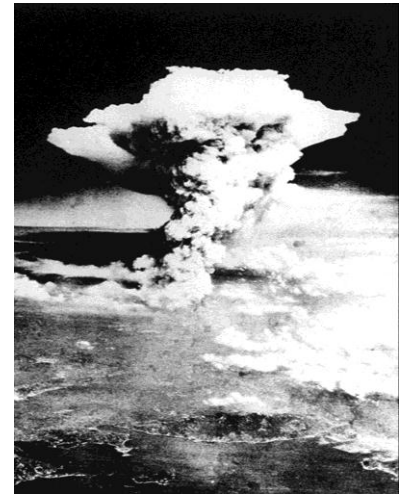
## 太平洋戦争関係年表

1941年 12月 1日	対米英開戦を最終決定
12月 8日	マレー半島上陸 ハワイ真珠湾攻撃
1942年 6月 5日	日本海軍ミッドウェー海戦で敗北
1943年 2月 1日	ガダルカナル島から日本軍撤退開始
1944年 7月 7日	サイパン島の日本軍全滅
1945年 3月 9～10日	東京大空襲
3月 17日	硫黄島の日本軍全滅
4月 1日	米軍、沖縄本島上陸
6月 23日	沖縄の日本軍全滅
8月 6日	広島に原爆投下
8月 8日	ソ連対日参戦
8月 9日	長崎に原爆投下
8月 15日	太平洋戦争の終結を発表
9月 2日	降伏文書に署名

学びの窓のBを撮影したのは警視庁で空襲の記録を担当していた石川光陽カメラマンである。以下は、その日記の一部である。

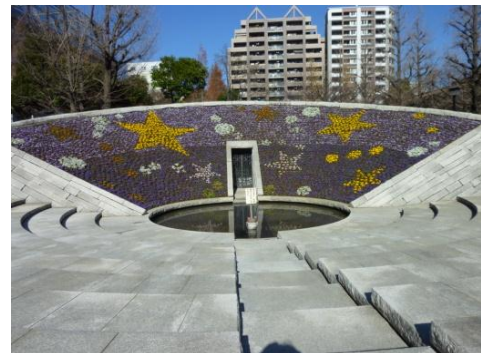
「私は重い足を引きずるように、菊川<sup>きくがわ</sup>、森下町、駒形と歩き、見えない眼を引き上げて、シャッターボタンを押した。泥にまみれたライカ(ドイツのカメラ)はばんこくの恨みを呑んでいった多くの死体に向けることは目に見えない霊から『こんなみじめな姿をとるな』と叱責<sup>しっせき</sup>されているような気がして、その手は震え、シャッターを押す手は鈍った。……静かに頭を下げ、深く一礼してから撮影を行い、終わると合掌<sup>がっしょう</sup>してその場から立ち去った。」

石川光陽『痛恨の昭和』(岩波書店)



広島への原子爆弾の投下  
(共同通信社提供)

## 【東京大空襲の慰霊碑】



墨田区横網町公園にある慰霊碑

左3点：江東区三好にある慰霊碑

この中に地区の東京大空襲の犠牲者名簿が納められている。

## 特集7 日本はなぜ戦争を始めたのか？

### 学びの窓 日本はどのような時代背景のもと、戦争を始めたのでしょうか？



- ・ Aは、1939（昭和14）年の「お国のために金を政府に売らせよう」と書かれたポスターです。
- ・ Bは、1940（昭和15）年に開催された第二次全国工業振興展覧会のポスターです。
- Aのポスターに見られる標語が作られたり、Bのような展覧会が開催された背景を考えてみましょう。

←（2枚とも昭和館所蔵）

#### 【日中戦争までの状況】

1926（昭和元）年、蔣介石が中国全土の統一を進めると、日本はそれに対抗するため、満州軍閥の張作霖を支援し、三次にわたる山東出兵をおこなった。しかし、張作霖爆殺事件を機に満州軍閥が国民党に接近し、1928（昭和3）年国民党による中国統一がほぼ達成された。この国民政府をアメリカ・イギリスなどが承認したことを背景に、国民政府は日本が持つ既得権益の回収に乗り出した。これに対して、関東軍は1931（昭和6）年柳条湖事件をおこし、全満州を制圧するため、戦線を拡大した（満州事変）。日本は、翌年建国された満州国を承認したが、イギリスのリットン報告書により国際連盟が満州国を日本の傀儡政権とする勧告案を採択したため、政府は国際連盟の脱退を通告した。1933（昭和8）年、停戦協定が結ばれ満州事変は終息したが、日本は引き続き満州経営をおこない、軍縮条約からも脱退したため、国際的に孤立していった。

#### 【日中戦争のはじまり】

1937（昭和12）年、日本は日独伊三国防共協定を結び、独・伊と枢軸体制を成立させると、中国では前年の西安事件を機に国民政府が共産党との内戦を終結させ、抗日民族統一戦線を形成した。このような状況のなか、近衛文麿内閣成立直後に、日中両軍が衝突する盧溝橋事件が起きた。近衛内閣は当初の不拡大方針を変更して戦線を拡大したため、両国とも正式に宣戦布告をせず、全面戦争に突入した（日中戦争）。日本はこの戦争の目的を日・満・華3国の連帯による東亜新秩序の建設であると表明し、国民精神総動員運動を起こして、全国民による協力体制をはかった。

しかし、中国は米・英などから援蒋ルート（中国の蔣介石政権への物資援助ルート）を通じて軍事物資を受け抗戦を続けたため、戦闘は長期化した。この結果、日本の軍事予算が増大し、政府は経済統制を進め、増税や赤字公債の発行をおこない、1938（昭和13）年には国家総動員法を制定して国民生活を統制し、翌年には国民徴用令を定めて国民を軍事産業に動員した。

#### 【ポスターに見る世相の変遷】

明治期に誕生したポスターは、大手百貨店が一流の画家を起用するなど美しさが重視された。大正期にはポスター画家も登場し、ポスターは商品広告の効果的手段となった（P100・P101 参照）。昭和期に入ると、宣伝広告よりも観賞用としての価値が高まり、商業美術として発展した。しかし、日中戦争から太平洋戦争にかけ国の経済統制が進むと、各企業にとって商品を宣伝する意味が薄れてきた。そのため、ポスターも企業による商品広告から、公共機関が発行した国策に沿った戦意高揚などのスローガンを掲げるものが多くなった（P118 参照）。

港区東新橋にある「アド・ミュージアム東京」では、多くのポスター等を展示しており、江戸時代から現代に至るまでの広告の変遷を知ることができる。

## 【第二次世界大戦と太平洋戦争】

日本が東亜新秩序の形成をすすめると、アジアとの交易を重要な国益と考えていたアメリカは、1939（昭和14）年7月、日米通商航海条約の廃棄を日本側に通告した。翌年、これが発効すると、日本は軍需資材の入手が困難となった。また、1939（昭和14）年8月、ドイツが仮想敵国としていたソ連と不可侵条約を結び、9月にポーランドに侵攻すると、英・仏から宣戦布告を受け、第二次世界大戦が始まった。ヨーロッパにおいてドイツが優勢となるなか、軍部はドイツとの結び付きを強め、植民地支配からアジアを解放する「大東亜共栄圏」の建設をはかることを目的として、米・英との戦争を覚悟していった。

1940（昭和15）年7月、国民に戦争協力させる新体制運動を促進する近衛文麿が再度内閣を組織すると、アメリカは一部の燃料・資源の対日輸出禁止を行うなど、経済制裁を強めていった。これに対して日本は、援蔣ルート<sup>しやくだん</sup>の遮断などをねらいとして、同年9月に北部仏印（フランス領インドシナ）へ進駐するとともに、日独伊三国同盟を締結した。

1941（昭和16）年、日本は戦争回避をねらいとして日米交渉を開始したが、同年4月に日ソ中立条約を締結すると、アメリカの態度は硬化した。6月に独ソ戦争が開始されるなか、7月日本が日米交渉を継続しつつ南部仏印進駐をおこなうと、アメリカは8月に在米日本資産を凍結し、対日石油輸出の禁止を決定した。

日米交渉が進展しないなか、近衛文麿に代わり東条英機が内閣を組織した。東条は日米交渉を継続したが、11月にアメリカから日本に対して満州事変以前の状態へ戻すことを提案したハル＝ノートが提案されると、12月の御前会議で米英に対する開戦が決定した。

### 【金属供出】

太平洋戦争前、アメリカの日米通商航海条約による廃棄通告などにより、武器を生産するために必要な金属資源が不足し、政府はAのポスターのような金属類の回収をよびかけた。1937（昭和13）年には鉄鋼配給規則を制定し、翌年にはマンホールの蓋やベンチ、灰皿に至るまで鉄製品を回収した。そして、1941（昭和16）年には国家総動員法にもとづき、金属類回収令を公布すると、銅像や梵鐘まで供出させた。これにより、上野大仏の頭部を除く部分や東京市庁舎にあった太田道灌像も供出されている（P118参照）。太田道灌像は、その後再建されて千代田区にあった旧都庁舎前に設置され、現在は東京国際フォーラム内に置かれている。

また、金属資源の不足を補うため、金属以外の代用品が工夫されるようになった（P119参照）。Bのポスターはその展覧会の開催を告知するものである。



太田道灌像（東京国際フォーラム・千代田区丸の内）

### 【ハル＝ノートとマッカーサー証言】

ハル＝ノート（合衆国及び日本国間協定の基礎概略）とは、1941（昭和16）年11月26日、日米交渉のなか、アメリカ国務長官ハルが日本に示したアメリカによる最終提案で、中国・仏印からの無条件撤退、満州国政権の否認、日独伊三国同盟の廃棄など、満州事変以前の状態に戻すことを要求した。この内容は、日本にとって最後通牒に近いもので、日米開戦は不可避な状況となり、12月1日の御前会議で開戦が決定した。

このハル＝ノートの原案を作成した財務省特別補佐官のハリー・ホワイトは、ソ連のスパイの疑いがあるとして非米活動委員会に出席しており、作成に関してソ連が関わっていたとする意見もある。

また、連合軍最高司令官であったマッカーサーは、戦後のアメリカ議会において、日本が開戦したことについて「in going to war was largely dictated by security.」と証言しており、この戦争を日本が安全上の必要に迫られて起こしたととらえる意見もある。

## 26- (1) 占領下の東京

### 学びの窓 英語にあふれたこの街はどこでしょうか？



(江戸東京博物館蔵)

左：(ピーピーエス通信社提供)

- ・ **A**は、大勢のアメリカ兵が銀座4丁目にあった連合軍専用の店の前に集まっているところの写真です。
- ・ **B**は、1951(昭和26)年ごろの東京へ向かう道路の英語標識です。
- なぜ、当時の東京にこれほど多くのアメリカ兵がいて、また英語で書かれた看板が数多く掲げられたのか、考えてみましょう。

#### 【日本の占領】

1945(昭和20)年8月末、アメリカ軍を主力とする連合軍は日本の占領を開始した。日本に対する占領政策は、アメリカのマッカーサーを最高司令官とする連合軍最高司令官総司令部(GHQ)が出す指令などに基づき、日本政府が政策を実施する間接統治であった。政策決定の最高機関としてワシントンに極東委員会が、最高司令官の諮問機関として東京に對日理事会がおかれたが、実権はアメリカが握っていた。GHQは、ポツダム勅令として政府に対する要求を出すとともに、出版物の事前検閲など言論統制もおこなった。



皇居前広場を行進する連合国軍  
(毎日新聞社提供)



對日理事会が開かれた現在の明治生命館(千代田区丸の内)とその会議室



GHQ本部のおかれた当時の有楽町の第一生命ビル(現DNタワー21 千代田区有楽町)



## 【日本の非軍事化と民主化】

GHQは、旧日本軍を武装解除して解体させ、戦争犯罪人（戦犯）に対する責任を追及するとともに、議員・公務員などの指導的地位から軍国主義者や国家主義者などを追放し（公職追放）、日本の非軍事化を進めた。さらに、戦争に反対して投獄されていた政治犯を釈放し、治安維持法などを廃止して、思想・信条・政治活動の自由を保障する民主化政策もおこなった。

1945（昭和20）年10月、マッカーサーは非軍事化と民主化の徹底を目的に、幣原喜重郎首相に対して、参政権を与えることによる女性の解放、労働組合の育成、教育の民主化、圧政的な諸制度の廃止、経済の民主化を求める**五大改革の指令**を発した。

日本は敗戦によって台湾・朝鮮半島などの支配を放棄し、朝鮮半島については北緯38度線を境に北部をソ連、南部をアメリカが占領した。沖縄や奄美諸島、小笠原諸島はアメリカ軍が占領し、択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島はソ連の制圧下におかれた。

## 【東南アジア諸国の独立】

日本が欧米勢力を破って占領地域を拡大していったフィリピン・ビルマ（現ミャンマー）・インドネシア・ベトナムなどの東南アジアでは、日本の敗戦後、欧米の植民地本国への民族解放運動が活発化した。中には、植民地支配を復活させようとする本国と戦闘になった地域もあったが、いずれの地域においても独立が達成され、東南アジアにおける欧米の植民地支配は一掃された。

## 【東京裁判】

市ヶ谷の防衛省のなかには市ヶ谷記念館として残されている建物がある。これが、1946（昭和21）年5月から始まった**極東国際軍事裁判（東京裁判）**の舞台となった旧陸軍士官学校講堂である。この裁判では、捕虜殺害・虐待などの戦時国際法に違反する通例の戦争犯罪に加えて「平和に対する罪」と「人道に対する罪」が新たに設けられ、侵略戦争の計画・実行に深くかかわったとされる人々がA級戦犯容疑者として逮捕され、元首相の**東条英機・広田弘毅**ら7人が死刑となった。しかし、国家の指導者が戦争犯罪人として裁かれることは前例のないことで、インドのパール判事が新たに設けた罪を過去にさかのぼって適用することに異論があるなどの理由から、被告全員の無罪を主張したのをはじめ、オランダのレーリンク判事らが判決文に批判的な意見を書いた。

東条元首相らが拘置された巣鴨拘置所跡地は、現在サンシャインシティとなり、処刑場跡地は豊島区立東池袋中央公園として整備され、「永久平和を願って」と刻まれた碑が立っている。



サンシャインシティ（豊島区東池袋）



裁判がおこなわれた旧陸軍士官学校講堂（現市ヶ谷記念館、新宿区市谷本村町）



極東国際軍事裁判の法廷



「永久平和を願って」の碑（豊島区立東池袋中央公園、豊島区東池袋）

## 26-(2) 新制都立高校の始まり

### 学びの窓

終戦直後の高校生活はどのようなものだったのでしょうか？



戦時中迷彩をほどこされた府立二中校舎



現在の都立立川高等学校

旧制の府立二中（現都立立川高等学校）の「教務部日誌」には、1945（昭和20）年に入ると、空襲による授業の打ち切り、旧多摩火薬製造所（現稲城市・多摩市）への勤勞動員、軍の校舎使用などが記されており、教育活動が困難になってきていることがうかがえます。

しかし、敗戦から2週間後の8月29日には、農耕作業や昭島の航空工廠（航空機工場）への物資の運搬などとともに、授業や教室整備活動が実施されています。

降伏文書が調印された9月2日の翌日には、米軍の兵士数百名によって校舎が占拠される事件も起こりますが、これも6日中には立ち退き、8日には授業を再開しています。社会が大きく混乱するなか、学校は平穩な日常生活を取り戻していきました。

記録・写真ともに都立立川高等学校『創立百周年記念誌』から

- 通学する高校、あるいはその周辺の、戦中・戦後の時期の様子や変化を、古い学校新聞や記念誌、地域の歴史の本などを使って調べてみましょう。



旧多摩火薬製造所  
（現在日米軍の多摩サービス補助施設）  
（東京都知事本局）

### 【財閥解体と農地改革】

GHQは、財閥と地主制が日本を軍事大国にした一因としてとらえ、その解消をはかった。1945（昭和20）年、財閥解体を指令し、三井・三菱・住友など15のおもな財閥の資産が凍結された。

1947（昭和22）年には、独占禁止法・過度経済力集中排除法を制定して、企業の独占行為や不当な取引制限を禁止し、巨大独占企業の分割を進めた。実際に分割された企業は11社にとどまったが、旧来の財閥は株式を放出して経済の実権を失うことになり、傘下企業は企業グループとして再編されていった。



証券類が入っている木箱を取り囲む財閥解体の委員  
（近現代フォトライブラリー提供）

一方、少数の地主に小作人が従属する地主制を解体し、自作農を増やすための農地改革も進められた。各市町村に設置された農地委員会の主導のもと、地主のもっていた小作地の多くを国が強制的に買い上げ、小作人に安く売り渡した。

### 【労働者の地位の向上】

GHQは、制限されていた労働者の権利の向上も積極的に進めた。まず、1945（昭和20）年に労働組合法が制定され、労働者の団結権・団体交渉権・ストライキ権が保障され、労働組合の結成が進められた。1947（昭和22）年には労働基準法が制定され、8時間労働制など労働条件の原則と最低基準などが定められた。また、1946（昭和21）年5月には、戦後初のメーデーが行われ、東京では約50万人が参加した。



戦後初のメーデー（皇居前広場）  
1946（昭和21）年5月1日

（毎日新聞社提供）

### 【教育の民主化】



小学校における給食風景  
（東京都生活文化局）

民主主義的な教育を実施するため、戦争を賛美するような内容は教科書から削除され、修身（忠君愛国を基本理念とした道徳教育）の授業などはGHQによって禁止された。

1947（昭和22）年、アメリカ教育使節団の勧告によって、教育の機会均等や男女共学の原則など、民主教育の理念をうたった教育基本法が制定され、同時に制定された学校教育法では戦前の複線的な学校制度や旧制高等学校に代表されるエリート教育が改められ、六・三・三・四制の新しい学校制度が始まった。都立高等学校においては、1949（昭和24）年4月から男女共学が実施され、同時に校名も旧来の第一、第二のようなナンバー呼称が廃された。

### 【男子が女子高に！？】

「私は1951（昭和26）年4月にこの駒場高校（旧制の第三高等女学校）に入学したが、男子生徒は50年度に入学した100人と、その前年にモデルケースとして入った20数名の先輩たちだけだった。私のクラスは男子生徒が3分の1、教室内の机も3人掛けだったので、男子は廊下側に面した一列の机にかたまって座っていた。

ある日のホームルームの時間に女子生徒から『いまのような座り方では男女がなじめない。女子が倍いるのだから3人掛けの机の中央に男子を座らせては……』との提案がなされ、賛成多数で可決されてしまった。女性と隣りあわせで座るだけでも恥ずかしい上に、3人掛けの机の両隣に女性がいては出入りするたびに声をかけ、立ってもらわなくてはならない（以下省略）」

当時の高校生の男女共学に対するとまどいや理解不足の様子がうかがえる。

「新制駒場高校発足当時の思い出」羽島知之（『都立駒場高等学校創立百周年記念誌』から）



『駒場高校新聞』の編集部員たち（1950年10月）

## 27-(1) 都知事を選挙で選ぶ

### 学びの窓 新憲法は地方の政治にどのような変化を

#### もたらしたのでしょうか？



(江戸東京博物館蔵)

- ・1943（昭和18）年、東京府・東京市が廃止され、東京都が誕生しました。
- ・左のポスターは1947（昭和22）年に、東京都がこれまで35あった区を合併により22区にしたことをPRするためのものです。

●なぜ、東京都は戦後、区の合併をおこなったのか、その理由について考えてみましょう。

### 【政党政治の復活と女性議員の誕生】

戦後の民主化政策の進展にともない、政党も復活した。日本自由党や日本進歩党は、戦前からの政治指導者を中心とする、自作農や商工業者などの厚い支持基盤に支えられた保守政党であり、日本共産党や日



投票する女性たち（毎日新聞社提供）



女性に投票をよびかけるポスター  
(国立歴史民俗博物館蔵)

本社会党は、当時急速に勢力を拡大した労働組合を背景とする革新政党であった。

1946（昭和21）年4月、満20歳以上の成人男女に選挙権が与えられた新選挙法のもとで、戦後初の総選挙がおこなわれた。この選挙では日本自由党が第一党となり、吉田茂が戦後初の政党内閣を組織した。また、このとき初めて39名の女性衆議院議員が誕生した。

### 【新憲法の制定】

1945（昭和20）年、日本政府はGHQの指示のもと、独自の憲法改正案を作成したが、その内容は保守的なものであったため、GHQはこれを拒否して、GHQ草案を示した。日本政府は、これをもとに新たな憲法改正草案を作成し、衆議院と貴族院の審議をへて、1946（昭和21）年11月3日に日本国憲法として公布し、翌年5月3日から施行した。

新憲法は、国民主権、基本的人権の尊重、平和主義の



新憲法の施行を記念して走る花電車  
(毎日新聞社提供)

3つを基本原則とした。天皇は「日本国の象徴」「国民統合の象徴」とされ、国民の直接選挙で選ばれた議員によって構成する国会が「国権の最高機関」であり、行政の最高機関である内閣は国会に対して責任を負うと規定された。また、第9条では「国際紛争を解決する手段」としての戦争の放棄を定めた。

### 【新憲法の制定】

右のポスターは「私は日本人です 私の権利は？」というテーマで、新憲法の内容を解説したものです。

左上の「私は事業家です」という項目では、財産権（憲法第29条）、居住・移転及び職業選択の自由（第22条）国及び公共団体の賠償責任（第17条）などの権利が示されています。

こうしたポスターなどによって、新憲法の理念は国民の間に広められていきました。



(国立歴史民俗博物館蔵)

### 【新しい都政】

民主主義を重視する新憲法の精神に基づき、地方自治法が新憲法と同じ日に施行され、都道府県知事・市町村長が住民の直接選挙で選出されるようになった。

東京都制は、1943（昭和18）年に戦時体制強化の目的で、東京府・東京市を廃止して施行された。戦後の改革のなかで、東京都に関しては、それまで任命制であった首長を直接公選制とし、区部に最大限の自治権を与えることが示された。1947（昭和22）年4月には初の首長選挙が実施されて、安井誠一郎が当選した（当選時は初の公選東京都長官、5月の地方自治法施行後は初代東京都知事）。



都庁を訪れたセイロン（現スリランカ）首相に記念品を渡す安井東京都知事 1954（昭和29）年12月  
(東京都生活文化局)

### 【東京23区のスタート】

1947（昭和22）年3月15日、戦災による人口の変動などを受け、各区の財政規模の格差を解消するなどの目的で戦前の35区を統合した22区制がスタートした。合併対象となった区域では新区の名称がなかなか決まらず、大森区と蒲田区から1文字ずつをとった「大田」区、上野の台地の東に広がるので「台東」区（下谷区、浅草区）など、さまざまな形で決着がはかられた。板橋区では区域が広大にもかかわらず東西間の交通が不便なため、きめ細かい区政ができないことが多いことから、同年8月には板橋区から練馬区が分離し、現在の23区体制となった。

## 27- (2) ヤミ市が支えた都民の暮らし

### 学びの窓 ヤミ市とはどのようなものであったのでしょうか？



戦後の人々の深刻な物資不足の補給源となり、状況を呈したのが、政府の決めた公定価格を無視して高い価格でものを売るヤミ市でした。

・ Aは、ヤミ市の屋台を再現したもので、Bは当時のヤミ市の写真です。



上：(国立歴史民俗博物館蔵)

右：(朝日新聞社提供)

- Aの「おいしい肉入り代用うどん」の「代用うどん」は実際には何でできていたのでしょうか？
- なぜヤミ市が生まれたのか、その背景を調べてみましょう。

### 【経済の混乱とヤミ市】

東京府の人口は1942(昭和17)年には約736万人(区部は約678万人)であったが、1945(昭和20)年11月の東京都の人口は約349万人(区部は約278万人)と、疎開や罹災者の転出などにより大幅に減少していた。転出しなかった人々も住宅や仕事を失い、物不足と流通機能の破壊による食糧難に苦しんでいた。米など食糧の配給制度は維持されたが、米の凶作により、遅れて配られたり、配られなかったりすることも多くなり、衣料などの生活必需品の不足も深刻化した。



被災した東京駅 1945(昭和20)年  
(ピーピーエス通信社提供)



畑をたがやす女性(新橋・有楽町付近)  
(ピーピーエス通信社提供)

こうした混乱のなかで、急激な物価上昇が続いたため、新宿・上野・新橋・渋谷など山手線や郊外電車の主要駅前の焼け跡では、生鮮食料品や戦争中に隠されていた物資などが公定価格以上で取引されるヤミ市が形成され、都民の生活物資の補給源となった。しかし米の公定価格 10kg 3円 57 銭に対し、ヤミ市の価格は約 330 円と 100 倍近いものであった(1945(昭和 20)年 11 月)。また、ところてんでつないだり、こんにやくでつくった麺が「代用うどん」として売られることもあった。さらに、物不足のなかで紙幣の発行が急増されたため、激しいインフレーション(インフレ)が起こった。

### 【社会運動の活発化と経済の再建】

食糧をはじめとする生活必需品の不足とインフレのなかで、賃上げや待遇の改善を求めるストライキなどの労働争議が頻発した。しかし、1947(昭和 22)年 2 月 1 日に計画された労働者の一斉ストライキは、GHQ の命令によって、その前日に中止させられた(ニ・一ゼネスト中止)。



上：家を失い上野地下道でくらす人々  
1947(昭和 22)年(東京都生活文化局)  
左：「オナカガペコペコデス」と書かれたプラカードを持って食糧メーデーに参加する子供たち 1946(昭和 21)年 5 月  
(毎日新聞社提供)

1948(昭和 23)年 12 月、GHQ はインフレの抑制と財政赤字の解消を目的に、経済安定九原則の実行を日本政府に求め、翌年政府は銀行家ドッジの指示に基づいて、赤字を許さない予算を作成した(ドッジ=ライン)。また、政府は輸出の振興をはかるために 1 ドル=360 円の単一為替レートを設定し、財政学者のシャウプの勧告によって、直接税中心の全面的な税制改革も実施した。この結果、インフレは抑制されたが、倒産や人員整理による失業者は増大した。

### 【新しい都市計画】

1945(昭和 20)年 12 月、「戦災地復興基本計画方針」が作成された。東京都の復興については、東京都都市計画課が中心となり、市街地の外周にグリーン・ベルトを、河川沿いには公園緑地を、80m または 100m 幅の基幹道路を建設するなどの戦災復興計画が提示された。しかし、急激な人口増加やドッジ=ラインによる大幅な復興事業予算の削減などにより、計画の実施は困難になった。ただし主要駅前の区画整理や再開発事業は進められ、1951(昭和 26)年にはヤミ市や常設露店などは都内から姿を消した。



ヤミ市とならび、都民の生活を陰でささえた常設露店  
(東京都生活文化局)

## 28- (1) 安保条約と横田基地

### 学びの窓 なぜ東京にアメリカ軍の基地があるのでしょうか？



(アメリカ空軍横田飛行場HPから)

- ・ Aは、JR青梅線拝島駅の北（福生市熊川）、Bの横田基地へ燃料などを運ぶ引込線にある踏切です。
- ・ Cは、Aの踏切にある看板を拡大したものです。
- Cの警告文が英文で書かれていることを参考にして、このような基地がなぜ東京にあるのかを考えてみましょう。

### 【戦後の国際社会】

1945（昭和20）年、<sup>れんごうこく</sup>連合<sup>こくれん</sup>国<sup>ほつそく</sup>連（国連）が<sup>こくさい</sup>国際<sup>こくさい</sup>機関<sup>こくさい</sup>である<sup>こくさい</sup>国際<sup>こくさい</sup>連<sup>こくさい</sup>合<sup>こくさい</sup>（国連）が発足した。国際連合は、アメリカ・イギリス・フランス・ソ連・中国の5大国を常任理事国とする<sup>あんぜん ほしやうり じかい</sup>安全保障<sup>い じ</sup>理事会<sup>けんげん</sup>を設け、国際平和と安全保障の維持について、強大な権限をもたせた。

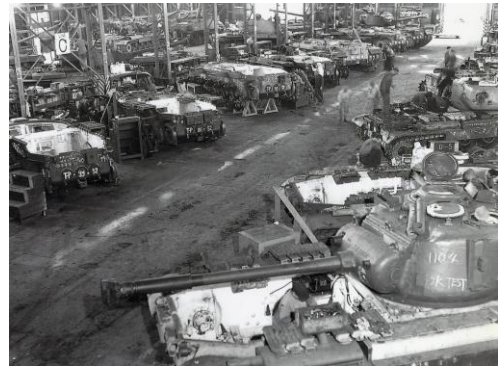
しかし、第二次世界大戦の終了後に圧倒的な<sup>たいとう</sup>軍事力<sup>たいとう</sup>と<sup>たいとう</sup>経済力<sup>たいとう</sup>を背景に台頭したアメリカとソ連が政治的な対立を深め、世界はアメリカを中心とする<sup>しほんしゅぎ じんえい</sup>資本主義陣営<sup>しんえい</sup>とソ連を中心とする<sup>しゃかいしゅぎ</sup>社会主義陣営<sup>じんえい</sup>に分断され、その対立は<sup>れいせん</sup>冷戦<sup>れいせん</sup>（冷たい戦争）とよばれた。

アジアにおいても、日本の支配から脱却した朝鮮半島で、1948（昭和23）年アメリカ軍占領地域から<sup>だいかんみんこく</sup>大韓民国<sup>ちやうせんみんしゅしゅぎ じんみんきやう わこく</sup>（韓国）が、ソ連軍占領地域から<sup>きたちやうせん</sup>朝鮮民主主義人民共和国<sup>ちやうせんみんしゅしゅぎ じんみんきやう わこく</sup>（北朝鮮）がそれぞれ独立し、南北分断の状態<sup>もうたくとう</sup>で冷戦体制に組み込まれた。また、内戦が再発した中国では、<sup>きやうさんとう</sup>中国共産党<sup>しやうかいせき</sup>が、<sup>こくみんとう</sup>蔣介石<sup>ちゆう か じんみんきやう わこく</sup>の中国国民党に勝利して、1949（昭和24）年に<sup>ちゆう か じんみんきやう わこく</sup>中華人民共和国<sup>ちゆう か じんみんきやう わこく</sup>の成立を宣言した。一方、中国国民党は台湾に本拠を移し、アメリカの支援のもとで<sup>ちゆう か じんみんきやう わこく</sup>中華民國政府<sup>ちゆう か じんみんきやう わこく</sup>を維持した。



## 【朝鮮戦争の勃発】

1950（昭和25）年10月、ソ連の支援を受けていた北朝鮮が武力による統一をめざして韓国に侵攻し、朝鮮戦争が勃発した。アメリカ軍を中心とする国連軍が韓国を、中国人民義勇軍が北朝鮮を支援して、1953（昭和28）年7月の休戦協定調印まで、戦争は続いた。朝鮮戦争により、日本はアメリカ軍を主力とする国連軍の補給基地となり、幅広い軍需物資やサービスの需要（特需）がもたらされた。これにより不況に苦しんでいた日本の経済は一気に復興した（特需景気）。



アメリカ軍戦車の修理工場  
（近現代フォトライブラリー提供）

## 【講和と安保条約】

朝鮮戦争が始まると、アメリカは、日本の占領を終結させ、日本を自陣営に組み入れようとする動きを進めた。日本国内では、ソ連や中国など社会主義陣営の国々を含む全面講和を求める動きもあったが、当時の吉田茂首相は、アメリカの意向を受けて資本主義国を中心とする国々との単独講和（多数講和）を選択した。こうして1951（昭和26）年9月、日本は48か国と講和条約（サンフランシスコ平和条約）を結んだ。同日、日米安全保障条約（安保条約）が調印され、独立後も日本にアメリカ軍が「極東の平和と安全のため」に駐留することが取り決められた。



東京銀座で講和を祝う人々 1951（昭和26）年（共同通信社提供）

## 【東京のアメリカ軍基地】



横田基地（東京都知事本局）



東京にあるアメリカ軍基地

都内には現在上図の8か所のアメリカ軍基地がある。そのなかで最も重要なのが、福生・武蔵村山・羽村・立川・昭島・瑞穂の5市1町にわたるアメリカ空軍基地の横田基地（横田飛行場）である。旧日本陸軍の多摩飛行場を接收し、規模を拡大した横田基地は、ベトナム戦争時には補給拠点として活用され、現在も在日米軍司令部および第5空軍司令部がおかれて、おもに輸送基地として使用されている。なお、東京都は横田基地の返還を最終目標に、返還までは民間航空会社と共用して活用する「横田基地の軍民共用化」の早期実現に取り組んでいる。

## 28-(2) 家族でラジオを聞いた時代

### 学びの窓 ラジオドラマがヒットした時代とは、

どのような時代であったのでしょうか？



(東京都生活文化局)



「真知子巻き」の女性と高速道路建設で埋め立てられた数寄屋橋跡の記念碑 1958 (昭和 33) 年 4 月  
(毎日新聞社提供)

1952 (昭和 27) 年 4 月からNHKが連続ラジオドラマとして放送した『君の名は』は、主人公の若い男女が 1945 (昭和 20) 年の東京を襲った空襲のなか、数寄屋橋 (中央区銀座) で偶然に出会うところから物語が始まります。その後、二人は再会を果たすことができるのか、そのゆくえが聴取者の関心をひきつけ、大ヒットしました。

- ・ **A**は、1955 (昭和 30) 年に撮影された数寄屋橋です。数寄屋橋は、1958 (昭和 33) 年の高速道路建設の工事によって現在の **B**の景観となりました。
- ・ ラジオドラマの大ヒットによって、『君の名は』は映画化もされました。**C**の女性は、主人公の女性にならって「真知子巻き」というショールの巻き方をしています。これも当時の女性の間で大変に流行しました。

●このように、ラジオなどの影響によって、人々の生活はどのように変化していったのか、考えてみましょう。

### 【ラジオ放送と大衆文化】

庶民にとって戦争が終わっても、日々の暮らしが困難であったため、戦時中に抑圧されていた<sup>よくあつ</sup> 娯楽や大衆文化の復興は人々の心をなぐさめ、個人の幸福や社会の平和に価値をおく文化や、アメリカ的な生活様式が広く受け入れられていった。

とくに家庭の娯楽の中心となったラジオ放送では、街頭録音やアンケートをもとにした聴取者参加型の番組も始まり、1951 (昭和 26) 年にはNHK (日本放送協会) だけでなく民間放送も開始された。

講和条約が発効した1952（昭和27）年から、NHKで放送された『君の名は』は、戦争の惨禍を背景にした本格的なラジオドラマであり、戦後の困難な状況のなかで必死に生きる女性を描いて大ヒットとなった。

1953（昭和28）年にはテレビ放送が始まったが、テレビの価格があまりに高価であったため、テレビが普及する1960年代までは、ドラマ放送や歌謡番組など、家庭の娯楽の中心としてのラジオ放送の座はゆるがなかった。とくにスポーツ中継は人気があり、1953（昭和28）年から実況放送が始まったプロ野球の人気は高かった。

このようなメディアを通して、日本国民の間に歌謡曲や映画などの大衆文化が広がった。文学では、戦後社会のなかで人間と社会を改めて見つめ直す太宰治や坂口安吾らの作品が発表された。また、戦争の体験を出発点とする大岡昇平や三島由紀夫らの戦後派作家も活躍した。

### 【生活の豊かさを求めて】

戦後、消費社会として繁栄するアメリカの生活様式が日本の求めるべき理想像とされ、大型冷蔵庫などの電化製品が備えられたキッチンや、広い住居などが、家庭の幸福な姿として描かれるようになった。雑誌などにもアメリカの住宅や電化製品がさかんに紹介され、人々はアメリカの生活文化に対するあこがれを強くしていった。

服装にも戦争中の統制がなくなり、自由なファッションが可能になるなか、古着や布地から洋服を自作できるよう、スタイルブックやパタンブックが出版され、女性が家庭でできる内職として洋裁がもてはやされるようになった。



ドレスメーカーパタンブック（ドレスメーカー学院蔵）

左：創刊号 1946（昭和21）年発行  
右：第3号 1947（昭和22）年発行



現在のソニーが1955（昭和30）年に発売したトランジスタラジオ「TR-55」（ソニー株式会社提供）



家電商品を紹介する『科学の友』  
1949（昭和24）年11月号



再現された赤羽台団地の住居内部（国立歴史民俗博物館）

1962（昭和37）年に23区内初の大規模団地として建設された日本住宅公団の赤羽台団地は、ダイニングキッチンを備えた新しい住宅として評判をよんだ。

## 29- (1) 第五福竜丸と原水爆禁止運動

### 学びの窓 なぜ第三の核被害は起こったのでしょうか？

- ・ **A**は、東京都江東区夢の島内に保存・展示されている第五福竜丸の船体です。この船は、1954（昭和 29）年 3 月、太平洋のビキニ環礁でアメリカがおこなった水爆実験によって被爆しました。
- ・ **B**は、実験がおこなわれていた周辺の海から水揚げされたマグロへの放射能の影響を調べているところです。
- ・ 寄港後、無線長の久保山愛吉さんは、放射能による症状がみられ、「原水爆の被害者は私を最後にしてほしい」との言葉を残して亡くなりました。死者を出した第五福竜丸の被爆は「第三の核被害」といわれています。



都立第五福竜丸展示館に保存される第五福竜丸  
(公益財団法人第五福竜丸平和協会提供)

- 「第三の核被害」の「第三」とは、何を意味しているのでしょうか？
- なぜアメリカはこの時期にこのような大規模な核実験をおこなったのか、当時の国際情勢を踏まえ考えてみましょう。

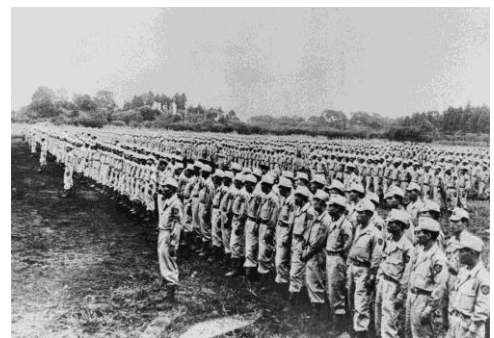


(東京都生活文化局)

### 【防衛力の増強】

1952（昭和 27）年 4 月 28 日、講和条約が発効し、日本は独立国としての主権を回復した。同年 10 月、吉田茂内閣は独自の自衛力の増強をはかるため、朝鮮戦争開始直後に創設された警察予備隊を保安隊に改組し、海上警備隊を発足させた。さらに 1954（昭和 29）年には、MSA協定（日米相互防衛援助協定など）を締結し、アメリカの軍事・経済援助を受け入れるかわりに、日本の防衛力をさらに増強させていった。そこで政府は防衛庁（現防衛省）も新設し、保安隊・海上警備隊を統合して、陸海空の三部からなる自衛隊を発足させた。

一方、こうした防衛力の増強を、民主化に対する「逆コース」の動きであるとして、革新政党や労働組合などから反対運動が起こった。



小平の東京管区警察学校グラウンドに整列する警察予備隊 1950（昭和 25）年 8 月



東京銀座を行進する保安隊 1952（昭和 27）年 10 月（上・下：毎日新聞社提供）

### 【原水爆禁止運動】

冷戦の激化は、米ソ二大国による核兵器開発競争をまねいた。1949（昭和24）年、ソ連が原子爆弾の実験に成功し、水素爆弾については、アメリカが1952（昭和27）年、ソ連も翌年にはその実験に成功した。こうして米ソによる核兵器開発競争は激化し、地上での実験による放射能汚染が広がっていった。

1954（昭和29）年3月、マーシャル諸島のビキニ環礁でおこなわれたアメリカの核実験によって、日本のマグロ漁船第五福竜丸などが被爆したことは、広島・長崎に

次ぐ第三の核被害として、日本の国民に衝撃を与えた。この事件をきっかけに、1955（昭和30）年には広島で第1回の原水爆禁止世界大会が開催された。



第1回原水爆禁止世界大会  
1955（昭和30）年（共同通信社提供）

### 【原水爆禁止運動の広がり】

第五福竜丸の被爆事件をきっかけに、杉並区では原水爆禁止の署名活動が展開された。2か月足らずの間に当時40万人弱の人口であった杉並区内で27万人余の署名が集められた。

右の写真は、杉並公民館跡地（現荻窪体育館前、杉並区荻窪）が全国の署名運動の原点となったことを記念して建立された人類の永遠の平和を祈念する碑（オーロラ碑）である。



### 【ビキニ環礁が世界遺産に】



水爆「ブラボー」の実験によるクレーターが残るビキニ環礁（2004（平成16）年撮影）  
（朝日新聞社提供）

2010（平成22）年8月、国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、マーシャル諸島のビキニ環礁を世界文化遺産に登録したと発表した。ビキニ環礁では、1946（昭和21）～1958（昭和33）年の間にアメリカが計67回の核実験を実施しており、「人類が核の時代に入ったことを象徴する」場所とされた。

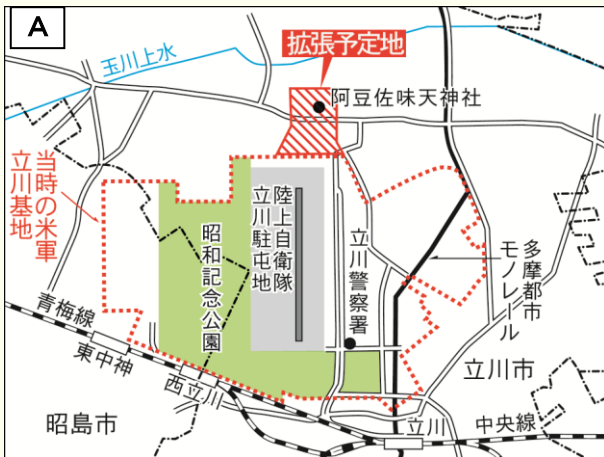
核兵器の被害を伝える世界遺産としては、1996（平成8）年の「広島平和記念碑（原爆ドーム）」に続く登録である。



水爆「ブラボー」によるきのこ雲  
1954（昭和29）年3月  
（アメリカ国家核安全保障局提供）

## 29- (2) 昭和記念公園の誕生

### 学びの窓 基地の拡張計画にはどのような背景があるのでしょうか？



(毎日新聞社提供)

- ・ Aは、現在の地図に1956（昭和31）年当時のアメリカ軍立川基地の拡張予定地を表したものです。
- ・ Bは、基地が拡張されることに対して起こった反対運動の様子です。
- Aの地図のアメリカ軍立川基地のあった場所の大部分は、現在何になっているのでしょうか。
- Bのように住民が基地の拡張に反対した理由が何であったのか、考えてみましょう。

### 【55年体制の成立】

1954（昭和29）年、講和条約締結前後の激動期の政治を主導した自由党の吉田茂内閣は、海運業の復興をめぐる汚職事件（造船疑獄）に対する世論の反発などから総辞職した。かわって自由党反吉田勢力などによって結成された日本民主党の鳩山一郎が内閣を組織し、憲法改正と再軍備を推進する姿勢を強調した。

翌年、分裂していた日本社会党は、鳩山内閣の動きに対して、再軍備反対と改憲阻止（護憲）をかかげ、再統一した。これに対し、同年、日本民主党と自由党も合流し（保守合同）、自由民主党が誕生した。こうして自由民主党が議席の3分の2弱を、日本社会党を中心とする野党勢力が議席の3分の1程度を確保し、保守派優位のなかで政治が安定するという「55年体制」が形成された。

### 【国際社会への復帰】

鳩山内閣は、外交面では講和条約に調印しなかったソ連との関係改善につとめ、1956（昭和31）年10月に日ソ共同宣言を發表して国交を回復し、同年12月には国際連合への加盟を実現した。ただし、日ソ間の領土をめぐる問題（日本固有の領土である北方領土の択捉島、国後島、色丹島および歯舞群島を不法占拠している問題）は未解決のまま残され、1991（平成3）年のソ連解体後はロシアとの間で交渉がおこなわれている。



東京日比谷公園で開催された国連加盟記念大会 1957（昭和32）年3月

(毎日新聞社提供)

### 【新しい日米関係と東京】

1952（昭和27）年4月、日米安全保障条約と同時に発効した日米行政協定により、日本はアメリカ軍施設の無償提供や分担金の負担などを求められた。これにより、アメリカ軍は各地で基地の新設や拡張にのりだしたが、砂川町（現立川市砂川）では、騒音被害の拡大や地域が分断されることへの懸念などから、激しい反対運動が起きた。

1957（昭和32）年に成立した岸信介内閣は「日米新時代」を唱え、対等で強固な日米関係の構築をめざし、1960（昭和35）年、日米相互協力及び安全保障条約（新安保条約）を結んだ。新安保条約は、アメリカの日本防衛義務を明記するかわりに、日本の防衛力の強化と日米の経済協力の促進などを義務づけた。そのため、新安保条約によってアメリカが関係する東アジアにおける紛争にまきこまれる危険性が強まるとして反対運動（安保闘争）が盛りあがった。とくに同年5月、衆議院において条約批准が強行採決されると国会周辺で連日デモがくり返された。国内の政治的対立が激化するなか、同年、安保条約が国会で自然成立したのち、岸内閣は総辞職した。



砂川事件の際に反対派が集結した阿豆佐味天神社  
（立川市砂川町）



新安保条約に反対し国会に押し寄せるデモ隊  
1960（昭和35）年6月18日（毎日新聞社提供）

### 【昭和記念公園の誕生】

アメリカ軍の立川基地（立川飛行場）は、かつて東京都立川市と昭島市にまたがって存在していた。1955（昭和30）年、基地の拡張が計画されたことを機に、これに反対する地元砂川町の住民運動（砂川事件）が起き、その後闘争は続けられた。その結果、1968（昭和43）年アメリカ軍は拡張を断念し、翌年、飛行活動の停止を発表した。

拡張が断念された立川基地は、1977（昭和52）年に日本に返還された。総面積573haにおよぶ敷地は現在、国営昭和記念公園、立川広域防災基地、陸上自衛隊立川駐屯地などに転用されている。とくに、1983（昭和58）年、昭和天皇在位50年を記念して開園した国営昭和記念公園は、面積180ha、都民のレクリエーションの場として親しまれ、また大規模な震災などの避難場所としての機能も兼ね備えている。この闘争を経て、基地は平和な公園に生まれ変わっている。

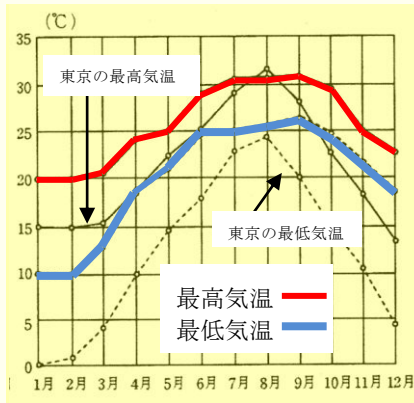


昭和記念公園 みんなの原っぱ（立川市緑町）  
（昭和記念公園提供）

## 30- (1) 東京都おがさわら小笠原村の誕生

### 学びの窓 東京都小笠原村はどのようにして誕生したのでしょうか？

東京から約 1,000km 南に広がる総面積 104.41 km<sup>2</sup>、大小 30 余りの島々が東京都小笠原村を構成する小笠原



父島の月別気温比較

諸島です。一般の住人がいるのは父島と母島のみで、ほかに日本最南端の沖ノ鳥島、最東端南鳥島などがあります。気候は亜熱帯に属し、父



父島二見湾 (小笠原村提供)

島の年平均気温は 23°C で、東京の 9 月の平均気温と同じです。

- 上のグラフを参考に、東京と父島の月平均の最高・最低気温の変化の特徴を考えてみましょう。
- 小笠原の自然や産物、産業について、小笠原村のホームページなどで調べてみましょう。

### 【保守政権の安定】

1960 (昭和 35) 年、岸内閣の退陣をうけた池田勇人内閣は、「所得倍増」をスローガンに高度経済成長を推進し、経済力を向上させることで新安保条約をめぐる国内の政治的対立の解消につとめた。次いで 1964 (昭和 39) 年に成立した佐藤栄作内閣は、経済成長に支えられて 7 年半以上もの長期政権を維持した。そのうえで、国内の政治的安定を背景に、講和条約締結後もアメリカ軍の施政下におかれていた小笠原・沖縄などの領土問題の解決に取り組んだ。



佐藤首相とアメリカのニクソン大統領 (毎日新聞社提供)

### 【小笠原と沖縄の返還】

1967 (昭和 42) 年、渡米した佐藤首相はアメリカのジョンソン大統領と会談し、1 年以内の小笠原の返還と、沖縄返還交渉の継続の約束をとりつけた。これにより、1968 (昭和 43) 年 6 月に小笠原諸島の返還が実現し、東京都小笠原村が発足した。さらに翌年のニクソン大統領との会談の結果、1971 (昭和 46) 年に沖縄返還協定が調印され、1972 (昭和 47) 年 5 月に沖縄の日本復帰が実現した。



米軍司令部前での小笠原諸島返還式典 1968 (昭和 43) 年 6 月 26 日 (東京都生活文化局)

小笠原諸島では戦争末期、島民のほぼ全員 6,800 余人が本土に強制疎開させられていた。アメリカ軍の占領下時代に帰島が認められなかったこともあって、返還後の小笠原村では、戦後 23 年間の空白



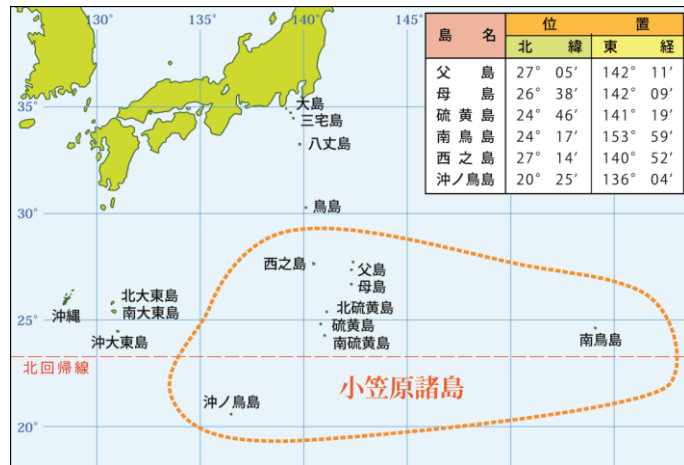


を埋めるための新しい村づくりが進められた。また、2011（平成23）年、国連教育科学文化機関（ユネスコ）は、日本が推薦していた小笠原諸島を世界自然遺産に登録することを決定した。これは、小笠原諸島の生態系が高く評価されたもので、国内の世界自然遺産は、屋久島・白神山地・知床に続き4件目となった。

日米両軍約 27,000 人が戦死した激戦地硫黄島  
旧島民の帰島はまだ実現していない。（毎日新聞社提供）

### 【小笠原発見の歴史】

小笠原は1593（文禄2）年、小笠原貞頼によって発見されたと伝えられている。しかし江戸時代後期までは無人島で、「むにんしま」、「ぶにんしま」とよばれ、欧米の地図にはBonin Islands（ボニン・アイランド）と記載されていた。1830（天保元）年には捕鯨船の補給基地として欧米人とハワイの先住民が移住したが、その後、明治政府が領有を主張し、1876（明治9）年国際的に日本の領土として認められた。そして亜熱帯気候を生かした果物や冬野菜の栽培、カツオやマグロ漁の島として栄えてきた。



小笠原諸島の位置

### 【都立上水高校の小笠原体験活動】

都立上水高等学校は、2004（平成16）年の開校以来、夏休みに船中2泊を含む5泊6日の日程で、小笠原アドベンチャースクールという体験活動を実施している。内容は、ウミガメの飼育体験、たこの葉細工体験、シュノーケリング、戦争犠牲者の慰霊碑の清掃ボランティア、都立小笠原高等学校訪問など多岐にわたっている。参加者は小笠原の大自然に触れるとともに、ウミガメの卵を保護するために慎重に砂のなかから採取したり、戦時中に掘られた洞窟に入ったりすることで、「命の大切さ」も学んでいる。そして豊かな自然を守る小笠原の人々のくらしぶりや島への愛情を知ること、自分たちの生活を見直すきっかけとしている。



30-(2) <sup>うえの</sup>上野にパンダがやって来た**学びの窓** パンダはなぜ日本にやって来たのでしょうか？

上野動物園（東京都恩賜上野動物園、台東区上野公園）の動物といえば、何を思い浮かべるでしょうか。パンダ（ジャイアントパンダ）をあげる人も多いのではないのでしょうか。1972（昭和47）年9月、中国政府から初めて2頭のパンダが日本に贈られることが決まり、以後2008（平成20）年まで9頭のパンダが上野動物園で飼育され親しまれてきました。



(東京都生活文化局)



(上野中央通り商店街HPから)

- ・ **A**は、最初に日本に贈られた2頭のうちの1頭、オスのカンカンです。ほかの1頭はメスのランランでした。
- ・ **B**は、このパンダ来日を歓迎する人々の様子です。
- パンダが日本に贈られたきっかけは何であったのか、当時の外交政策を踏まえ、考えてみましょう。



ネルー首相

外国から贈られた動物はパンダだけではありませんでした。戦時中に猛獣類を処分した上野動物園に象を迎えようと、1949（昭和24）年、台東区子供議会は決議して国や東京都に陳情をおこない、インドへ作文や絵などを送りました。子供たちの運動に心を動かされたインドのネルー首相の決断で、同年9月、インドからメスの象インディラが贈られてきました。**C**は、来日しインディラと再会したインドのネルー首相です。

**【国際社会の変化】**

1955（昭和30）年、中国とインドを中心に、インドネシアのバンドンで史上初のアジア・アフリカ諸国による国際会議（アジア・アフリカ会議）が開かれ、反植民地主義や平和共存の理念が打ち出されるなど、アジア・アフリカ諸国の発展がめざましくなった。1960年代には、ヨーロッパ諸国や日本の経済成長などにより、アメリカとソ連の力が相対的に低下し、多極化も進行した。

北緯17度線を境に南北に分断され、対立が続いていたベトナムに対し、1965（昭和40）年、アメリカはベトナム共和国（南ベトナム）を支援してベトナム民主共和国（北ベトナム）への爆撃（北爆）をおこない、本格的な軍事介入を開始した。これに対して北ベトナムは中国とソ連の援助を受けて抗戦し、戦争は長期化した（ベトナム戦争）。

**【東アジア諸国との関係改善】**

サンフランシスコ平和条約によって日本は朝鮮の独立を承認したが、国交問題は残されていた。1965（昭和40）年、佐藤栄作内閣は日韓基本条約を結んで、大韓民国（韓国）と国交を樹立した。朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）とは、2002（平成14）年9月に小泉純一郎首相が日朝平壤

宣言<sup>せんげん</sup>に調印し、国交正常化交渉が再開されるなか、北朝鮮は長年関与を否定してきた日本人の拉致を認め、被害者の一部が帰国を果たした。しかし、北朝鮮がこれで拉致問題を解決済みとしたため、他の被害者の帰国は実現しておらず、交渉も進展していない。

アメリカではベトナム戦争の長期化によって、軍事支出が増大して経済を圧迫し、反戦運動<sup>はんせん</sup>が高まった。ニクソン政権は、中国との関係改善によって、ベトナムの和平と経済の安定をはかるため、1972（昭和 47）年に大統領が中国を訪問した。翌年にはベトナム和平協定<sup>わへいきょうてい</sup>が成立して、アメリカはベトナムから撤退した。

米中接近<sup>しゅうげき</sup>の衝撃<sup>しょうげき</sup>のなか、1972（昭和 47）年成立した田中角栄内閣<sup>たなかかくえい</sup>は日中共同声明<sup>にっちゅうきょうせうめい</sup>を発表し、中国との国交を正常化した。この声明で、日本は中華人民共和国<sup>ちゅうかじんみんきょうわこく</sup>を中国で唯一の合法的政府と認め、台湾の国民党政権との外交関係を断絶したが、経済・文化の民間交流は維持された。また、日中間の平和友好関係の発展を目的に、福田赳夫内閣<sup>ふくだたけお</sup>は、1978（昭和 53）年に日中平和友好条約<sup>にっちゅうへいわゆうこうじょうやく</sup>を締結した。



もうたくとうしゅせき  
毛沢東主席と握手するニクソン  
大統領 1972（昭和 47）年 2 月  
（UPI＝共同通信社提供）

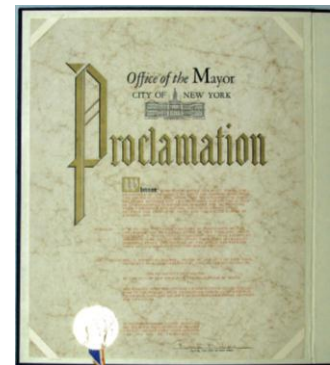


日中共同声明発表後の田中首相  
1972（昭和 47）年 9 月（読売新聞社提供）

### 【東京都の都市外交】

東京都はさまざまな分野で独自の都市外交をおこなっている。現在、北京市やソウル特別区、サンパウロ州など 11 の姉妹都市、友好都市および州と交流している。東京都と最初に姉妹都市<sup>ていけい</sup>を提携したのはニューヨーク市で、2010（平成 22）年で 50 周年を迎えた。

また、2001（平成 13）年より東京都のよびかけでアジア 11 都市と「アジア大都市ネットワーク 21」を組織し、大都市のかかえる諸課題の解決などに取り組んでいる。



ニューヨーク市との姉妹都市提携宣言書（東京都公文書館蔵）

### 【日中友好の懸け橋】

1972（昭和 47）年の日中国交正常化<sup>しやうちやう</sup>の象徴として中国からパンダが送られてきた。上野動物園でパンダの公開が始まると 1 日約 5 万 6,000 人もの見物客が殺到し、パンダは子供たちのアイドルになった。しかし 2008（平成 20）年のリンリンの死によって、上野動物園からパンダの姿は消えた。そこで 2010（平成 22）年、日本が中国に対して働きかけた結果、野生動物保護の協力支援をおこなうことを条件<sup>ないよ</sup>に貸与が決まり、2011（平成 23）年 2 月 21 日に 2 頭のパンダが届けられた。



上野公園でパンダの初公開を待つ人々  
1972（昭和 47）年（公益財団法人東京動物園協会提供）

## 31-(1) 大量消費が生んだ夢の島

### 学びの窓 夢の島はどのようにしてできたのでしょうか？



(東京都夢の島熱帯植物館提供)

・ Aは、江東区夢の島にある東京都夢の島熱帯植物館です。



(東京都生活文化局)

・ Bは、ごみが散乱しているかつての夢の島の様子です。

● Bの夢の島の役割がどのようなものであったのか、時代背景を踏まえて考えてみましょう。

#### 【高度経済成長と豊かさ】

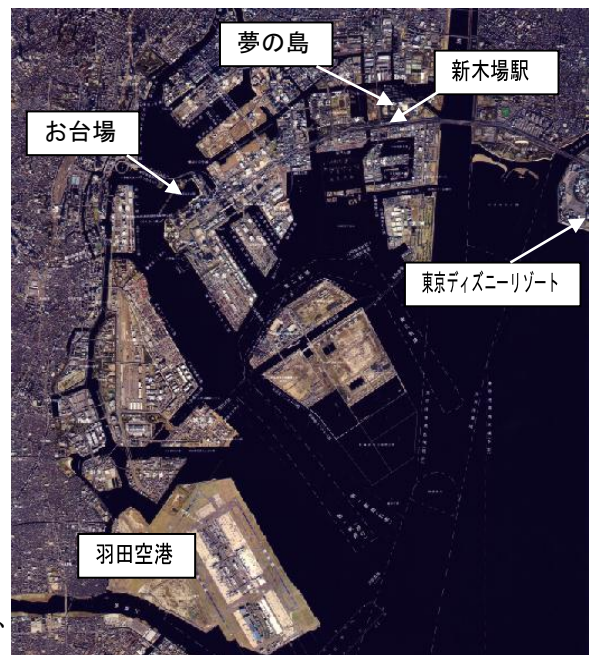
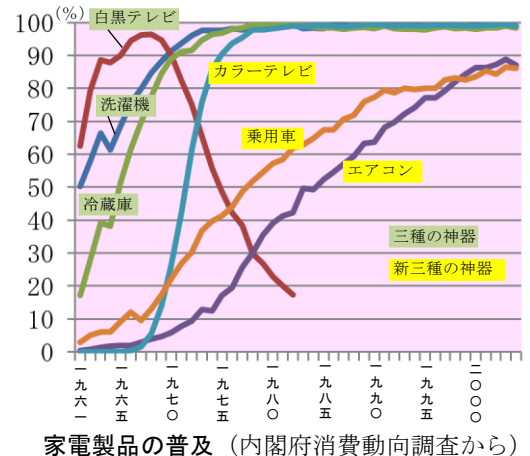
日本は戦後順調に経済復興し、1955（昭和30）年から高度経済成長期に入り、1956（昭和31）年の経済白書では「もはや戦後ではない」といわれるようになった。とくに、繊維産業や家電製品の組立産業などの工場が多く建てられた。日本が経済的に豊かになるにつれ、労働者の賃金も上昇し、1950年代後半からは白黒テレビ、洗濯機、冷蔵庫（三種の神器）といった家電製品が各家庭に急速に普及していった。

また増大する工業用地などの需要を満たすため、東京湾の埋め立てもおこなわれていった。

こうした高度経済成長のもと、1968（昭和43）年に日本のGNP（国民総生産）は資本主義諸国ではアメリカに次ぐ第2位となった。日本は空襲で焼け野原となった1945（昭和20）年からわずか23年で見事に復興し、そのスピードは世界の注目するところとなった。

#### 【高度経済成長のひずみ】

高度経済成長を通じて人々の所得は増加し、生活は豊かになり、日本は国際社会における経済大国となったが、環境などへの配慮は十分とはいえなかった。水俣病や四日市ぜんそくなどの公害病が発生し、その防止を訴える声が高まるなか、1967（昭和42）年に公害対策基本法が制定され、1971（昭和46）年には環境庁（現環境省）が設置された。



東京都沿岸部の埋立地  
(東京都港湾局 ●東京デジタルマップ)

また、高度経済成長は大量生産、大量消費とともに、大量廃棄ももたらした。処分場には多くの生ごみが持ち込まれ、周辺の住民は悪臭やハエの大量発生などに悩まされた。1971（昭和46）年には都知事が「ごみ戦争」を宣言し、また、処分場のある江東区の住民がごみの持ち込みを阻止するなどの問題が生じて、ごみ問題は大きな社会問題となった。

下町では工場などが地下水を過剰にくみ上げてきた結果、地盤沈下が激しくなり、ゼロメートル地帯とよばれる海抜が海面下の地域もうまれた。都は条例で地下水のくみ上げを規制し、地盤沈下は沈静化した。また、高度経済成長期には、工場や家庭で使用される石炭のばい煙や自動車の排気ガスなどが原因でスモッグが発生したり、工場や家庭からの排水によって多摩川などの河川の汚濁が進んだりしたため、東京都は排気や排水の規制の強化をはかった。

### 【高度経済成長の終焉と保守政権の動揺】

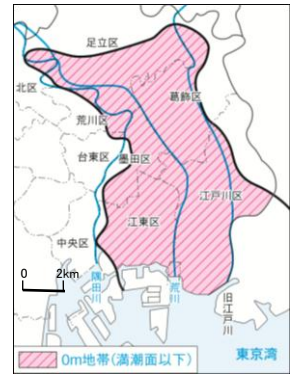
1973（昭和48）年、イスラエルとアラブ諸国との間の第4次中東戦争を契機に、石油価格が上昇した（石油危機・オイルショック）。石油に依存していた日本経済は大打撃を受けて物価が高騰し（狂乱物価）、景気は冷え込み相次いで公共事業が中止された結果、1974（昭和49）年の経済成長率は戦後初めてマイナスとなり、高度経済成長は終わりを告げた。

日本はこの石油危機を克服するため、テレビの深夜放送を中止したり、繁華街のネオンを消灯したりするなど、国をあげて省エネルギー（省エネ）に取り組むとともに、代替エネルギーとしての原子力への依存を高めた。現在日本が世界に誇る燃費の良い自動車や消費電力の少ない製品は、このときの省エネ技術の成果といえる。

狂乱物価のなか、1974（昭和49）年田中角栄首相の政治資金調達にかかわる金脈問題が発覚し、田中内閣は総辞職した。あとを受けて成立した三木武夫内閣は「クリーン政治」を唱え、1976（昭和51）年米国ロッキード社からの収賄容疑で田中前首相が逮捕された（ロッキード事件）。



ゼロメートル地帯（江戸川区）



ゼロメートル地帯分布図



自動車の排気ガスでかすむ千代田区 祝田橋交差点 1972（昭和47）年（東京都環境局）



洗剤の泡で洗われる多摩川丸壺の橋脚 1979（昭和54）年（東京都環境局）



オイルショック時の買いだめ（共同通信社提供）

## 31-(2) オリンピックで変わる東京

### 学びの窓 オリンピックで東京はどのように変わったのでしょうか？



(読売新聞社提供)



(@NASSH 提供)

- ・ Aは、東京オリンピックの開会式の様子です。
  - ・ Bは、会場の一つとなった国立代代木竞技场第一体育馆（渋谷区神南）です。
- 東京オリンピックの開催にあたって、どのような整備がおこなわれたのか、調べてみましょう。

#### 【東京オリンピック】

1964(昭和 39)年アジアで初めてのオリンピックとなる東京オリンピックが開催された。東京オリンピックは、日本が国際社会に復帰したことや、空襲で荒廃した東京の復興した姿を世界各国にアピールする格好の場となった。

東京オリンピックは、「アフリカの夜明け」と例えられる1960年代初頭に相次いだアフリカの植民地の独立後に初めて開催されるオリンピックであった。このため、それまでで最大規模の93の国や地域が参加する大会となった。日本は女子バレーボール、男子体操団体などの活躍で参加国中第3位となる16個の金メダルを獲得した。

開会式や陸上競技がおこなわれたAの国立竞技场（新宿区霞ヶ丘町）、水泳競技会場であったBの国立代代木竞技场第一体育馆、そして柔道会場の日本武道館（千代田区北の丸公園）、女子バレーボール会場の駒沢屋内球技場（世田谷区駒沢公園）など、当時の競技会場は現在でもさまざまなスポーツ施設として都民に親しまれている。

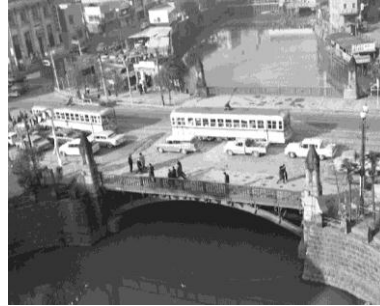


**東京オリンピックマラソン折り返し地点の碑（調布市西町）**

この碑は甲州街道沿いにある。この付近には、東京オリンピックを機に代代木にあった米軍居住区（ワシントンハイム）が移転した関東村やアメリカ軍調布飛行場があった。現在は東京外国語大学、味の素スタジアム、調布飛行場などになっている。

## 【オリンピックと都市東京の整備】

東京オリンピックの開催前の東京は鉄道や道路といったインフラストラクチャー（P81 参照）がまだ十分に整備されているとはいえ、オリンピックを機に神宮、代々木、駒沢地区を中心として整備が進められていった。



首都高速道路建設前の京橋付近

1962(昭和37)年京橋・芝浦間が初開通し、翌年京橋・本町間などが開通した。(中央区提供)

開通後の京橋付近

交通網の整備として、オリンピックの開催に合わせ、世界初の高速鉄道である東海道新幹線が開通した。首都高速道路についても羽田空港と都心部を結ぶ1号線と環状線の大部分ができあがった。短期間での建設のため、かつての川底を道路としたり、川の上に高速道路を通したりするなどの工夫がなされた。さらに、羽田空港と浜松町を結ぶ東京モノレールもこのときに開業した。

また、オリンピックの代々木会場は、戦前に陸軍練兵場であったところで、戦後は「ワシントンハイツ」としておもにアメリカの軍用住宅となっていた場所であった。日本はオリンピック開催を理由に返還を実現させ、そこに代々木競技場や選手村を建設した。現在、選手村などに利用された地区は代々木公園や国立オリンピック記念青少年総合センターとなり、隣接する明治神宮とともに都心部の貴重な緑地帯となっている。



国立オリンピック記念青少年総合センター

(かつての東京オリンピック選手村の場所 渋谷区代々木神園町)



日本橋の上を通る首都高速道路

## 【ひかり号が地名の由来】

世界初の高速鉄道である東海道新幹線はオリンピックの開催に間に合うように建設された。この新幹線の技術開発は国分寺市平兵衛新田の国鉄鉄道技術研究所(現(財)鉄道総合技術研究所)でおこなわれた。そのため、この研究所のあった地は、1966(昭和41)年当時の新幹線の最速列車の名前「ひかり号」にあやかり、国分寺市光町と名づけられた。新幹線は開業以来、乗客の死亡事故の無事故記録を伸ばしており、その安全性は高く評価されている。



東海道新幹線の開業(鉄道博物館蔵)

## 32-(1) 多摩ニュータウンの誕生

### 学びの窓 団地はどのような背景からできたのでしょうか？



（『団地ライフ』北区立飛鳥山博物館蔵）



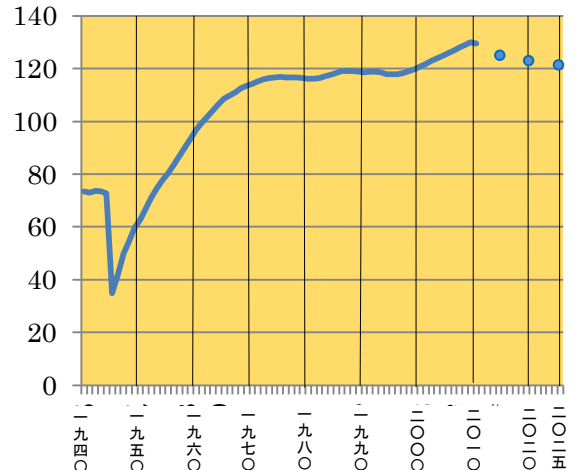
（国立歴史民俗博物館）

- ・ **A**は、1962(昭和 37)年に入居が始まった北区赤羽台団地、桐ヶ丘団地の抽選会の様子です。
- ・ **B**は、その赤羽台団地の内部の様子を実物大に再現したものです。
- 当時多くの人々が団地に住むための抽選会に押し寄せた理由を考えてみましょう。
- 団地の生活によって人々のライフスタイルがどのように変化したのか、P 98 の記述と比べて考えてみましょう。

#### 【東京への人口集中と住宅団地の開発】

太平洋戦争が終わると国外や疎開先などから東京に戻ってくる人が急増し、東京は深刻な住宅難となった。そして高度経済成長期をむかえると、地方の中学校を卒業した若者が東京に集団就職するなど、地方から都市部へという人口流入が著しくなり、都の人口は1953(昭和 28)年に約 746 万人と戦前の人口を抜いた。そこで東京都や日本住宅公団(現都市再生機構)は、郊外に住宅団地とよばれる集合住宅を建設し、住宅難の解消に努めた。しかし、多くの職場は都心部に残されたままであったため、通勤ラッシュの問題を解消することができなかった。

(10万人)



東京都の人口の推移  
(東京都総務局統計部のデータから)

#### 【集団就職】

高度経済成長期には仕事量の増加にともない人手が不足し、地方の中学校を卒業した若者が集団就職列車に乗って上京して、都内の商店や工場などで働いた。1955(昭和 30)年の全国の高校進学率は51.5%であり、中学卒業後に就職する者が多かった。

1964(昭和 39)年には、集団就職の若者を題材とした歌謡曲「あゝ上野駅」が発表され、大ヒットとなった。2003(平成 15)年上野駅に歌碑(台東区上野)が立てられた。

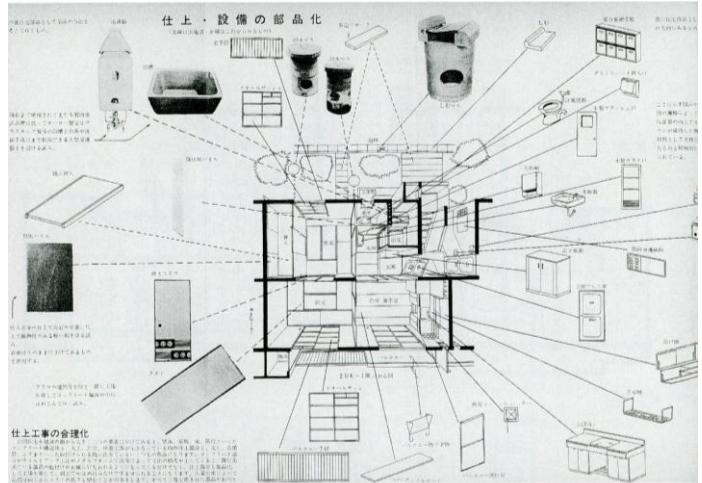


集団就職列車の到着  
1964(昭和 39)年3月18日の上野駅  
(共同通信社提供)



## 【住宅団地から始まった新しいライフスタイル】

1955（昭和30）年に発足した日本住宅公団は、限られた予算で短期間に大量の住宅を供給するため、住宅団地内のさまざまなものの規格化を進めた。ステンレス製の流しとガスコンロ、ダイニングテーブルを備えた現在では当たり前のDK（ダイニングキッチン）も「あこがれのダイニングキッチン」として日本住宅公団が宣伝したものである。また、洋式トイレの導入も加わり、日本人がライフスタイルに椅子やテーブルを取り入れる大きなきっかけとなった。



規格化された部品の例（『いえなみ』1962（昭和37）年7月号から）

## 【多摩ニュータウンの開発】



1971（昭和46）年 1981（昭和56）年 2000（平成12）年  
南大沢付近の開発の推移（UR都市機構提供）

東京への人口集中は地価の高騰をまねき、比較的<sup>あつか</sup>地価が安価であった郊外の乱開発が進んだ。そこで計画的に住宅を提供するため<sup>たまきゅうりょう</sup>多摩丘陵を切り崩した多摩ニュータウンの建設が計画され、1971（昭和46）年に入居が開始された。多摩ニュータウンは、それまでの団地のみの開発から都市開発へと大きく転換し、<sup>きょじゅう</sup>居住地区とともに商業地区や学校、病院、公的機関などが計画的に配置され、人と車を分離するなど先進的な設計によって、快適な居住空間を提供した。

しかし、外国ではニュータウンを居住地と勤務地を近づけた<sup>しよくじゅうきんせつ</sup>職住近接の都市として設計するが、多摩ニュータウンでは住宅不足の解消が当時の大きな課題であり、また企業などの多摩地域への移転は十分とはいえなかったため、通勤問題の解消にはいたらなかった。

現在は建物の<sup>ろうきゅうか</sup>老朽化や住民の<sup>こうれいか</sup>高齢化などの課題も生じている。



多摩都市モノレール多摩センター駅付近

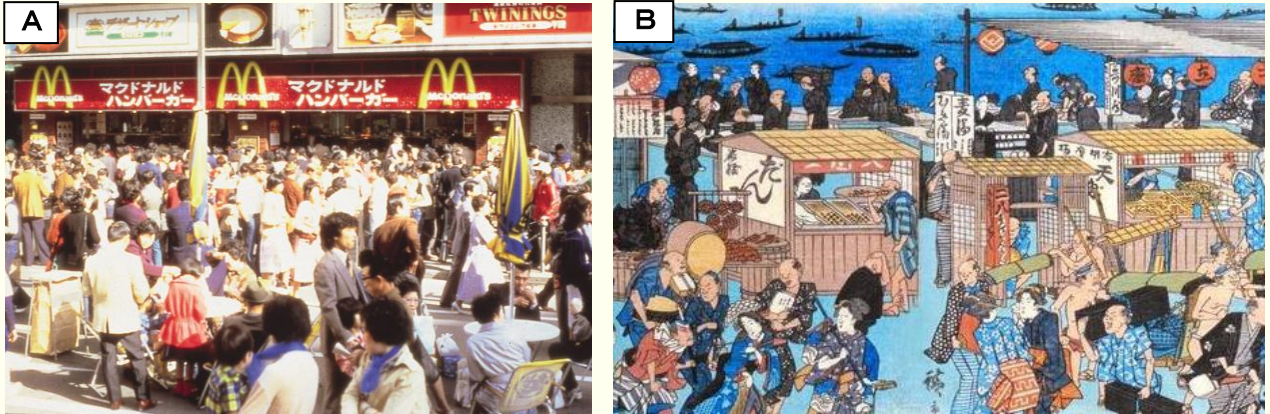


多摩ニュータウン南大沢付近

## 32-(2) 手軽さを求める時代へ

### 学びの窓 ファーストフード店やコンビニエンスストアは

#### 東京にいつごろ進出したのでしょうか？



(読売新聞社提供)

歌川広重「東都名所 高輪二十六夜 待遊興之図」(江戸東京博物館蔵)

- ・ Aは、中央区銀座に開店したハンバーガーチェーンの1号店です。
- ・ Bは、江戸時代の人々がさまざまな屋台を楽しんでいる様子です。

●現在のファーストフードと江戸時代の屋台のスタイルの共通点は何であるのか、考えてみましょう。

#### 【経済大国の誕生と流通革命】

高度経済成長期で国民所得が向上した結果、日本は大量消費時代をむかえた。そして卸売業者を通さないなどの流通の簡略化や小売店の系列化、さらには販売方法にセルフサービスが導入されるといった流通革命が起きた。そしてさまざまな商品がセルフサービスによって提供されるスーパーマーケットや、従来の商店が営業していない時間にも開店しているコンビニエンスストア、そして安く手軽に食事ができるファーストフード店、郊外にはファミリーレストランなどがこの時期に登場し始めた。



ファミリーレストラン1号店  
1970(昭和45)年国立店が開店。  
(すかいらく提供)

#### 【ファーストフード店の進出】

1971(昭和46)年ファーストフードでは、大手ハンバーガーチェーンが銀座に1号店を出店した。しかし、江戸時代においては、すでに握りずし、そば、天ぷらといった食品が屋台で販売されており、現在のファーストフードのように江戸の人々に親しまれていた。このような屋台は時代とともに消えていったが、立ち食いそばなどの店が現在でも駅などに多数あるように、ファーストフードは日本人の生活に根づいている。

1970年代初め、相次いで進出してきたアメリカの大手ハンバーガーチェーンの食品は、日本人にとってあまり馴染みのないものであったが、若者を中心に人気を博し、現在ではこれらの食品は日本に定着している。

## 【コンビニの誕生】

1974（昭和 49）年東京におけるコンビニエンスストアの1号店が東京都江東区豊洲に開店した。

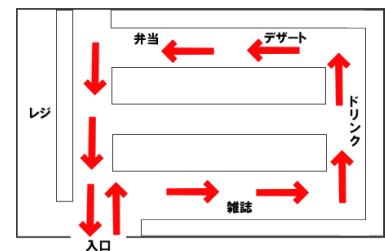
コンビニエンスストア（以下「コンビニ」という）とは、便利さという意味をもつ英語の **convenience** から名づけられた商店である。コンビニができる前は、深夜や休日に営業している商店は少なかったが、24 時間営業や年中無休のコンビニの普及は、私たちのライフスタイルを大きく変えることとなった。現在日本のコンビニチェーンのなかには、海外進出しているものもみられ、アメリカでできた商店のスタイルを日本で進化させている。



コンビニエンスストア1号店（江東区豊洲）  
（セブン-イレブン・ジャパン提供）

## 【コンビニに入ってみると】

コンビニは消費者のニーズに応えるためにさまざまな工夫をしている。2009（平成 21）年の調査では、食料品が年間商品販売額の約7割を占めていることから、右図にあるとおり、手に取りやすい「雑誌・書籍」を入口近くの窓側に置いて客を店の中ほどへと誘導し、「飲料品」をレジの反対側の壁面に「弁当・惣菜」を入り口とは反対側のレジ近くの壁面に置くことで、客を一周させるようにしている。また、あるコンビニチェーンでは毎週約 100 品目の新商品が開発され、年間に約7割の商品を入れ替えて消費者に飽きさせないようにしている。

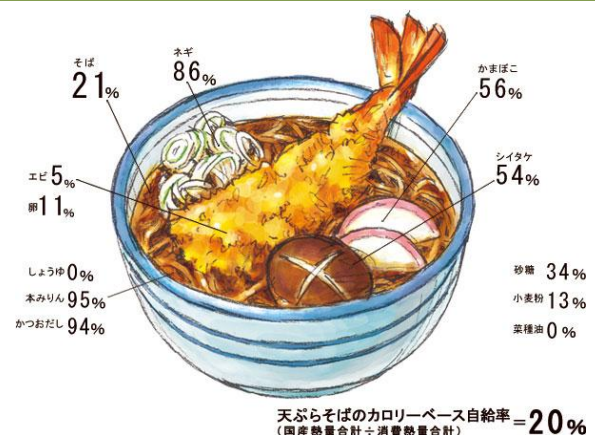


各コンビニではバーコードを導入し、1店舗あたり 2,500～3,000 品目の商品を管理している。しかし、一口サイズのチョコレートなどは小さすぎてバーコードを付けることができない。このため、コンビニ用の商品はメーカーと相談してサイズを少し大きくしている。この他、車椅子等のできる通路の幅を確保するため、陳列棚の棚板を薄くして棚の数を増やし、陳列棚の奥行きをせばめる工夫をしている。

## 【天ぷらそば、ハンバーガー原料産地】

天ぷらそばは日本食であるが、農林水産省によれば、国内産の原材料を使用しているものは約20%程度にすぎない。いつでも、どこでも、手軽に食べられるようにするためには、大量の食材を安く確保しなければならない。しかし、この条件を満たす原材料は日本国内だけでは確保できず、外国から輸入することとなる。

ハンバーガーについても同様で、ある大手ハンバーガーチェーン店の原材料の輸入先は以下のとおりである（2010（平成 22）年現在）。



レタス・キャベツ：国内産  
魚：北太平洋ベーリング海沿岸産  
鶏肉：中国産、タイ産  
小麦・玉ねぎ：アメリカ産  
ピクルス：バングラデシュ産など  
牛肉・チーズ：オーストラリア産、ニュージーランド産  
(農林水産省HPから)

### 33-(1) 消えていった工場群

#### 学びの窓 なぜ工場はなくなっていったのでしょうか？



(左・上：大田区提供)

- ・ Aは、1973（昭和 48）年ごろの京浜工業地帯の一部、大田区大森の様子です。
  - ・ Bは、Aの場所に2007（平成 19）年に完成した大田区立大森ふるさとの浜辺公園です。白い砂浜と干潟がある憩いの公園で、休日には多くの家族連れが訪れています。
- この地域の変化を、高度経済成長後の日本経済の歩みに重ねて考えてみましょう。

#### 【深刻化する貿易摩擦】

1970年代の2度の石油危機を産業構造の転換と企業による省エネルギー（省エネ）や減量経営（合理化）で乗りきった日本はふたたび活力を取りもどし、先進工業国のなかでいち早く景気回復を達成した。1980年代前半になると、アメリカの高金利政策によって「円安・ドル高」の傾向になっていたこともあり、日本から欧米諸国への輸出が急増し、日本の輸出超過による貿易不均衡が深刻化していった（貿易摩擦）。



1980（昭和 55）年5月米ミシガン州で日本製乗用車をハンマーで壊す失業者 日本は翌年から自動車輸出の自主規制を始めた。（UPI＝共同通信社提供）

#### 【円高による不況】

1985（昭和 60）年、ニューヨークのプラザホテルで先進五か国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）が開催され、各国通貨に対するドル高是正が合意された（プラザ合意）。これをきっかけに、1ドル240円前後だった為替相場が1年後には1ドル120円台まで高騰し、輸出に依存する日本経済はふたたび大きな打撃を受け、深刻な不況におちいった（円高不況）。



円相場の推移（日本銀行調査統計局HPデータから作成）

また、貿易摩擦の批判や円高のデメリットを避けるために、日本の製造企業が海外へ生産拠点を移転するケースが増加し、国内の工場閉鎖が相次いだ。いわゆる産業の空洞化が進行していった。

### 【行財政改革と民営化】

1982（昭和57）年に成立した自民党の中曽根康弘内閣は「戦後政治の総決算」を掲げ、「行財政改革」に取り組み、巨額の赤字を生み出していた国営企業の民営化に着手した。1985（昭和60）年、電電公社はNTT、専売公社はJT、そして1987（昭和62）年に国鉄はJRへと株式会社化された。同年に公開されたNTTの株価は、160万円の初値をつけたうえ、2か月後には318万円に高騰するなど、バブル期の証券投資ブームの象徴となった。

また、中曽根内閣は1949（昭和24）年のシャウプ勧告以来の直接税中心主義を改め、大型間接税の導入をめざしたが、導入は果たせなかった。しかし1989（平成元）年、次の竹下登内閣は税制改革として消費税を導入した。

### 【時代と町の変化】

高度経済成長期には、東京湾の埋立地の拡張などにより大田区の伝統の海苔生産が中止になり、その代わりに多くの工場が進出した。その後公害問題の深刻化もあり、1970年代後半以降、工場は地価の安い地方へと移転し、跡地には住宅・学校・公園等が建設された。

大田区によると、Bの公園は、大田区長期基本計画（おおたプラン2015）に基

づき区民参加のワークショップで区民の意見を取り込みながら、緑豊かな親水空間として整備された。

周辺には、平和の森公園、平和島公園、都堀公園もあり、かつて京浜工業地帯の中心であった「工場の町」は「浜辺の町」という顔ももちつつある。



海苔養殖 終焉の碑  
（大田区大森東）

工業発展に伴う汚染と埋め立ての進行が影響した。

### 【ものづくりの継承】

大田区には多くの町工場がひしめき、「図面を紙飛行機にして飛ばせば、どんなものでもすぐに部品になって戻ってくる」と言われるほどの高い技術力で日本の「ものづくり」を支えてきた。しかし、不況や取引先の大企業の移転などが影響して、工場数は年々減少し、経営者や従業員の高齢化も進み、後継者不足も深刻化している。中小企業の衰退はそのまま日本の技術力の衰退あるいは海外への流出につながりかねない。

そこで、2004（平成16）年、全国初の「デュアルシステム科」を創設した都立六郷工科高等学校では、協力企業と提携を結び、1～2か月におよぶ長期就業訓練をおこなうカリキュラムを取り入れた。ものづくりの現場で実際に優れた技術・技能に接することで、ものづくりを志す高校生の学びを豊かにするとともに、受け継がれてきた技術を継承する人材を育てていくことが期待されている。



技能実習に取り組む都立六郷工科高等学校の生徒の様子

## 33-(2) 江戸情緒から見たウォーターフロント

### 学びの窓 バブル期の開発とはどのようなものだったのでしょうか？



(東京都生活文化局)



朱塗りの橋は佃小橋



佃島の町並みの様子

- ・ Aは、中央区佃島周辺の現在の様子です。
- ・ Bは、戦災にあわずに残った昔ながらの佃島に建ち並ぶ家々です。
- ・ Cは、1986（昭和61）年に開発が始まり、東京における超高層住宅群のさきがけとなった地域をBの地域から見た様子です。
- なぜ、同じ佃島のなかに、このように違った景観が生まれたのか、当時の経済状況を踏まえて考えてみましょう。

### 【泡（バブル）のような景気とは】

企業は円高不況を克服するため、コンピュータと通信機器を利用した生産・流通・販売のネットワーク化などを進めた。また、政府も貿易摩擦や円高不況解消のため公共事業の増加など内需拡大政策をとったうえ、日銀の公定歩合（市中銀行への貸出金利）の引き下げによる金融緩和政策もあって、1980年代後半から90年代初頭にかけて、景気は次第に回復し、日本経済に平成景気とよばれる大型景気がおとずれた。

この景気はバブル景気ともよばれた。低金利によって金融機関などに余った資金が株式や土地の購入（財テク投資）にあてられたため、株価や地価が異常に高騰する現象が発生した。つまり、実際とはかけ離れた泡（バブル）のような経済状況で、バブル経済における資産効果は

1987（昭和62）年5月、ゆとりのある国民生活の実現や国内需要の拡大を目的としていわゆる「リゾート法」ができ、全国各地にさまざまなテーマパークや高級リゾート複合施設が建設された。



アルファリゾート・トマム（北海道）  
（星野リゾートトマム提供）



宮崎シーガイア（宮崎県）  
（フェニックス・シーガイア・リゾート提供）

消費者の消費意欲をかき立て、高級乗用車や輸入ブランド品などが飛ぶように売れた。

しかし1987（昭和62）年のアメリカニューヨーク証券市場の株価大暴落（ブラックマンデー）や1991（平成3）年以降の政府のきびしい金融引き締め政策により景気は急激にしぶんでいった。株価や地価が暴落し、4年以上にわたる平成景気にピリオドをうつことになった。

### 【バブルの崩壊と揺らぐ社会】

バブルが崩壊すると一転して深刻な不況にみまわれた。バブル経済のときの銀行は不動産の取得などに巨額の資金を融資したが、バブル崩壊で相当額が回収不能になり、多額の不良債権をかかえ込んだ。そのため銀行は新たな貸し出しに慎重になり（貸し渋り）、資金不足から倒産する企業が相次いだ。

バブルが崩壊した1990年代には、阪神淡路大震災、オウム真理教による地下鉄サリン事件（1995（平成7）年）などが起こり、日本社会のくらしやすさ、安全性に対する信頼が大きく揺らいだ。また、銀行や証券会社など大手金融機関の相次ぐ経営破綻、リストラや倒産による失業者の増加など不景気は深刻さを増した。国内政治では1993（平成5）年の総選挙の結果、自民党が敗れて「55年体制」が終わり、非自民の8党派連立による細川護熙内閣が誕生し、小選挙区比例代表並立制を成立させた。しかし翌年には自民党、社会党、新党さきがけが連立して社会党委員長の村山富市による内閣が成立するなど、このあと政権をめぐる政党の離合集散が続いた。

### 【ウォーターフロントブーム】

首都圏では、東京の佃島・天王洲・お台場・有明・汐留・葛西、横浜市のみなとみらい21、千葉市の幕張新都心など、次々と再開発計画がたてられた。芝浦の空き倉庫を利用したディスコやライブハウス、浦安市のディズニーリゾートは人気を集めた開発の一つである。バブル崩壊後の長期不況による停滞もみられたが1990年代後半には品川再開発など再び大型計画が動き出した。



倉庫群を再開発した天王洲アイランド（品川区東品川）

### 【風化させてはならない地下鉄サリン事件】

1995（平成7）年3月20日朝、東京都内の営団地下鉄（現東京メトロ）日比谷線、千代田線および丸ノ内線の車内で神経ガスのサリンが散布され、乗客・駅員や通報で駆けつけた救急隊員・警察官ら13人が死亡し、6,300人以上が重軽傷を負った。この事件は大都市の民間人を標的とした世界初の化学兵器による無差別殺傷事件であり、日本だけでなく世界に大きな衝撃を与えた。警察の捜査で新興宗教団体のオウム真理教による犯行であることが発覚し、その後の裁判で複数の実行犯の死刑が確定した。

被害者のなかには現在も重度の後遺症・神経症状に苦しむ人が数多い。この事件後、全国の多くの駅や街角からゴミ箱が撤去されるなど、不審物に対する警戒と不安が今日も続いている。

化学物質の分析に向かう消防庁職員  
（毎日新聞社提供）



路上で多くの被害者に応急処置がおこなわれた。（共同通信社提供）



## 34-(1) 東京タワーから東京スカイツリーへ

## 学びの窓 しゅってん なぜ東京に外国の企業が出店するのでしょうか？



(丸紅株式会社提供)



- ・ **A**は、東京で働いたり、海外から研修を受けに来たりしている外国人です。
  - ・ **B**は、中央区銀座に進出している外国の衣料品店です。
- 近年の外国製品の流入や情報化は私たちの生活に何をもたらしたのか、考えてみましょう。

### 【冷戦の終結と国内改革】

1989（平成元）年、米ソ首脳がマルタ島で会談し、冷戦の終結を宣言した。その象徴的な出来事として東西ドイツを分断していたベルリンの壁が崩壊し、翌年東西ドイツが統一された。また1991（平成3）年には世界初の社会主義国として大きな影響を与えてきたソビエト連邦が解体した。

冷戦終結後も、世界各地で地域紛争や内戦が相次ぐなか、1991（平成3）年の湾岸戦争をきっかけに、日本は資金援助を通じた国際貢献だけではなく、自衛隊の海外派遣もおこなうようになった。1992（平成4）年宮沢喜一内閣のもとでPKO（国連平和維持活動）協力が成立すると、自衛隊をカンボジアへ派遣し、その後も紛争のたびに特別措置法による派遣を続けている。

国内では、1996（平成8）年に行財政改革を掲げた自民党の橋本龍太郎内閣が成立し、規制緩和など新自由主義的な改革を打ち出した。2001（平成13）年に成立した小泉純一郎内閣でもこの政策が推進され、郵政民営化や財政再建などの構造改革などがおこなわれた。その後、長引く不況のなかで自民党による短期間の政権交代が相次いだ。2009（平成21）年の総選挙で民主党が勝利して、鳩山由紀夫内閣が成立した。しかし、沖縄のアメリカ軍普天間基地移設問題で不信をまねくなどして総辞職し、翌年成立した菅直人内閣も東日本大震災後の2011（平成23）年8月に総辞職した。



ベルリンの壁の崩壊を喜ぶ人々（読売新聞社提供）



カンボジアで道路補修に取り組む日本の自衛隊（毎日新聞社提供）



## 【ヒトとモノの流入】

2008（平成 20）年に海外に出かけた日本人は約 1,600 万人にのぼる。これは東京都の人口（約 1,300 万人）を超え、日本の人口の 12% に相当する。一方、同じ年に日本を訪れた外国人はほぼ東京 23 区の人口（約 884 万人）にすぎない。そのため、日本の魅力の発信や、案内表記の整備などにより訪日外国人の数を増やそうとする「ビジットジャパンキャンペーン」が国土交通省などを中心に展開された。東京都も東京の魅力を発信するため、さまざまな取組をおこなっている。

また、日本は生活に不可欠な多くのモノも外国からの輸入にたよっている。日本の 2008（平成 20）年の食料自給率は 41% と低く、石炭や石油などのエネルギー資源の自給率も 4% と極めて低い。そのうえ、外国産の安価な製品が流入するようになり、企業は競争力維持のため人件費の安いアジア諸国に工場を移転させており、産業の空洞化は引き続き深刻な問題となっている。

## 【デジタル化する情報】

1990 年代後半の IT 革命以降、人々の生活における情報化やデジタル化はめざましく進歩した。

携帯電話の契約件数は 2000（平成 12）年度に固定電話の契約件数を抜き、2009（平成 21）年度には約 1.1 億件となり、多くの人々がさまざまな場所から通話することが可能になった。そのうえ、コンピュータが各家庭でもたれるようになり、インターネットが普及して世界のさまざまな情報を瞬時に得られるようにもなった。

また、2012（平成 24）年地上波のテレビ放送のデジタル化への移行が完了した。東京タワーは 1958（昭和 33）年にテレビのアナログ放送の電波を発信することをおもな目的として建設されたものであったが、デジタル化に備え、より広範囲に電波を効率よく届けるため、2012（平成 24）年には墨田区に東京スカイツリーが完成した。

### 【東京タワーと東京スカイツリー】

東京タワーは港区芝公園にあり、テレビ用電波塔として電波が関東一円に届くために必要な高さを計算して 333m に設定された。

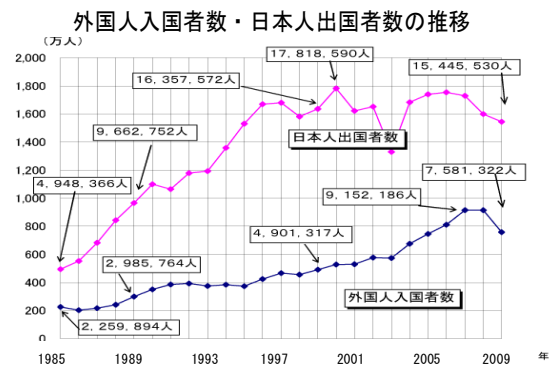
東京スカイツリーは墨田区押上に建設され、高さは武蔵国にちなんで、634m である。スカイツリーの色は、日本の伝統的な美意識を表す「白」を基本とし、夜間は江戸情緒あふれる「粋」と「雅」とよばれる 2 つの彩色でライトアップされ、下町の歴史とともに新しい都市空間を提供していく。



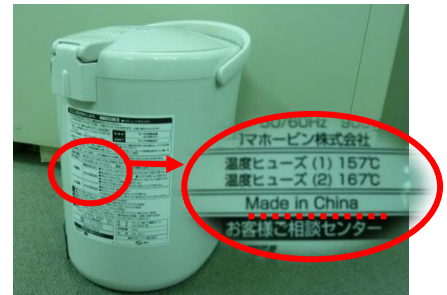
（東京都生活文化局）



（東武鉄道株式会社・東武タワースカイツリー株式会社提供）



（法務省HPから）



日本企業の海外工場で生産された電化製品の表示



1988（昭和 63）年に販売された初期の携帯電話。その名も「ショルダーフォン」（NTT DOCOMO 提供）

## 34-(2) 秋葉原からアキバへ

### 学びの窓 明治以降の秋葉原はどのように

変化していったのでしょうか？



- ・ Aは、1983(昭和 58)年の秋葉原電気街の街並みです。
- ・ Bは、現在の秋葉原の様子です。
- のような看板に着目して、秋葉原の街の変化について考えてみましょう。

### 【交通の要衝としての秋葉原】

1869(明治2)年、明治初期の秋葉原には、火災の延焼を防ぐための火除地がつくられた。1890(明治23)年、そこに秋葉原貨物駅がつくられ、それまで利根川などの舟運を利用して運ばれていた東北地方の米などの物資が、鉄道を利用して秋葉原まで運ばれるようになった。そこから荷物は神田川などを利用して都内各地へと運ばれていった。

秋葉原は鉄道と河川が交わっており、神田青果市場(1989(平成元)年大田市場に移転)がつくられるなど流通拠点としては絶好の立地であった。鉄道網では、秋葉原のすぐ南に路面電車のターミナルであった須田町交差点があり、1912(明治45)年に中央線の始発駅として万世橋駅が完成した。そして1925(大正14)年立体交差の秋葉原駅が完成し、1930(昭和5)年には地下鉄(現銀座線)万世橋仮駅も開通するなど、交通の便が格段に向上した結果、秋葉原に多くの人々が集まるようになった。



関東大震災前の万世橋駅の駅舎(東京駅と同じ辰野金吾の設計)と路面電車



1909(明治42)年当時の秋葉原

この当時秋葉原は貨物駅であり、現在の山手線、総武線はまだ開通していない。昌平橋付近では、完成直前の万世橋駅の様子が読み取れる。

### 【電気街としての秋葉原】

戦後の秋葉原には、当時の最新メディアであったラジオの部品などを扱う露天商ろてんしょうが集まるようになった。しかし 1949（昭和 24）年にGHQにより、露天商撤廃令てっばいれいが出されたため、露天商はガード下へ集団移転し、これが電気街の始まりになったといわれている。その後高度経済成長により、人々の所得が上昇し、三種の神器さんしゆ じんぎとよばれる家電製品が普及すると、秋葉原電気街は活況かつきやうを呈ていしていった。しかし、モータリゼーションが進展し、郊外の幹線道路沿いに家電量販店が出店すると、秋葉原は苦戦くせんを強いられるようになったが、1980年代の後半から、コンピュータの需要が高まり、1994（平成 6）年秋葉原電気街のパソコン関係の売り上げが家電製品を上回った。

### 【「趣味の都」としてのアキバ】

現在、秋葉原の街を歩くとこの街のさまざまな顔が見える。そこには品質の良い「Made in Japan」の家電製品を購入する外国人観光客の姿、日々進化するデジタル家電を値踏みする買い物客、神田青果市場の跡地に建つオフィスビルで働く人々などである。さらに秋葉原はアニメやゲームなどの趣味の都、通称「アキバ」としての顔がマスコミなどで注目されている。

世界的にみても秋葉原のように趣味的なものを扱う店がこれほど集まっている街は極めて珍しい。そのため今や都内有数の観光地となり、その知名度は国内外に高まっている。そしてこの街の名前を冠かんした女性アイドルグループも結成されている。貨物が集まるターミナルから電気街、そしてサブカルチャーを発信し続ける「趣味の都・アキバ」へと秋葉原は時代とともにさまざまな顔を見せるように変遷へんせんを遂げている。



昭和 30 年代の電気街の様子  
(秋葉原電気街振興会提供)



電気街で買い物をする外国人



秋葉原に専用の劇場をもつアイドルグループ  
(AKS 提供)

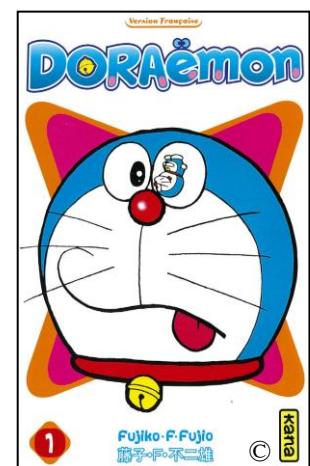
### 【世界に広がる日本の漫画・アニメ・ゲーム】

日本の漫画・アニメ・ゲームは、今やアメリカやヨーロッパ、アジアなどを中心に世界的広がりをみせている。

右の「ドラえもん」は 1969（昭和 44）年から学習誌に掲載され、その後日本国内をはじめ中国や台湾などアジア各国で人気を博し、現在までに南アメリカやヨーロッパを含む 20 か国以上で出版やテレビ放送、ゲーム化などの展開がされている。

©Fujiko-Pro, Shogakukan

「ドラえもん第 1 巻」スペイン語版の表紙



特集8-(1)

# 海に広がる東京

## 大島おおしま

伊豆諸島最大の島で、**三原山**をもつ火山島。冬はヤブツバキ、春はオオシマザクラに覆われ、明治末期から伊豆の伊東と定期航路が開かれ、観光地となっていた。また、大正・昭和にかけて多くの**文人墨客**が来島し多数の作品を残している。

第二次世界大戦直後、GHQによる日本国からの行政分離（53日間）の際には、大島の憲法「大島憲章の草案」をつくっている。



江戸時代から植林された椿の島



御神火茶屋から望む三原山

## 利島としま

**椿油**の生産量が日本で、伊豆諸島で唯一「**流鏑馬**」の伝統が伝わる島。御蔵島とともに有史以来噴火記録はない。宮塚山を中心にピラミッド型の島全体が椿林で覆われ、江戸時代には椿油を幕府に納めていた。



6.5 kmにわたって白い砂浜が続く羽伏浦海岸

## 新島にいじま

3,000年前に形成された**新島山**に、1,100年前の海底噴火で向山が合体して生まれた。江戸時代は塩年貢が課され、多くの住民が製塩に従事していた。特産の**コーガ石**は建材として活用されてきたが、近年は透きとおったオリーブ色の「**新島ガラス**」の原料ともなっている。新島から贈られた渋谷駅のモヤイ像もこの石でできている。また、伊豆諸島特産の「くさや」の発祥地との説があり、江戸時代には将軍家に献上している。近年は、国内有数のサーフィンのスポットとして有名で、毎年夏に都知事杯が開催されている。



室町時代から天然の良港として活用された泊海水浴場

## 式根島しきねじま

溶岩が台地状となった、標高が平均105mの平らな島で、1703（元禄16）年の津波で新島から分離したと伝えられる。入り江に恵まれ、**風待ちの港**として活用された。江戸時代から新島とともに製塩が盛んで、幕府に塩を納めていた。

## 神津島こうづしま

良質な地下水が豊富で、中央に山頂が平坦な**天上山**がある。周囲は起伏に富んだ複雑な地形で原生林に覆われている。原始時代の石器の原料となった神津島産の**黒曜石**は、広く交易されていた。朝鮮出兵の際に連れてこられた朝鮮貴族の幼女「おたあ」はキリスト教信者であったため、1612（慶長17）年に流されている。



黒曜石

砂糠崎の崖に広がる黒曜石層



伊豆諸島

### 三宅島 みやけじま

伊豆諸島の中央に位置し、唯一伊豆諸島全島を肉眼で見ることができる。雄山の頻繁な噴火活動は、現在でも続いている。江戸時代には、生島新五郎や竹内式部がこの地に流された。近年では、貴重な鳥が生息することからバードアイランドとして、またバイクレースのイベント開催などでも脚光を浴びている。



噴火で形成された大路池



ドルフィンスイミングの様子

### 御蔵島 みくらじま

水の豊かな島でツゲやシイの原生林に覆われる。江戸時代から、ツゲは櫛などの高級原材料として江戸に運ばれたが、島内でも将棋盤や駒の制作がおこなわれている。1863（文久3）年島民は漂着したアメリカ商船バイキング号の乗員を異国船打払令に反して、救出している。近年ではイルカとともに泳ぐドルフィンスイミングが有名である。

### 八丈島 はちじょうじま

三原山と八丈富士の二つの火山が接合したひょうたん型の島で、水が豊富なため伊豆諸島で唯一水田があった。江戸末期に伝えられた芋焼酎はこの島から伊豆諸島に広がり、伝統工芸の黄八丈も全国に知られている。江戸時代には、関ヶ原の戦いで敗れた宇喜多秀家が流され、第二次世界大戦の際には人間魚雷の収容壕も設けられた。1969（昭和44）年、八丈小島の住民が八丈島へ完全移住している。



八丈島から八丈小島を望む

#### 【伝統工芸を学ぶ】

都立八丈高等学校では島内の熟練した技術者を市民講師としてまねき、郷土の文化や産業の学習に取り組んでいる。右は伝統工芸品の黄八丈の織り方を学んでいるところ。



アシタバ（伊豆諸島に自生する植物で島の特産品となっている）



### 青ヶ島 あおがしま

日本一小さな地方自治体で、伊豆諸島の有人島のうち最南端に位置する。1783（天明3）年に始まる天明の噴火では多くの犠牲者を出し、八丈島へ避難している。50年後に帰島（「還住」とよぶ。）が実現し、八丈島との定期船「還住丸」の名の由来となっている。



渋谷駅南口のモヤイ像

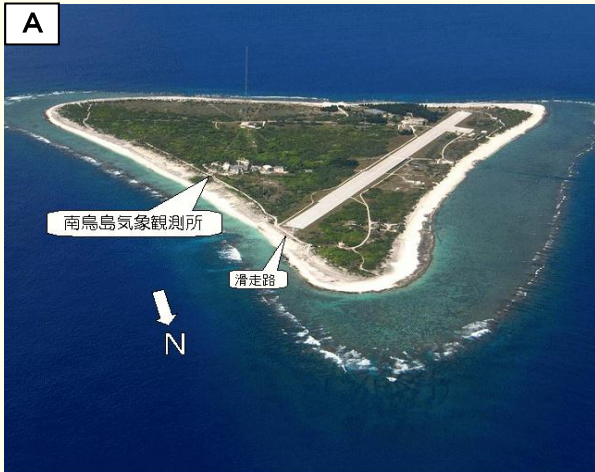


二重式カルデラ火山の中央火口丘

## 特集8-(2) 島に生きる人々

### 学びの窓

東京都の島はどのくらい遠くまであるのでしょうか？



(南鳥島気象観測所HPから)



白い円形のコンクリート製護岸のなかが沖ノ島(北小島) (国土交通省提供)

- ・ **A**は、日本の最東端に位置する珊瑚礁でできた三角形の小さな島で東京都に属する南鳥島です。一辺の長さはおよそ2km、標高は最高地点でも9mほどで、私たちがくらすことはできない「無人島」ですが、1,350mの滑走路があり、20数名の日本人が交代で滞在しています。
- 南鳥島に滞在する人々の役割は何か、考えてみましょう。
- ・ **B**は、日本の最南端に位置する東京都の沖ノ島島の様子です。日本は1988(昭和63)年に海面の小島を波の浸食から守るための護岸工事を実施しました。
- 沖ノ島島になぜBのような護岸工事をしたのか、考えてみましょう。

### 【伊豆諸島の歴史】

伊豆諸島は大島・利島・新島・式根島・神津島・三宅島・御蔵島・八丈島・青ヶ島とその他の無人島からなる。全体としては富士火山帯に属する火山島であり、大島や三宅島では近年も火山活動がくり返されている。縄文時代の遺跡もあり、神津島産の黒曜石は石器の材料として広く交易されていた。

江戸時代には幕府の直轄地(幕領)となり、江戸におかれた島方会所を通じて八丈島の絹織物(黄八丈)など島の産物が売られていた。また、流刑の地であり江戸時代以降、おもに新島・三宅島・八丈島への流罪が本格化し、5,000人を超える流人が流されたと記録されている。明治政府の成立以降、韮山県・足柄県・静岡県とその所属が変わり、1878(明治11)年東京府に移管された。



赤の点線は日本の排他的経済水域のうち伊豆諸島・小笠原諸島が関係する海域

### 【日本を支える小さな島々】

伊豆諸島・小笠原諸島は東京からは約 2,000 km を隔てた太平洋上に点在する。現在では交通手段や通信手段の整備もあって「**絶海の孤島**」とのイメージは少なくなっているが、実に広大な面積が広がっている。実際には日本の**領海** (12海里) の約 11.6%、**排他的経済水域** (200 海里) の約 38% という海域が伊豆諸島・小笠原諸島により確保されている。こうした海域は、日本有数の漁場であるだけでなく、海洋・気象観測はもとより、近年**レアアース**とよばれる諸資源やエネルギーの開発や利用の面からも注目されている。

なお、日本の領域のうち北方領土とともに、**竹島**と**尖閣諸島**は日本固有の領土であるが、現在竹島は韓国が不法占拠し、尖閣諸島は中国が国際法上有効な根拠なしに自国領土と主張している。

**南鳥島**は、1898 (明治31) 年に日本政府が命名したが、資源の枯渇や赤痢の発生などもあって1935 (昭和10) 年に無人島となった。しかし、翌年から戦略上の拠点として飛行場や軍事施設が建設された。敗戦後アメリカの支配下におかれたが、1968 (昭和43) 年日本に返還され、海上自衛隊が維持管理をおこなった。現在は海上自衛隊や気象庁の職員を合わせて20~30名が常駐している。

一方、**沖ノ鳥島**には2007 (平成19)年に**灯台**が建設された。この近海は南米やオーストラリアと日本を結ぶ航路となっており、年間1万隻の大型船が航行する。航路の安全を守る点で、この灯台は大きな役割を果たしている。



沖ノ鳥島の灯台  
(海上保安庁HPから)

### 【噴火とともにある島々】

1986 (昭和 61) 年の**大島**、2000 (平成 12) 年の**三宅島**の噴火では全島民が島外避難を余儀なくされた。

大島では**三原山**の噴火は「**御神火**」とよばれ、常に人々のくらしとともにあった。しかし、このときの噴火は約200年ぶりの大噴火で、**溶岩流**が民家に迫ったため、全地区の住民に島外避難の指示が出された。約1万人の住民は一夜にして島外避難を完了し、一人の被害者を出すこともなかった。

三宅島の**雄山**は記録に残るだけでも、平安時代以降15回の噴火を記録し、20世紀以降は約20年周期で4回噴火している。1983 (昭和 58) 年の噴火では約400棟の住宅が溶岩の下に埋没したが、奇跡的に人的被害がなかった。2000 (平成 12) 年の噴火では長期間にわたる大量の火山ガスの放出が続き、2004 (平成 16) 年2月に避難解除となったあとも一部の住民の帰島を阻む記録的な噴火となっている。4年5か月におよぶ避難生活では**都立三宅高等学校**などの生徒が旧**都立秋川高等学校**の校舎を使用して学校を再開し、公営住宅を使用しての早期の生活再建支援などの対策もとられた。

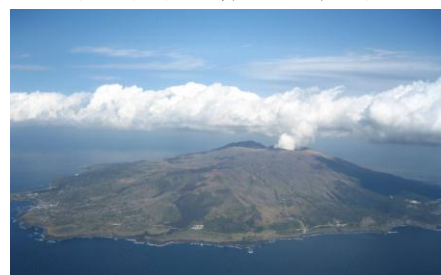
右：火山ガスの放出が続くなかで、山の緑の回復が進み始め、野鳥の姿も増えつつある (三宅島)。



刻々と報道された噴火の様子 (大島)



上：1か月におよぶ体育館での避難生活 (大島) (東京都生活文化局)



特集9 玉川上水今むかし たまがわじょうすい

学びの窓 玉川上水はなぜつくれ、どのように使われたのでしょうか？



歌川広重「江戸近郊八景之内 小金井橋夕照」(国立国会図書館蔵)

- ・ Aは、江戸時代の玉川上水のまわりに植えられた小金井桜を描いた錦絵です。
  - ・ Bは、玉川上水に流す水を確保するためにつくられた、現在の多摩川にある取水堰（羽村市）の様子です。
- 玉川上水の役割は、時代とともに変化していきましたが、どのように変化していったのか、考えてみましょう。

【玉川上水とは】

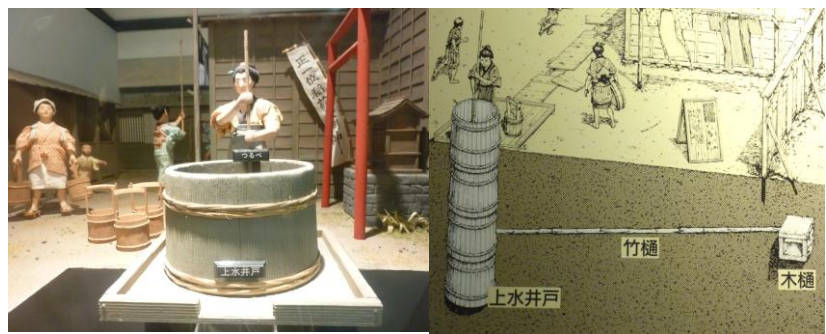
江戸は海に近いので浅い井戸や川の水が塩気を含んでいることもあり、江戸開幕以降、江戸の人口が増加すると、飲料水の確保が課題となった。そこで満潮時でも海水が入ってこないように江戸川橋（文京区関口）付近に堰をつくり、神田川から取水して神田上水をつくった。しかし、これでも飲料水の不足は解消されなかったため、1653（承応2）年、武蔵野台地に人工的な水路を掘り、多摩川の水を江戸に引く玉川上水が計画された。玉川上水は多摩川の水を取水する羽村から江戸の四谷大木戸（現新宿区四谷）までの約43kmにおよび、その高低差は約92mという緩やかな勾配で、わずか8か月の短期間で工事を完成させた。



玉川上水と神田上水の位置 玉川上水の長さは約43km。

玉川上水の水は、江戸市中に入ると網の目のようにはりめぐらされ、石や木などでつくられた地下の水道管（石樋・木樋など）によって給水された。

当時、世界有数の人口であった江戸の町で、ヨーロッパ



長屋の上水井戸 上水は木樋（木製の水道管）を通過して上水井戸へ給水され、つるべで水をくみ上げた。(東京都水道歴史館)



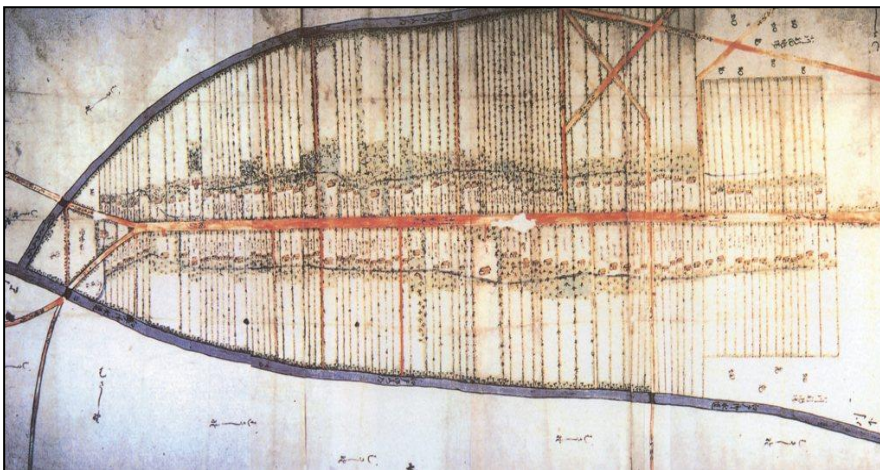
の町のように伝染病などが大流行しなかったのは、このように上水が整備されていたこともその理由の一つとしてあげられる。

### 【玉川上水と武蔵野の開拓】

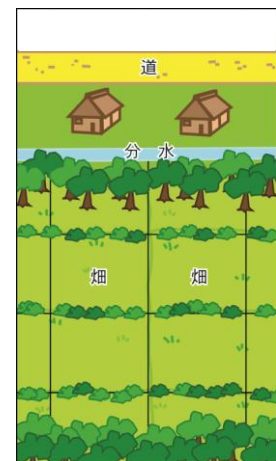
武蔵野台地は、台地の上を川が流れておらず、地下水の水位も低く井戸を掘るのも困難であったため水に恵まれていなかった。武蔵野台地の最も標高が高いところを流れている玉川上水の水を活用することで新田開発が本格的に開始された。さらに、玉川上水からの分水が認められると、新田開発はさかんにおこなわれるようになった。

1655（明暦元）年に開通した、東村山市、東久留米市、清瀬市を通る野火止用水をはじめ、その後、練馬区や板橋区を通る千川上水など、全部で33の分水がつけられた。

小平市や国分寺市には、開拓時につくられた短冊状の地割が、現在でも一部に残っている。しかしその開拓はきびしく入植者数が伸び悩んだため、幕府は1657（明暦3）年の明暦の大火のあと、当時中央線水道橋駅付近にあった吉祥寺を文京区本駒込へ、その門前にくらししていた人々を現在の中央線吉祥寺駅付近に移住させた。その関係で、現在の吉祥寺の地名が生まれた。また、水田は依然として少なかったため、小麦が多く栽培され、うどんをつくるが多かった。現在も多摩地区に名物として、武蔵野うどんを出す店が多いのもこれに由来している。



小川村絵図 1674(延宝2)年(小川家蔵)



短冊状の地割

### 【玉川上水の通船】

江戸時代に、大きくて重いものの多くは船で運ばれたが、玉川上水への通船は水が汚れるなどの理由から幕府が許可を出さなかった。1870（明治3）年、明治政府から玉川上水の通船が許可され、多摩地区からは炭や薪、野菜、生糸などが、東京からは米、塩、魚などが運ばれた。しかし船の数が増えるにつれて玉川上水の汚れが目立つようになり、1872（明治5）年、通船は政府によって禁止された。そこで玉川上水の横に新たな水路を掘ることや玉川上水の土手上に鉄道馬車（客車を馬が引っ張る鉄道）の敷設が計画されたが、実現には至らなかった。そのため大量輸送できる交通の利便性に気づいた多摩地区の人々は、現在の中央線である甲武鉄道の開通をめざして努力していった。



玉川上水の通船（小平市立中央図書館）  
四谷から羽村方面へは流れに逆らって綱を引いて進む。



淀橋浄水場 新宿駅西口には都民に水を供給する広大な浄水場があった。1962（昭和37）年  
（東京都生活文化局）



【玉川上水と淀橋浄水場】 よどばしじょうすいじょう

1886（明治19）年、東京でコレラが大流行し多数の死者が出た。コレラ菌は不衛生な水や食料を通じて感染することから、浄水場で原水を沈でんろ過し、鉄管を通じて加圧給水する近代水道の建設が急務となった。そこで、新宿に淀橋浄水場（1898（明治31）年完成）を建設するとともに、玉川上水の代田橋付近から淀橋浄水場までを結ぶ新水路を建設した。

日中戦争のころになると 1937（昭和12）年に軍事上の機密を保護する目的で、軍事基地はもとより、製鉄所や造船所といった工場や発電所やダムなどの重要施設は地図上から消されたり、ほかの施設に偽装されたりした。東京の「生命線」である飲み水を供給する淀橋浄水場も池が点在する公園に偽装された。また東京への空襲が激しくなると、浄水場の水の上に実際に板やよしずを浮かべて偽装し、東京の水を守ろうとした。



1942（昭和17）年戦時改描された淀橋浄水場付近  
淀橋浄水場を公園に偽装している。  
（『最新大東京明細地図』日本統制地図から）



淀橋浄水場跡の碑  
（新宿区西新宿）

右：東京都水道歴史館（文京区本郷）  
江戸の神田上水・玉川上水から近代水道に至るまでの歴史が展示されている。



### 【淀橋浄水場跡地と現在の水道】

1960（昭和35）年、東京都は都心部に集中していた都市機能の分散をめざすため、**新宿副都心**計画を決定した。1965（昭和40）年淀橋浄水場は**東村山浄水場**にその役割を移し閉鎖された。その跡地は、1971（昭和46）年京王プラザホテルを皮切りに新宿副都心として開発され、1991（平成3）年には**東京都庁**が有楽町から移転した。その後もホテルやオフィスビルなどの建設が進み、高層ビル群を形成した。

現在の東京の水道は、2009（平成21）年度のデータによると、水道管の長さは2万8,385kmにおよび、1日平均配水量が441万 $m^3$ と日本最大規模である。しかしその水源は利根川・荒川水系が78%、多摩川水系19%、その他3%となっており、多くの水源を他県に依存している。

東京都水道局は、より安全でおいしい水を都民に供給するために、利根川水系からの取水量の全量を「高度浄水処理」できるように施設の導入を進めている。



開発された新宿副都心 2010（平成22）年  
（東京都生活文化局）



東村山浄水場（東村山市）  
（東京都水道局）

### 【現在の玉川上水】

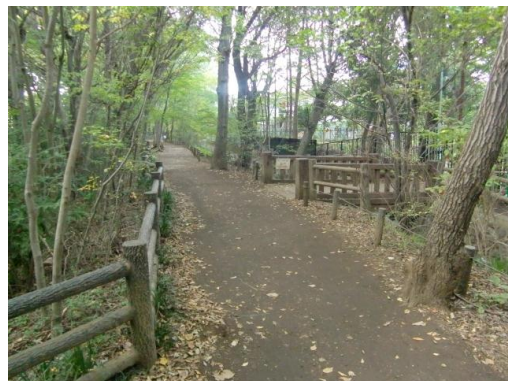
1971（昭和46）年、玉川上水の水はすべて西武線玉川上水駅付近の小平監視所から地下トンネルで東村山浄水場に運ばれるようになった。そのため、ここより下流には水が流れず空堀となったので、玉川上水はごみが捨てられたり、堀が崩れたりして荒廃してしまっただ。そこで、玉川上水を**文化遺産**として大切に守り、清流を復活させるため、1986（昭和61）年東京都は小平監視所から下流に東京都下水道局多摩川上流水再生センター（昭島市宮沢町）で処理された再生水をポンプで送水し、清流を復活させた。また野火止用水は1984（昭和59）年、千川上水は1988（昭和63）年に清流復活事業により流れが復活している。

そして現在、玉川上水を良好に保存するとともに、都民に親しまれる「水と緑の空間」を形成するために、水路に覆いかぶさるように生えている木の剪定や伐採などをおこなったり、玉川上水沿いに遊歩道を整備したりするなどしている。



上水小橋付近

近くには清流復活の碑（小平市）がある。



都立小平西高等学校沿いの整備された遊歩道  
左：玉川上水、右：分水の新堀用水

特集 10 洪水を防ぐ荒川放水路

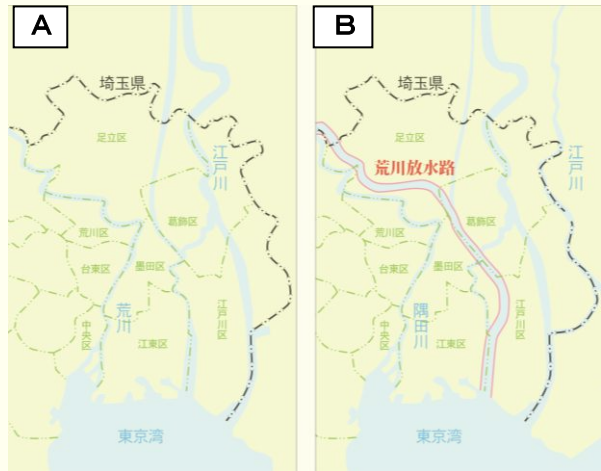
学びの窓 東京を水害から守るために

どのような対策がなされたのでしょうか？

- ・ A の 1908 (明治 41) 年ごろの荒川の流れと B の 1931 (昭和 6) 年ごろの荒川放水路 (荒川) の流れを赤鉛筆でなぞってみましょう。

● A の荒川の流れは、B ではどのような河川名になっているのでしょうか？

● 荒川放水路はいつごろ、どのような理由でできたのか、考えてみましょう。



【荒川放水路ができる以前】

荒川は昔から氾濫をくり返し、「荒ぶる川」というところからその名がつけられた。荒川沿いの低地では、もし洪水になっても家屋が水につからないように、地面に土を高く盛って (水塚) その上に蔵や家を建て、その軒先には舟を吊るすことが多かった。

1910 (明治 43) 年の大水害では、東京の下町の大部分が浸水し、死者 369 名、被害を受けた家屋が約 27 万戸におよぶ大きな被害となった。当時の荒川 (隅田川) 沿いには近代日本を支える多くの工場や住宅が集中していたため、日本の経済活動にも大きな打撃を与えた。

そこで政府はこの大洪水をきっかけに下町を洪水から守る抜本的な対策を検討し、曲流部が多く、川の水をすばやく海に排水することができない荒川の下流部に、新たに排水用のバイパスである荒川放水路 (荒川下流部) をつくり、上流から流れてきた大量の水をいち早く東京湾に流す計画がたてられた。



水塚 (北区浮間、北区飛鳥山博物館蔵)

【荒川放水路の建設】

1913 (大正 2) 年に荒川放水路の建設が始まった。荒川放水路の計画地にくらし、転居を余儀なくされた人々からは建設反対の陳情もなされたが、放水路の完成により洪水がなくなり水運も活発になることを理解



1985 (昭和 60) 年当時の荒川放水路 (東京都生活文化局)

し、移転していった。荒川放水路の用地には東武鉄道の線路もかかっており、北千住付近の線路は荒川放水路にかからないように付け替えられた。1930（昭和5）年、荒川放水路は20年もの歳月と3,144万円（現在の価値で約2,300億円）の資金、のべ310万人の労働力によって完成した。長さ約22km、幅約500m、掘削した土砂の量は約1,980万<sup>3</sup>m（東京ドーム約17.5杯分）という巨大なもので、当時はブルドーザーやダンプカーがなかったため、土砂は蒸気（どしゃ）の力で動く機具で掘られ、蒸気機関車が引っ張るトロッコで運ばれた。また通水したあとは、川底の土砂を掘り下げる浚渫船によりさらに深くした。

現在、荒川放水路をはじめとするさまざまな治水（ちすい）工事により、隅田川や荒川の下流部が氾濫することはなく、下町に洪水の被害がおよぶこともなくなった。

### 【荒川放水路と青山士】

荒川放水路の工事の責任者は青山士という技師であった。青山は東京府尋常中学校（現都立日比谷高等学校）、東京帝国大学（現東京大学）を卒業したあと、1903（明治36）年日本人としてただ一人パナマ運河の工事に参加した。1912（明治45）年、パナマ運河が8割ほど完成したときに帰国し、荒川放水路の工事に携わった。

青山は、このなかで最も難しいとされた荒川と荒川放水路を分ける岩淵水門を大量の資材を使って堅牢な水門として設計したため、1923（大正12）年工事中に起きた関東大震災時でも水門はびくともしなかった。

青山は内村鑑三の影響を強く受け、「私利私欲のためではなく、後世の人の為になるような仕事をしなければならぬ」という考えを生涯貫いた。そのため現在でも北区の岩淵水門の近くにある荒川放水路の記念碑には、最大の功労者である青山の名は記されておらず、「此ノ工事ノ完成ニ

アタリ多大ナル犠牲ト  
 労役トヲ払ヒタル我等ノ  
 仲間ヲ記録センカ為ニ」とだけ記されている。



青山が設計した旧岩淵水門（北区志茂）

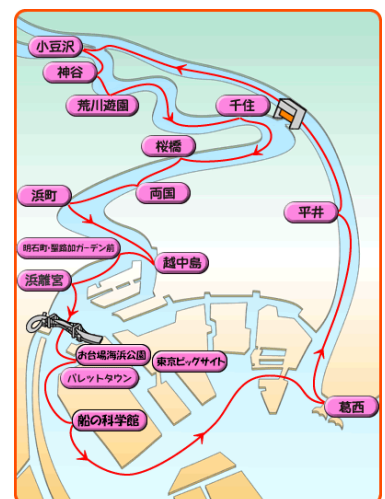


荒川放水路完成の記念碑（北区志茂）

### 【東京水辺ライン】

東京水辺ラインは、観光や水上交通の役割とともに、災害時には救援物資の輸送や被災者の救出などの役割をになっている。この水上バスの運行コースは両国を基点にして、浅草の桜橋やお台場、葛西臨海公園などの観光地を結んでいる。不定期だが「いちにちゆらり旅」コースでは、荒川放水路を航行する。両国を出発して葛西臨海公園から荒川放水路河口に入り、荒川放水路を北上して、岩淵水門から隅田川に入り両国に戻るコースで、東京の船旅を満喫することができる。

右：「いちにちゆらり旅」コース



【都市水害とたたかう東京】

東京都の中小河川の周辺地域は、高度経済成長期の急激な都市化により、洪水の被害を多く受けるようになった。その原因は、道路が舗装されたり、ビルが建築されたりして雨水が地下に浸透せず、川に流れこむことにある。東京都は中小河川の洪水対策として川底を掘って深くしたり、洪水発生時に一時的に水をためる調節池を建設したりするなどの対策をおこなってきた。しかし集中豪雨や台風などでは洪水の発生を完全に防ぐことができず、とくに神田川やその支流の善福寺川、妙正寺川では洪水がたびたび発生した。このため、東京都は増水した河川水を一時的に貯める調節池を環状七号線の地下にもうけるなどの対策を実施してきた。

しかし災害を減らすことはできても、完全に防ぐことはできない。そこで昔の地形図などを用いて地形や昔の土地利用を確認したり、自治体が公開しているハザードマップ（自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの）を活用することが大切である。



2005（平成 17）年の集中豪雨による堤防の破損（中野区）



西東京市 向台運動場市民公園グラウンド（西東京市向台町）石神井川沿いにより、増水時には調節池となる。

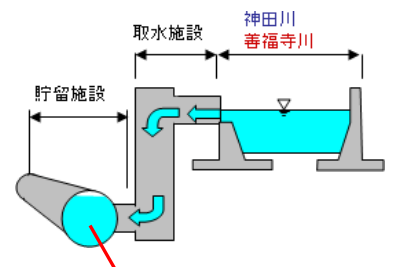
【神田川・環状七号線地下調節池】

東京都は頻発する集中豪雨や台風による水害を防ぐため 2008（平成 20）年、環状七号線の地下に貯水量 54 万 m<sup>3</sup> の巨大な神田川・環状七号線地下調節池を完成させた。

河川が増水すると、取水口のゲートが開いて増水した河川水が地下にある巨大な調節池へと流れこむ仕組みになっており、神田川水系の神田川、善福寺川、妙正寺川のどの河川で水位が上昇しても対応できるようになっている。



（東京都建設局）



### 【江戸の放水路「神田川」】

水は低いところへ流れるが、水道橋から東に向かう神田川は丘のなかを進んで流れている。江戸時代初期までの神田川は現在の日本橋川の流路(右図中点線部)を流れており、現在の神田川(右図中太線部)は1620(元和6)年に人工的に開削された堀で、水道橋から御茶ノ水を抜けて、浅草橋付近で隅田川に流れ出るようにつけかえられたものである。

その目的は、日本橋川下流部の江戸の町人地を洪水から守ること、この堀を江戸城の外堀として使用して江戸城の防衛力を高めることであった。この堀は、工事を仙台藩が請け負ったことから「仙台堀」ともよばれた。この工事で神田山から掘りだされた土は、日比谷入江(現日比谷公園付近)の埋め立て(P8参照)に利用され、江戸の町を南西部に広げることとなった。

この仙台堀(神田川)は現在も放水路の役割をになっており、千代田区の日本橋川沿いの洪水を防いでいる。



仙台堀とよばれていた神田川 水道橋駅東口付近より御茶ノ水駅方面を望む、左は都立工芸高等学校

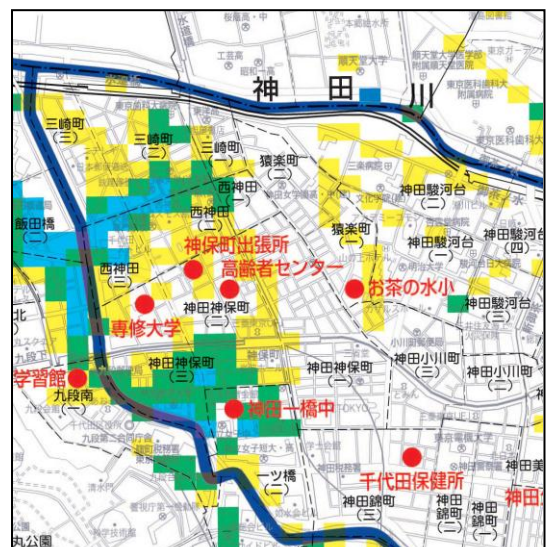
### 【洪水への対応～現代のハザードマップ】

近年集中豪雨は激しさを増しており、短時間で大量の降雨があることも珍しくない。右下の地図は千代田区のハザードマップ「千代田区洪水避難地図(洪水ハザードマップ)」の一部である。この地図は日本橋川の浸水予想と避難所を示している。

この地図を見ると、川から離れた場所でも浸水の被害が予想されることを示している。実際に激しい集中豪雨になると、短時間で河川の水位は上昇し、洪水が押し寄せてくることとなる。

水害時の避難勧告が出た場合に備え、日ごろから避難所の位置を確認しておくとともに、ハザードマップをよく読んで避難経路の確認もしておくことが重要である。

2011(平成23)年3月11日に発生した東日本大震災は、日本観測史上最大のマグニチュード9.0であり、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸に大津波をもたらした。東京の下町にはゼロメートル地帯が広がっており(P147参照)、今後はこれを教訓にして、河川だけではなく海に対する備えも準備しておく必要がある。



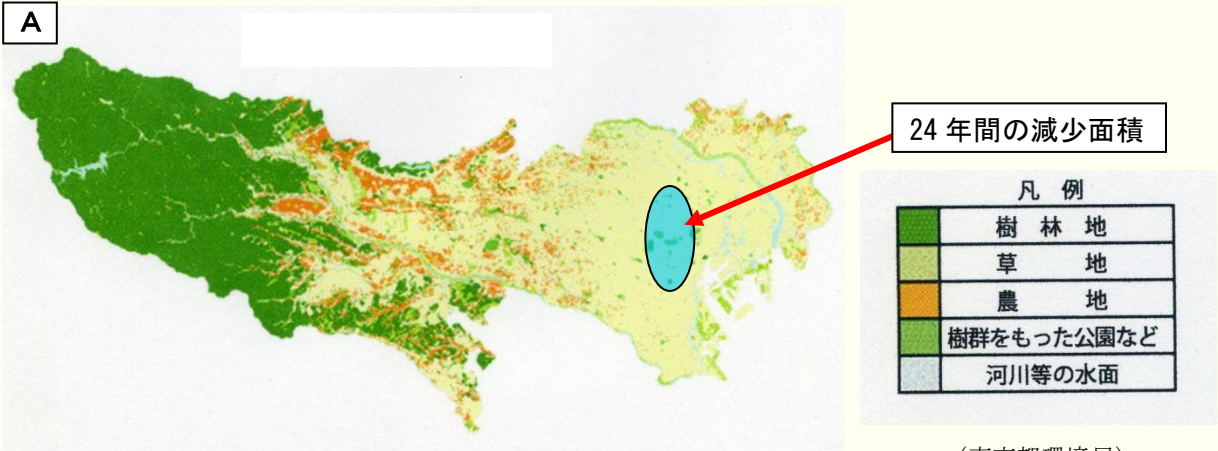
(千代田区提供)

凡例	
■ (Yellow)	浸水深0.2m以上～0.5m未満
■ (Green)	浸水深0.5m以上～1.0m未満
■ (Light Blue)	浸水深1.0m以上～2.0m未満
■ (Dark Blue)	浸水深2.0m以上～5.0m未満
● (Red)	避難所

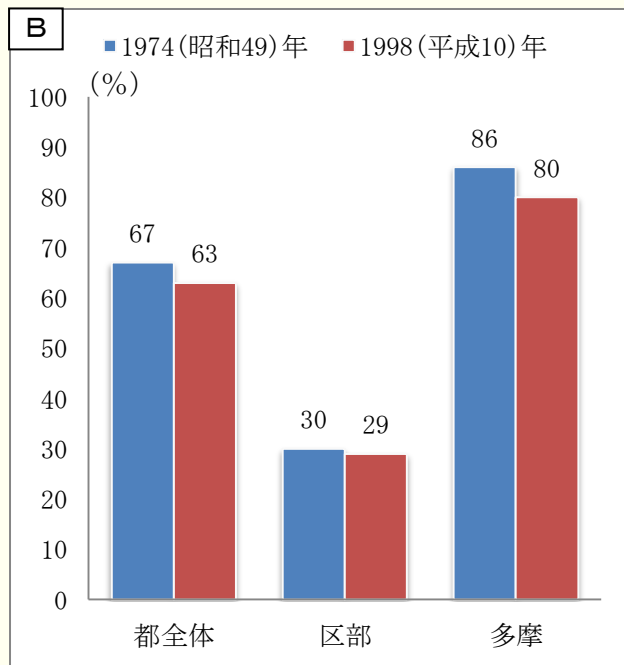
この地図では2000(平成12)年9月11日から12日にかけてあった東海豪雨(総雨量589mm、時間最大雨量114mm、東京の年平均降水量約1,466.7mmの3分の1に相当する)を想定している。

## おわりに 50年後の東京に向けて

### 学びの窓 東京の今について緑を視点に考えてみましょう。



(東京都環境局)



- ・ **A**は、1974(昭和49)年の東京の緑の状況(島しょを除く)です。
- ・ **B**は、1974年と1998(平成10)年のみどり率の比較です。24年間に都全体で約67%から約63%に減少しています。これは山手線の内側を超える面積に相当し、5年後の2003(平成15)年にはさらに約1%減少しました。
- ・ 東京都は、2006(平成18)年から「緑の東京10年プロジェクト」を開始しました。
- **東京都はなぜ、このプロジェクトを開始し、どのようにして緑を増やそうとしているのか、考えてみましょう。**

※みどり率とは、ある地域における、樹林地、草地、農地、宅地内の緑、公園、街路樹や河川、水路、湖沼などの面積がその地域全体に占める割合。

### 【失われた緑】

東京には、かつて江戸時代に培われた緑や水辺空間などのオープンエリアが豊かに広がり、飛鳥山(現北区)や御殿山(現品川区)ではお花見、隅田川では舟遊びをするなど、緑のある美しい風景を楽しむ生活をしてきた。

しかし、都市化の進行にともない、美しい緑と豊富な水は失われていった。とくに、1960年代の高度経済成長期には著しい人口集中によって、農地や樹林地が減り、住



品川御殿山でお花見をする様子  
「江戸名所之内御殿山之花盛」(神奈川県立歴史博物館蔵)



宅や団地、工場、ショッピングセンター、オフィスなどが増えた。東京都の人口は、バブル経済期を過ぎて一時減ったが、再び増加に転じ、市街地の緑は希少となってきた。

### 【緑の回復へ】

森林には、木材を供給するだけでなく、水を貯え災害などから暮らしを守る、レクリエーションや安らぎを与える、生物に生息の場を提供するなどの働きがあり、さらに森林は二酸化炭素を吸収・貯蔵する役割がある。都市における緑は、都民に潤いや安らぎを与えるだけでなく、都市防災やヒートアイランド対策などの都市環境の改善、美しい都市景観の創出など、その役割がますます重要になっている。

そこで、東京都では、2006（平成18）年から「緑の東京10年プロジェクト」を実施している。このプロジェクトは、東京湾の中央防波堤内側処分に「海の森」を整備し、既存緑地を幹線道路の街路樹で結び、海からの風を都心によび込むとともに、屋上の緑化や公立学校の校庭の芝生化、都市公園を整備するなどして、新たに1,000haの緑を生み出すもので、同時に農地・森林の保全の取組も



展開している。このプロジェクトは、「東京に緑を取り戻す主人公は、都民一人ひとり」を宣伝文句としており、「緑の東京募金」や「緑のボランティア活動」など都民や事業者、NPO法人などによる社会参画をともなっている点に大きな特色がある。

### 【社会で活躍する都立高校生】

2000（平成12）年の大噴火で失われた三宅島の森を再生するため、2004（平成16）年都立園芸高等学校のよびかけで三宅島緑化プロジェクトが開始された。毎年2回、三宅島において、都立三宅高等学校、三宅村、NPO法人などが連携し、都内の農業高校の生徒や大学生など約100人が参加して、都立高校などで



育てた苗木などの植樹、下草刈り、タマネギの植え付けや島民との交流をおこなっている（『とうきょうの教育 第87号』から）。

# 卷末資料



昭和初期の銀座 (「銀座通り・大東京」東京都立中央図書館蔵)

## 地図記号 凡例

◎ 区役所	♠ 官公庁	文 学校 (小・中・高・大)	⊕ 病院
⊕ 美術館	博 博物館	保 保健所	図 図書館
〒 郵便局	⊗ 警察署	× 交番	丫 消防署

# 銀座から新橋へ



①ガス灯通り



②江戸歌舞伎発祥の地碑



③銀座ガス灯



④銀座中央通り



⑬旧新橋停車場跡



⑤銀座発祥の地碑



⑫新橋駅前の蒸気機関車



⑥銀座4丁目



⑪歌舞伎座  
(現在改修中)



⑩地下鉄銀座駅にある早川徳次胸像



⑨数寄屋橋跡



⑦昭和通り



⑧南町奉行所跡

# 芝から三田へ



①愛宕神社



②NHK放送博物館



③汐留地区



④増上寺



⑤浜離宮 恩賜庭園



⑥東京タワー



⑦竹芝棧橋



⑧芝丸山古墳



⑨東京モノレール



⑩ガス「創業記念碑」



⑪慶応義塾図書館



⑫西郷隆盛・勝海舟 会見之地碑

# 浅草を歩く



①大正時代の浅草六区



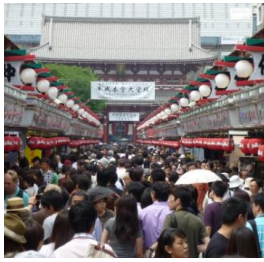
②浅草寺本堂



③浅草神社



⑤江戸三座跡碑  
(市村座跡)



④仲見世



⑦待乳山 聖天



⑥雷門



⑧地下鉄浅草駅入口



⑩花川戸公園



⑪駒形堂



⑨吾妻橋



雷おこしと人形焼



⑫東京スカイツリー

# 上野の山を散歩する



①東京芸術大学



②奏楽堂



③東京国立博物館



④恩賜上野動物園



⑥東照宮



⑧上野大仏



⑨彰義隊の墓



⑩西郷隆盛像



⑪『あゝ上野駅』歌碑



⑤黒田記念館



⑦寛永寺五重塔



⑫地下鉄上野駅にある大正時代のポスター



# 本郷から神田へ



① 東京砲兵工廠跡



② 小石川後楽園



③ 東京ドーム



④ 飯田町駅跡



⑤ 東京大学



⑥ 東京都水道歴史館



⑦ 湯島天神 (湯島天神提供)



⑧ 神田川



⑨ 神田明神 (神田神社提供)



⑩ 湯島聖堂



⑪ ニコライ堂



⑫ 聖橋



⑬ 秋葉原

# 日本橋周辺を歩く



①中央区立常盤小学校



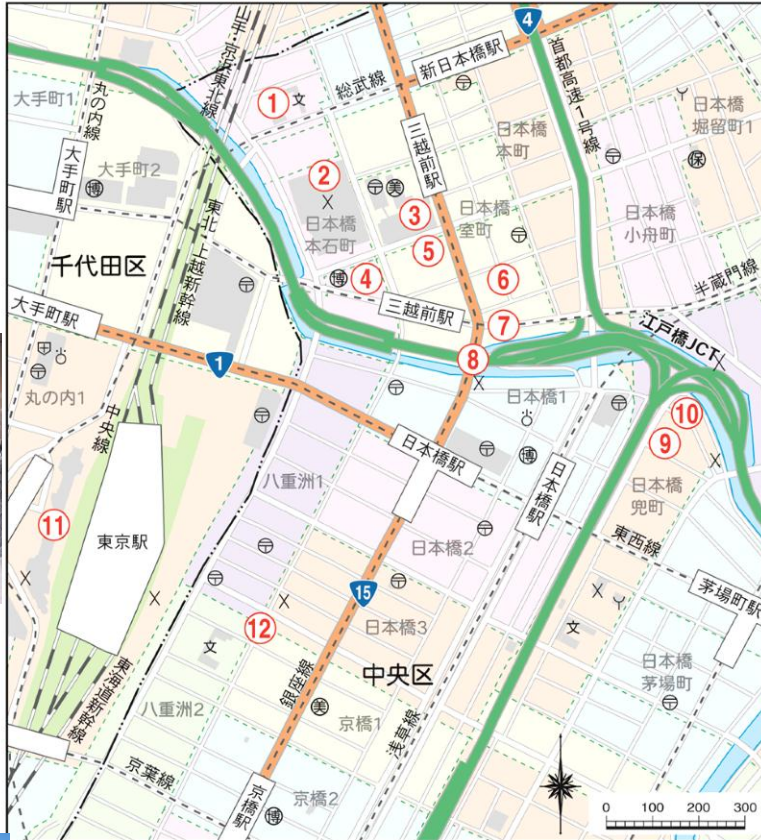
②日本銀行本店



③三井本館



④日本銀行貨幣博物館



⑤三越デパート



⑥三浦按針屋敷跡



⑦日本橋魚市場跡碑



⑧日本橋



⑨第一国立銀行のプレート



⑩東京証券取引所



⑪大正時代の東京駅



⑫ヤン・ヨーステンのレリーフ



# 大手町・日比谷を歩く



①坂下門



②皇居 東御苑天守台



③大手門



④二重橋



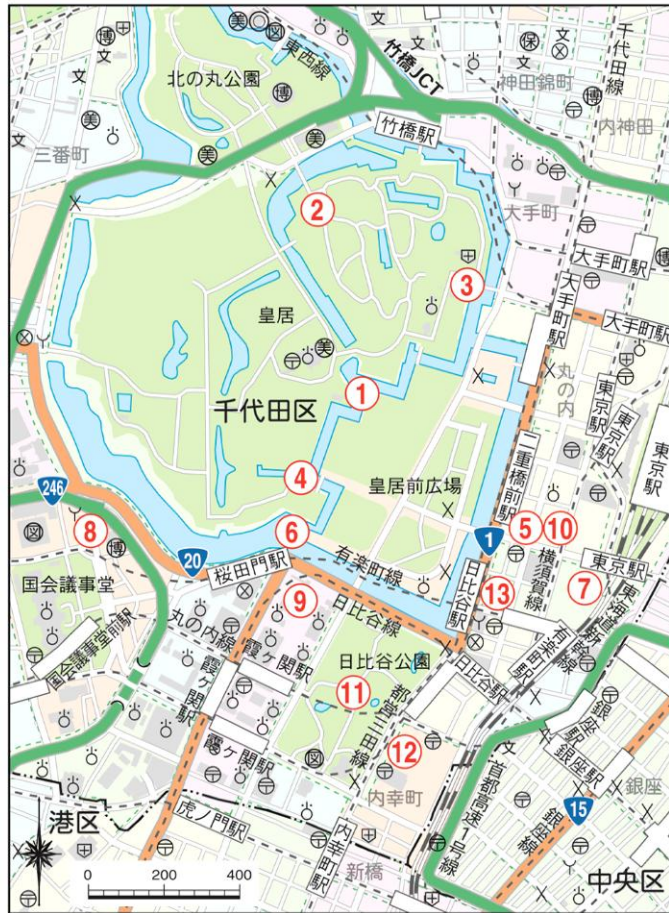
⑥桜田門



⑧憲政記念館



⑨法務省 旧本館



⑪日比谷公園



⑫鹿鳴館跡



⑤明治生命館



⑦東京府庁跡碑



⑩三菱一号館



⑬第一生命ビル (現DNタワー21)

# 本所・深川を歩く



①江東区芭蕉記念館



⑤清澄庭園



⑨平賀源内電気実験の地碑



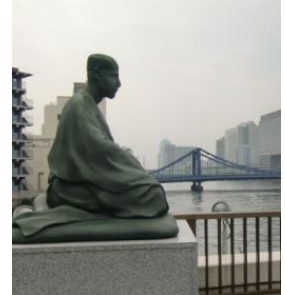
⑪深川不動尊



②清澄の耐火商店街



③深川江戸資料館



④芭蕉庵史跡展望庭園



⑥芭蕉稲荷



⑦採茶庵



⑧清洲橋

⑩セメント工業  
発祥の地



⑫富岡八幡宮



⑬八幡橋

# 両国界隈を歩く



① 東京水辺ライン発着所



② 旧安田庭園



③ 復興記念館



④ 国技館



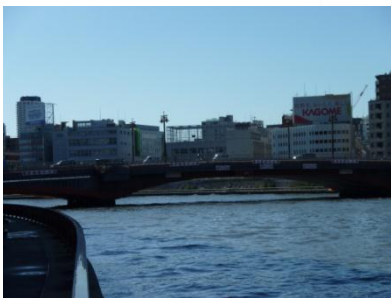
⑤ 東京都慰霊堂



⑥ 両国回向院



⑦ 江戸東京博物館



⑧ 両国橋



両国の花火



⑨ 吉良邸跡



⑩ 野見宿禰神社 歴代横綱の碑



ちゃんこ料理



両国国技館前の様子

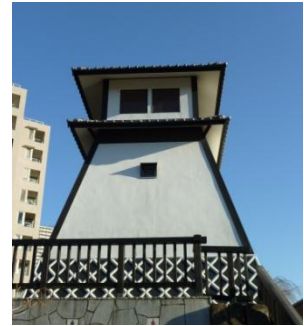
# 築地から佃島へ



つきじ しょうげきじょうあと  
①築地小劇場跡



つきじ ほんかんじ  
②築地本願寺



いしかわじまとうだい  
③石川島灯台



あさの たくみのなみていあと  
④浅野内匠頭邸跡



つくだに や  
⑤佃煮屋



はっしょう ちひ  
⑥慶応義塾発祥の地碑



つくだこばし  
⑦佃小橋



こうしかん  
⑧アメリカ公使館跡



かちどきばし  
⑫勝鬨橋



⑩月島もんじゃストリート



つきじ しじょう  
⑪築地市場



でんしんそうぎょう  
⑨電信創業之地碑

# 赤坂周辺を巡る



①国立競技場 (@NASSH 提供)



せいとくき ねんかい が かん  
②聖徳記念絵画館



③憲法記念館 (現明治記念館) の碑



ご かんべい え の き  
④御親兵榎



げいひんかん  
⑤迎賓館



じんぐうがい え ん  
⑥神宮外苑いちよう並木



くいちが い み つけあと  
⑦喰違見附跡



あおやま ぼ ち  
⑧青山墓地



たかしこれきよお う  
⑨高橋是清翁記念公園



おおく ぼ こうあいとう ひ  
⑩大久保公哀悼碑



とよかわい なり おおおかたすけ  
⑪豊川稲荷 (大岡忠相墓)



ひびや  
⑫都立日比谷高等学校



ひえ  
⑬日枝神社

# 島々を渡って



大島：間瀬定八の墓

定八は大島に流された赤穂浪士の遺子4人のうちの1人で、間瀬久太夫の二男。



大島：波浮の港

江戸中期に秋廣平六らによって整備され、多くの文人が足跡を残す。



神津島：濤響寺

島民のほとんどが檀家である神津島で唯一の寺院。



新島：天宥法印の墓

上野の寛永寺を開山した天海僧正の弟子である天宥は配流後新島の教育に貢献した。



御蔵島：多賀朝湖「板絵着色神馬図額」

江戸時代の絵師英一蝶による絵馬として伝わる。



三宅島：島役所跡

江戸時代後半の建造と伝わる、伊豆諸島で最古の木造建築。



三宅島：竹内式部の墓

式部は江戸時代の尊王思想家で、宝暦事件で捕えられた。



八丈島：人間魚雷「回天」の収容壕跡



八丈島：近藤富蔵の墓

富蔵は、江戸の探検家近藤重蔵の子。『八丈実記』69巻を著す。



小笠原諸島父島：小笠原開拓碑

開拓の進んだ1890（明治23）年に建立（小笠原村提供）

# 島の年中行事



大島：岡田八幡神社の木槍天古舞



利島：八幡神社の流鍋馬



神津島：物忌奈命神社での  
かつお釣り神事



御蔵島：稲根神社例大祭の神輿



三宅島：神着太鼓



八丈島：八丈太鼓  
(八丈島檜立踊り保存会提供)



新島：十三社神社の獅子木槍



新島：大踊り

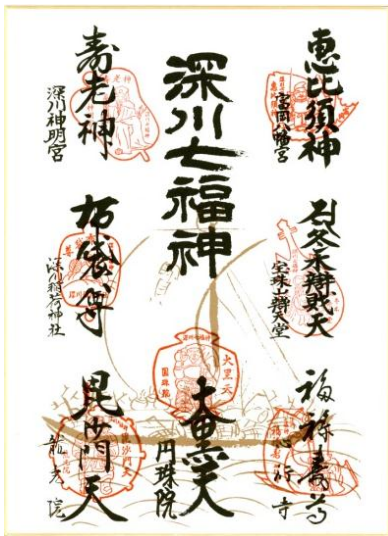


八丈島：檜立踊り  
(八丈島檜立踊り保存会提供)



小笠原諸島父島：大神山神社例大祭の神輿  
(小笠原村提供)

# 江戸の年中行事



ふかがわしちふくじんめぐ  
1月：深川七福神巡り



かめいどてんじんしゃ しんじ  
1月：亀戸天神社のうそかえ神事  
(江東区提供)



おうじいなり はつま  
2月：王子稻荷神社の初午  
(北区飛鳥山博物館提供)



たあそ  
2月：板橋の田遊び  
(板橋区提供)



ごこくじ  
4月：護国寺の花まつり  
(護国寺提供)



かんだみょうじん  
5月：神田明神の神田祭  
(神田神社提供)



5月：浅草神社の三社祭  
(台東区提供)



ひえ さんのうまつり  
6月：日枝神社の山王祭  
(日枝神社提供)



おのてるさき  
6月：小野照崎神社の富士祭  
(台東区提供)



# 江戸の年中行事2



すみだがわ  
7月：隅田川の花火（隅田川花火  
大会実行委員会事務局提供）



いりやきしもじん  
7月：入谷鬼子母神の朝顔市  
（台東区提供）



せんそうじ  
7月：浅草寺のほおずき市  
（台東区提供）



じょうしんじ くほんぶつ  
8月：浄真寺（九品仏）のおめんかぶり（浄真寺提供）



かさい かさいはやし  
9月：葛西神社の葛西囃子（葛西神社提供）



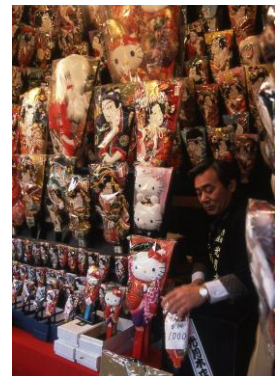
おおとり とり  
11月：鷲神社の酉の市（鷲神社提供）



きば かくの  
10月：木場の角乗り  
（江東区提供）



あなはちまんぐろ やぶさめ  
11月：穴八幡宮における流鏝馬  
（新宿区新宿歴史博物館提供）



はごいたいち  
12月：浅草寺の羽子板市  
（台東区提供）

# 多摩の年中行事



たかはた ふ とうぞん せつぶん え  
2月：高幡不動尊の節分会（日野）



たか お さん  
3月：高尾山の火渡り（八王子）  
（八王子市提供）



じんたい じ  
3月：深大寺のだるま市（調布）



はちおう じくまにんぎょう  
八王子車人形（八王子）  
（八王子市提供）



おう め すみよしじんじゃ  
5月：青梅住吉神社の青梅大祭（青梅）



おおくにたまじんじゃ  
5月：大國魂神社のくらやみ祭  
（府中市提供）



みょうけんぞん  
8月：妙見尊の蛇より行事（稲城）  
（稲城市教育委員会提供）



あきかわ か ぶ き  
秋川歌舞伎（あきる野）  
（あきる野市教育委員会提供）



むさし み たげじんじゃ だいだいかぐら  
武蔵御嶽神社の太々神楽（青梅）



かす が じんじゃ ほうおう  
9月：春日神社の鳳凰の舞（日の出）  
（日の出町教育委員会提供）



9月：中里火の花祭り（清瀬）  
（清瀬市提供）



ひ よしじんじゃ さかきまつり  
9月：日吉神社の榊祭（昭島）  
（昭島市教育委員会提供）

## 博物館・図書館紹介 ～掲載されているおもな施設を紹介します～

### ○東京都江戸東京博物館

失われつつある江戸東京の歴史遺産を守るとともに、東京の歴史と文化をふりかえることによって、未来の東京を考える博物館として、1993（平成5）年3月28日に開館した。このテキストの主要な図版を所蔵している。

- ・住所 〒130-0015 墨田区横網1-4-1 電話 03-3626-9974(代表)
- ・交通 JR総武線 両国駅西口下車 徒歩3分  
都営地下鉄大江戸線 両国駅（江戸東京博物館前）A4出口 徒歩1分
- ・開館時間 午前9時30分～午後5時30分（土曜日のみ午後7時30分まで）  
休館日は原則月曜日（詳細は博物館に問い合わせてください。)



### ○東京都立中央図書館

都立日比谷図書館の蔵書を一部引き継ぎ、1973（昭和48）年に開館。約35万冊の開架図書、900席の静かな閲覧席を備えている。浮世絵・江戸城建築図面といった貴重資料をはじめ、近代以降に刊行された約170万冊もの貴重かつ豊富な資料があり、このテキストの主要な図版を所蔵している。

- ・住所 〒106-8575 港区南麻布5-7-13 03-3442-8451（代表）
- ・交通 東京メトロ日比谷線 広尾駅1番出口 徒歩8分
- ・開館時間 月～金曜日 午前10時～午後9時、土・日・休日 午前10時～午後5時30分



### ○東京都立多摩図書館

東京都多摩教育センター内に1987（昭和62）年、開館し、約60万冊の図書とともに、16,000冊の雑誌が利用できる「東京マガジンバンク」と「児童・青少年資料サービス」を中心とした情報サービスを提供している。また、閲覧室を「雑誌、創刊号、児童、青少年、展示、新聞」の各専門エリアに分け、特色あるサービスを行っている。

- ・住所 〒190-8543 立川市錦町6-3-1 042-524-7186（代表）
- ・交通 JR南武線西国立駅下車徒歩10分
- ・開館時間 月～金曜日 午前9時30分～午後7時、土・日・休日 午前9時30分～午後5時



### ○江戸東京たてもの園

- ・住所 〒184-0005 小金井市桜町3-7-1（都立小金井公園内） 042-388-3300（代表）

### ○東京都水道歴史館

- ・住所 〒113-0033 文京区本郷2-7-1 03-5802-9040（代表）

### ○東京国立博物館

- ・住所 〒110-8712 台東区上野公園13-9 03-3822-1111(代表)

### ○憲政記念館

- ・住所 〒100-0014 千代田区永田町1-1-1 03-3581-1651(代表)

### ○新宿区立新宿歴史博物館

- ・住所 〒160-0008 新宿区三栄町22 03-3359-2131（代表）

### ○中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）

- ・住所 〒104-0044 中央区明石町12-1 中央区保健所等複合施設6階 03-3546-5537(代表)

### ○品川区立品川歴史館

- ・住所 〒140-0014 品川区大井6-11-1 03-3777-4060(代表)

### ○深川江戸資料館

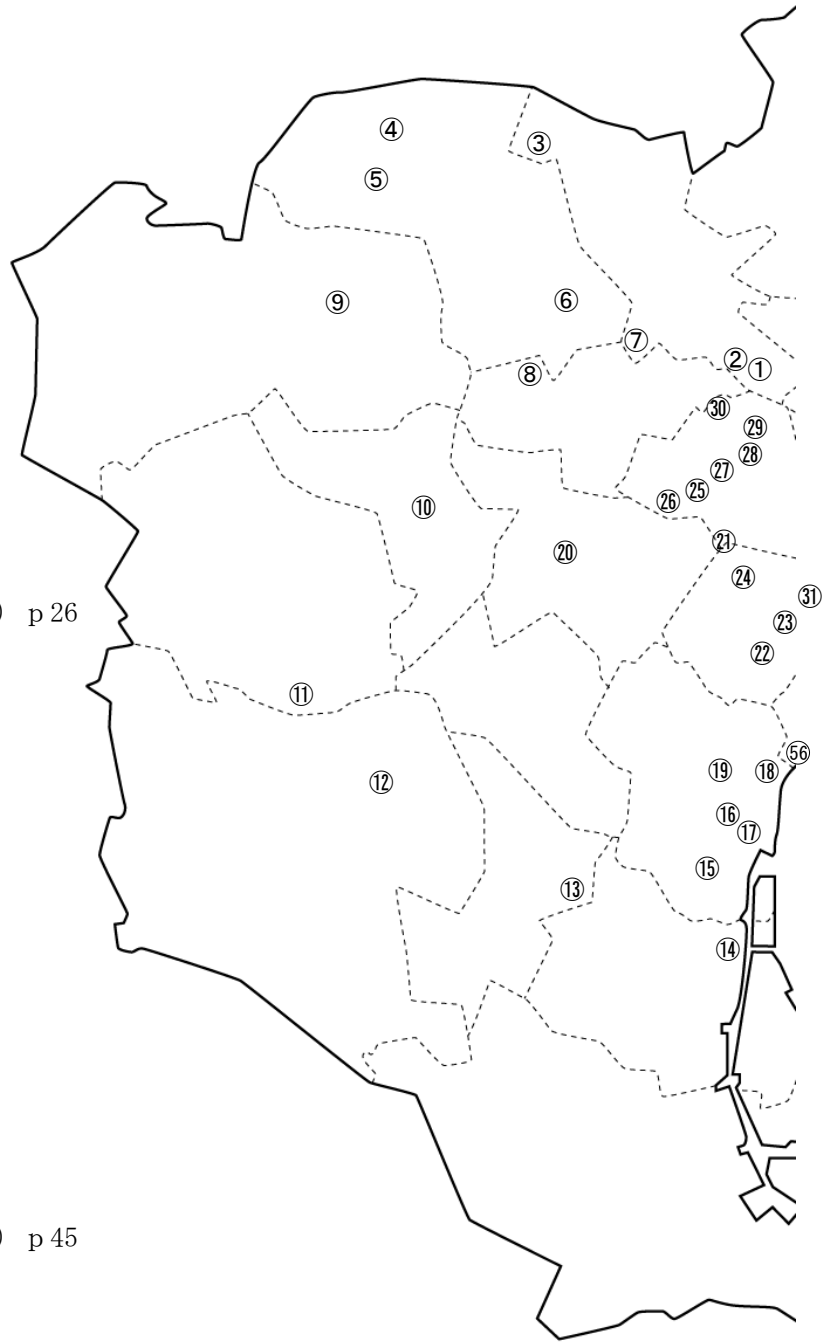
- ・住所 〒135-0021 江東区白河1-3-28 03-3630-8625(代表)

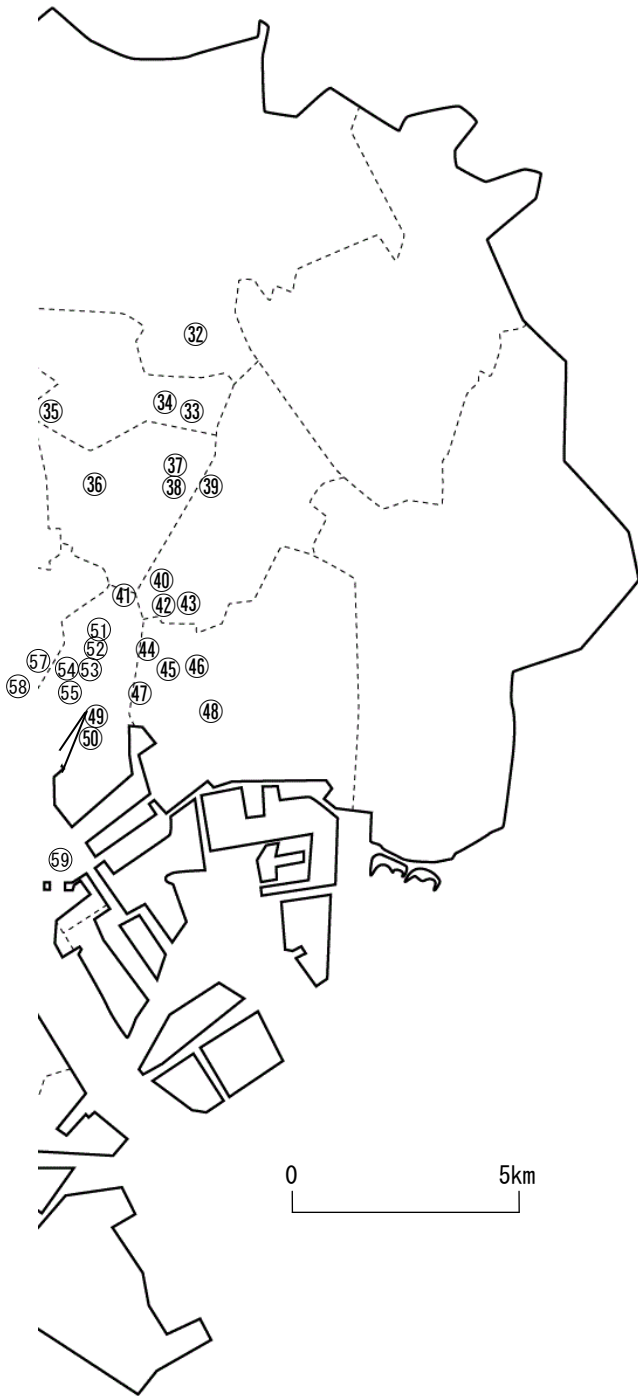
### ○絹の道資料館

- ・住所 〒192-0375 八王子市鎌水989-2 042-676-4064(代表)

# 江戸散歩地図

- ①飛鳥山公園（北区） p 27
- ②正受院（北区） p 40
- ③水塚（北区） p 168
- ④徳丸ヶ原（板橋区） p 42
- ⑤松月院（板橋区） p 42
- ⑥板橋宿（板橋区） p 17
- ⑦近藤勇像（北区） p 49
- ⑧練馬大根碑（練馬区） p 21
- ⑨千川上水（練馬区、豊島区、板橋区等） p 165
- ⑩中野犬屋敷（御囲）跡の碑（中野区） p 26
- ⑪高井戸宿（杉並区） p 17
- ⑫世田谷代官屋敷（世田谷区） p 23
- ⑬目黒不動尊（目黒区） p 15
- ⑭品川宿（品川区） p 17
- ⑮泉岳寺（港区） p 26
- ⑯西郷・勝会見之地碑（港区） p 50
- ⑰元和キリシタン遺跡（港区） p 13
- ⑱旧芝離宮恩賜庭園（港区） p 11
- ⑲増上寺、芝丸山古墳（港区） p 41
- ⑳内藤新宿（新宿区） p 17
- ㉑靖国神社（千代田区） p 51
- ㉒桜田門（千代田区） p 45
- ㉓皇居東御苑 p 9、坂下門（千代田区） p 45
- ㉔小石川後樂園（文京区） p 10
- ㉕切支丹屋敷跡碑（文京区） p 13
- ㉖関口芭蕉庵（文京区） p 31
- ㉗小石川薬園、小石川養生所跡（現小石川植物園、文京区） p 15、 p 27
- ㉘駒込土物店縁起の碑（文京区） p 21
- ㉙吉祥寺（文京区） p 165
- ㉚六義園（文京区） p 11
- ㉛湯島聖堂（文京区） p 31

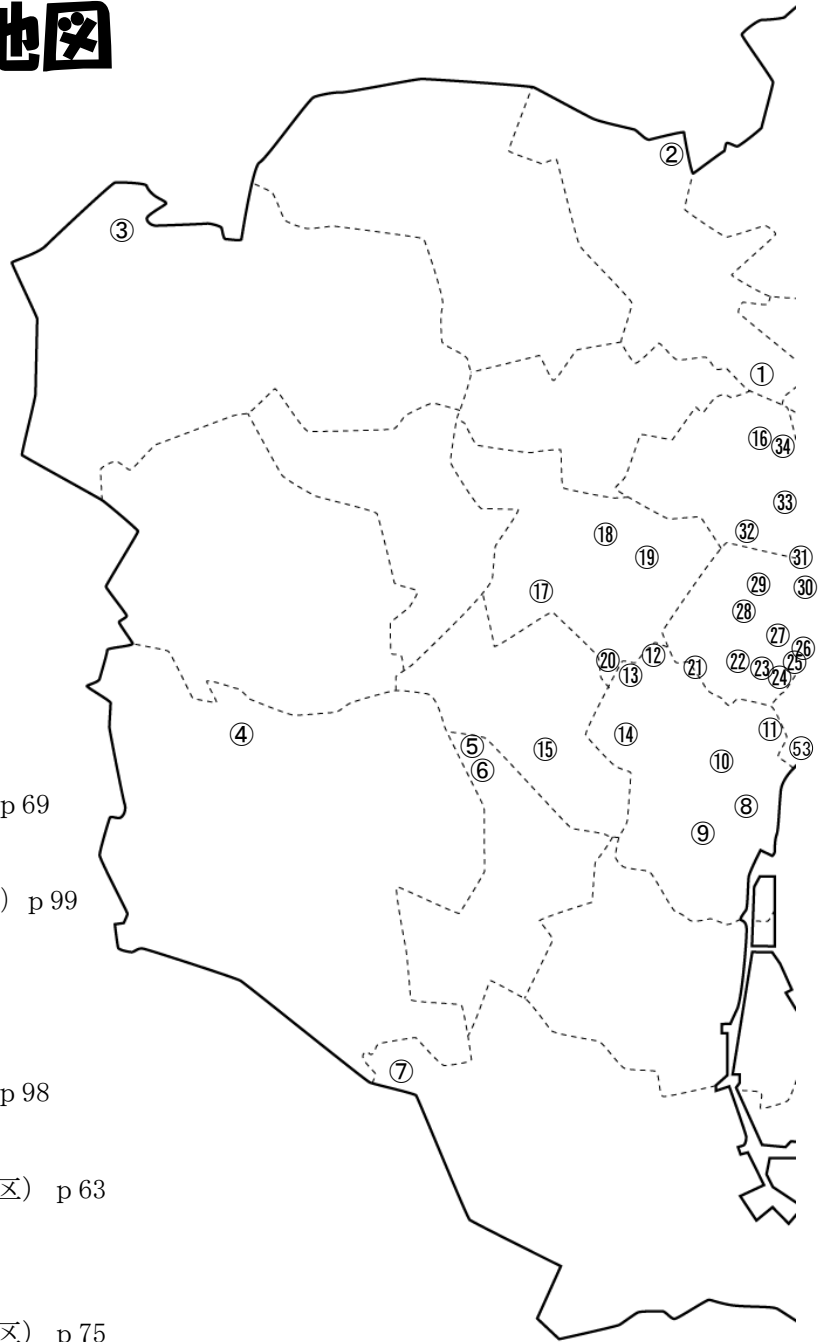


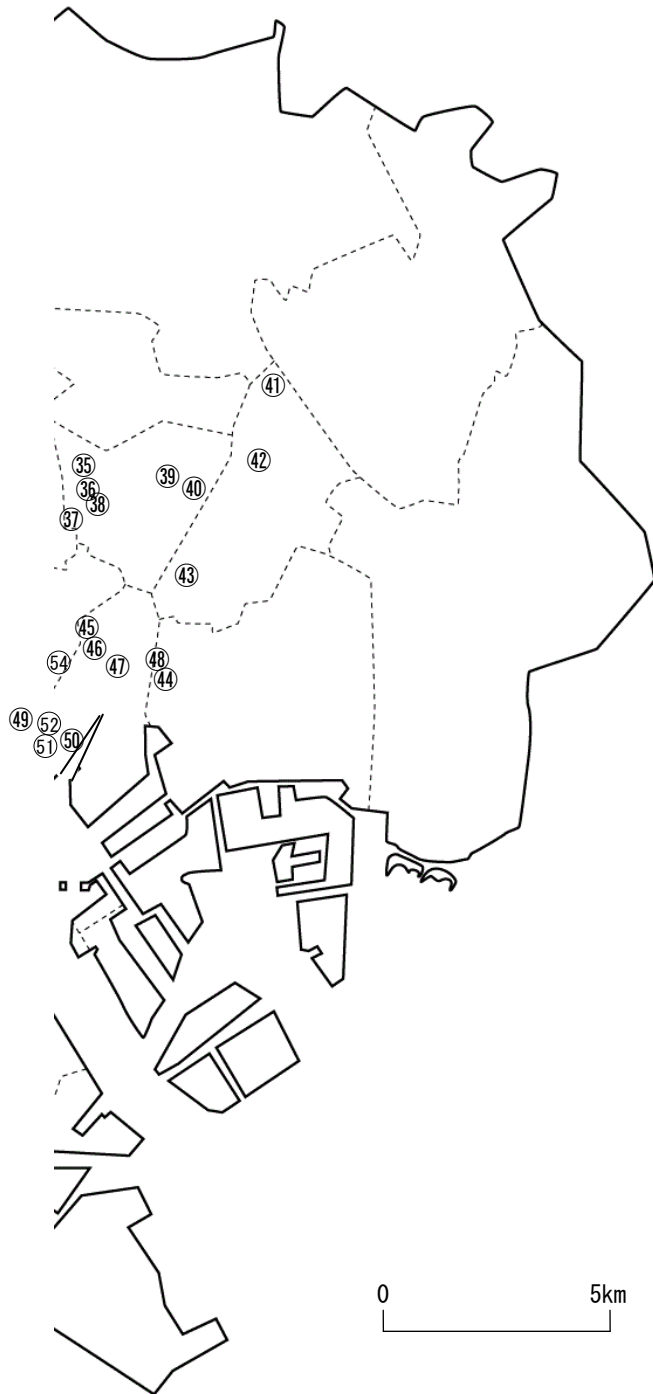


- ③②千住宿（足立区） p 17
- ③③南千住回向院（荒川区） p 32
- ③④円通寺（荒川区） p 51
- ③⑤経王寺（荒川区） p 51
- ③⑥寛永寺、彰義隊墓（台東区） P 50
- ③⑦市村座跡の碑（台東区） p 28
- ③⑧浅草寺（台東区） p 28
- ③⑨隅田川堤（墨田区） p 27
- ④⑩両国国技館（墨田区） p 37
- ④⑪両国橋（墨田区） p 25
- ④⑫両国回向院（墨田区） p 37
- ④⑬本所松坂町公園（墨田区） p 26
- ④⑭芭蕉庵史跡展望庭園、芭蕉稲荷（江東区） p 31
- ④⑮清澄庭園 p 11、採茶庵（江東区） p 30
- ④⑯深川江戸資料館（江東区） p 24
- ④⑰平賀源内電気実験の地の碑（江東区） p 32
- ④⑱富岡八幡宮（江東区） p 37
- ④⑲石川島灯台（中央区） p 29
- ⑤⑰佃島（中央区） p 16
- ⑤⑱三浦按針屋敷跡の碑（中央区） p 13
- ⑤⑲日本橋 p 16、日本橋三越本店（中央区） p 19
- ⑤⑳江戸歌舞伎発祥の地の碑（中央区） p 34
- ⑤㉑ヤン・ヨーステン記念碑（中央区） p 12
- ⑤㉒銀座発祥の地の碑（中央区） p 18
- ⑤㉓浜離宮恩賜庭園（中央区） p 11、15
- ⑤㉔北町奉行所跡（中央区） p 22
- ⑤㉕南町奉行所跡（中央区） p 22
- ⑤㉖お台場海浜公園（第三台場）（港区） p 45

# 明治大正散歩地図

- ① 渋沢栄一像（北区） p 64
- ② 旧岩淵水門、荒川放水路完成記念碑（北区） p 169
- ③ 大泉学園駅（練馬区） p 103
- ④ 賀川豊彦記念・松沢資料館（世田谷区） p 95
- ⑤ 旧前田邸（目黒区） p 54
- ⑥ ケルネル田圃（目黒区） p 57
- ⑦ 田園調布（大田区） p 103
- ⑧ ガス「創業記念碑」（港区） P 59
- ⑨ 慶応義塾図書館（港区） p 91
- ⑩ 増上寺（港区） p 61
- ⑪ 旧新橋停車場（港区） p 57
- ⑫ 迎賓館（港区） p 90
- ⑬ 明治記念館 p 68、御観兵榎（港区） p 69
- ⑭ 青山霊園（港区） p 63
- ⑮ 東横（現東急）百貨店と渋谷駅（渋谷区） p 99
- ⑯ 青鞥社発祥の地（文京区） p 97
- ⑰ 淀橋浄水場趾の碑（新宿区） p 166
- ⑱ 早稲田大学（新宿区） p 84、87
- ⑲ 新宿区立新宿歴史博物館（新宿区） p 98
- ⑳ 聖徳記念絵画館（新宿区） p 69
- ㉑ 赤坂喰違見附跡、紀尾井坂（千代田区） p 63
- ㉒ 憲政記念館（千代田区） p 93
- ㉓ 法務省旧本館（千代田区） p 74
- ㉔ 鹿鳴館跡 p 73、日比谷公園（千代田区） p 75
- ㉕ 三菱一号館美術館（千代田区） p 91
- ㉖ 東京府庁舎跡（千代田区） p 55、p 71
- ㉗ 皇居東御苑（千代田区） p 9、52
- ㉘ 東京国立近代美術館工芸館（千代田区） p 77
- ㉙ 旧飯田町駅跡（千代田区） p 81
- ㉚ ニコライ堂（千代田区） p 90
- ㉛ 聖橋（千代田区、文京区） p 107
- ㉜ 東京砲兵工廠跡記念碑（文京区） p 77
- ㉝ 東京大学（文京区） p 86
- ㉞ 観潮楼跡（文京区） p 85

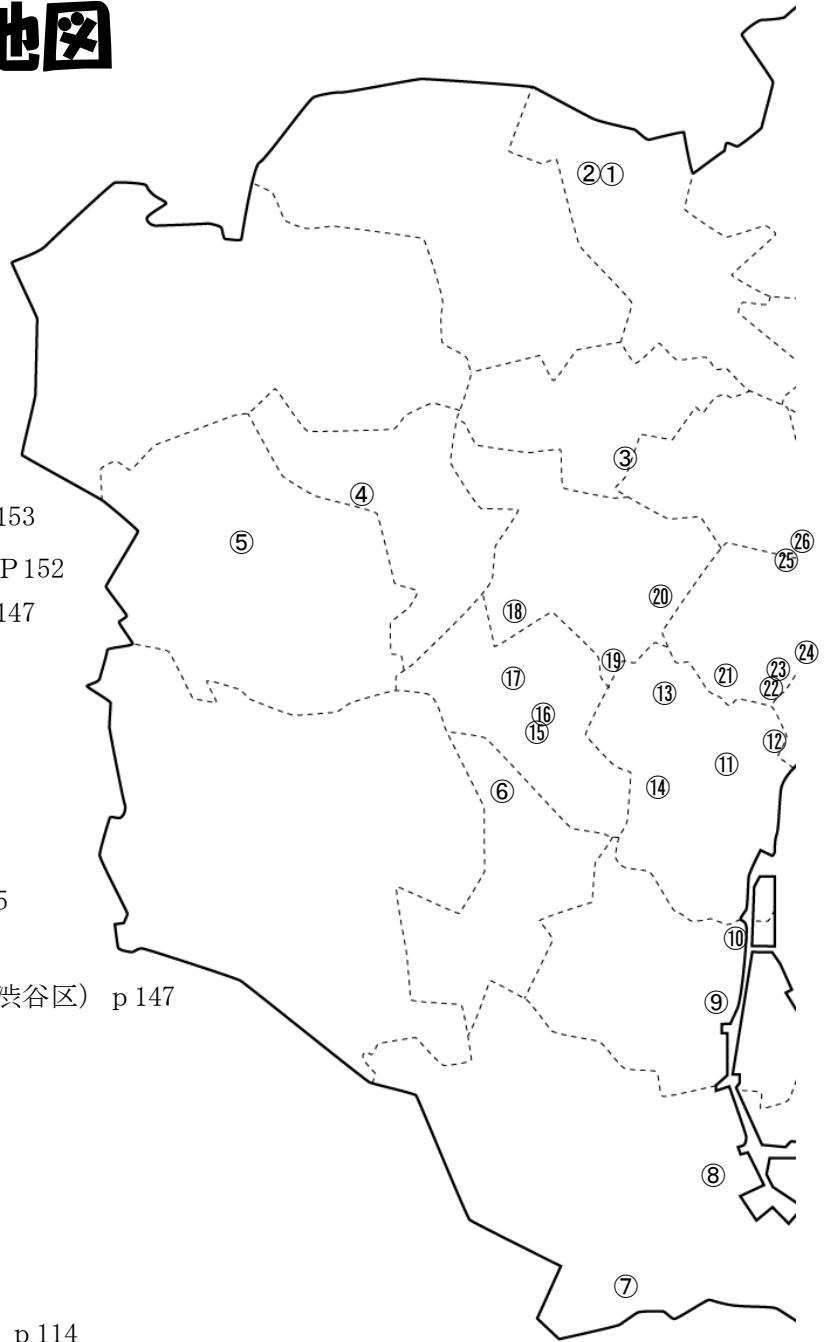




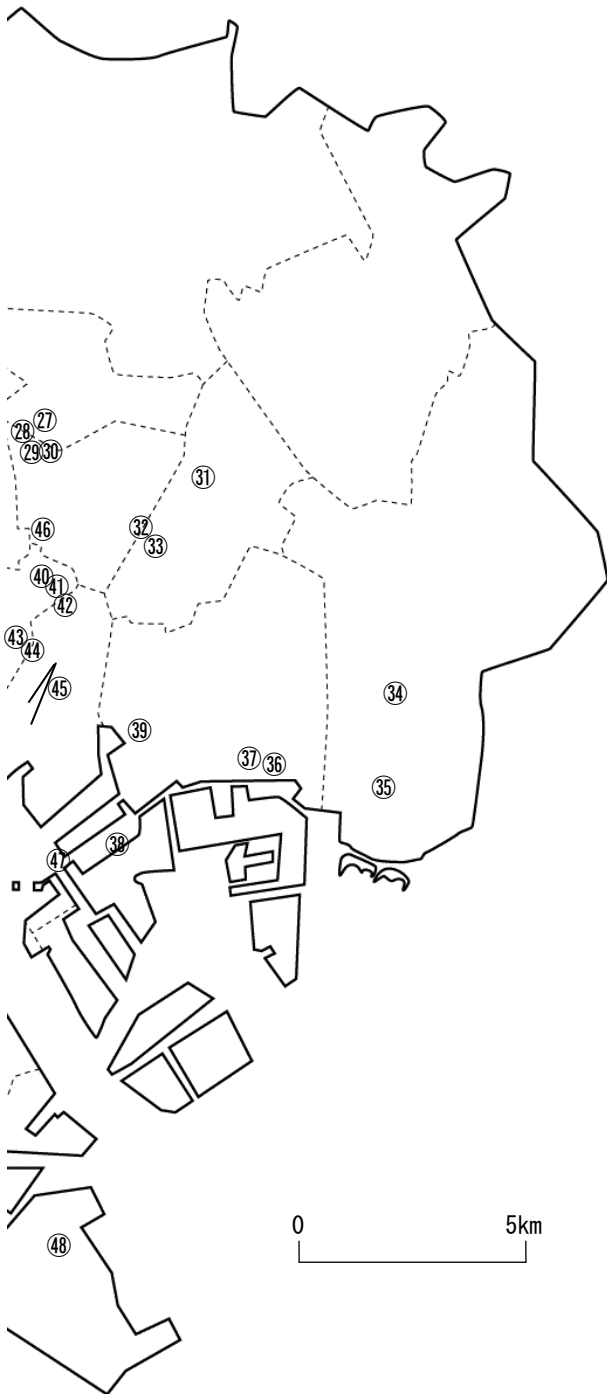
- ③⑤旧東京音楽学校奏楽堂 p 84  
東京芸術大学、黒田記念館（台東区） p 89
- ③⑥上野公園（台東区） p 56
- ③⑦旧岩崎邸（台東区） p 91
- ③⑧上野駅（台東区） p 80、p 101
- ③⑨浅草六区（台東区） p 99
- ④⑩浅草駅（台東区） p 101
- ④⑪鐘淵紡績発祥の地碑（墨田区） p 82
- ④⑫都立墨田川高等学校（墨田区） p 85
- ④⑬復興記念館・東京都慰霊堂（墨田区） p 105
- ④⑭深川セメント跡（江東区） p 83
- ④⑮中央区立常盤小学校（中央区） p 107
- ④⑯日本銀行本店（中央区） p 91
- ④⑰第一国立銀行跡（中央区） p 64、90
- ④⑱清洲橋（中央区、江東区） p 106
- ④⑲勝鬨橋（中央区） p 79
- ⑤⑰アメリカ公使館跡、電信創業の地碑  
築地居留地跡（中央区） p 73、p 75
- ⑤⑱銀座駅（中央区） p 101
- ⑤⑲銀座ガス灯通り（中央区） p 59
- ⑤⑳浜離宮恩賜庭園（中央区） p 60
- ⑤㉑東京駅（千代田区） p 90

# 昭和平成散歩地図

- ①赤羽台団地（北区） p 135、148
- ②桐ヶ丘団地（北区） p 148
- ③サンシャインシティ（豊島区）  
p 125
- ④神田川・環状七号線地下調節池  
（中野区、杉並区） p 170
- ⑤オーロラ碑（杉並区） p 137
- ⑥都立駒場高等学校（目黒区） p 127
- ⑦都立六郷工科高等学校（大田区） p 153
- ⑧大森ふるさとの浜辺公園（大田区） P 152
- ⑨東京モノレール（港区～大田区） p 147
- ⑩天王洲アイル（品川区） p 155
- ⑪東京タワー（港区） p 157
- ⑫汐留シオサイト（港区） p 155
- ⑬高橋是清記念公園（港区） p 115
- ⑭東京都立中央図書館（港区）
- ⑮二・二六事件慰霊像（渋谷区） p 115
- ⑯代々木第一体育館（渋谷区） p 146
- ⑰オリンピック青少年総合センター（渋谷区） p 147
- ⑱東京都庁（新宿区） p 167
- ⑲国立競技場（新宿区） p 146
- ⑳市ヶ谷記念館（新宿区） p 125
- ㉑国会議事堂（千代田区） p 139
- ㉒第一生命ビル（千代田区） p 124
- ㉓明治生命館（千代田区） p 124
- ㉔九段会館（旧軍人会館）（千代田区） p 114
- ㉕神田川（杉並区～中央区） p 171
- ㉖東京都水道歴史館（文京区） p 164、166





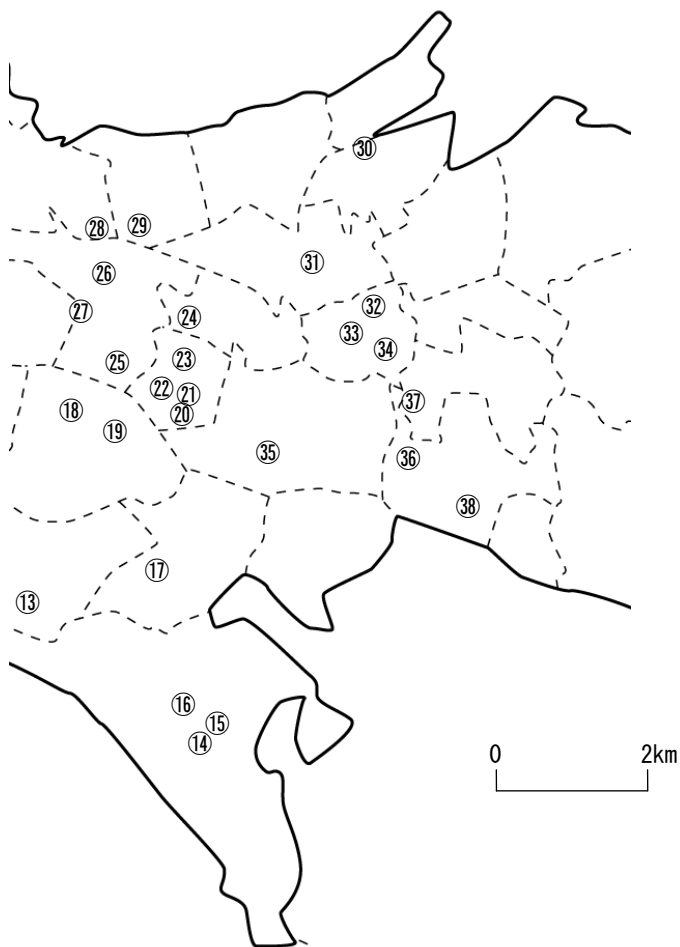


- ②⑦ 東京国立博物館（台東区）
- ②⑧ 上野動物園（台東区） p 142
- ②⑨ 上野大仏（台東区） p 118
- ③⑩ 上野駅（台東区） p 148
- ③⑪ 東京スカイツリー（墨田区） P 157
- ③⑫ 横網町公園（墨田区） p 123
- ③⑬ 東京都江戸東京博物館（墨田区）
- ③⑭ 地下鉄博物館（江戸川区） p 101
- ③⑮ 葛西（江戸川区） p 155
- ③⑯ 夢の島（江東区） p 145
- ③⑰ 都立第五福竜丸展示館（江東区） p 136
- ③⑱ 有明（江東区） p 155
- ③⑲ コンビニエンスストア 1 号店（江東区） p 151
- ④⑩ 日本銀行金融研究所貨幣博物館（中央区） p 111
- ④⑪ 三井本館（中央区） p 112
- ④⑫ 東京証券取引所（中央区） p 111
- ④⑬ 数寄屋橋 p 134
- ④⑭ ハンバーガーチェーン 1 号店の地  
（中央区） p 150
- ④⑮ 佃小橋（中央区） p 154
- ④⑯ 秋葉原（千代田区） p 158
- ④⑰ お台場（港区） p 155
- ④⑱ 羽田空港（大田区） p 147

# 多摩散歩地図



- ②深沢家土蔵（あきる野市） p 66
- ②五日市郷土館（あきる野市） p 67
- ③五日市憲法の碑（あきる野市） p 67
- ④羽村取水堰（羽村市） p 164
- ⑤横田飛行場（福生市、瑞穂町他） p 133
- ⑥小仏関（八王子市） p 17
- ⑦都立八王子桑志高等学校（八王子市） p 47
- ⑧幻境の碑（八王子市） p 67
- ⑨八王子（横山）十五宿（八王子市） p 17
- ⑩東京府立織染学校之趾の碑（八王子市） p 47
- ⑪絹の道（八王子市） p 46
- ⑫絹の道資料館（八王子市） p 47
- ⑬多摩ニュータウン南大沢付近（八王子市） p 149
- ⑭自由民権資料館（町田市） p 66
- ⑮自由民権の碑（町田市） p 66
- ⑯小島資料館（町田市） p 49
- ⑰多摩都市モノレール（多摩市～東大和市） p 149
- ⑱日野宿本陣（日野市） p 49
- ⑲土方歳三墓・石田寺（日野市） p 49
- ⑳谷保天満宮（国立市） p 17
- ㉑ファミリーレストラン1号店（国立市） p 150
- ㉒都立第五商業高等学校（国立市） p 121



- ②③国立（学園都市）（国立市） p 102
- ②④（財）鉄道総合技術研究所（国分寺市） p 147
- ②⑤都立立川高等学校（立川市） p 126
- ②⑥阿豆佐味天神社（立川市） p 139
- ②⑦国営昭和記念公園（立川市・昭島市） p 138
- ②⑧都立上水高等学校（武蔵村山市） p 141
- ②⑨日立航空機変電所（東大和市） p 121
- ③⑩野火止用水（小平市～東久留米市） p 165
- ③⑪小平ふるさと村（小平市） p 165
- ③⑫江戸東京たてももの園（小金井市） p 115
- ③⑬玉川上水（羽村市～新宿区） p 164
- ③⑭東京農工大学科学博物館（小金井市） p 83
- ③⑮府中宿（府中市） p 17
- ③⑯東京オリンピックマラソン折り返し地点の碑（調布市） p 146
- ③⑰近藤勇墓・竜源寺（三鷹市） p 49
- ③⑱布田五宿（調布市） p 17
- ③⑲東京都立多摩図書館

# 江戸から東京へ 年表

政治・経済・社会・文化			江戸・東京の動き	世界の動き	
江戸時代	1590	天正 18	豊臣秀吉、徳川家康を関東に移封	1457 太田道灌が江戸に築城 1590 徳川家康、江戸入府	
	1600	慶長 5	オランダ船リーフデ号、豊後に漂着 関ヶ原の戦い		1600 イギリス東インド会社設立 1602 オランダ東インド会社設立
	1603	8	徳川家康、征夷大將軍就任 出雲阿国、かぶき踊りを始める	1603 江戸開幕 1604 日本橋を起点に諸街道に一里塚を築く	
	1607	12	朝鮮使節、初めて来日		
	1609	14	島津氏、琉球出兵 己酉約条 オランダ、平戸に商館を開設し貿易開始		
	1612	17	直轄領に禁教令	1612 駿河の銀座を江戸に移す	
	1613	18	伊達政宗、慶長遣欧使節を派遣 全国に禁教令		
	1614	19	大坂冬の陣		
	1615	元和 元	大坂夏の陣（豊臣氏滅亡） 一国一城令 武家諸法度（元和令） 禁中並公家諸法度		
	1616	2	欧州船の寄港地を平戸・長崎に制限	1617 吉原遊郭の創始	1618 三十年戦争（～48）
	1622	8	元和の大殉教	1619 菱垣廻船のはじまり	1620 清教徒、メイフラワー号で北米へ移住
	1624	寛永 元	スペイン船の来航禁止	1624 猿蓑勘三郎による江戸歌舞伎の始まり	
	1631	8	奉書船制度開始		1628 イギリス、権利の請願
	1633	10	奉書船以外の海外渡航禁止		
	1635	12	日本人の海外渡航および帰国の禁止 武家諸法度（寛永令：参勤交代の制度化）	1636 江戸城内郭外郭が完成 （江戸城総曲輪の完成）	1636 後金、清と改称
	1637	14	島原の乱（～38）		
	1639	16	ポルトガル船の来航禁止		
	1641	18	平戸のオランダ商館を長崎出島に移す（鎖国完成）	1654 玉川上水完成	1642 イギリス、ピューリタン（清教徒）革命（～49）
	1643	20	田畑永代売買の禁令	1657 明暦の大火（江戸城天守閣焼失） 吉原の浅草移転	1644 明滅亡、清の中国支配
	1651	慶安 4	由井（比）正雪の乱（慶安の変） 末期養子の禁緩和	1659 両国橋架橋	
	1665	寛文 5	諸宗寺院法度	1673 初代市川團十郎、江戸で荒事を演じる 三井高利、越後屋呉服店開く	1661 鄭成功、台湾を占領
	1669	9	シャクシャインの戦い		
	1673	延宝 元	分地制限令	1682 江戸大火（八百屋お七の火事）	
	1685	貞享 2	生類憐みの令（～1709）	1683 三井高利、両替商開く	1683 清、台湾を占領
	1689	元禄 3	長崎の清国人を居住させる唐人屋敷が完成	1689 芭蕉、『奥の細道』の旅に出る	1688 イギリス、名誉革命（～89）
	1693	6	松尾芭蕉『奥の細道』	1690 聖堂を湯島に移す（湯島聖堂）	1689 ネルチンスク条約（露・清） イギリス、権利の章典
	1708	宝永 5	シドッチ、屋久島に上陸	1694 江戸十組問屋の結成	
	1709	6	幕府、新井白石を登用（正徳の治）	1695 中野に犬小屋設置	
	1715	正徳 5	海舶互市新例（長崎新令・正徳新令） 近松門左衛門『国性（姓）爺合戦』の初演	1698 内藤新宿開設 1702 赤穂浪士大石良雄ら吉良義央を討つ	1701 スペイン継承戦争（～13）
	1716	享保 元	享保の改革（～45）〔徳川吉宗〕	1714 絵島生島事件	
	1720	5	キリスト教以外の漢訳洋書の輸入緩和	1717 大岡忠相、町奉行に就任 隅田川堤に桜を植樹	
	1721	6	目安箱の設置	1720 江戸町火消「いろは」47組の設置 飛鳥山に桜を植樹	
1722	7	上げ米の制 新田開発の奨励 小石川養生所の設置	1733 江戸の打ちこわし		
1742	寛保 2	公事方御定書完成	1735 青木昆陽が甘藷の試作を命じられる		
1754		山脇東洋ら、死体を解剖（京都）	1736 武蔵野新田の検地	1756 七年戦争（～63）	
1758	宝暦 8	宝暦事件（竹内式部）	1765 鈴木春信、錦絵を創始	1762 ルソー『社会契約論』	
1767	明和 4	田沼意次、側用人就任 明和事件（山県大式処刑、竹内式部流罪）	1771 杉田玄白ら、千住小塚原で死体解剖に立ち会う	1769 ワット、蒸気機関改良	
1782	天明 2	天明の飢饉（～87）	1772 江戸大火（目黒行人坂の火事） 甲州道中に内藤新宿再興		
1783	3	浅間山の噴火	1774 前野良沢・杉田玄白『解体新書』		
1787	7	天明の打ちこわし（江戸・大坂） 寛政の改革（～93）〔松平定信〕	1776 平賀源内、エレキテル完成	1776 アメリカ独立宣言	
1789	寛政 元	棄捐令	1777 大島三原山の噴火		

	政治・経済・社会・文化			江戸・東京の動き		世界の動き	
江戸時代	1790	2	寛政異学の禁 旧里帰農令	1790	石川島に人足寄場を設置	1789	フランス革命（～99）
	1792	4	ロシア使節ラクスマン、根室に來航	1791	七分積金		
	1798	10	近藤重蔵、蝦夷地を探検	1794	大槻玄沢、芝蘭堂で新元会	1796	白蓮教徒の乱（～1804）
	1800	12	伊能忠敬、蝦夷地測量のため江戸出立	1797	聖堂学問所を昌平坂学問所とする		
	1804	文化元	ロシア使節レザノフ、長崎に來航			1804	ナポレオンの帝政（～14, 15）
	1807	4	幕府、蝦夷地すべてを直轄化			1812	ナポレオンのロシア遠征
	1808	5	間宮林蔵、樺太を探検 フェートン号事件（長崎）	1815	杉田玄白『蘭学事始』	1814	ウィーン会議（～15）
	1825	文政8	異国船打払令を發布	1821	伊能忠敬「大日本沿海輿地全図」（忠敬没後に完成）	1823	アメリカ、モンロー宣言
	1828	11	シーボルト事件			1830	フランス、七月革命
	1833	天保4	天保の飢饉（～39）	1833	歌川広重「東海道五十三次」		
	1837	8	大塩平八郎の乱 モリソン号事件	1836	神田に御救小屋を設置		
	1839	10	蚕社の獄（渡辺崋山・高野長英処分）	1840	遠山景元、町奉行に就任	1840	アヘン戦争（～42）
	1841	12	天保の改革（～43）〔水野忠邦〕 株仲間解散令	1841	高島秋帆、徳丸ヶ原で砲術訓練	1842	南京条約
	1842	13	天保の薪水給与令（異国船打払令緩和）		歌舞伎の江戸三座、浅草移転	1848	カリフォルニアに金鉱発見
	1843	14	人返しの法 上知令 水野忠邦失脚				マルクス、エンゲルス『共産党宣言』
	1844	弘化元	オランダ国王の開国勅告				フランス、二月革命
	1853	嘉永6	ペリー來航（浦賀）、プチャーチン來航（長崎）	1853	品川台場の築造に着手（～54）	1851	太平天国の乱（～64）
	1854	安政元	日米和親条約	1855	安政の大地震	1853	クリミア戦争（～56）
	1856	3	米国総領事ハリス、下田に着任	1856	築地に講武所設置	1856	アロー戦争（～60）
	1858	5	日米修好通商条約 安政の大獄（～59）	1858	伊東玄朴ら、神田に種痘館設置	1857	インド大反乱（～59）
1859	6	横浜・長崎・箱館3港を開く		福沢諭吉、築地に蘭学塾開設	1858	イギリス、インドの直接統治開始	
1860	万延元	桜田門外の変 五品江戸廻送令	1860	ヒュースケン殺害			
1862	文久2	坂下門外の変 和宮降嫁 文久の改革 生麦事件	1861	東禅寺事件	1861	イタリア王国成立 アメリカ南北戦争（～65）	
1863	3	長州藩外国船砲撃事件 薩英戦争			1863	アメリカ、奴隷解放宣言	
1864	元治元	池田屋事件 禁門の変 第1次長州征討 四国艦隊下関砲撃事件	1866	江戸・大坂で大規模な打ちこわし 武州世直し一揆	1866	普墮戦争	
1866	慶応2	薩長同盟 第2次長州征討	1867	築地居留地開設			
1867	3	徳川慶喜、大政奉還を上表 王政復古の号令	1868	江戸城開城 彰義隊による上野戦争 江戸を東京に改称 東京府の設置 東京行幸 東京開市	1869	スエズ運河完成	
1868	明治元	戊辰戦争（～69） 神仏分離令 五箇条の御誓文 五榜の掲示 政体書 明治と改元（一世一元の制）	1869	太政官を東京に移す（事実上の遷都） 東京招魂社の設置 東京・横浜間で電信開通 玉川上水の通船開始	1870	普仏戦争（～71）	
1869	2	版籍奉還			1871	ドイツ帝国成立 パリ＝コミュニケーション	
1871	4	新貨条例 廃藩置県 日清修好条規 文部省設置 郵便制度創設 岩倉遣外使節団の派遣（～73）	1872	東京に師範学校設立 新橋・横浜間に鉄道開業			
1872	5	田畑永代売買の解禁 福沢諭吉『学問のすゝめ』 太陽暦の採用 学制 富岡製糸場開業	1873	第一国立銀行設立			
1873	6	徴兵令 地租改正条例 明治六年の政変 内務省設置	1874	東京警視庁の設置 銀座ガス灯点灯			
1874	7	民撰議院設立建白書提出 台湾出兵 立志社設立（高知）	1875	東京気象台設立 東京で左側通行実施			
1875	8	漸次立憲政体樹立の詔 樺太・千島交換条約 讒謗律 新聞紙条例 江華島事件	1876	上野公園開園	1876	ベル、電話を発明	
1876	9	日朝修好条規 廃刀令 秩禄処分 小笠原諸島領有 地租改正反対一揆	1877	東京大学創立 銀座煉瓦街の完成 第1回内国勸業博覧会開催（上野）	1877	インド帝国成立 露土戦争（～78）	
1877	10	地租を2.5%に軽減 西南戦争	1878	伊豆諸島を静岡県から東京府へ編入 紀尾井坂の変 竹橋事件 東京株式取引所が兜町に開業	1878	パリ万国博覧会	
1878	11	三新法成立	1879	東京府、15区6部に改編 第1回府会議員選挙			
1879	12	琉球処分 教育令	1880	東京府会開会（府県会の最初）			
1880	13	国会期成同盟結成 集会条例	1881	小笠原を東京府に移管			
1881	14	開拓使官有物払下げ事件 明治十四年の政変 国会開設の勅諭 自由党結成 松方財政開始 日本鉄道会社設立	1882	上野動物園開園 新橋・日本橋間に馬車鉄道開通	1882	独・墺・伊三国同盟成立	
1882	15	立憲改進黨結成 大阪紡績会社設立 日本銀行設立 壬午軍乱 福島事件	1883	上野・熊谷間鉄道開通 鹿鳴館完成			

明治

	政治・経済・社会・文化		江戸・東京の動き	世界の動き
明治	1884	17 華族令 秩父事件 甲申事変	1885 品川・赤羽間に山手鉄道開通	1884 清仏戦争（～85）
	1885	18 天津条約 内閣制度創設	坪内逍遙『小説神髓』	
	1886	19 学校令 第1回条約改正会議 ノルマントン号事件	1886 一般電灯営業開始	
	1887	20 大同団結運動 保安条例	1887 東京美術学校・東京音楽学校設立	1887 フランス領インドシナ連邦成立
	1888	21 市制・町村制 枢密院設置	1888 東京天文台完成	
	1889	22 大日本帝国憲法発布 皇室典範 民法典論争（～92） 東海道線全通	1889 東京市成立 麹淵紡績設立 第1回東京市議員選挙 新宿・八王子間に甲武鉄道開通	
	1890	23 府県制・郡制 第1回衆議院議員選挙 教育勅語 第1回帝国議会	1890 浅草に凌雲閣完成	
	1891	24 大津事件 足尾鉍毒事件問題化	1893 多摩3郡、東京府に編入	1891 シベリア鉄道起工
	1894	27 日英通商航海条約 日清戦争（～95）	1894 東京府庁舎落成	1894 甲午農民戦争（朝鮮）
	1895	28 下関条約 三国干渉	1898 東京市役所開庁（東京市、市制特例廃止により 一般市となる） 日本美術院創立	1897 朝鮮、大韓帝国に改称 1898 ロシア、旅順・大連を租借 中国分割（～99）
1897	30 労働組合期成会結成 金本位制の確立	1899 淀橋浄水場落成式	1899 アメリカ、中国の門戸開放を提議	
1898	31 隈板内閣成立	1900 津田梅子、女子英学塾設立	1900 義和団事件（～01）	
1900	33 治安警察法 北清事変（～01） 立憲政友会結成	1903 日比谷公園開園 東京電車鉄道、路面電車の開業	1901 北京議定書 ノーベル賞創設	
1901	34 八幡製鉄所操業開始	1904 三越呉服店設立		
1902	35 日英同盟成立（1923失効）	1906 東京鉄道株式会社設立	1905 ロシア第一次革命	
1904	37 日露戦争（～05）	1908 東京府大島・八丈島に町村制	1907 英露協商成立（→英・仏・露三国協商） 1911 中国、辛亥革命（～12）	
1905	38 ポーツマス条約 日比谷焼打ち事件	1909 両国回向院境内に国技館建設	1912 中華民国成立、清滅亡	
1906	39 統監府設置 鉄道国有法 関東都督府設置 南満州鉄道株式会社設立	1910 東京瓦斯工業設立	1914 第一次世界大戦（～18） パナマ運河開通	
1910	43 大逆事件 韓国併合 朝鮮総督府設置	1911 平塚らいてうら、『青鞥』創刊	1917 ロシア、二月・十月革命	
1911	44 条約改正の達成 工場法	1916 立川飛行場開設	1919 パリ講和会議（ヴェルサイユ条約） 朝鮮、三・一独立運動 中国、五・四運動 ドイツ、ヴァイマル憲法制定	
1912	大正 元 友愛会創立 第一次護憲運動	1918 玉川水道給水開始（郊外水道のはじまり）	1920 国際連盟成立	
1913	2 大正政変	1922 東京市「自治記念日」制定（現都民の日）	1921 ワシントン会議（～22）	
1914	3 ジーメンス事件 第一次世界大戦に参戦	1923 築地魚市場開場	1922 イタリア、ファシスト政権成立 ソビエト社会主義共和国連邦成立	
1915	4 二十一カ条の要求	1924 同潤会設立 築地小劇場開設 荒川放水路完成通水式	1925 ロカルノ条約	
1917	6 金輸出禁止	1925 ラジオ放送開始 山手線環状運転開始 村山貯水池完成	1926 蔣介石、北伐開始（～28）	
1918	7 米騒動 シベリア出兵 平民宰相誕生	1926 日本放送協会設立	1928 パリ不戦条約	
1920	9 戦後恐慌 最初のメーデー	1927 東京渡辺銀行休業 東京地下鉄道開業（浅草・上野間）	1929 ニューヨーク株式市場株価大暴落 世界恐慌始まる	
1921	10 ワシントン会議（～22） 四カ国条約	1929 東京市初の普通選挙法による市議員選挙	1930 ロンドン海軍軍縮会議	
1922	11 海軍軍縮条約・九カ国条約 全国水平社結成 日本農民組合結成	1931 羽田空港完成	1933 アメリカ、ニューディール政策開始 ドイツ、国際連盟を脱退	
1923	12 関東大震災 虎の門事件	1932 東京市が15区から35区に（人口世界 第2位の大都市に）	1934 ヒトラー、ドイツ総統になる	
1924	13 第二次護憲運動 護憲三派内閣成立	1933 「東京音頭」の流行 築地卸売市場完成	1935 イタリア、エチオピア侵入	
1925	14 普通選挙法 治安維持法	1934 山口貯水池完成	1936 スペイン内戦（～39） 中国、西安事件	
1927	昭和 2 金融恐慌 モロトリアム 山東出兵	1938 東京オリンピック中止を決定	1937 第2次上海事変 第2次国共合作	
1928	3 張作霖爆殺事件	1939 地下鉄浅草・渋谷間全通	1939 独ソ不可侵条約 第二次世界大戦（～45）	
1930	5 金（輸出）解禁 ロンドン海軍軍縮条約 統帥権干犯問題 昭和恐慌	1940 勝鬨橋の完成	1940 ドイツ、パリ占領	
1931	6 柳条湖事件（満州事変始まる） 金輸出再禁止	1941 東京港開港	1941 独ソ開戦 米英、大西洋憲章発表	
1932	7 血盟団事件 満州国を建国 五・一五事件	1942 東京に初の空襲		
1933	8 国際連盟を脱退	1943 東京府・東京市を廃止し東京都を設置	1943 イタリア、無条件降伏	
1935	10 天皇機関説問題			
1936	11 二・二六事件 日独防共協定			
1937	12 盧溝橋事件（日中戦争開始） 国民精神総動員運動 日独伊三国防共協定			
1938	13 近衛声明（第1次～第3次） 国家総動員法			
1940	15 日独伊三国同盟 大政翼賛会創立			
1941	16 国民学校令 日ソ中立条約 ハル・ノート 太平洋戦争始まる			
1942	17 ミッドウェー海戦			
1943	18 学徒出陣			
1944	19 本土空襲本格化 学童疎開 学徒勤労令			
1945	20 広島・長崎に原子爆弾投下 ポツダム宣言受諾 財閥解体 労働組合法 第1次農地改革	1945 東京大空襲（3月10日）	1945 ヤルタ会談 ドイツ、無条件降伏 ポツダム会談 国際連合発足	

		政治・経済・社会・文化	江戸・東京の動き	世界の動き
昭和	1946	21 天皇の人間宣言 公職追放令 新選挙法の下で初の総選挙実施 極東国際軍事裁判 第2次農地改革 日本国憲法公布	1947 35区を22区に整理統合（練馬区が板橋区から独立し23特別区となる） 都長官（のちの都知事）公選	1946 第1回国連総会開催 インドシナ戦争（～54）
	1947	22 ニ・ーゼネスト中止 教育基本法 学校教育法 労働基準法 独占禁止法 地方自治法 日本国憲法施行	1948 東京消防庁発足 東京都教育委員会発足	1947 トルーマン＝ドクトリン マーシャルプラン発表 コミンフォルム結成 1948 パレスチナ戦争（～49） ベルリン封鎖 大韓民国成立 朝鮮民主主義人民共和国成立
	1948	23 教育委員会法 経済安定九原則	1949 インドのネルー首相、象を寄贈	1949 北大西洋条約機構（NATO）発足 中華人民共和国成立
	1949	24 ドッジ＝ライン 1ドル＝360円の単一為替レート シャープ勸告		1950 朝鮮戦争（～53）
	1950	25 警察予備隊設置 特需景気		1954 アメリカ、ビキニ環礁で第1回水爆実験
	1951	26 サンフランシスコ平和条約 日米安全保障条約	1954 第五福竜丸、ビキニ環礁で被爆	
	1952	27 日米行政協定 『君の名は』ラジオ放送開始 血のメーデー事件 保安隊発足 IMF加盟	1955 都議会、オリンピックの招致を決定 砂川闘争はじまる（～56）	1955 ワルシャワ条約機構発足 アジア・アフリカ会議
	1953	28 全国各地で基地反対闘争 テレビ放送開始	1957 小河内ダム完成	1956 スエズ運河国有化宣言 スエズ戦争 ハンガリー事件
	1954	29 MSA協定（日米相互防衛援助協定など） 教育二法 防衛庁設置 自衛隊発足	1958 多摩動物園開場 東京タワー完成 1960 都、ニューヨークと姉妹都市提携	1957 ソ連、人工衛星第1号打上成功 1958 EEC発足
	1955	30 原水爆禁止世界大会（広島） GATT加盟 保守合同	1962 都の人口1千万人突破 1963 東京都平和都市宣言	1959 キューバ革命 1960 南ベトナム解放民族戦線結成
	1956	31 新教育委員会法 日ソ共同宣言 国際連合に加盟	1964 東京オリンピック 東海道新幹線開通	1962 アルジェリア独立 キューバ危機
	1960	35 新安保条約 日米地位協定 安保闘争	1965 淀橋浄水場の業務と玉川上水の送水を停止	1965 アメリカ、ベトナム北爆
	1961	36 農業基本法	1966 ビートルズ、武道館で公演	1966 中国、文化大革命開始
	1962	37 日中準政府間貿易覚書	1968 小笠原諸島返還協定	1967 第3次中東戦争 EEC発足 東南アジア諸国連合発足
	1964	39 IMF8条国に移行 OECDに加盟	1970 東京、消費者物価世界一に 杉並で光化学スモッグ発生	1968 チェコスロヴァキア、「プラハの春」
	1965	40 日韓基本条約	1971 多摩ニュータウン入居開始 銀座にファーストフード店開店	1971 国連、中華人民共和国の国連代表権承認
	1967	42 資本の自由化 公害対策基本法		1972 アメリカ大統領、中国訪問
	1969	44 同和対策事業特別措置法	1972 上野動物園に中国からパンダが寄贈	1973 ベトナムと平和協定調印 第4次中東戦争
	1970	45 大阪万国博覧会 日米安保条約自動延長	1974 江東区にコンビニエンスストア開店 多摩川堤防決壊17戸流出	1975 ベトナム戦争終結 第1回先進国首脳会議
	1971	46 沖縄返還協定 環境庁発足 ドル＝ショック	1977 米軍立川基地、全面返還	1979 米中国交正常化 イラン革命 エジプト・イスラエル平和条約 ソ連、アフガニスタン侵攻
	1972	47 札幌冬季オリンピック 日中共同声明		1980 イラン・イラク戦争（～88）
	1973	48 円、変動為替相場制へ移行 第一次石油危機	1981 都立高校の学校群廃止を発表	1986 ソ連、チェルノブイリ原発事故
	1975	50 沖縄国際海洋博覧会	1982 新東京百景選定	1987 大韓航空機爆破事件 米ソ、INF全廃条約
1976	51 ロッキード事件	1983 三宅島の噴火	1989 中国、天安門事件 ベルリンの壁崩壊 米ソ首脳会談で東西冷戦の終結を宣言	
1978	53 日中平和友好条約 新東京国際（成田）空港開港	1985 両国国技館完成	1990 東西ドイツの統一 湾岸戦争 南ア、アパルトヘイト撤廃 米ソSTART I調印 ソビエト連邦解体	
1979	54 元号法 第2次石油危機	1986 大島三原山の噴火	1992 マーストリヒト条約 ユーゴスラビア解体、内戦勃発	
1985	昭和 60 つくば国際科学技術博覧会 電電公社・専売公社の民営化 プラザ合意	1987 首都圏大停電	1993 EU発足	
1986	61 男女雇用機会均等法施行	1988 東京ドーム落成	1995 ボスニアと平和協定調印	
1987	62 国鉄の分割民営化	1989 葛西臨海水族館開園	1997 香港の中国返還	
1988	63 青函トンネル・瀬戸大橋開通 リクルート事件	1991 新都庁舎落成	1999 EUの単一通貨ユーロ導入 NATO軍のユーゴ空爆	
1989	64 昭和天皇崩御 「平成」に改元 消費税導入	1993 東京都江戸東京博物館開館 レインボーブリッジ開通	2000 南北朝鮮首脳会談	
1992	平成 4 文部省、学校週5日制決定 PKO協力法 自衛隊をカンボジアへ派遣	1995 地下鉄サリン事件	2001 アメリカで同時多発テロ事件 アメリカ軍などアフガニスタン攻撃	
1993	5 非自民連立内閣成立		2003 イラク戦争	
1995	7 阪神・淡路大震災	2000 三宅島雄山の噴火	2006 北朝鮮、核実験実施	
1997	9 アイヌ文化振興法		2007 第2回南北朝鮮首脳会談	
1998	10 長野冬季オリンピック		2009 国連安保理、全会一致で「核廃絶」を決議	
1999	11 新ガイドライン関連法 国旗・国歌法			
2001	13 中央省庁改革（1府12省庁へ）			
2002	14 サッカーワールドカップ日韓大会開催 初の日朝首脳会談（日朝平壤宣言）	2007 第1回東京マラソン		
2003	15 日本郵政公社発足 有事関連三法			
2004	16 自衛隊をイラクへ派遣			
2005	17 郵政民営化法 愛知万国博覧会			
2006	18 教育基本法改正			
2007	19 防衛省発足			
2009	21 民主党中心の政権成立			
2011	23 東日本大震災	2010 東京スカイツリーの建設開始（2012完成予定） 2011 小笠原諸島、世界自然遺産登録		

# 索引

## あ

I T革命	159
青ヶ島	163
青木昆陽	15
青木周蔵	74
赤坂喰違の変	63
赤坂離宮	69, 91
秋月の乱	63
秋葉原	160, 181, 199
上げ米	27
赤穂事件	26
浅井忠	88
浅野総一郎	83
浅野長矩	9, 26
朝日(新聞)	85
アジア・アフリカ会議	144
足尾鉍毒事件	83
飛鳥山	27, 174, 194
安部磯雄	109
阿部正弘	44
アヘン戦争	42
アメリカ教育使節団	129
新井白石	13, 26
荒川放水路	170, 196
荒木貞夫	115
荒事	30, 35
安政の五か国条約	44
安政の大獄	45
安全保障理事会	134
安藤信正	48
安保闘争	141

## い

井伊直弼	44
家持	22
硫黄島	122, 143
威海衛	76
生島新五郎	34, 163
池貝鉄工所	81
池田勇人	142
池田屋事件	48
異国船打払令	40, 163
石川島	29, 186, 195
石阪昌孝	66
石田梅岩	33
出雲阿国	34
板垣退助	60, 62
板橋宿	16, 49, 194
市川団十郎	30, 35
五日市学芸講談会	67
五日市憲法(日本帝国憲法)	67
一国一城令	10
一世一元の制	52
一丁倫敦	91
伊藤博文	61, 67, 68
大養毅	92, 111
井上馨	73, 75
井上準之助	112
井上勝	57
伊能忠敬	40
井原西鶴	30
入会地	20
岩倉遣外使節団	60, 72, 87
岩倉具視	60, 63, 68
岩崎弥太郎	91
岩瀬水門	171
石見大森	9
印旛沼	28

## う

ウィリアム・アダムズ	12
ウィルソン	96
植木枝盛	67
上野戦争	50
上野動物園	144, 199
ヴェルサイユ条約	96
浮雲	85
宇喜多秀家	163
浮世絵	15, 38
浮世草子	30
歌川広重	16, 28, 39, 152, 166
内村鑑三	85, 171
海の森	175
裏店	24, 35
裏長屋	22, 24
運上	19, 28

## え

江川太郎左衛門	43
絵島・生島事件	34
蝦夷地	14, 40, 56
えた	23
江藤新平	53
江戸三座	29, 34
江戸四宿	16
江戸地廻り経済圏	21
江戸城	8, 10, 15, 26, 35, 36, 45, 48, 50, 173, 193
江戸っ子	34
江戸野菜	17, 20

択捉島	127, 140
N T T	155
榎本武揚	51
総踏	13
MS A協定	138
エレキテル	32
円・銭・厘	64
円高不況	154, 166

## お

オイルショック	147
奥羽越列藩同盟	51
欧化主義	84
欧化政策	73
奥州道中	16
王政復古の大号令	51, 53
往来物	33
大石良雄(内蔵助)	26
大岡昇平	137
大岡忠相	15, 22, 27, 187
大奥	29, 34
大木喬任	53
大國魂神社	17, 192
大久保利通	50, 53, 54, 56, 60, 62
大隈重信	67, 68, 74, 87, 94
大倉喜八郎	71
大阪朝日(新聞)	99
大阪紡績会社	82
大阪毎日(新聞)	99
大島	162, 164, 188
太田道灌	8
大槻玄沢	32
大津事件	74
大村益次郎	51
岡倉天心	88
小笠原貞頼	143
小笠原諸島	61, 127, 142, 164, 188
岡田啓介	115
沖田総司	49
沖繩県設置	61
沖繩返還協定	142
沖ノ島島	142, 164
奥の細道	30
尾崎行雄	92
お台場	44, 146, 157, 195, 199
表店	24
雄山	163, 165
オランダ国王の関国勅告	43
オランダ風説書	14

## か

海禁政策	13
海軍軍縮条約	96
海軍伝習所	43
戒厳令	105, 114
海上警備隊	138
解体新書	32
開拓使官有物払下げ事件	67
海舶互市新例	26
貝原益軒	33
解放令	23, 55
賀川豊彦	95
学園都市	103
革新倶楽部	97
学制	86
学徒勤労動員	121
学徒出陣	121
学問のすゝめ	58, 87
囲米	28
貸し渋り	157
和宮	48, 61
化政文化	32
華族	54
華族令	68
片岡直温	109
片山東熊	90
ガダルカナル	120
勝海舟	50
学校教育法	129
学校令	87
穀師七斎	14, 17, 26, 39
桂小五郎	48, 50, 54
桂太郎	92
加藤高明	95, 97, 109
過度経済力集中排除法	128
仮名手本忠臣蔵	27
鐘淵紡績	83, 197
狩野芳崖	89
株仲間	19, 28
髪結床	33
賀茂真淵	24
樺太・千島交換条約	61
河合曾良	31
川上音二郎	84
かわた	23, 55
閑院宮家	26
寛永寺	50, 180, 195
寛永通宝	18
官営模範工場	82
環境庁	146
韓国併合	78, 134, 144
漢城	79
漢語	78

勸進相撲	36
寛政異学の禁	31
関税自主権	45, 72, 74
寛政の改革	28
神田青物市場	21
神田川	17, 160, 172, 198
神田上水	35, 166, 168
神田青果市場	160
関東軍	79, 110, 112, 116
関東州	79
関東大震災	59, 77, 98, 103, 104, 106, 108, 113
関東都督府	79
関東取締出役	29
菅直人	158
漢訳洋書の輸入禁止緩和	32

## き

生糸	15, 46, 80, 82, 111, 167
乗船令	28
器械製糸	82
企業勃興	65
岸信介	141
議定	51
寄生地主	65
義倉	28
貴族院	68, 70, 97, 111, 130
喜多川歌麿	38
北里柴三郎	85
北朝鮮	134, 145
北町奉行所	22, 195
北村透谷	66
義太夫節	30
切符制	119
木戸孝允	54, 60, 62
絹の道	46, 200
黄八丈	163
奇兵隊	50
基本的人権	130
逆コース	138
旧芝離宮恩賜庭園	11
九竜半島	77
教育基本法	129
教育勅語	87
教育令	87
協約外交	97, 111
京都守護職	48
京都所司代	10
享保の改革	23, 27
清浦奎吾	97
狂乱物価	147
極東委員会	126
極東国際軍事裁判	127
挙国一致内閣	112
清澄庭園	11, 184, 195
居留地	45, 46, 59, 73, 75
吉良義典	9, 26
義和団	77
金座	18
銀座	18, 58, 195
緊縮財政	92, 111
禁中並公家諸法度	11
金遣い	18
銀遣い	18
金本位制	64, 77, 110
禁門の変	48
金融恐慌	105, 108
金(輸出)解禁	111
金輸出再禁止	111, 112

## く

公事方御定書	27
国後島	127, 140
国木田独歩	85
国立大学町	103
グラント	60
黒田清隆	67, 95
黒田清輝	89
郡区町村編制法	71
軍部大臣現役武官制	92, 115
軍役	9

## け

慶安の変	26
慶応義塾	86, 186
慶応義塾図書館	91, 178
慶賀使	15
警察予備隊	138
京城	79
敬神党の乱	63
計数貨幣	18
迎賓館	69, 91, 187, 196
血盟団事件	112
検見法	27
原水爆禁止世界大会	139
憲政会	97, 108
憲政の常道	109, 112
憲政擁護	92
元和の大殉教	12
原爆投下	123
原爆ドーム	139
言文一致体	85
儉約令	27, 29



県令	54
元老院	68
元禄小判	26
元禄文化	30, 38

## こ

小石川後楽園	11, 76, 194
小石川薬園	15, 194
小石川養生所	27
小泉純一郎	145, 158
五・一五事件	112, 114
公害対策基本法	146
江華島事件	60
甲午農民戦争(東学の乱)	76
高札	33, 58
高札場	16
皇室典範	68
甲州道中	16
広州湾	77
膠州湾	77
工場制手工業	42
好色一代男	30
公職追放	127
好色物	30
幸田露伴	85
神津島	162, 164, 188
公定歩合	156
皇道派	115
高度経済成長	6, 142, 146, 150, 152, 154, 161, 172, 174

抗日民族統一戦線	117
豪農	21, 33, 62
公武合体	48, 50
工部大学校	73, 90
甲武鉄道	80, 167
講武所	43
工部美術学校	88
孝明天皇	48, 50
五街道	16
五箇条の御誓文	52
国学	33
国際連合	134, 140
国際連盟	96, 112, 114, 116
国産力織機	83
国定教科書制度	87
国民皆学	86
国民皆兵	55
国民学校	120
国民主権	130
国民精神総動員運動	118
国民政府	110
国民総生産	146
国民党	110, 117, 134, 145
黒曜石	162, 164
国立オリンピック記念青少年総合センター	149
国立銀行条例	64
国連教育科学文化機関	139, 143
御家人	9, 28
護憲二派内閣	97, 112
小御所会議	51
小作争議	97
御三家	9, 11
五・四運動	96
55年体制	140, 157
五重塔	85, 178
御親兵	54, 77
五節句	59
五大改革の指令	127
五代友厚	67
国会開設の勅諭	67
国会期成同盟	62
国家総動員法	118
小塚原刑場	32
国権論	84
御殿山	27, 45, 174
後藤象二郎	50
後藤新平	106
五人組	20
近衛文磨	116, 119
五品江戸廻送令	46
五榜の掲示	52, 58
小仏の関	17
駒場農学校	56
小村寿太郎	75
米騒動	94
五稜郭	49, 51
ゴローウニン	40
近藤勇	48, 201
近藤重蔵	40, 188
コンドル	73, 90, 93
コンビニエンスストア	152, 199

## さ

西園寺公望	92
最恵国待遇	72, 75
西郷隆盛	50, 60, 62, 178, 180
斎藤実	112, 114
斎藤緑雨	85
財閥解体	128
采覧異言	13
坂口安吾	137
坂下門外の変	45, 48
坂田藤十郎	30
坂本龍馬	50

桜田門外の変	45, 48
座繰製糸	82
鎖国	12, 14, 40, 43, 60
佐立七次郎	91, 93
薩英戦争	50
薩長同盟	50
薩長土肥	42, 54
佐渡	9, 26
佐藤栄作	142, 144
サラリーマン	91, 98, 102
猿若勘三郎	34
三・一独立運動	96
三貨	18
産業革命	65
参勤交代	10, 48
三國干渉	77
三種の神器	146, 161
三条実美	48
三職	51, 52
三新法	71
三都	16, 21
山東京伝	28
山東出兵	110
山東半島	77, 94
サンフランシスコ平和条約	135, 144
参与	51

## し

GNP	146
シーボルト	13, 41
シーボルト事件	41
寺院法度	11
J R	49, 59, 68, 91, 134, 155
自衛隊	138, 141, 158, 165
J T	155
地借	22
辞官納地	51
私擬憲法	67
式根島	162, 164
四国艦隊下関砲撃事件	50
色丹島	127, 140
市制・町村制	55, 69, 71
土族の反乱	63
七分積金	28
幣原喜重郎	97, 127
シドッチ	13
品川宿	16, 194
支那事変	117
土農工商	23
芝居小屋	24, 28, 34
支払い猶予令	109
渋沢栄一	64, 82, 102, 196
シベリア出兵	95
シベリア鉄道	74, 77
島田一良	63
島津久光	48, 50
島原の乱	12
下関条約(日清講和条約)	76
下村観山	89
シャブ	133, 155
謝恩使	15
社会党	130, 140, 157
ジャック・シャインの戦い	15
社会	28
ジャポニスム	39
洒落本	28
集会条例	62
衆議院	70, 92, 95, 109, 112, 130
修身	129
集団就職	150
自由党(明治)	65, 66, 70
自由党(戦後)	130, 140
自由民権運動	62, 66, 70
自由民主党	140
宗門改帳	13
十四か条の平和原則	96
儒学	15, 31
宿駅(宿)	16
宿場町	16
朱子学	31
出版統制令	28
首都高速道路	149
唱歌	57, 84
蒋介石	110, 134
彰義隊	50, 180
尚氏	15
小説神髓	85
上知令	29
正徳小判	26
正徳の治	26
定火消	27
消費税	79, 155
正風(蕉風)俳諧	30
昌平黉	31
昌平坂学問所	31
定免法	27
条約改正	60, 72, 74
生類憐みの令	26
昭和記念公園	141, 201
昭和恐慌	111
昭和天皇	110, 141
殖産興業	47, 56, 76, 82
女子英学塾	87
諸社福宜神主法度	11
所得倍増	142

ジョンソン	142
芝蘭堂	32
新安保条約	141
辛亥革命	94
心学	33
新貨条例	64
新劇	84
震災恐慌	108
震災手形	105, 108
真珠湾	120, 123
新撰組	48
新体制運動	119
真鍮座	28
新田開発	20, 27, 167
神道国教化	84
新党さきがけ	157
新派劇	84
親藩	10
神風連の乱	63
神仏分離令	58

## す

枢軸(国)	116, 120
スーパーマーケット	152
枢密院	68, 109, 111
杉田玄白	32
調所広郷	42
鈴木商店	108
鈴木春信	38
砂川事件	141
住友	109, 128
スモッグ	147

## せ

西安事件	116
征夷大将軍	8
征韓論	60, 62
政社	62
政商	65, 83
政体書	52
青鞥	96
聖堂学問所	31
青鞥社	96, 196
政党内閣	68, 94, 97
西南戦争	63, 64
政友本党	109
西洋紀聞	13
セオドア・ローズベルト	79
世界恐慌	111
関孝和	33
石油危機	147, 154
世間胸算用	30
銭座	18
ゼロメートル地帯	147
尖閣諸島	61, 165
千川上水	167, 169, 194
戦後恐慌	108
全国水平社	97
千住宿	16, 195
漸次立憲政体樹立の詔	62
先進五か国蔵相・中央銀行総裁会議(G5)	154
浅草寺	29, 179, 191, 195
仙台堀	173
銭湯	24
千歯扱	20
戦犯	127

## そ

総裁	51, 106, 109, 112
宗氏	12, 15
増上寺	1, 48, 61, 178, 194, 196
造船疑獄	140
疎開	120, 132, 142, 150
曾根崎心中	30
曾禰達蔵	91
側用人	26
ソビエト連邦解体	158
尊王攘夷(運動)	33, 48
村法	20

## た

ターヘル・アナトミア	33
第一銀行	109
第一議会	70, 93
第一国立銀行	64, 90, 182
第一次護憲運動	92
第1次近衛声明	117
第一次世界大戦	94, 96, 102, 108, 110
第1次長州征討	48
第1回男子普通選挙	109
大学頭	31
大韓帝国	78
大韓民国	134, 144
第五福竜丸	138, 199
大衆文化	136
大正政変	93
大審院	74
大政奉還の上表	50
大政翼賛会	119

大戦景気	108
大東亜共栄圏	120
第2次護憲運動	97
第2次国共合作	117
第2次上海事変	116
第二次世界大戦	117, 134, 162
第2次長州征討	50
対日理事会	126
大日本沿海輿地全図	41
大日本帝国憲法	68, 70
太平洋戦争	91, 113, 120, 122, 150
大名火消	27
大名屋敷	10, 53
太陽	85
太陽暦	58
第4次中東戦争	147
大量消費時代	152
大連	77, 79
大老	44
台湾	61, 76, 127, 134, 145, 161
台湾銀行	108
台湾出兵	61
高井戸宿	17, 194
高島秋帆	42
高杉晋作	48, 50
高田屋嘉兵衛	40
高野長英	41
高橋是清	111, 115, 198
高橋由一	88
高橋至時	41
兌換制度	64
滝廉太郎	84
竹下登	155
竹島	61, 165
竹内式部	163, 188
竹本義太夫	30
太宰治	137
但馬生野	9
太政官	52
辰野金吾	90
田中角栄	145, 147
田中義一	109
店借	22
田沼意次	28
玉川上水	20, 35, 67, 85, 166, 168, 201
多摩ニュータウン	150, 200
樽廻船	17
単一為替レート	133
男子普通選挙法	109
団琢磨	112

## ち

治安維持法	97
近松門左衛門	30
地券	55
地租改正条例	55
地租改正反対一揆	55
秩禄	54
秩禄処分	55, 63
千葉卓三郎	67
知藩事	54
地方自治法	131
地方税規則	71
中央公論	85
中華人民共和国	134, 145
中華民国	94, 134
中国共産党	117, 134
中国国民党	110, 134
中国分割	77
張作霖爆殺事件	110
朝鮮出兵	162
朝鮮戦争	135, 138
朝鮮総督	93
朝鮮総督府	79
朝鮮通信使	15
朝鮮民主主義人民共和国	134, 145
朝鮮敵	51
町人地	22
町人物	30
徴兵告諭	55
徴兵制	55
徴兵令	55
青島	77, 94

## つ

築地居留地	73, 75, 197
佃島	16, 156, 195
津田梅子	87
津田塾大学	87
高屋重二郎	38
坪内逍遙	84

## て

帝国議会	55, 70, 92
帝都復興院	106
手賀沼	28
出島	12, 14
手代	23
丁稚	23
鉄道国有法	81
鉄道馬車	59, 167
デモクラシー	97
寺請制度	13

寺内正毅	93, 95
寺子屋	33
寺島宗則	60, 72
テレビ放送	137, 159
田園調布	102, 196
天下の台所	17
天津条約	76
天皇大権	69
田畑永代売買の禁令	20, 55
天賦人權思想	58, 66
天保の改革	23, 29, 42
天明の打ちこわし	28
天明の飢饉	28

## と

問屋	19, 46
問屋場	16
東海道	16, 57
東海道五十三次	39
東海道新幹線	149
東海道線	80
東京朝日(新聞)	99
東京駅	12, 22, 81, 91, 94, 111, 132, 160, 182, 197
東京オリンピック	116, 148, 201
東京音楽学校	84
東京行幸	53
東京芸術大学	88, 180, 197
東京裁判	127
東京市	55, 71, 100, 105, 107, 113, 130
東京市会	70
東京スカイツリー	159, 179, 199
東京専門学校	67, 87
東京大学	86, 88, 171, 181, 196
東京大空襲	105, 122, 199
東京タワー	158, 178, 198
東京帝国大学	91, 171
東京電車鉄道	56
東京都庁	169, 198
東京日日(新聞)	71, 99
東京美術学校	88
東京府	52, 55, 59, 67, 113, 130, 132, 164
東京砲兵工廠	77, 196
東京メトロ	101, 157
東京モノレール	149, 178, 198
東京浅田銀行	109
東郷平八郎	78
銅座	28
堂島米市場	21
東洲斎写楽	38
同潤会(アパート)	99, 107
東条英機	120, 127
同心	22
東清鉄道	77, 79
唐人屋敷	14
統帥権	69, 111
統帥権干犯問題	111
統制派	115
唐箕	20
東洋大日本国憲法	67
遠山景元	23, 29
徳川家定	45
徳川家継	26
徳川家綱	9, 26, 31
徳川家斉	28
徳川家宣	26
徳川家治	28
徳川家光	9, 13, 18
徳川家茂	45, 48
徳川家康	8, 12, 16
徳川綱吉	11, 26, 31
徳川光圀	11
徳川慶喜	50
徳川吉宗	11, 15, 25, 27, 32
特需景気	135
独占禁止法	128
十組問屋	19
外様(大名)	10
利島	162, 164, 189
ドッジライン	133
徒弟	23
隣組	119
鳥羽・伏見の戦い	51
富岡製糸場	82
富岡八幡宮	37, 41
富くじ(富突)	24
都民の日	71
豊田佐吉	83
豊臣秀吉	8
虎の門事件	107
取付け騒ぎ	109
問屋制家内工業	42

## な

内閣制度	68
内閣勸業博覧会	56
内藤新宿	16, 194
内務省	56, 115
中岡慎太郎	50
仲買	19, 47
長崎貿易	14, 26
中山道	15
中曽根康弘	165
名主	20, 49

生妻事件	50
成金	108
南海路	17
南京事件	117
南京条約	42
南進論	120

## に

新島	162, 164, 188
ニ・ゼネスト中止	133
ニクソン	142, 145
ニコライ堂	91, 181, 196
錦絵	28, 38, 53, 58, 72
二十一カ条の要求	94
日英通商航海条約	74
日英同盟	78, 94
日独伊三国同盟	117
日独伊三国防共協定	116
日独防共協定	116
日米安全保障条約	135
日米行政協定	141
日米交渉	120
日米修好通商条約	44, 72
日米新通商航海条約	75
日米相互協力及び安全保障条約	141
日米相互防衛援助協定	138
日米和親条約	44, 72
日露戦争	75, 77, 78, 81, 84, 92, 102
日韓基本条約	144
日韓協約	79
日光道中	16
日清修好条規	60
日新真事誌	62
日清戦争	70, 76, 78, 81
日清通商航海条約	76
日ソ共同宣言	140
日ソ中立条約	120
日ソ共同声明	145
日中戦争	117
日中平和友好条約	145
日朝修好条規	60
日朝平壤宣言	145
日本銀行	64, 91, 109, 112, 182, 197
日本放送協会(NHK)	99, 136
新渡戸稲造	85
ニ・ニ六事件	114, 198
二宮尊徳	15
日本永代蔵	30
日本海海戦	78
日本共産党	130
日本国憲法	67, 130
日本社会党	130, 140
日本住宅公団	150
日本自由党	130
日本進歩党	130
日本水準原典標庫	91, 93
日本製鋼所	81
日本鉄道会社	56, 80
日本農民組合	95
日本橋	13, 16, 19, 34, 80, 91, 149, 182, 195
日本橋魚市場	21
日本美術院	89
日本民主党	140
人形浄瑠璃	30
人足寄場	29

## の

農地委員会	129
農地改革	129
野火止用水	167, 201
野村吉三郎	120
ノルマントン号事件	72

## は

配給制	119, 132
排他的経済水域	164
魔刀令	63
廃藩置県	54
廃仏毀釈	58
萩の乱	63
白馬会	89
幕藩体制	9, 20, 47
幕領	9, 45, 164
橋本雅邦	89
橋本龍太郎	158
長谷川平蔵	29
旅籠屋	16
旗本	9, 26, 28
八月十八日の政変	48
八丈島	163, 188
八・八艦隊計画	96
閩族打破	92
鳩山一郎	140
鳩山由紀夫	158
羽田空港	146, 149, 199
バブル景気	156
バブル経済	174
歯舞群島	127, 140
浜口雄幸	110
浜離宮恩賜庭園	11, 15, 60
早川徳次	100, 177
林信篤	31
原敬	94

バリ講和会議	96
ハリス	44
ハルモノート	120
バルチック艦隊	78
蛮社の獄	41
反射炉	43
蕃薯考	15
蕃薯和解御用	32
阪神淡路大震災	157
版籍奉還	54
番頭	23

<b>ひ</b>	
PKO (国連平和維持活動) 協力法	158
ヒートアイランド	6, 175
菱垣廻船	17
東日本大震災	158, 173
東村山浄水場	169
ビキニ環礁	138
ヒューム	70, 72
土方歳三	48, 200
菱川師宣	38
ビッドル	43
人返しの法	29
一橋大学	102
ヒトラー	116
非人	23, 55
日野宿	17
日比谷公園	73, 75, 140, 173, 196
日比谷施打ち事件	79
百姓一揆	21
秤量貨幣	18
平賀源内	24, 32, 184, 195
平田篤胤	33
平塚らいてう	96
広田弘毅	115, 127

<b>ふ</b>	
ファーストフード	152
ファミリーレストラン	152
フェートン号	40
フェノロサ	88
フォンタネージ	88
深川セメント工場	83
富嶽三十六景	39
不換紙幣	64
樽儀	112
福沢諭吉	58, 71, 86, 91
福田赳夫	145
福地源一郎	71
武家諸法度	10
府県会	71
府県会規則	71
府県制・郡制	69, 71
富国強兵	32, 76
扶清滅洋	77
譜代 (大名)	10
布田五宿	17, 201
札差	28, 35
二葉亭四迷	85
武断政治	26
府知事	54, 71
府中宿	17, 201
普通選挙法	95, 97, 109
復古神道	33
ブラザ合意	154
ブラックマンデー	157
フランク・ロイド・ライト	101
振売	19
文学界	67
文化住宅	98
文化・文政時代 (化政期)	29, 38
文久の改革	48
分地制限令	20
文治政治	26
文明開化	58, 66, 84, 88

<b>へ</b>	
平成景気	156
平民宰相	94
平和主義	130
北京議定書	77
ベトナム戦争	135, 144
ベトナム和平協定	145
ペリー	43, 44
ベルリンの壁	158

<b>ほ</b>	
ボアソナード	69
保安隊	138
防衛庁	138
貿易摩擦	154
奉公人	22
澎湖諸島	76
奉書船	12
報徳仕法	15
ボツマス条約 (日露講和条約)	79
北支事変	116
北清事変	77
北爆	144
北伐	110
保科正之	9

保守合同	140
戊辰戦争	49, 51
細川護熙	157
堀田正睦	44
ボツダム宣言	123
北方領土	61, 140
棒手振	19
香港	42, 77
本陣	16
本土空襲	122
本途物成	23
本百姓	20

<b>ま</b>	
毎日 (新聞)	85
舞姫	85
前島密	53, 56
前野良沢	32
真崎甚三郎	115
町方	10, 22, 27
町年寄	22
町名主	22
町火消	27
町奉行	15, 22, 29
松井須磨子	84
松岡洋右	114
松尾芭蕉	30
マッカーサー	126
松方財政	65
松方正義	64
末期養子の禁止	26
松平容保	48
松平定信	28
松平慶永	48
間部詮房	26
マニファクチュア	42
間宮林蔵	40
満州国	112, 114
満州事変	99, 112, 120
満州某重大事件	110
万世橋駅	160

<b>み</b>	
三浦按針	12, 195
見返り美人図	38
三木武夫	147
御蔵島	163, 164, 188
三島由紀夫	137
ミズーリ号	126
水野忠邦	29
水吞	20
見世物小屋	24
三田育種場	56
三井	65, 83, 108, 128
三井高利	19
ミッドウエー海戦	120, 123
三菱	56, 65, 83, 91, 108, 128
三菱一男館	91, 183, 196
緑の東京 10年プロジェクト	174
水俣病	146
南島島	164
南町奉行所	22, 55, 177, 195
南満州鉄道株式会社 (満鉄)	79
三宅島	163, 164, 175, 188
宮沢喜一	158
莫加	19, 28
民権院設立建白書	62
民法典論争	69
民本主義	97

<b>む</b>	
武蔵野	85
無産政党	109
ムッソリーニ	116
陸奥宗光	74
村田清風	42
村野常右衛門	66
村山富市	157

<b>め</b>	
明治十四年の政変	67
明治神宮	69, 149
明治天皇	52, 56, 60
名所江戸百景	17, 29, 39
明治六年の政変	60
明暦の大火	8, 26, 167
目安箱	27

<b>も</b>	
毛沢東	134, 145
モダンガール	99
モダンボーイ	99
モッセ	69
本居宣長	33
もはや戦後ではない	146
モトリアム	109
森有礼	87
森鷗外	85
モリソン号	41
文部省	86, 89

<b>や</b>	
安井誠一郎	131
安田	109
安田善次郎	71, 86
柳沢吉保	11
八幡製鉄所	81
谷保天満宮	17, 200
山内豊信 (容堂)	50
山県有朋	55, 69, 95
山手線	80, 99, 102, 133, 160, 174
山本権兵衛	106
ヤミ市	132
鐘水商人	47
ヤン・ヨーステン (耶楊子)	12, 182, 195

<b>ゆ</b>	
由井 (比) 正雪	26
友愛会	95
郵政民営化	158
雄藩	42
郵便制度	56
湯島聖堂	31, 194
ユネスコ	139, 143
夢の島	146, 199

<b>よ</b>	
横田基地 (横田飛行場)	134, 200
横浜	45, 46, 56, 59, 73, 75, 80
横山大観	89
与謝野晶子	97
吉田茂	130, 135, 138, 140
吉野作造	97
寄席	24, 99
四日市ぜんそく	146
淀橋浄水場	168, 196
読売 (新聞)	85
読本	28

<b>ら</b>	
ラクスマン	40
ラジオ放送	99, 136
拉致問題	145
蘭学	32

<b>り</b>	
リーフデ号	12
六義園	11, 194
立憲改進黨	70
立憲国民党	92
立憲自由党	70
立憲政友会	92, 95, 97, 109
立憲民政党	109, 112
立志社	62
リットン調査団	112, 114
琉球王国	15, 60
琉球帰属問題	61
琉球処分	61
琉球藩	61
柳条湖	112
両替商	18
両国国技館	37, 105, 122, 185, 195
領事裁判権	45, 60, 72, 74
遼東半島	76, 78
旅順	76, 79

<b>れ</b>	
レアアース	165
冷戦	134, 139, 158
レザノフ	40
煉瓦造	58, 74
連合国軍最高司令官総司令部 (GHQ)	126, 128, 130, 133, 161

<b>ろ</b>	
労働基準法	129
労働組合法	129
ロエスレル	68
鹿鳴館	72, 91, 196
盧溝橋事件	116
ロシア革命	95, 96
ロッキード事件	147
路面電車	56, 100, 160
ロンドン海軍軍縮会議	111

<b>わ</b>	
ワグマン	88
若槻礼次郎	108
脇本陣	16
和事	30
ワシントン会議	96
早稲田大学	67, 84, 87, 196
渡辺崋山	33, 41
渡辺錠太郎	115
湾岸戦争	158





## ●図版資料所蔵・提供・協力一覧（50音順、敬称略）

昭島市教育委員会 秋葉原電気街振興会 あきる野市教育委員会 浅草鷲神社 浅草神社 朝日新聞社 株式会社アダチ版画研究所 穴八幡神社 アメリカ空軍横田基地 アメリカ国家核安全保障局 株式会社サンシャインシティ 石川県立美術館 石川ふみ子 伊豆の国市教育委員会 板橋区 板橋区立郷土資料館 井塚剛 稲城市教育委員会 岩波書店 株式会社AKS 江戸東京たてもの園 江戸東京博物館 NHK放送博物館 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 円珠院 円通寺 植松正光 大島町 大田区 大月書店 大場家代官屋敷保存会 小笠原村 海上保安庁 鹿児島県歴史資料センター黎明館 鹿児島市立美術館 葛西神社 鹿島建設株式会社 GAS MUSEUM がす資料館 株式会社歌舞伎座 神田神社 神奈川県立歴史博物館 株式会社カネボウ化粧品 環境省皇居外苑管理事務所 気象庁南鳥島気象観測所 北区立中央図書館 北区飛鳥山博物館 旧東京音楽学校奏楽堂 清瀬市 株式会社共同通信社 宮内庁 くになち郷土文化館 呉市海事歴史科学館大和ミュージアム 慶応義塾大学 国立音楽大学 栗本一郎 衆議院事務局憲政記念館 交通科学博物館 江東区 江東区芭蕉記念館 神津村 国営昭和記念公園 独立行政法人国立科学博物館 独立行政法人国立公文書館 国立国会図書館 大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立歴史民俗博物館 護国寺 株式会社小島資料館 小平市中央図書館 株式会社小学館 株式会社小学館集英社プロダクション 品川区立品川歴史館 浄真寺 清水由一 昭和館 新宿区立新宿歴史博物館 株式会社すかいらく 静嘉堂文庫美術館 聖徳記念絵画館 西武鉄道株式会社 株式会社セブン・イレブン・ジャパン 浅草寺 隅田川花火大会実行委員会事務局 増上寺 ソニー株式会社 公益財団法人第五福竜丸平和協会 台東区 太平洋セメント株式会社 田原市博物館 高幡不動尊金剛寺 地下鉄博物館 千葉県立中央博物館大多喜城分館 千代田区 中央区 中央区立郷土天文館 築地本願寺 津田塾大学津田梅子資料室 鉄道博物館 東京あおば農業協同組合 東京ガス 東京急行電鉄株式会社 東京経済大学図書館 東京芸術大学美術館 独立行政法人国立美術館東京国立近代美術館 東京国立博物館 Image:TNM Image Archives Source 株式会社東京証券取引所グループ 東京大学 東京大学大学院法学政治学研究科附属近代日本法政史料センター 公益財団法人東京動物園協会 株式会社東京ドーム 東京都環境局 東京都現代美術館 東京都建設局 公益財団法人東京都公園協会 東京都交通局 東京都公文書館 東京都港湾局 東京都写真美術館 東京都水道局 東京都生活文化局 東京都知事本局 東京都夢の島熱帯植物館 東京都立中央図書館 東京都立多摩図書館 国立大学法人東京農工大学科学博物館 独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 東京モノレール株式会社 東武タワースカイツリー株式会社 遠山講中 独立行政法人都市再生機構 学校法人杉野学園ドレスメーカー学院 富岡八幡宮 富田昭次 豊川稲荷 都立園芸高等学校 都立駒場高等学校 都立墨田川高等学校 都立上水高等学校 都立立川高等学校 都立八丈高等学校 都立六郷工科高等学校 長崎県立対馬歴史民俗資料館 長崎歴史文化博物館 財団法人鍋島報効会 財団法人日本遺族会九段会館 日本銀行 日本銀行金融研究所貨幣博物館 財団法人日本相撲協会 独立行政法人日本スポーツ振興センター 新島村 農林水産省 練馬区 博物館明治村 函館市中央図書館 八王子市 八王子市郷土資料館 八丈島樫立踊り保存会 八丈島歴史民俗資料館 八丈町 林薫 日枝神社 樋口秀司 一橋大学 一橋大学附属図書館 日野宿本陣 日の出町教育委員会 株式会社ピービーエス通信社 広重美術館 フェニックス・シーガイア・リゾート 福岡市博物館 府中市 府中市教育委員会 復興記念館 株式会社プリンスホテル 文京区 文京ふるさと歴史館 防衛省 防衛省防衛研究所図書館 放送大学附属図書館 法隆寺 株式会社星野リゾート・トマム 前田正代 町田市立自由民権資料館 株式会社毎日新聞社 御蔵島観光協会 株式会社三越 港区立郷土資料館 三宅村 明治大学図書館 株式会社文殊社近現代フォトライブラリー 靖国神社 山本政信 雄松堂書店 横浜開港資料館 横浜市中央図書館 読売新聞社 琉球大学附属図書館 龍溪書舎 瀧泉寺（目黒不動尊） 早稲田大学図書館 早稲田大学津八二記念博物館 早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

## ●イラスト・地図作成 内外地図

JASRAC出1015648-001

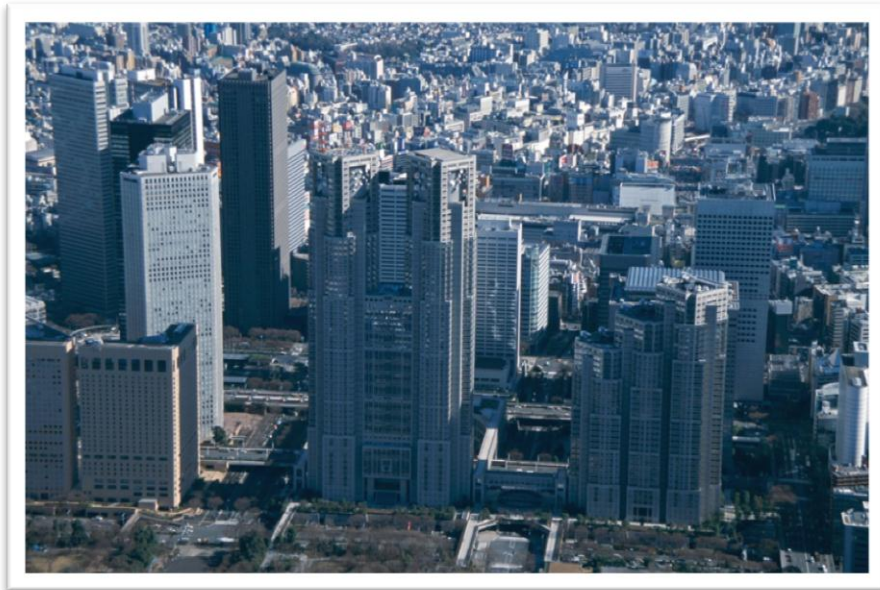
# 江戸から東京へ

東京都教育委員会印刷物登録  
平成 24 年度 第 号

印刷 2013（平成 25）年 3 月 日  
発行 2013（平成 25）年 3 月 日

●著作権所有者 東京都教育委員会  
●発行者 東京都教育委員会  
〒163-8001 東京都新宿区西新宿 2 丁目 8 番 1 号  
電話 03-5320-6845  
●印刷会社名 ○○○○  
〒○○○○ ○○○○○○○○○○○○○○○  
電話 ○○-○○○○-○○○○

# 江戸から東京へ



東京都教育委員会